

第2次南房総市総合計画後期基本計画 市民等意識調査報告書

令和4年2月

目 次

第1章	はじめに.....	2
(1)	調査の目的.....	2
(2)	実施方法.....	2
(3)	有効回答数.....	3
(4)	報告書をご覧いただく際の注意事項.....	3
(5)	標本誤差.....	3
第2章	市民アンケート.....	5
(1)	回答者属性.....	6
(2)	南房総市での生活について.....	10
(3)	南房総市のイメージについて.....	36
(4)	南房総市のまちづくりについて.....	52
(5)	市内外への魅力・情報発信について.....	80
(6)	新型コロナウイルスに対する影響について.....	83
(7)	カーボンニュートラルについて.....	87
(8)	「新しい時代の流れ」について.....	98
(9)	自由意見をご記入ください.....	107
第3章	中学生アンケート.....	117
(1)	回答者属性.....	118
(2)	南房総市らしさについて.....	120
(3)	南房総市への愛着と定住意向について.....	127
(4)	南房総市の魅力の情報発信について.....	132
(5)	南房総市の魅力の情報発信について.....	137
第4章	職員アンケート.....	141
(1)	回答者属性.....	142
(2)	南房総市らしさと大切にしたい財産について.....	144
(3)	第2次南房総市総合計画前期基本計画について.....	155
(4)	前期基本計画の各施策の満足度・重要度について.....	161
(5)	今後、重点的な取り組みが必要な施策について.....	163
(6)	今後、重点的に取り組むべきだと思う課題について.....	167
(7)	今後、取り組むべきだと思う課題について.....	183

第1章 はじめに

(1) 調査の目的

この調査は、第2次南房総市総合計画後期基本計画の策定にあたり、その基礎資料とするために作成したものです。市の取組みに対する市民等の意識をはじめ、今後のまちづくりのあり方などについて、把握し、計画策定の参考資料とすることを目的として実施しました。

(2) 実施方法

この調査は、「①市民アンケート」「②中学生アンケート」「③職員アンケート」から構成しています。各調査の調査設計は下記の通りです。

①市民アンケート

無作為抽出による市民 1,500 人に対して、郵送により調査票を配布しました。なお、回答方法は、郵送による調査票の返送またはウェブアンケートへの記入の選択制としました。

調査対象	南房総市在住の満 15 歳以上の 1,500 人 (令和3年10月1日時点・住民基本台帳より無作為抽出)
調査方法	郵送による調査票の配布、本人記入形式、郵送またはウェブ上での回収 ※調査票は無記名で回答
調査期間	令和3年11月5日～令和3年11月22日

②中学生アンケート

南房総市立の中学校に在籍する2年生 260 人を対象に、学校のタブレット端末で回答可能なウェブ調査を実施しました。

調査対象	南房総市立の中学校に在籍する2年生 260 人
調査方法	タブレット端末での調査票の配布・回収 ※調査票は無記名で回答
調査期間	令和3年11月15日～令和3年11月29日

③職員アンケート

南房総市役所の職員 509 人を対象に、南房総市庁内 LAN システムを利用した電子アンケート調査を実施しました。

調査対象	南房総市役所職員 509 人
調査方法	公開羅針盤（庁内 LAN システム）のアンケート機能を利用した電子調査票及び紙調査票の配布・回収
調査期間	令和3年11月17日～令和3年11月30日

(3) 有効回答数

本調査に対する有効回答数は次の通りです。

	①市民アンケート	②中学生アンケート	③職員アンケート
有効回答数	730 票/1,500 票	260 票	431 票
回収率	48.6%	100%	84.7%

(4) 報告書をご覧いただく際の注意事項

- ・ 図中の「n」(=number) は、設問に対する回答者数を示しています。
- ・ 構成比(%) は、設問に対する回答者数を母数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。このため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として構成比(%)を算出しています。このため、合計が100%を超えることがあります。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文やグラフ・表中で省略した表現を用いています。
- ・ 表中、上段は実数を、下段は構成比(%)を示します。

(5) 標本誤差

本調査は、調査対象となる母集団から標本を抽出し、母集団の比率を推測する標本調査になります。市民アンケートについて、統計学上の標本誤差は、本市の令和3年10月1日現在の人口をもとに算出すると、回答の比率により差がありますが、n=730のときは、標本誤差は±2.15%から±3.59%の範囲に収まることになります。これは例えば、愛着に関する設問への回答においては、愛着をもっていると回答した人の割合が49.7%であったので標本誤差としての最大幅が±3.59%であることから、最大値として53.29%の方が愛着をもっていると回答していることという状況を意味しています。

回答比率 (%) 回答数(人)	10 (または90)	20 (または80)	30 (または70)	40 (または60)	50
2,000	±1.28%	±1.70%	±1.95%	±2.09%	±2.13%
1,000	±1.83%	±2.44%	±2.80%	±2.99%	±3.06%
800	±2.06%	±2.74%	±3.14%	±3.36%	±3.43%
730	±2.15%	±2.87%	±3.29%	±3.52%	±3.59%
600	±2.38%	±3.17%	±3.64%	±3.89%	±3.97%
400	±2.92%	±3.90%	±4.47%	±4.77%	±4.87%

(標本誤差算出式)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

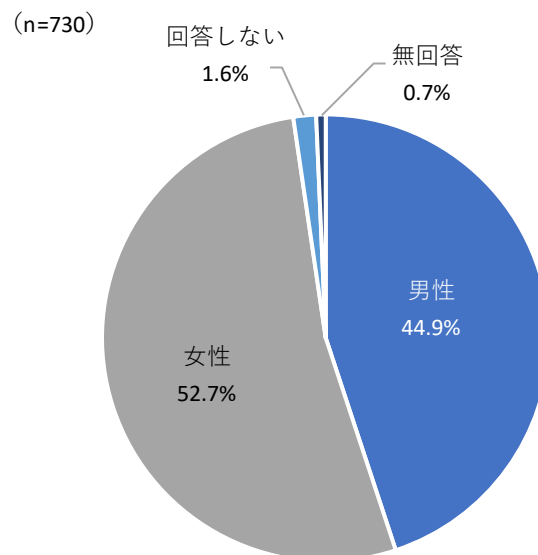
N=母集団数
n=比率算出の基数(回答サンプル数)
p=回答の比率(0≤p≤1)

第2章 市民アンケート

(1) 回答者属性

調査結果を統計的に分析するための資料として、最初に回答者の属性について伺いました。あなたご自身のことについてお伺いします。問1～問6の問いについては、該当する番号を、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

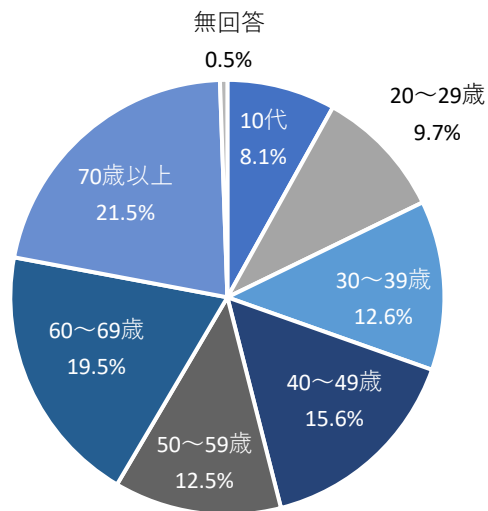
問1. あなたの性別は



「女性」が 52.7%、「男性」が 44.9%と、女性がやや多くなっています。

問2. あなたの年齢は

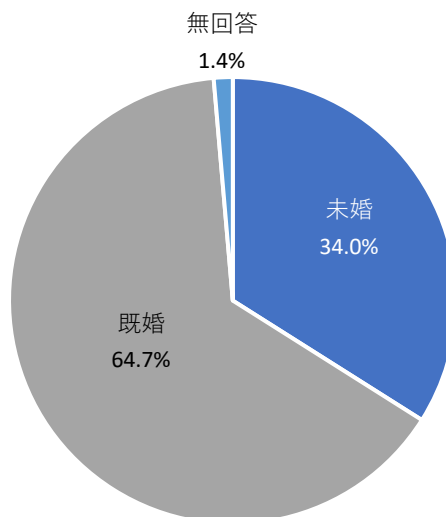
(n=730)



「70歳以上」が21.5%と最も多く、次いで、「60～69歳」、「40～49歳」の順となっています。「10代」、「20～29歳」がそれぞれ1割程度となっています。

問3. あなたの婚姻状況は

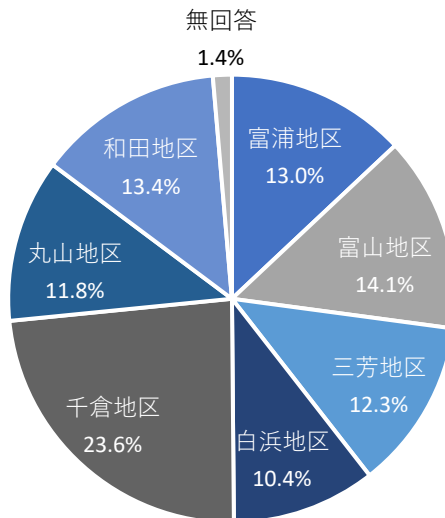
(n=730)



「既婚」が64.7%、「未婚」が34.0%と「既婚」の方が多いです。

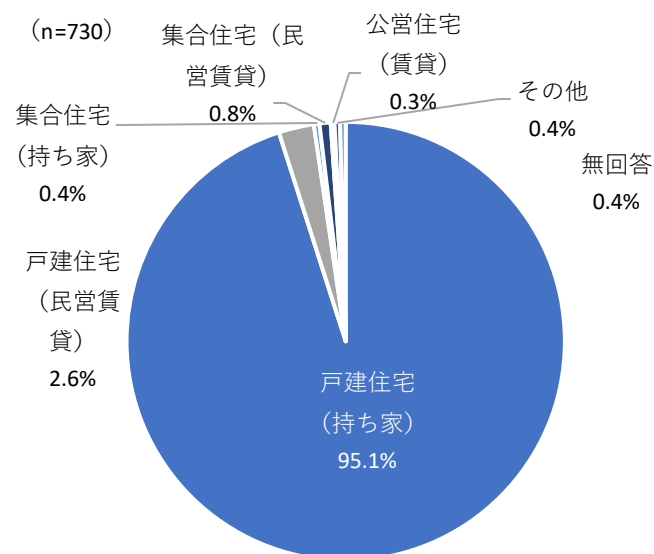
問4. あなたがお住まいの地区は

(n=730)



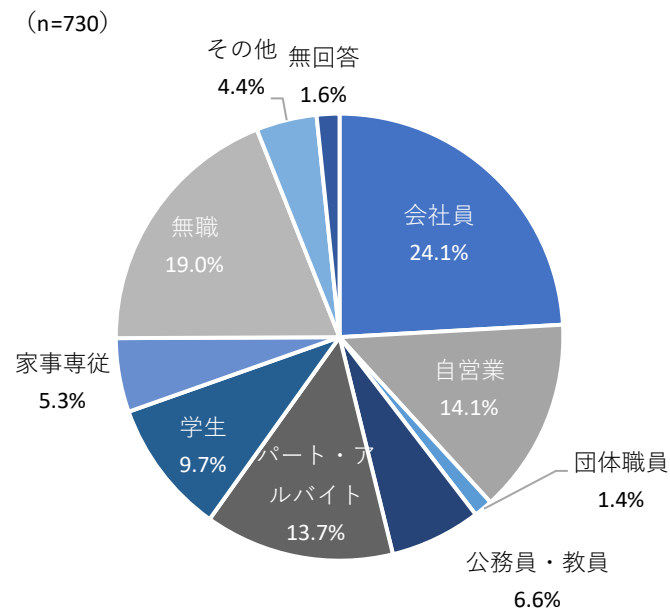
「千倉地区」が23.6%と最も多く、次いで、「富山地区」の順となっています。それ以外の地区はそれぞれ1割程度となっています。

問5. あなたがお住まいの住居は



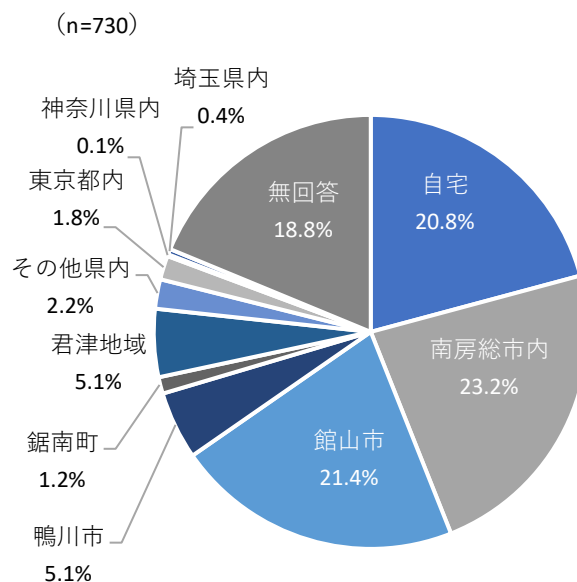
「戸建住宅 (持ち家)」が95.1%と最も多く、次いで、「戸建住宅 (民営賃貸)」、「集合住宅 (民営賃貸)」、「集合住宅 (持ち家)」、「公営住宅 (賃貸)」がそれぞれ1%未満となっています。

問6. あなたの職業は



「会社員」が24.1%と最も多く、次いで、「無職」が20%程度、「自営業」、「パート・アルバイト」がそれぞれ15%程度となっています。

問7. 主な勤務先・通学地は

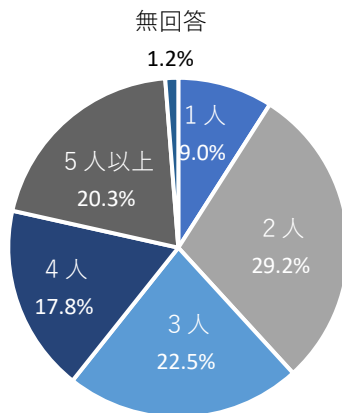


「南房総市内」が23.2%と最も多く、次いで、「館山市」、「自宅」がそれぞれ2割程度となっています。安房郡市内で71.7%となっており、安房地域が主な圏域となっています。

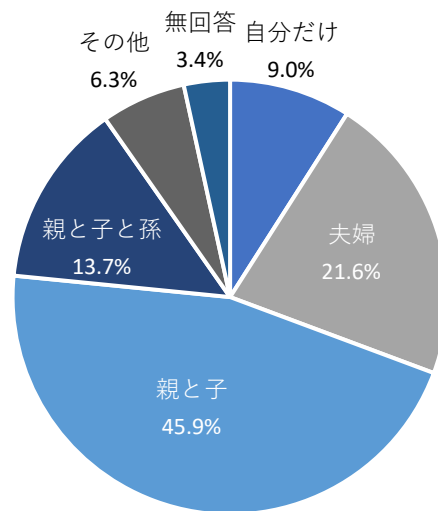
問8. 一緒に住んでいるあなたの世帯は

(1) 同居している人数は(あなたを含めて) (2) 一緒に住んでいる人の構成は

(n=730)



(n=730)



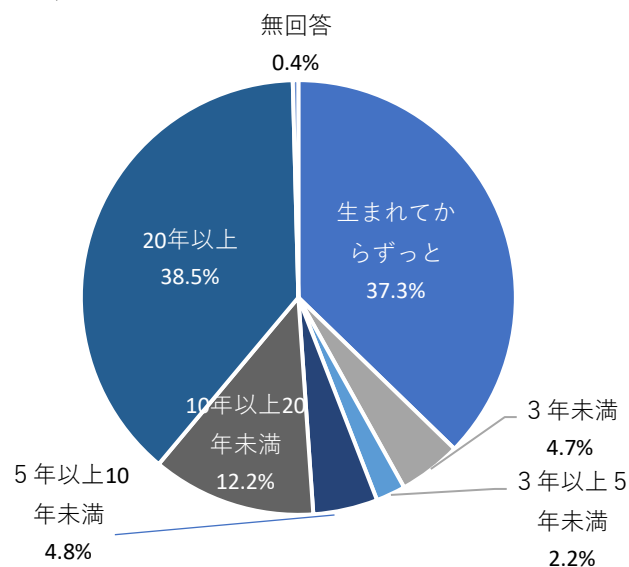
(1) 「2人」が29.2%、「3人」、「5人以上」がそれぞれ2割程度となっています。

(2) 「親と子」が45.9%と最も多く、次いで、「夫婦だけ(一世代)」が2割程度、「親と子と孫(三世代)」が1割程度となっています。

(2) 南房総市での生活について

問1. あなたが南房総市(合併前含む)に住んでいる期間について

(n=730)



「20年以上」が38.5%、「生まれてからずっと」が37.3%、次いで、「10年以上20年未満」が1割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、10代から30～39歳では「生まれてからずっと」、40歳以上では「20年以上」が最も多くなっています。

性別にみると、男性は「生まれてからずっと」、女性は「20年以上」が、それぞれ4割程度と回答傾向に違いがあります。

地区別にみると、富山地区・千倉地区・丸山地区では「生まれてからずっと」、富浦地区・三芳地区・白浜地区・和田地区では「20年以上」が最も多くなっており、白浜地区では「20年以上」と「生まれてからずっと」の回答に10ポイント以上の差があることがわかります。

① 年齢別

		全体	生まれてからずっと	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
年齢	全体	730 100.0	272 37.3	34 4.7	16 2.2	35 4.8	89 12.2	281 38.5	3 0.4
	10代	59 100.0	40 67.8	1 1.7	- -	5 8.5	13 22.0	- -	- -
	20～29歳	71 100.0	38 53.5	4 5.6	3 4.2	1 1.4	13 18.3	12 16.9	- -
	30～39歳	92 100.0	32 34.8	14 15.2	4 4.3	5 5.4	10 10.9	27 29.3	- -
	40～49歳	114 100.0	30 26.3	4 3.5	3 2.6	9 7.9	22 19.3	45 39.5	1 0.9
	50～59歳	91 100.0	21 23.1	4 4.4	- -	5 5.5	10 11.0	51 56.0	- -
	60～69歳	142 100.0	48 33.8	5 3.5	2 1.4	3 2.1	9 6.3	75 52.8	- -
	70歳以上	157 100.0	60 38.2	2 1.3	4 2.5	7 4.5	12 7.6	71 45.2	1 0.6

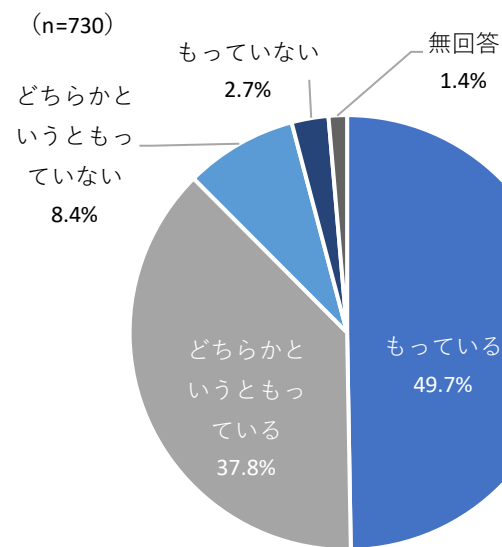
② 性別

		全体	生まれてからずっと	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
性別	全体	730 100.0	272 37.3	34 4.7	16 2.2	35 4.8	89 12.2	281 38.5	3 0.4
	男性	328 100.0	138 42.1	12 3.7	6 1.8	15 4.6	40 12.2	115 35.1	2 0.6
	女性	385 100.0	130 33.8	20 5.2	10 2.6	19 4.9	47 12.2	159 41.3	- -
	回答しない	12 100.0	3 25.0	2 16.7	- -	- -	2 16.7	5 41.7	- -

③ 地区別

		全体	生まれてからずっと	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
居住地区	全体	730 100.0	272 37.3	34 4.7	16 2.2	35 4.8	89 12.2	281 38.5	3 0.4
	富浦地区	95 100.0	32 33.7	6 6.3	3 3.2	6 6.3	8 8.4	40 42.1	-
	富山地区	103 100.0	42 40.8	4 3.9	2 1.9	2 1.9	13 12.6	40 38.8	-
	三芳地区	90 100.0	29 32.2	6 6.7	1 1.1	6 6.7	18 20.0	30 33.3	-
	白浜地区	76 100.0	26 34.2	3 3.9	1 1.3	3 3.9	7 9.2	35 46.1	1 1.3
	千倉地区	172 100.0	75 43.6	7 4.1	5 2.9	10 5.8	13 7.6	61 35.5	1 0.6
	丸山地区	86 100.0	33 38.4	2 2.3	3 3.5	4 4.7	12 14.0	32 37.2	-
	和田地区	98 100.0	33 33.7	5 5.1	1 1.0	4 4.1	17 17.3	38 38.8	-

問2. あなたは南房総市に愛着をもっていますか。



「もっている」が 49.7%、「どちらかというともっている」が 37.8%、それ以外の回答は1割未満となっています。

《属性別》

年齢別にみると、10代と60代以上で愛着を「もっている」が半数以上と最も多く、20代から50代では4割程度に留まっています。一方、20代と30代では「どちらかというともっていない」がそれぞれ15%程度となっています。

性別にみると、男性・女性ともに「もっている」が最も多くなっていますが、男性では6割程度、女性では4割程度と差があります。女性では「どちらかというともっている」が4割程度となっています。

地区別にみると、回答傾向に大きな違いはありません。

① 年齢別

		全体	もっている	どちらかというともっている	どちらかというともっていない	もっていない	無回答
年齢	全体	730 100.0	363 49.7	276 37.8	61 8.4	20 2.7	10 1.4
	10代	59 100.0	33 55.9	20 33.9	2 3.4	4 6.8	-
	20～29歳	71 100.0	28 39.4	30 42.3	11 15.5	2 2.8	-
	30～39歳	92 100.0	34 37.0	38 41.3	15 16.3	5 5.4	-
	40～49歳	114 100.0	48 42.1	50 43.9	13 11.4	1 0.9	2 1.8
	50～59歳	91 100.0	40 44.0	43 47.3	6 6.6	2 2.2	-
	60～69歳	142 100.0	80 56.3	53 37.3	7 4.9	2 1.4	-
	70歳以上	157 100.0	98 62.4	41 26.1	7 4.5	4 2.5	7 4.5

② 性別

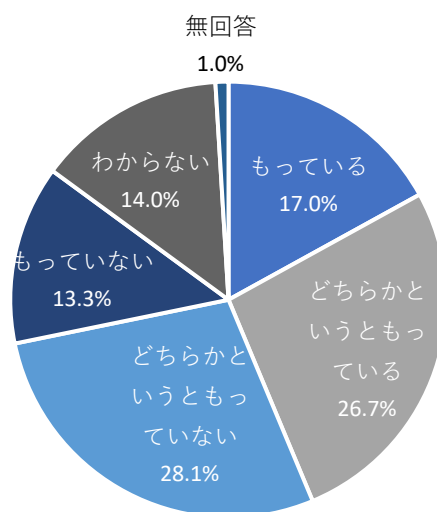
		全体	もっている	どちらかというともっている	どちらかというともっていない	もっていない	無回答
性別	全体	730 100.0	363 49.7	276 37.8	61 8.4	20 2.7	10 1.4
	男性	328 100.0	191 58.2	109 33.2	17 5.2	8 2.4	3 0.9
	女性	385 100.0	166 43.1	163 42.3	40 10.4	10 2.6	6 1.6
	回答しない	12 100.0	4 33.3	2 16.7	4 33.3	2 16.7	-

③ 地区別

		全体	もっている	どちらか というともっている	どちらか というともっていない	もっていない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	363 49.7	276 37.8	61 8.4	20 2.7	10 1.4
	富浦地区	95 100.0	49 51.6	40 42.1	3 3.2	2 2.1	1 1.1
	富山地区	103 100.0	56 54.4	37 35.9	5 4.9	3 2.9	2 1.9
	三芳地区	90 100.0	45 50.0	32 35.6	9 10.0	4 4.4	-
	白浜地区	76 100.0	36 47.4	32 42.1	6 7.9	2 2.6	-
	千倉地区	172 100.0	86 50.0	65 37.8	14 8.1	3 1.7	4 2.3
	丸山地区	86 100.0	37 43.0	37 43.0	8 9.3	3 3.5	1 1.2
	和田地区	98 100.0	50 51.0	32 32.7	13 13.3	2 2.0	1 1.0

問3. あなたは南房総市の将来に希望をもっていますか

(n=730)



「どちらかというともっていない」が 28.1%、「どちらかというともっている」が 26.7%となっており、「もっている」が2割程度、「わからない」、「もっていない」がそれぞれ1割程度となっています。「もっている」・「どちらかというともっている」が 43.7%、「どちらかというともっていない」・「もっていない」が 41.4%となっており、半々に分かれているという状況となっています。

《属性別》

年齢別にみると、70歳以上で希望を「もっている」が3割程度と最も多く、他の年代と10ポイント以上の差があります。10代、40～49歳では「どちらかというともっている」が、20～39歳、50～69歳で「どちらかというともっていない」がそれぞれ最も多くなっていますが、60～69歳では「どちらかというともっている」、「どちらかというともっていない」が同率で差がありません。

性別にみると、男性・女性ともに「どちらかというともっている」、「どちらかというともっていない」がそれぞれ3割程度ですが、男性では「どちらかというともっている」方が多く、女性では「どちらかというともっていない」方が多くなっています。

地区別にみると、富浦地区では、「もっている」と回答した方が4分の1程度と他の地区と比べて高い傾向にあります。逆に、和田地区では、「もっていない」と回答した方が5分の1程度と他の地区と比べて高い傾向があることもわかります。三芳地区では「どちらかというともっている」が、丸山地区では「どちらかというともっていない」が33%となっています。それ以外の地区では「どちらかというともっている」と「どちらかというともっていない」が同程度と回答傾向に大きな違いはありません。

① 年齢別

		全体	もっている	どちらかというともっている	どちらかというともっていない	もっていない	わからない	無回答
年齢	全体	730 100.0	124 17.0	195 26.7	205 28.1	97 13.3	102 14.0	7 1.0
	10代	59 100.0	11 18.6	16 27.1	14 23.7	5 8.5	13 22.0	-
	20～29歳	71 100.0	7 9.9	19 26.8	20 28.2	11 15.5	14 19.7	-
	30～39歳	92 100.0	7 7.6	21 22.8	31 33.7	18 19.6	15 16.3	-
	40～49歳	114 100.0	15 13.2	36 31.6	33 28.9	16 14.0	14 12.3	-
	50～59歳	91 100.0	9 9.9	19 20.9	38 41.8	16 17.6	9 9.9	-
	60～69歳	142 100.0	25 17.6	40 28.2	40 28.2	13 9.2	24 16.9	-
	70歳以上	157 100.0	48 30.6	43 27.4	29 18.5	18 11.5	13 8.3	6 3.8

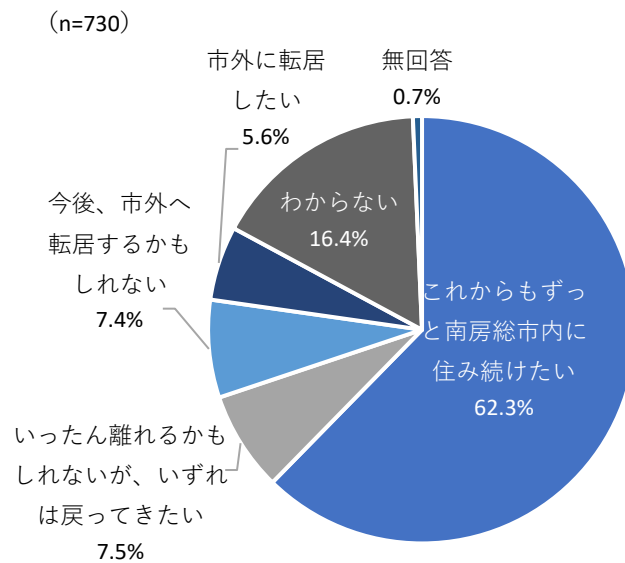
② 性別

		全体	もっている	どちらか というともっている	どちらか というともっていない	もっていない	わからない	無回答
性別	全体	730	124	195	205	97	102	7
		100.0	17.0	26.7	28.1	13.3	14.0	1.0
	男性	328	61	90	85	50	40	2
		100.0	18.6	27.4	25.9	15.2	12.2	0.6
	女性	385	61	103	115	42	60	4
		100.0	15.8	26.8	29.9	10.9	15.6	1.0
	回答しない	12	1	2	3	4	2	-
		100.0	8.3	16.7	25.0	33.3	16.7	-

③ 地区別

		全体	もっている	どちらか というともっている	どちらか というともっていない	もっていない	わからない	無回答
居住地区	全体	730	124	195	205	97	102	7
		100.0	17.0	26.7	28.1	13.3	14.0	1.0
	富浦地区	95	23	23	27	6	15	1
		100.0	24.2	24.2	28.4	6.3	15.8	1.1
	富山地区	103	17	23	24	14	23	2
		100.0	16.5	22.3	23.3	13.6	22.3	1.9
	三芳地区	90	17	30	23	9	10	1
		100.0	18.9	33.3	25.6	10.0	11.1	1.1
	白浜地区	76	15	22	23	9	7	-
		100.0	19.7	28.9	30.3	11.8	9.2	-
	千倉地区	172	20	49	54	25	24	-
		100.0	11.6	28.5	31.4	14.5	14.0	-
	丸山地区	86	11	23	29	11	11	1
		100.0	12.8	26.7	33.7	12.8	12.8	1.2
	和田地区	98	19	24	22	21	11	1
		100.0	19.4	24.5	22.4	21.4	11.2	1.0

問4. あなたは今後も南房総市に住み続けようと思いますか



「ずっと住み続けたい」が最も多く 62.3%、次いで「わからない」が 16.4%となっています。それ以外はそれぞれ1割未満となっています。

《属性別》

年齢別にみると、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が10代で35%程度、20代で25%程度と最も多くなっています。一方、30歳以上では「これからもずっと南房総市内に住み続けたい」が半数以上となっており、60～69歳では85%以上を占めています。

性別にみると、男性・女性ともに「これからもずっと南房総市内に住み続けたい」が最も多く、男性では7割程度、女性では6割程度となっています。

地区別にみると、富浦地区で「これからもずっと南房総市内に住み続けたい」が7割程度に対し、千倉地区では5割程度に留まっています。

① 年齢別

		全体	これから もずっと 南房総市 内に住み 続けたい	いったん 離れるか もしれな いが、い ずれは 戻ってき たい	今後、市 外へ転居 するかも しれない	市外に転 居したい	わからな い	無回答
年齢	全体	730 100.0	455 62.3	55 7.5	54 7.4	41 5.6	120 16.4	5 0.7
	10代	59 100.0	8 13.6	21 35.6	9 15.3	10 16.9	11 18.6	- -
	20～29歳	71 100.0	17 23.9	18 25.4	16 22.5	6 8.5	14 19.7	- -
	30～39歳	92 100.0	49 53.3	8 8.7	4 4.3	9 9.8	22 23.9	- -
	40～49歳	114 100.0	72 63.2	5 4.4	9 7.9	4 3.5	24 21.1	- -
	50～59歳	91 100.0	61 67.0	1 1.1	6 6.6	5 5.5	17 18.7	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	122 85.9	1 0.7	3 2.1	2 1.4	14 9.9	- -
	70歳以上	157 100.0	124 79.0	1 0.6	7 4.5	5 3.2	17 10.8	3 1.9

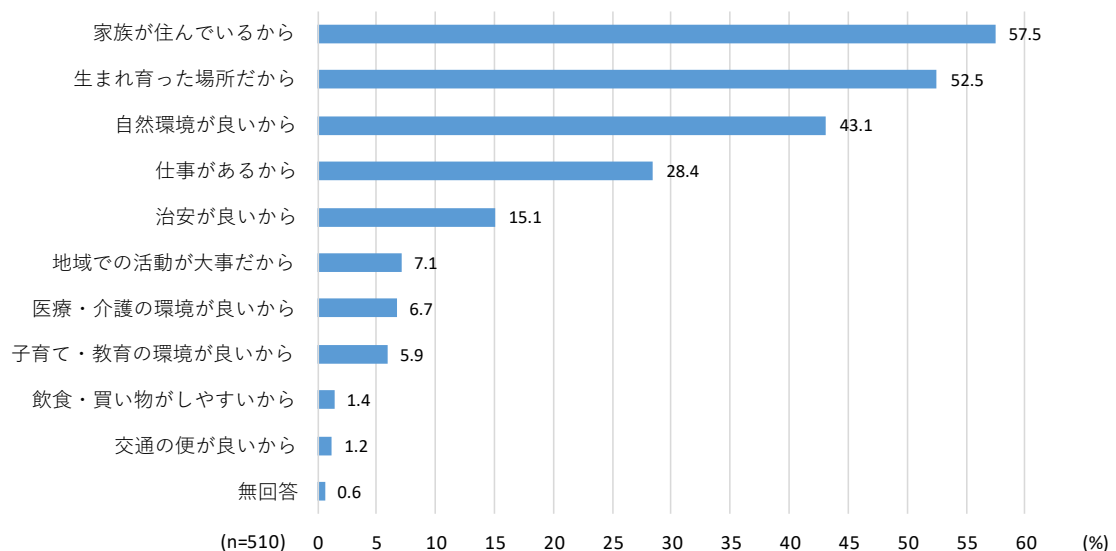
② 性別

		全体	これから もずっと 南房総市 内に住み 続けたい	いったん 離れるか もしれな いが、い ずれは 戻ってき たい	今後、市 外へ転居 するかも しれない	市外に転 居したい	わからな い	無回答
性別	全体	730 100.0	455 62.3	55 7.5	54 7.4	41 5.6	120 16.4	5 0.7
	男性	328 100.0	223 68.0	24 7.3	25 7.6	14 4.3	42 12.8	- -
	女性	385 100.0	227 59.0	30 7.8	26 6.8	24 6.2	74 19.2	4 1.0
	回答しない	12 100.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	3 25.0	3 25.0	- -

③ 地区別

		全体	これから もずっと 南房総市 内に住み 続けたい	いったん 離れるか もしれな いが、い ずれは 戻ってき たい	今後、市 外へ転居 するかも しれない	市外に転 居したい	わからな い	無回答
居住地区	全体	730 100.0	455 62.3	55 7.5	54 7.4	41 5.6	120 16.4	5 0.7
	富浦地区	95 100.0	66 69.5	6 6.3	5 5.3	2 2.1	16 16.8	-
	富山地区	103 100.0	68 66.0	10 9.7	5 4.9	5 4.9	15 14.6	-
	三芳地区	90 100.0	55 61.1	5 5.6	10 11.1	9 10.0	11 12.2	-
	白浜地区	76 100.0	47 61.8	5 6.6	3 3.9	6 7.9	13 17.1	2 2.6
	千倉地区	172 100.0	97 56.4	14 8.1	15 8.7	10 5.8	36 20.9	-
	丸山地区	86 100.0	59 68.6	5 5.8	7 8.1	2 2.3	12 14.0	1 1.2
	和田地区	98 100.0	60 61.2	10 10.2	6 6.1	6 6.1	16 16.3	-

問4-1. で「1 ずっと住み続けたい」「2 いずれは戻ってきたい」とお答えいただいた方におたずねします。住み続けたい理由をお答えください。(〇は3 つまで)



「家族が住んでいるから」が 57.5%と最も多く、次いで、「生まれ育った場所だから」が 52.5%、「自然環境が良いから」が 43.1%の順となっています

《属性別》

年齢別にみると、10代と20～29歳で「家族が住んでいるから」、「生まれ育った場所だから」が7割程度となっていますが、50～59歳では「生まれ育った場所だから」が4割程度に留まっています。40～49歳では「子育て・教育の環境が良いから」、70歳以上では「医療・介護の環境が良いから」が他の年代と比べて相対的に高くなっています。

性別にみると、男性では「生まれ育った場所だから」、女性では「家族が住んでいるから」が6割程度となっています。

地区別にみると、富浦地区を除き「家族が住んでいるから」が6割程度となっています。富浦地区と白浜地区では、「生まれ育った場所だから」が最も多く、逆に、三芳地区では「生まれ育った場所だから」4割程度、和田地区では「自然環境が良いから」が3割程度に留まっており、回答傾向に大きな違いがあります。

① 年齢別

		全体	家族が住んでいるから	仕事があるから	地域での活動が大事だから	子育て・教育の環境が良いから	飲食・買い物しやすいから	医療・介護の環境が良いから	自然環境が良いから	交通の便が良いから	治安が良いから	生まれ育った場所だから	無回答
年齢	全体	510 100.0	293 57.5	145 28.4	36 7.1	30 5.9	7 1.4	34 6.7	220 43.1	6 1.2	77 15.1	268 52.5	3 0.6
	10代	29 100.0	20 69.0	-	4 13.8	2 6.9	-	-	16 55.2	-	5 17.2	21 72.4	-
	20～29歳	35 100.0	25 71.4	9 25.7	5 14.3	3 8.6	-	-	16 45.7	-	2 5.7	24 68.6	-
	30～39歳	57 100.0	37 64.9	20 35.1	3 5.3	4 7.0	-	-	25 43.9	1 1.8	12 21.1	30 52.6	1 1.8
	40～49歳	77 100.0	46 59.7	24 31.2	8 10.4	13 16.9	-	2 2.6	36 46.8	1 1.3	12 15.6	37 48.1	-
	50～59歳	62 100.0	38 61.3	26 41.9	5 8.1	2 3.2	3 4.8	-	27 43.5	1 1.6	4 6.5	25 40.3	-
	60～69歳	123 100.0	69 56.1	44 35.8	5 4.1	3 2.4	2 1.6	12 9.8	48 39.0	1 0.8	18 14.6	60 48.8	1 0.8
	70歳以上	125 100.0	56 44.8	21 16.8	6 4.8	3 2.4	2 1.6	19 15.2	52 41.6	2 1.6	24 19.2	69 55.2	1 0.8

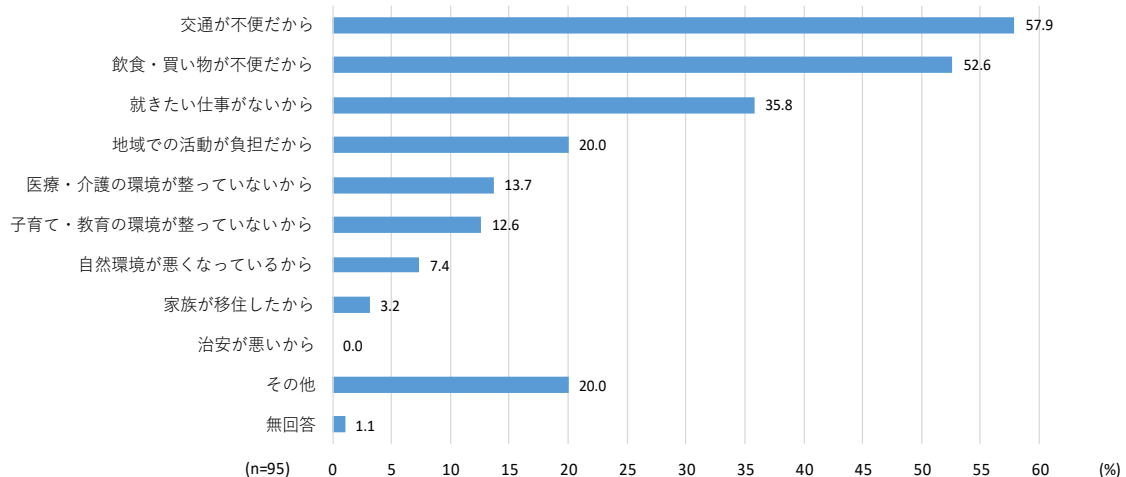
② 性別

		全体	家族が住んでいるから	仕事があるから	地域での活動が大事だから	子育て・教育の環境が良いから	飲食・買い物しやすいから	医療・介護の環境が良いから	自然環境が良いから	交通の便が良いから	治安が良いから	生まれ育った場所だから	無回答
性別	全体	510 100.0	293 57.5	145 28.4	36 7.1	30 5.9	7 1.4	34 6.7	220 43.1	6 1.2	77 15.1	268 52.5	3 0.6
	男性	247 100.0	124 50.2	75 30.4	27 10.9	14 5.7	3 1.2	15 6.1	109 44.1	3 1.2	31 12.6	149 60.3	-
	女性	257 100.0	166 64.6	66 25.7	8 3.1	16 6.2	4 1.6	19 7.4	110 42.8	2 0.8	45 17.5	116 45.1	3 1.2
	回答しない	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-

③ 地区別

		全体	家族が住 んでいる から	仕事があ るから	地域での 活動が大 事だから	子育て・ 教育の環 境が良い から	飲食・買 い物がし やすいか ら	医療・介 護の環境 が良いか ら	自然環境 が良いか ら	交通の便 が良いか ら	治安が良 いから	生まれ 育った場 所だから	無回答
居住地区	全体	510 100.0	293 57.5	145 28.4	36 7.1	30 5.9	7 1.4	34 6.7	220 43.1	6 1.2	77 15.1	268 52.5	3 0.6
	富浦地区	72 100.0	34 47.2	21 29.2	4 5.6	2 2.8	1 1.4	2 2.8	35 48.6	3 4.2	14 19.4	39 54.2	-
	富山地区	78 100.0	46 59.0	18 23.1	10 12.8	5 6.4	-	4 5.1	33 42.3	-	8 10.3	43 55.1	-
	三芳地区	60 100.0	34 56.7	16 26.7	4 6.7	8 13.3	1 1.7	11 18.3	30 50.0	2 3.3	12 20.0	24 40.0	1 1.7
	白浜地区	52 100.0	30 57.7	15 28.8	-	1 1.9	-	3 5.8	22 42.3	-	3 5.8	31 59.6	-
	千倉地区	111 100.0	63 56.8	30 27.0	5 4.5	7 6.3	2 1.8	6 5.4	47 42.3	-	22 19.8	60 54.1	1 0.9
	丸山地区	64 100.0	41 64.1	22 34.4	7 10.9	1 1.6	2 3.1	4 6.3	27 42.2	-	9 14.1	34 53.1	-
	和田地区	70 100.0	43 61.4	21 30.0	6 8.6	6 8.6	1 1.4	4 5.7	24 34.3	1 1.4	9 12.9	36 51.4	1 1.4

問4－2.「3 市外へ転居するかもしれない」「4 市外に転居したい」とお答えいただいた方におたずねします。転居したいと思う理由をお答えください。(〇は3つまで)



「交通が不便だから」が57.9%と最も多く、次いで、「飲食・買い物が不便だから」が52.6%、「就きたい仕事がないから」が3割程度、「地域での活動が負担だから」が2割程度の順となっています。

《属性別》

年齢別にみると、30代以下で「就きたい仕事がないから」が半数程度となっており、10代では7割程度を占めています。「交通が不便だから」、「飲食・買い物が不便だから」が相対的に多くなっています。

性別にみると、回答傾向に大きな違いはありませんが、女性では「飲食・買い物が不便だから」が6割程度となっています。

地区別にみると、回答母数が少ないため統計的に有意な差はありません。

① 年齢別

		全体	家族が移住したから	就きたい仕事がないから	地域での活動が負担だから	子育て・教育の環境が整っていないから	飲食・買い物が不便だから	医療・介護の環境が整っていないから	自然環境が悪くなっているから	交通が不便だから	治安が悪いから	その他	無回答
年齢	全体	95 100.0	3 3.2	34 35.8	19 20.0	12 12.6	50 52.6	13 13.7	7 7.4	55 57.9	-	19 20.0	1 1.1
	10代	19 100.0	-	14 73.7	1 5.3	3 15.8	8 42.1	-	-	7 36.8	-	4 21.1	-
	20～29歳	22 100.0	-	10 45.5	4 18.2	3 13.6	11 50.0	1 4.5	-	9 40.9	-	5 22.7	1 4.5
	30～39歳	13 100.0	-	7 53.8	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	8 61.5	-	3 23.1	-
	40～49歳	13 100.0	-	3 23.1	3 23.1	1 7.7	11 84.6	1 7.7	1 7.7	11 84.6	-	4 30.8	-
	50～59歳	11 100.0	1 9.1	-	2 18.2	2 18.2	7 63.6	3 27.3	2 18.2	6 54.5	-	2 18.2	-
	60～69歳	5 100.0	1 20.0	-	2 40.0	-	2 40.0	3 60.0	-	5 100.0	-	1 20.0	-
	70歳以上	12 100.0	1 8.3	-	4 33.3	-	8 66.7	3 25.0	3 25.0	9 75.0	-	-	-

② 性別

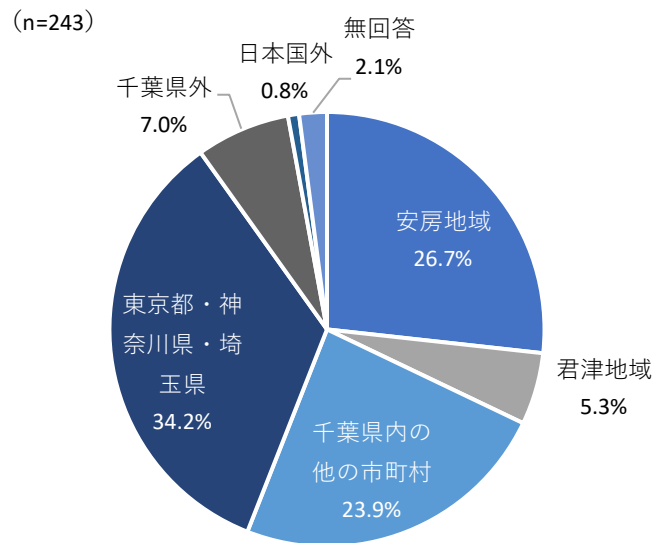
		全体	家族が移住したから	就きたい仕事がないから	地域での活動が負担だから	子育て・教育の環境が整っていないから	飲食・買い物が不便だから	医療・介護の環境が整っていないから	自然環境が悪くなっているから	交通が不便だから	治安が悪いから	その他	無回答
性別	全体	95 100.0	3 3.2	34 35.8	19 20.0	12 12.6	50 52.6	13 13.7	7 7.4	55 57.9	-	19 20.0	1 1.1
	男性	39 100.0	1 2.6	16 41.0	9 23.1	4 10.3	19 48.7	4 10.3	3 7.7	21 53.8	-	8 20.5	1 2.6
	女性	50 100.0	2 4.0	15 30.0	9 18.0	7 14.0	30 60.0	7 14.0	4 8.0	28 56.0	-	10 20.0	-
	回答しない	6 100.0	-	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	6 100.0	-	1 16.7	-

③ 地区別

		全体	家族が移住したから	就きたい仕事がないから	地域での活動が負担だから	子育て・教育の環境が整っていないから	飲食・買い物が不便だから	医療・介護の環境が整っていないから	自然環境が悪くなっているから	交通が不便だから	治安が悪いから	その他	無回答
居住地区	全体	95 100.0	3 3.2	34 35.8	19 20.0	12 12.6	50 52.6	13 13.7	7 7.4	55 57.9	-	19 20.0	1 1.1
	富浦地区	7 100.0	2 28.6	2 28.6	-	-	3 42.9	1 14.3	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3	-
	富山地区	10 100.0	-	2 20.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	-	7 70.0	-	2 20.0	-
	三芳地区	19 100.0	-	10 52.6	8 42.1	2 10.5	10 52.6	1 5.3	1 5.3	11 57.9	-	4 21.1	-
	白浜地区	9 100.0	-	3 33.3	-	-	7 77.8	4 44.4	1 11.1	6 66.7	-	1 11.1	-
	千倉地区	25 100.0	1 4.0	10 40.0	4 16.0	6 24.0	17 68.0	2 8.0	1 4.0	16 64.0	-	4 16.0	-
	丸山地区	9 100.0	-	2 22.2	1 11.1	1 11.1	5 55.6	1 11.1	1 11.1	5 55.6	-	2 22.2	-
	和田地区	12 100.0	-	2 16.7	-	2 16.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	4 33.3	-	5 41.7	1 8.3

南房総市に転入してきた方におたずねします。

問5. 南房総市に住む前の居住地について



「東京都・神奈川県・埼玉県」が34.2%と最も多く、次いで、「安房地域」、「千葉県内の他の市町村」の順となっています

《属性別》

年齢別にみると、40代以下で「安房地域」が、50代以上で「東京都・神奈川県・埼玉県」が最も多くなっています。

性別にみると、男性では「東京都・神奈川県・埼玉県」が4割程度、女性では「安房地域」が3割程度と最も多くなっています。

地区別にみると、富浦地区では「東京都・神奈川県・埼玉県」と「千葉県内の他の市町村」がそれぞれ4割程度、富山地区・三芳地区では「安房地域」が4割程度、白浜地区・千倉地区では「東京都・神奈川県・埼玉県」が5割程度と回答の傾向に違いがあります。

① 年齢別

		全体	安房地域	君津地域	千葉県内の他の市町村	東京都・神奈川県・埼玉県	千葉県外	日本国外	無回答
年齢	全体	243 100.0	65 26.7	13 5.3	58 23.9	83 34.2	17 7.0	2 0.8	5 2.1
	10代	10 100.0	3 30.0	-	3 30.0	3 30.0	1 10.0	-	-
	20～29歳	16 100.0	8 50.0	1 6.3	2 12.5	3 18.8	1 6.3	-	1 6.3
	30～39歳	34 100.0	12 35.3	5 14.7	9 26.5	6 17.6	2 5.9	-	-
	40～49歳	47 100.0	18 38.3	3 6.4	9 19.1	13 27.7	4 8.5	-	-
	50～59歳	35 100.0	7 20.0	1 2.9	6 17.1	18 51.4	2 5.7	1 2.9	-
	60～69歳	52 100.0	9 17.3	-	16 30.8	19 36.5	6 11.5	1 1.9	1 1.9
	70歳以上	49 100.0	8 16.3	3 6.1	13 26.5	21 42.9	1 2.0	-	3 6.1

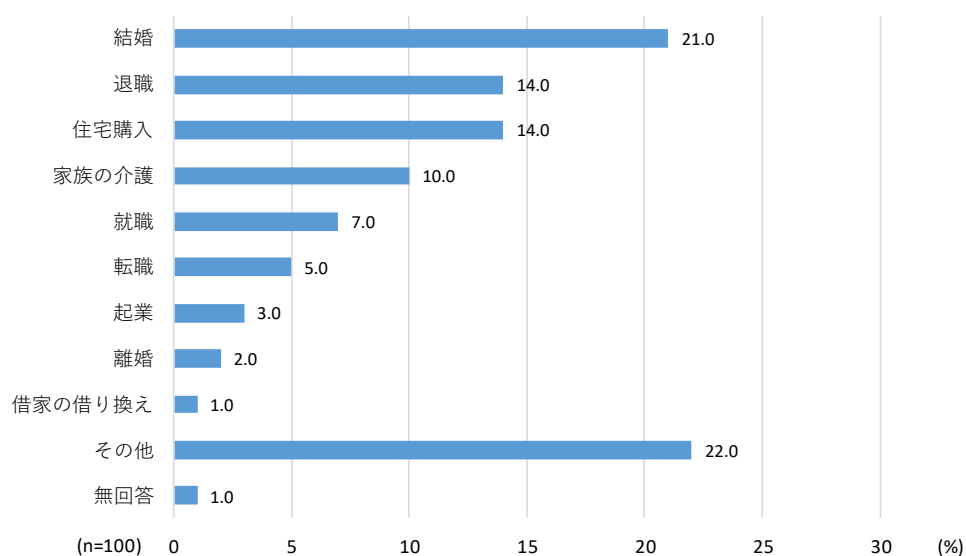
② 性別

		全体	安房地域	君津地域	千葉県内の他の市町村	東京都・神奈川県・埼玉県	千葉県外	日本国外	無回答
性別	全体	243 100.0	65 26.7	13 5.3	58 23.9	83 34.2	17 7.0	2 0.8	5 2.1
	男性	98 100.0	20 20.4	7 7.1	23 23.5	41 41.8	6 6.1	-	1 1.0
	女性	140 100.0	42 30.0	6 4.3	35 25.0	41 29.3	10 7.1	2 1.4	4 2.9
	回答しない	3 100.0	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	-

③ 地区別

		全体	安房地域	君津地域	千葉県内の他の市町村	東京都・神奈川県・埼玉県	千葉県外	日本国外	無回答
居住地区	全体	243 100.0	65 26.7	13 5.3	58 23.9	83 34.2	17 7.0	2 0.8	5 2.1
	富浦地区	34 100.0	6 17.6	1 2.9	12 35.3	13 38.2	1 2.9	-	1 2.9
	富山地区	36 100.0	13 36.1	3 8.3	10 27.8	7 19.4	2 5.6	1 2.8	-
	三芳地区	32 100.0	12 37.5	2 6.3	8 25.0	8 25.0	2 6.3	-	-
	白浜地区	25 100.0	4 16.0	-	8 32.0	12 48.0	-	-	1 4.0
	千倉地区	52 100.0	10 19.2	4 7.7	8 15.4	25 48.1	3 5.8	1 1.9	1 1.9
	丸山地区	29 100.0	10 34.5	2 6.9	4 13.8	9 31.0	4 13.8	-	-
	和田地区	33 100.0	10 30.3	1 3.0	7 21.2	9 27.3	4 12.1	-	2 6.1

問6－1. 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県外から転入された方にお聞きします。
南房総市に転入した最大の理由は何ですか。



「その他」を除き、「結婚」が 21.0%と最も多く、次いで、「退職」、「住宅購入」がそれぞれ 14.0%となっています

《属性別》

年齢別、性別、地区別にみると、回答母数が小さいため統計的に有意な差はありません。

第2章 市民アンケート

① 年齢別

		全体	就職	転職	起業	退職	住宅購入	借家の借 り換え	結婚	離婚	家族の介 護	その他	無回答
年 齢	全体	100 100.0	7 7.0	5 5.0	3 3.0	14 14.0	14 14.0	1 1.0	21 21.0	2 2.0	10 10.0	22 22.0	1 1.0
	10代	4 100.0	1 25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0
	20～29歳	4 100.0	-	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	-	-	2 50.0	-
	30～39歳	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	-	-	2 25.0	-	1 12.5	-	-
	40～49歳	17 100.0	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-	2 11.8	1 5.9	2 11.8	1 5.9	3 17.6	4 23.5	-
	50～59歳	20 100.0	-	-	1 5.0	2 10.0	3 15.0	-	4 20.0	1 5.0	2 10.0	7 35.0	-
	60～69歳	25 100.0	3 12.0	-	-	3 12.0	2 8.0	-	9 36.0	-	2 8.0	6 24.0	-
	70歳以上	22 100.0	-	-	-	9 40.9	6 27.3	-	3 13.6	-	1 4.5	3 13.6	-

② 性別

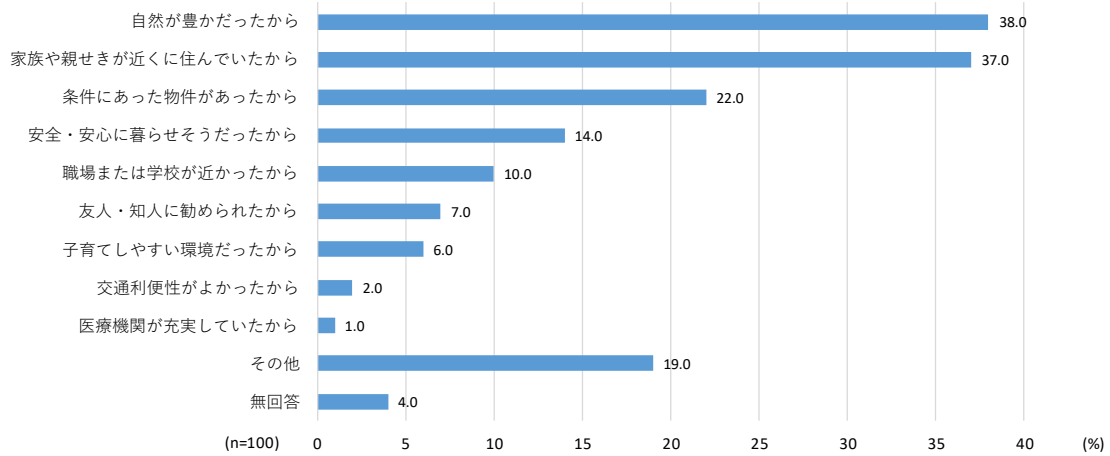
		全体	就職	転職	起業	退職	住宅購入	借家の借 り換え	結婚	離婚	家族の介 護	その他	無回答
性 別	全体	100 100.0	7 7.0	5 5.0	3 3.0	14 14.0	14 14.0	1 1.0	21 21.0	2 2.0	10 10.0	22 22.0	1 1.0
	男性	47 100.0	5 10.6	4 8.5	2 4.3	9 19.1	6 12.8	2.1	4 4.3	-	8.5	13 27.7	2.1
	女性	51 100.0	2 3.9	1 2.0	1 2.0	5 9.8	8 15.7	-	18 35.3	2 3.9	6 11.8	8 15.7	-
	回答しない	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-

③ 地区別

		全体	就職	転職	起業	退職	住宅購入	借家の借 り換え	結婚	離婚	家族の介 護	その他	無回答
居 住 地 区	全体	100 100.0	7 7.0	5 5.0	3 3.0	14 14.0	14 14.0	1 1.0	21 21.0	2 2.0	10 10.0	22 22.0	1 1.0
	富浦地区	14 100.0	1 7.1	2 14.3	-	4 28.6	-	1 7.1	3 21.4	1 7.1	-	2 14.3	-
	富山地区	9 100.0	1 11.1	-	-	1 11.1	1 11.1	-	2 22.2	1 11.1	-	3 33.3	-
	三芳地区	10 100.0	-	-	1 10.0	-	2 20.0	-	3 30.0	-	2 20.0	2 20.0	-
	白浜地区	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	2 16.7	-	3 25.0	-	4 33.3	-	-
	千倉地区	28 100.0	2 7.1	1 3.6	1 3.6	5 17.9	2 7.1	-	5 17.9	-	2 7.1	10 35.7	-
	丸山地区	13 100.0	1 7.7	1 7.7	-	2 15.4	3 23.1	-	1 7.7	-	-	4 30.8	1 7.7
	和田地区	13 100.0	1 7.7	-	1 7.7	1 7.7	4 30.8	-	3 23.1	-	2 15.4	1 7.7	-

問6-2. 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県外から転入された方にお聞きます。

転入する際に南房総市を選んだ理由は何ですか。(〇は3つまで)



「自然が豊かだったから」が 38.0%と多く、次いで、「家族や親せきが近くに住んでいたから」が 37.0%の順となっています。

《属性別》

年齢別、性別、地区別にみると、回答母数が小さいため統計的に有意な差はありません。

① 年齢別

		全体	条件に あった物 件があっ たから	職場また は学校が 近かった から	子育てし やすい環 境だった から	自然が豊 かだった から	交通利便 性がよ かったか ら	医療機関 が充実し ていたか ら	安全・安 心に暮ら せそう だったか ら	家族や親 せきが近 くに住ん でいたか ら	友人・知 人に勧め られたか ら	その他	無回答
年齢	全体	100 100.0	22 22.0	10 10.0	6 6.0	38 38.0	2 2.0	1 1.0	14 14.0	37 37.0	7 7.0	19 19.0	4 4.0
	10代	4 100.0	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-	1 25.0	2 50.0	-	-	-
	20～29歳	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	2 50.0	-	-	-
	30～39歳	8 100.0	2 25.0	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	3 37.5	-	2 25.0	1 12.5
	40～49歳	17 100.0	4 23.5	3 17.6	2 11.8	3 17.6	-	-	1 5.9	7 41.2	2 11.8	3 17.6	1 5.9
	50～59歳	20 100.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	8 40.0	-	-	2 10.0	7 35.0	-	6 30.0	-
	60～69歳	25 100.0	5 20.0	4 16.0	-	10 40.0	1 4.0	-	5 20.0	12 48.0	3 12.0	5 20.0	-
	70歳以上	22 100.0	8 36.4	1 4.5	1 4.5	13 59.1	-	1 4.5	3 13.6	4 18.2	2 9.1	3 13.6	2 9.1

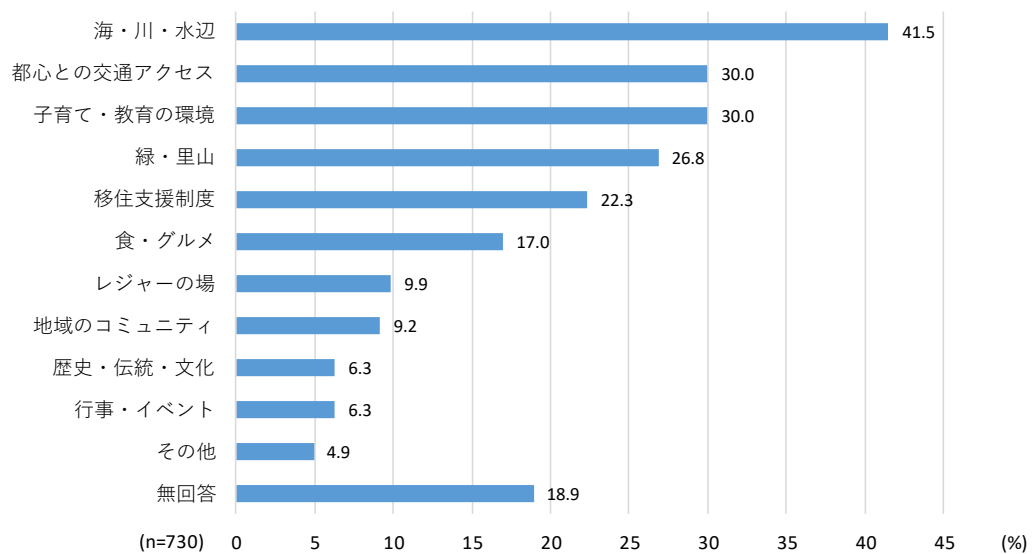
② 性別

		全体	条件に あった物 件があっ たから	職場また は学校が 近かった から	子育てし やすい環 境だった から	自然が豊 かだった から	交通利便 性がよ かったか ら	医療機関 が充実し ていたか ら	安全・安 心に暮ら せそう だったか ら	家族や親 せきが近 くに住ん でいたか ら	友人・知 人に勧め られたか ら	その他	無回答
性別	全体	100	22	10	6	38	2	1	14	37	7	19	4
		100.0	22.0	10.0	6.0	38.0	2.0	1.0	14.0	37.0	7.0	19.0	4.0
	男性	47	13	4	4	23	2	1	7	18	4	8	1
		100.0	27.7	8.5	8.5	48.9	4.3	2.1	14.9	38.3	8.5	17.0	2.1
	女性	51	9	6	2	14	-	-	7	19	3	9	3
		100.0	17.6	11.8	3.9	27.5	-	-	13.7	37.3	5.9	17.6	5.9
	回答しない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

③ 地区別

		全体	条件に あった物 件があっ たから	職場また は学校が 近かった から	子育てし やすい環 境だった から	自然が豊 かだった から	交通利便 性がよ かったか ら	医療機関 が充実し ていたか ら	安全・安 心に暮ら せそう だったか ら	家族や親 せきが近 くに住ん でいたか ら	友人・知 人に勧め られたか ら	その他	無回答
居住地区	全体	100	22	10	6	38	2	1	14	37	7	19	4
		100.0	22.0	10.0	6.0	38.0	2.0	1.0	14.0	37.0	7.0	19.0	4.0
	富浦地区	14	3	1	2	4	1	1	1	7	1	3	-
		100.0	21.4	7.1	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	50.0	7.1	21.4	-
	富山地区	9	2	2	-	4	-	-	2	1	-	3	-
		100.0	22.2	22.2	-	44.4	-	-	22.2	11.1	-	33.3	-
	三芳地区	10	3	1	-	4	-	-	-	2	-	3	2
		100.0	30.0	10.0	-	40.0	-	-	-	20.0	-	30.0	20.0
	白浜地区	12	-	-	-	3	-	-	2	10	2	1	-
		100.0	-	-	-	25.0	-	-	16.7	83.3	16.7	8.3	-
	千倉地区	28	10	3	3	14	-	-	5	7	3	6	-
		100.0	35.7	10.7	10.7	50.0	-	-	17.9	25.0	10.7	21.4	-
	丸山地区	13	1	3	1	5	-	-	3	4	1	-	2
		100.0	7.7	23.1	7.7	38.5	-	-	23.1	30.8	7.7	-	15.4
	和田地区	13	3	-	-	4	1	-	1	6	-	2	-
		100.0	23.1	-	-	30.8	7.7	-	7.7	46.2	-	15.4	-

問7. 移住先として選ばれるために何をPRすべきでしょうか。(〇は3つまで)



「海・川・水辺」が41.5%と最も多く、次いで、「都心との交通アクセス」、「子育て・教育の環境」がそれぞれ3割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、30代以下で「海・川・水辺」が、50～59歳で「都心との交通アクセス」がそれぞれ5割程度となっています。

性別にみると、男女ともに「海・川・水辺」が4割程度と最も多く、次いで、男性では「緑・里山」が、女性では「子育て・教育の環境」がそれぞれ3割程度となっています。

地区別にみると、丸山地区では「子育て・教育の環境」が、富山地区では「都心との交通アクセス」が4割程度、白浜地区・千倉地区では「海・川・水辺」が5割程度と回答の傾向に違いがあります。

① 年齢別

		全体	緑・里山	海・川・水辺	都心との交通アクセス	レジャーの場	地域のコミュニティ	歴史・伝統・文化	行事・イベント	食・グルメ
年齢	全体	730 100.0	196 26.8	303 41.5	219 30.0	72 9.9	67 9.2	46 6.3	46 6.3	124 17.0
	10代	59 100.0	14 23.7	29 49.2	21 35.6	6 10.2	5 8.5	9 15.3	7 11.9	13 22.0
	20～29歳	71 100.0	16 22.5	36 50.7	16 22.5	12 16.9	5 7.0	5 7.0	12 16.9	19 26.8
	30～39歳	92 100.0	27 29.3	48 52.2	23 25.0	18 19.6	6 6.5	6 6.5	8 8.7	23 25.0
	40～49歳	114 100.0	32 28.1	51 44.7	41 36.0	14 12.3	7 6.1	6 5.3	7 6.1	27 23.7
	50～59歳	91 100.0	25 27.5	40 44.0	45 49.5	11 12.1	10 11.0	3 3.3	4 4.4	14 15.4
	60～69歳	142 100.0	43 30.3	54 38.0	38 26.8	4 2.8	19 13.4	12 8.5	5 3.5	15 10.6
	70歳以上	157 100.0	38 24.2	44 28.0	35 22.3	7 4.5	15 9.6	4 2.5	3 1.9	12 7.6

		子育て・教育の環境	移住支援制度	その他	無回答
年齢	全体	219 30.0	163 22.3	36 4.9	138 18.9
	10代	21 35.6	10 16.9	2 3.4	6 10.2
	20～29歳	21 29.6	16 22.5	3 4.2	7 9.9
	30～39歳	40 43.5	25 27.2	4 4.3	3 3.3
	40～49歳	44 38.6	23 20.2	10 8.8	15 13.2
	50～59歳	26 28.6	24 26.4	3 3.3	8 8.8
	60～69歳	42 29.6	42 29.6	11 7.7	29 20.4
	70歳以上	25 15.9	22 14.0	3 1.9	68 43.3

② 性別

		全体	緑・里山	海・川・水辺	都心との交通アクセス	レジャーの場	地域のコミュニティ	歴史・伝統・文化	行事・イベント	食・グルメ
性別	全体	730 100.0	196 26.8	303 41.5	219 30.0	72 9.9	67 9.2	46 6.3	46 6.3	124 17.0
	男性	328 100.0	96 29.3	142 43.3	95 29.0	38 11.6	32 9.8	23 7.0	29 8.8	53 16.2
	女性	385 100.0	94 24.4	153 39.7	118 30.6	34 8.8	34 8.8	22 5.7	17 4.4	70 18.2
	回答しない	12 100.0	3 25.0	5 41.7	3 25.0	-	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3

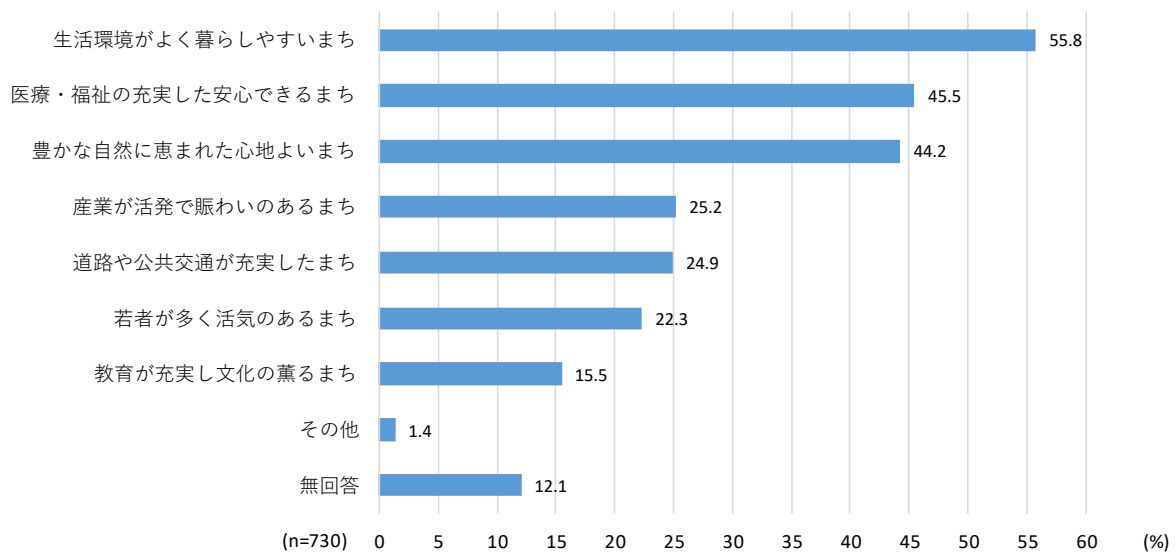
		子育て・ 教育の環 境	移住支援 制度	その他	無回答
性別	全体	219	163	36	138
		30.0	22.3	4.9	18.9
	男性	83	67	19	57
		25.3	20.4	5.8	17.4
	女性	133	95	16	76
		34.5	24.7	4.2	19.7
	回答しない	3	1	1	3
		25.0	8.3	8.3	25.0

③ 地区別

		全体	緑・里山	海・川・ 水辺	都心との 交通アク セス	レジャー の場	地域のコ ミュニ ティ	歴史・伝 統・文化	行事・イ ベント	食・グル メ
居住地区	全体	730	196	303	219	72	67	46	46	124
		100.0	26.8	41.5	30.0	9.9	9.2	6.3	6.3	17.0
	富浦地区	95	26	36	27	11	10	11	3	15
		100.0	27.4	37.9	28.4	11.6	10.5	11.6	3.2	15.8
	富山地区	103	31	36	39	7	7	5	6	11
		100.0	30.1	35.0	37.9	6.8	6.8	4.9	5.8	10.7
	三芳地区	90	33	31	31	11	9	8	5	16
		100.0	36.7	34.4	34.4	12.2	10.0	8.9	5.6	17.8
	白浜地区	76	16	39	21	10	4	-	2	19
		100.0	21.1	51.3	27.6	13.2	5.3	-	2.6	25.0
	千倉地区	172	44	89	46	18	22	12	15	35
		100.0	25.6	51.7	26.7	10.5	12.8	7.0	8.7	20.3
	丸山地区	86	24	32	22	8	6	5	11	13
		100.0	27.9	37.2	25.6	9.3	7.0	5.8	12.8	15.1
	和田地区	98	20	38	32	6	9	5	4	15
		100.0	20.4	38.8	32.7	6.1	9.2	5.1	4.1	15.3

		子育て・ 教育の環 境	移住支援 制度	その他	無回答
居住地区	全体	219	163	36	138
		30.0	22.3	4.9	18.9
	富浦地区	26	22	5	18
		27.4	23.2	5.3	18.9
	富山地区	31	22	8	21
		30.1	21.4	7.8	20.4
	三芳地区	28	20	8	13
		31.1	22.2	8.9	14.4
	白浜地区	19	13	4	14
		25.0	17.1	5.3	18.4
	千倉地区	42	34	1	33
		24.4	19.8	0.6	19.2
	丸山地区	35	27	5	14
		40.7	31.4	5.8	16.3
	和田地区	36	23	4	19
		36.7	23.5	4.1	19.4

問8. 今後、どのようなまちであってほしいと思いますか。(〇は3つまで)



「生活環境がよく暮らしやすいまち」が55.8%と最も多く、次いで、「医療・福祉の充実した安心できるまち」、「豊かな自然に恵まれた心地よいまち」が45%程度の順となっています。

《属性別》

年齢別にみると、20～29歳と70歳以上を除き「生活環境がよく暮らしやすいまち」が最も多くなっています。一方、20～29歳では「豊かな自然に恵まれた心地よいまち」が6割程度、70歳以上では「医療・福祉の充実した安心できるまち」が4割程度となっています。

性別にみると、男女ともに「生活環境がよく暮らしやすいまち」が5割以上と最も多く、次いで、女性では「医療・福祉の充実した安心できるまち」が5割程度を占めています。

地区別にみると、回答の傾向に大きな違いはありません。

第2章 市民アンケート

① 年齢別

		全体	産業が活 発で賑わ いのある まち	豊かな自 然に恵ま れた心地 よいまち	生活環境 がよく暮 らしやすい まち	医療・福 祉の充実 した安心 できるま ち	教育が充 実し文化 の薫るま ち	道路や公 共交通が 充実した まち	若者が多 く活気あ るまち	その他	無回答
年 齢	全体	730 100.0	184 25.2	323 44.2	407 55.8	332 45.5	113 15.5	182 24.9	163 22.3	10 1.4	88 12.1
	10代	59 100.0	10 16.9	30 50.8	37 62.7	17 28.8	15 25.4	17 28.8	12 20.3	1 1.7	5 8.5
	20～29歳	71 100.0	17 23.9	42 59.2	34 47.9	29 40.8	18 25.4	20 28.2	15 21.1	1 1.4	6 8.5
	30～39歳	92 100.0	24 26.1	42 45.7	54 58.7	40 43.5	25 27.2	24 26.1	31 33.7	-	3 3.3
	40～49歳	114 100.0	32 28.1	46 40.4	69 60.5	55 48.2	22 19.3	29 25.4	23 20.2	2 1.8	14 12.3
	50～59歳	91 100.0	28 30.8	44 48.4	61 67.0	47 51.6	8 8.8	27 29.7	19 20.9	1 1.1	5 5.5
	60～69歳	142 100.0	39 27.5	57 40.1	89 62.7	73 51.4	19 13.4	33 23.2	25 17.6	5 3.5	17 12.0
	70歳以上	157 100.0	33 21.0	61 38.9	62 39.5	69 43.9	6 3.8	31 19.7	38 24.2	-	36 22.9

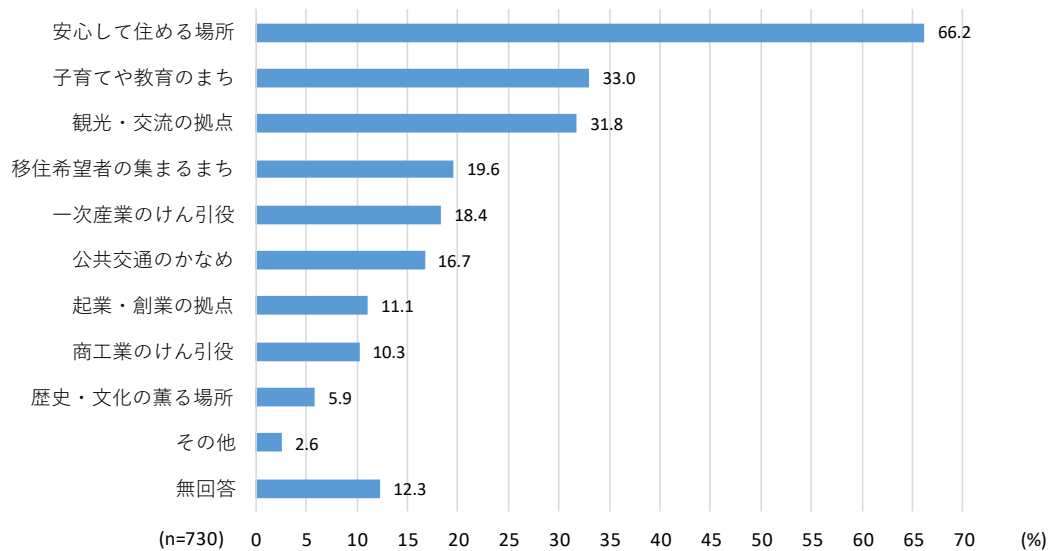
② 性別

		全体	産業が活 発で賑わ いのある まち	豊かな自 然に恵ま れた心地 よいまち	生活環境 がよく暮 らしやすい まち	医療・福 祉の充実 した安心 できるま ち	教育が充 実し文化 の薫るま ち	道路や公 共交通が 充実した まち	若者が多 く活気あ るまち	その他	無回答
性 別	全体	730 100.0	184 25.2	323 44.2	407 55.8	332 45.5	113 15.5	182 24.9	163 22.3	10 1.4	88 12.1
	男性	328 100.0	87 26.5	154 47.0	185 56.4	124 37.8	45 13.7	74 22.6	76 23.2	6 1.8	41 12.5
	女性	385 100.0	94 24.4	162 42.1	212 55.1	198 51.4	66 17.1	102 26.5	86 22.3	3 0.8	45 11.7
	回答しない	12 100.0	1 8.3	4 33.3	8 66.7	7 58.3	2 16.7	5 41.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3

③ 地区別

		全体	産業が活 発で賑わ いのある まち	豊かな自 然に恵ま れた心地 よいまち	生活環境 がよく暮 らしやすい まち	医療・福 祉の充実 した安心 できるま ち	教育が充 実し文化 の薫るま ち	道路や公 共交通が 充実した まち	若者が多 く活気あ るまち	その他	無回答
居 住 地 区	全体	730 100.0	184 25.2	323 44.2	407 55.8	332 45.5	113 15.5	182 24.9	163 22.3	10 1.4	88 12.1
	富浦地区	95 100.0	25 26.3	47 49.5	54 56.8	51 53.7	9 9.5	17 17.9	21 22.1	-	8 8.4
	富山地区	103 100.0	21 20.4	50 48.5	55 53.4	46 44.7	17 16.5	26 25.2	17 16.5	2 1.9	13 12.6
	三芳地区	90 100.0	22 24.4	43 47.8	53 58.9	50 55.6	23 25.6	20 22.2	19 21.1	-	6 6.7
	白浜地区	76 100.0	25 32.9	33 43.4	43 56.6	30 39.5	7 9.2	25 32.9	16 21.1	-	7 9.2
	千倉地区	172 100.0	47 27.3	73 42.4	91 52.9	66 38.4	27 15.7	48 27.9	41 23.8	2 1.2	26 15.1
	丸山地区	86 100.0	20 23.3	33 38.4	59 68.6	41 47.7	11 12.8	21 24.4	22 25.6	4 4.7	9 10.5
	和田地区	98 100.0	22 22.4	41 41.8	48 49.0	44 44.9	17 17.3	22 22.4	27 27.6	2 2.0	15 15.3

問9. 市が安房地域で果たすべき役割についてどう思いますか。(〇は3つまで)



「安心して住める場所」が66.2%と最も多く、次いで、「子育てや教育のまち」、「観光・交流の拠点」がそれぞれ3割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、全ての年齢で「安心して住める場所」が最も多くなっています。40代以下では「子育てや教育のまち」が4割以上、60～69歳では「一次産業のけん引役」が3割程度と他の年代と比べて相対的に多くなっています。

性別にみると、男女で回答の傾向に大きな差はありません。

地区別にみると、全ての地区で「安心して住める場所」が最も多くなっています。三芳地区・丸山地区では「子育てや教育のまち」が4割程度、千倉地区では「観光・交流の拠点」が4割程度と地区ごとに回答の傾向が異なります。

① 年齢別

	全体	安心して住める場所	一次産業のけん引役	商工業のけん引役	観光・交流の拠点	起業・創業の拠点	公共交通のかなめ	子育てや教育のまち	歴史・文化の薫る場所	移住希望者の集まるまち	その他	無回答
全体	730	483	134	75	232	81	122	241	43	143	19	90
	100.0	66.2	18.4	10.3	31.8	11.1	16.7	33.0	5.9	19.6	2.6	12.3
10代	59	41	4	6	22	6	10	25	5	4	2	5
	100.0	69.5	6.8	10.2	37.3	10.2	16.9	42.4	8.5	6.8	3.4	8.5
20～29歳	71	47	15	3	26	8	10	33	9	10	3	6
	100.0	66.2	21.1	4.2	36.6	11.3	14.1	46.5	12.7	14.1	4.2	8.5
30～39歳	92	68	11	9	40	10	10	49	4	19	2	3
	100.0	73.9	12.0	9.8	43.5	10.9	10.9	53.3	4.3	20.7	2.2	3.3
40～49歳	114	71	14	13	42	13	23	53	3	24	2	14
	100.0	62.3	12.3	11.4	36.8	11.4	20.2	46.5	2.6	21.1	1.8	12.3
50～59歳	91	67	15	12	37	14	20	20	5	19	5	5
	100.0	73.6	16.5	13.2	40.7	15.4	22.0	22.0	5.5	20.9	5.5	5.5
60～69歳	142	95	43	20	35	18	21	37	9	24	5	18
	100.0	66.9	30.3	14.1	24.6	12.7	14.8	26.1	6.3	16.9	3.5	12.7
70歳以上	157	93	32	12	29	12	28	24	8	41	-	37
	100.0	59.2	20.4	7.6	18.5	7.6	17.8	15.3	5.1	26.1	-	23.6

第2章 市民アンケート

② 性別

		全体	安心して住める場所	一次産業のけん引役	商工業のけん引役	観光・交流の拠点	起業・創業の拠点	公共交通のかなめ	子育てや教育のまち	歴史・文化の薫る場所	移住希望者の集まるまち	その他	無回答
性別	全体	730 100.0	483 66.2	134 18.4	75 10.3	232 31.8	81 11.1	122 16.7	241 33.0	43 5.9	143 19.6	19 2.6	90 12.3
	男性	328 100.0	209 63.7	61 18.6	37 11.3	109 33.2	40 12.2	49 14.9	103 31.4	18 5.5	71 21.6	12 3.7	41 12.5
	女性	385 100.0	263 68.3	70 18.2	37 9.6	120 31.2	40 10.4	70 18.2	135 35.1	23 6.0	70 18.2	5 1.3	47 12.2
	回答しない	12 100.0	8 66.7	2 16.7	-	2 16.7	-	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3

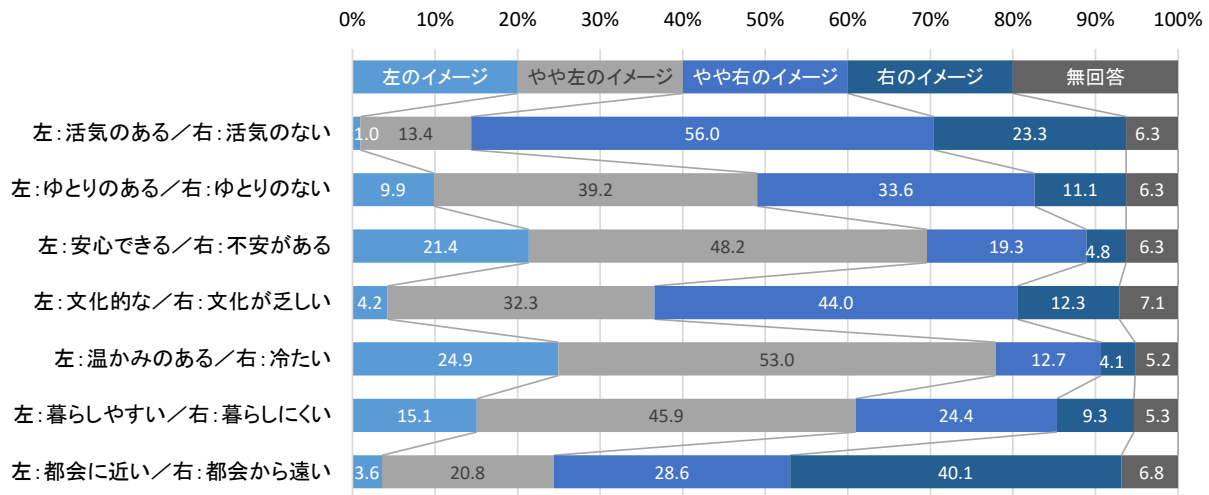
③ 地区別

		全体	安心して住める場所	一次産業のけん引役	商工業のけん引役	観光・交流の拠点	起業・創業の拠点	公共交通のかなめ	子育てや教育のまち	歴史・文化の薫る場所	移住希望者の集まるまち	その他	無回答
居住地区	全体	730 100.0	483 66.2	134 18.4	75 10.3	232 31.8	81 11.1	122 16.7	241 33.0	43 5.9	143 19.6	19 2.6	90 12.3
	富浦地区	95 100.0	66 69.5	20 21.1	10 10.5	34 35.8	14 14.7	13 13.7	25 26.3	6 6.3	18 18.9	2 2.1	10 10.5
	富山地区	103 100.0	64 62.1	15 14.6	19 18.4	35 34.0	7 6.8	14 13.6	34 33.0	8 7.8	16 15.5	4 3.9	14 13.6
	三芳地区	90 100.0	62 68.9	23 25.6	12 13.3	26 28.9	8 8.9	15 16.7	41 45.6	4 4.4	22 24.4	4 4.4	7 7.8
	白浜地区	76 100.0	54 71.1	14 18.4	3 3.9	25 32.9	8 10.5	17 22.4	21 27.6	1 1.3	15 19.7	-	7 9.2
	千倉地区	172 100.0	112 65.1	29 16.9	8 4.7	66 38.4	18 10.5	31 18.0	53 30.8	10 5.8	32 18.6	3 1.7	25 14.5
	丸山地区	86 100.0	61 70.9	17 19.8	11 12.8	27 31.4	10 11.6	14 16.3	34 39.5	5 5.8	19 22.1	2 2.3	9 10.5
	和田地区	98 100.0	59 60.2	13 13.3	11 11.2	19 19.4	15 15.3	16 16.3	33 33.7	9 9.2	19 19.4	3 3.1	14 14.3

(3) 南房総市のイメージについて

問1. あなたにとって、現在の南房総市はどのようなイメージですか。

次のア～キについて、左右のどちらか近い方の番号1つに○印をつけてください。



肯定的なイメージ（左側）が多い項目では、「安心できる」、「温かみのある」がそれぞれ7割程度となっています。一方、否定的なイメージ（右側）が多い項目では、「活気のない」「都会から遠い」が7割程度、「文化が乏しい」が5割となっています。「ゆとりのある/ゆとりのない」については同程度になっています。

《属性別》

年齢別にみると、50代以下で「ゆとりのある」（左側のイメージ）、60代以上で「ゆとりのない」（右側のイメージ）が半数以上と年代によって異なります。10代では「安心できる」、「温かみのある」、「暮らしやすい」で肯定的なイメージ（左側）が他の年代と比べて相対的に多くなっており、50～59歳では「都会に近い」の肯定的なイメージ（左側）が4割程度となっています。

性別にみると、男女で回答の傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、「安心できる」、「暮らしやすい」について、白浜地区で否定的なイメージ（右側）が相対的に多くなっています。また、富浦地区・富山地区・三芳地区では「都会に近い」で肯定的なイメージ（左側）が多くなっており、他の地区と回答傾向が異なります。

① 年齢別

ア 左：活気のある／右：活気のない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
年齢	全体	730 100.0	7 1.0	98 13.4	409 56.0	170 23.3	46 6.3
	10代	59 100.0	1 1.7	15 25.4	34 57.6	9 15.3	- -
	20～29歳	71 100.0	- -	13 18.3	38 53.5	14 19.7	6 8.5
	30～39歳	92 100.0	3 3.3	11 12.0	56 60.9	20 21.7	2 2.2
	40～49歳	114 100.0	2 1.8	18 15.8	76 66.7	14 12.3	4 3.5
	50～59歳	91 100.0	1 1.1	4 4.4	53 58.2	29 31.9	4 4.4
	60～69歳	142 100.0	- -	17 12.0	87 61.3	34 23.9	4 2.8
	70歳以上	157 100.0	- -	18 11.5	65 41.4	50 31.8	24 15.3

イ 左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
年齢	全体	730 100.0	72 9.9	286 39.2	245 33.6	81 11.1	46 6.3
	10代	59 100.0	15 25.4	30 50.8	10 16.9	4 6.8	- -
	20～29歳	71 100.0	9 12.7	32 45.1	18 25.4	8 11.3	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	15 16.3	41 44.6	27 29.3	7 7.6	2 2.2
	40～49歳	114 100.0	15 13.2	52 45.6	37 32.5	6 5.3	4 3.5
	50～59歳	91 100.0	11 12.1	36 39.6	34 37.4	9 9.9	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	5 3.5	55 38.7	57 40.1	22 15.5	3 2.1
	70歳以上	157 100.0	2 1.3	40 25.5	61 38.9	24 15.3	30 19.1

ウ 左：安心できる／右：不安がある

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
年齢	全体	730 100.0	156 21.4	352 48.2	141 19.3	35 4.8	46 6.3
	10代	59 100.0	29 49.2	24 40.7	6 10.2	- -	- -
	20～29歳	71 100.0	16 22.5	40 56.3	8 11.3	3 4.2	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	29 31.5	44 47.8	15 16.3	2 2.2	2 2.2
	40～49歳	114 100.0	29 25.4	57 50.0	23 20.2	3 2.6	2 1.8
	50～59歳	91 100.0	17 18.7	50 54.9	19 20.9	3 3.3	2 2.2
	60～69歳	142 100.0	21 14.8	76 53.5	29 20.4	11 7.7	5 3.5
	70歳以上	157 100.0	15 9.6	60 38.2	40 25.5	13 8.3	29 18.5

エ 左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
年齢	全体	730 100.0	31 4.2	236 32.3	321 44.0	90 12.3	52 7.1
	10代	59 100.0	9 15.3	29 49.2	17 28.8	3 5.1	1 1.7
	20～29歳	71 100.0	5 7.0	23 32.4	30 42.3	8 11.3	5 7.0
	30～39歳	92 100.0	4 4.3	46 50.0	29 31.5	10 10.9	3 3.3
	40～49歳	114 100.0	5 4.4	46 40.4	50 43.9	9 7.9	4 3.5
	50～59歳	91 100.0	2 2.2	18 19.8	58 63.7	12 13.2	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	4 2.8	40 28.2	75 52.8	22 15.5	1 0.7
	70歳以上	157 100.0	2 1.3	32 20.4	62 39.5	26 16.6	35 22.3

オ 左：温かみのある／右：冷たい

		全体	左のイ メージ	やや左の イメージ	やや右の イメージ	右のイ メージ	無回答
年 齢	全体	730 100.0	182 24.9	387 53.0	93 12.7	30 4.1	38 5.2
	10代	59 100.0	35 59.3	19 32.2	4 6.8	1 1.7	- -
	20～29歳	71 100.0	20 28.2	35 49.3	10 14.1	2 2.8	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	28 30.4	47 51.1	10 10.9	5 5.4	2 2.2
	40～49歳	114 100.0	31 27.2	67 58.8	11 9.6	3 2.6	2 1.8
	50～59歳	91 100.0	22 24.2	56 61.5	11 12.1	1 1.1	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	22 15.5	89 62.7	23 16.2	6 4.2	2 1.4
	70歳以上	157 100.0	24 15.3	72 45.9	24 15.3	12 7.6	25 15.9

カ 左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

		全体	左のイ メージ	やや左の イメージ	やや右の イメージ	右のイ メージ	無回答
年 齢	全体	730 100.0	110 15.1	335 45.9	178 24.4	68 9.3	39 5.3
	10代	59 100.0	20 33.9	24 40.7	9 15.3	6 10.2	- -
	20～29歳	71 100.0	9 12.7	29 40.8	17 23.9	12 16.9	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	10 10.9	43 46.7	30 32.6	7 7.6	2 2.2
	40～49歳	114 100.0	22 19.3	45 39.5	35 30.7	10 8.8	2 1.8
	50～59歳	91 100.0	12 13.2	50 54.9	23 25.3	6 6.6	- -
	60～69歳	142 100.0	15 10.6	85 59.9	31 21.8	10 7.0	1 0.7
	70歳以上	157 100.0	22 14.0	57 36.3	32 20.4	17 10.8	29 18.5

キ 左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
年齢	全体	730 100.0	26 3.6	152 20.8	209 28.6	293 40.1	50 6.8
	10代	59 100.0	2 3.4	17 28.8	17 28.8	23 39.0	- -
	20～29歳	71 100.0	- -	11 15.5	22 31.0	34 47.9	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	2 2.2	17 18.5	24 26.1	46 50.0	3 3.3
	40～49歳	114 100.0	6 5.3	27 23.7	34 29.8	44 38.6	3 2.6
	50～59歳	91 100.0	4 4.4	31 34.1	26 28.6	29 31.9	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	6 4.2	27 19.0	48 33.8	57 40.1	4 2.8
	70歳以上	157 100.0	6 3.8	22 14.0	37 23.6	59 37.6	33 21.0

② 性別

ア 左：活気のある／右：活気のない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	7 1.0	98 13.4	409 56.0	170 23.3	46 6.3
	男性	328 100.0	5 1.5	40 12.2	184 56.1	79 24.1	20 6.1
	女性	385 100.0	2 0.5	57 14.8	218 56.6	83 21.6	25 6.5
	回答しない	12 100.0	- -	- -	7 58.3	5 41.7	- -

イ 左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	72 9.9	286 39.2	245 33.6	81 11.1	46 6.3
	男性	328 100.0	38 11.6	131 39.9	104 31.7	39 11.9	16 4.9
	女性	385 100.0	32 8.3	152 39.5	135 35.1	37 9.6	29 7.5
	回答しない	12 100.0	2 16.7	2 16.7	6 50.0	2 16.7	- -

ウ 左：安心できる／右：不安がある

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	156 21.4	352 48.2	141 19.3	35 4.8	46 6.3
	男性	328 100.0	77 23.5	163 49.7	59 18.0	13 4.0	16 4.9
	女性	385 100.0	76 19.7	184 47.8	78 20.3	19 4.9	28 7.3
	回答しない	12 100.0	3 25.0	4 33.3	4 33.3	1 8.3	-

エ 左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	31 4.2	236 32.3	321 44.0	90 12.3	52 7.1
	男性	328 100.0	18 5.5	96 29.3	153 46.6	44 13.4	17 5.2
	女性	385 100.0	13 3.4	136 35.3	161 41.8	41 10.6	34 8.8
	回答しない	12 100.0	-	3 25.0	6 50.0	3 25.0	-

オ 左：温かみのある／右：冷たい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	182 24.9	387 53.0	93 12.7	30 4.1	38 5.2
	男性	328 100.0	75 22.9	182 55.5	44 13.4	12 3.7	15 4.6
	女性	385 100.0	106 27.5	200 51.9	43 11.2	14 3.6	22 5.7
	回答しない	12 100.0	1 8.3	3 25.0	6 50.0	2 16.7	-

カ 左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	110 15.1	335 45.9	178 24.4	68 9.3	39 5.3
	男性	328 100.0	56 17.1	149 45.4	85 25.9	25 7.6	13 4.0
	女性	385 100.0	54 14.0	180 46.8	88 22.9	38 9.9	25 6.5
	回答しない	12 100.0	-	4 33.3	5 41.7	3 25.0	-

キ 左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
性別	全体	730 100.0	26 3.6	152 20.8	209 28.6	293 40.1	50 6.8
	男性	328 100.0	17 5.2	68 20.7	92 28.0	133 40.5	18 5.5
	女性	385 100.0	8 2.1	81 21.0	114 29.6	152 39.5	30 7.8
	回答しない	12 100.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	7 58.3	-

③ 地区別

ア 左：活気のある／右：活気のない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730 100.0	7 1.0	98 13.4	409 56.0	170 23.3	46 6.3
	富浦地区	95 100.0	1 1.1	13 13.7	56 58.9	18 18.9	7 7.4
	富山地区	103 100.0	2 1.9	15 14.6	56 54.4	22 21.4	8 7.8
	三芳地区	90 100.0	1 1.1	12 13.3	62 68.9	11 12.2	4 4.4
	白浜地区	76 100.0	- -	8 10.5	40 52.6	20 26.3	8 10.5
	千倉地区	172 100.0	1 0.6	23 13.4	91 52.9	46 26.7	11 6.4
	丸山地区	86 100.0	1 1.2	13 15.1	51 59.3	18 20.9	3 3.5
	和田地区	98 100.0	1 1.0	13 13.3	48 49.0	32 32.7	4 4.1

イ 左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730 100.0	72 9.9	286 39.2	245 33.6	81 11.1	46 6.3
	富浦地区	95 100.0	7 7.4	48 50.5	28 29.5	5 5.3	7 7.4
	富山地区	103 100.0	13 12.6	33 32.0	39 37.9	11 10.7	7 6.8
	三芳地区	90 100.0	15 16.7	38 42.2	28 31.1	6 6.7	3 3.3
	白浜地区	76 100.0	9 11.8	25 32.9	25 32.9	9 11.8	8 10.5
	千倉地区	172 100.0	14 8.1	61 35.5	65 37.8	18 10.5	14 8.1
	丸山地区	86 100.0	5 5.8	37 43.0	32 37.2	10 11.6	2 2.3
	和田地区	98 100.0	8 8.2	41 41.8	24 24.5	21 21.4	4 4.1

ウ 左：安心できる／右：不安がある

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730	156	352	141	35	46
		100.0	21.4	48.2	19.3	4.8	6.3
	富浦地区	95	24	44	17	3	7
		100.0	25.3	46.3	17.9	3.2	7.4
	富山地区	103	15	52	24	4	8
		100.0	14.6	50.5	23.3	3.9	7.8
	三芳地区	90	28	44	14	3	1
		100.0	31.1	48.9	15.6	3.3	1.1
	白浜地区	76	15	25	26	1	9
		100.0	19.7	32.9	34.2	1.3	11.8
	千倉地区	172	39	89	24	6	14
		100.0	22.7	51.7	14.0	3.5	8.1
	丸山地区	86	13	47	18	5	3
		100.0	15.1	54.7	20.9	5.8	3.5
	和田地区	98	21	46	16	12	3
		100.0	21.4	46.9	16.3	12.2	3.1

エ 左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730	31	236	321	90	52
		100.0	4.2	32.3	44.0	12.3	7.1
	富浦地区	95	3	27	44	11	10
		100.0	3.2	28.4	46.3	11.6	10.5
	富山地区	103	5	33	45	11	9
		100.0	4.9	32.0	43.7	10.7	8.7
	三芳地区	90	5	36	37	9	3
		100.0	5.6	40.0	41.1	10.0	3.3
	白浜地区	76	-	19	34	13	10
		100.0	-	25.0	44.7	17.1	13.2
	千倉地区	172	8	56	75	19	14
		100.0	4.7	32.6	43.6	11.0	8.1
	丸山地区	86	3	34	37	10	2
		100.0	3.5	39.5	43.0	11.6	2.3
	和田地区	98	7	27	45	16	3
		100.0	7.1	27.6	45.9	16.3	3.1

オ 左：温かみのある／右：冷たい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730 100.0	182 24.9	387 53.0	93 12.7	30 4.1	38 5.2
	富浦地区	95 100.0	25 26.3	51 53.7	10 10.5	2 2.1	7 7.4
	富山地区	103 100.0	24 23.3	58 56.3	7 6.8	8 7.8	6 5.8
	三芳地区	90 100.0	23 25.6	49 54.4	12 13.3	4 4.4	2 2.2
	白浜地区	76 100.0	21 27.6	40 52.6	6 7.9	2 2.6	7 9.2
	千倉地区	172 100.0	50 29.1	80 46.5	27 15.7	5 2.9	10 5.8
	丸山地区	86 100.0	15 17.4	54 62.8	12 14.0	3 3.5	2 2.3
	和田地区	98 100.0	23 23.5	51 52.0	16 16.3	5 5.1	3 3.1

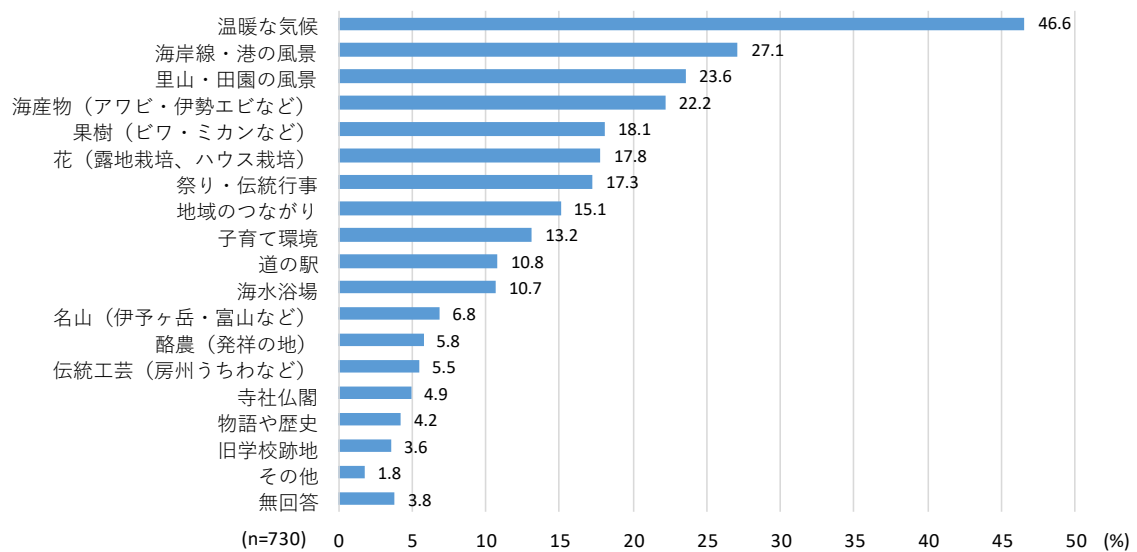
カ 左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730 100.0	110 15.1	335 45.9	178 24.4	68 9.3	39 5.3
	富浦地区	95 100.0	17 17.9	50 52.6	15 15.8	8 8.4	5 5.3
	富山地区	103 100.0	13 12.6	54 52.4	17 16.5	11 10.7	8 7.8
	三芳地区	90 100.0	15 16.7	46 51.1	20 22.2	7 7.8	2 2.2
	白浜地区	76 100.0	9 11.8	25 32.9	30 39.5	3 3.9	9 11.8
	千倉地区	172 100.0	30 17.4	75 43.6	46 26.7	12 7.0	9 5.2
	丸山地区	86 100.0	11 12.8	39 45.3	26 30.2	8 9.3	2 2.3
	和田地区	98 100.0	14 14.3	42 42.9	22 22.4	17 17.3	3 3.1

キ 左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地区	全体	730 100.0	26 3.6	152 20.8	209 28.6	293 40.1	50 6.8
	富浦地区	95 100.0	4 4.2	28 29.5	29 30.5	27 28.4	7 7.4
	富山地区	103 100.0	7 6.8	37 35.9	24 23.3	26 25.2	9 8.7
	三芳地区	90 100.0	3 3.3	30 33.3	22 24.4	32 35.6	3 3.3
	白浜地区	76 100.0	3 3.9	9 11.8	18 23.7	37 48.7	9 11.8
	千倉地区	172 100.0	5 2.9	21 12.2	52 30.2	82 47.7	12 7.0
	丸山地区	86 100.0	2 2.3	10 11.6	32 37.2	39 45.3	3 3.5
	和田地区	98 100.0	2 2.0	15 15.3	29 29.6	46 46.9	6 6.1

問2. あなたにとって、大切にしたい地域の財産とは何ですか。(〇印は3つまで)



「温暖な気候」が46.6%と最も多く、次いで、「海岸線・港の風景」、「里山・田園の風景」の順となっています。

《属性別》

年齢別にみると、40代以上で「温暖な気候」が4割以上、10代では「祭り・伝統行事」が4割と最も多くなっています。

性別にみると、男女とも回答傾向に大きな違いはありませんが、男性では「里山・田園の風景」が3割程度、女性では「花（露地栽培、ハウス栽培）」が2割程度と男女間でそれぞれ7ポイント以上の差があります。

地区別にみると、全ての地区で「温暖な気候」が最も多くなっていますが、白浜地区では「温暖な気候」が6割程度、「海産物（アワビ・伊勢エビなど）」が4割程度、富浦地区では「果樹（ビワ・ミカンなど）」が5割程度となっており、地区によって回答の傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	温暖な気候	里山・田園の風景	海岸線・港の風景	道の駅	名山（伊予ヶ岳・富山など）	海水浴場	寺社仏閣	物語や歴史	伝統工芸（房州うちわなど）
年齢	全体	730 100.0	340 46.6	172 23.6	198 27.1	79 10.8	50 6.8	78 10.7	36 4.9	31 4.2	40 5.5
	10代	59 100.0	22 37.3	17 28.8	13 22.0	6 10.2	3 5.1	8 13.6	-	5 8.5	5 8.5
	20～29歳	71 100.0	21 29.6	17 23.9	15 21.1	8 11.3	3 4.2	9 12.7	1 1.4	1 1.4	8 11.3
	30～39歳	92 100.0	26 28.3	13 14.1	33 35.9	10 10.9	6 6.5	15 16.3	6 6.5	4 4.3	8 8.7
	40～49歳	114 100.0	48 42.1	29 25.4	31 27.2	19 16.7	8 7.0	15 13.2	8 7.0	8 7.0	11 9.6
	50～59歳	91 100.0	47 51.6	24 26.4	38 41.8	3 3.3	5 5.5	10 11.0	3 3.3	2 2.2	2 2.2
	60～69歳	142 100.0	69 48.6	40 28.2	33 23.2	17 12.0	11 7.7	13 9.2	11 7.7	8 5.6	4 2.8
	70歳以上	157 100.0	105 66.9	32 20.4	34 21.7	16 10.2	14 8.9	7 4.5	7 4.5	3 1.9	2 1.3
		花（露地栽培、ハウス栽培）	果樹（ビワ・ミカンなど）	酪農（発祥の地）	海産物（アワビ・伊勢エビなど）	祭り・伝統行事	地域のつながり	旧学校跡地	子育て環境	その他	無回答
年齢	全体	130 17.8	132 18.1	42 5.8	162 22.2	126 17.3	110 15.1	26 3.6	96 13.2	13 1.8	28 3.8
	10代	6 10.2	13 22.0	3 5.1	19 32.2	23 39.0	6 10.2	4 6.8	7 11.9	-	-
	20～29歳	16 22.5	9 12.7	8 11.3	16 22.5	13 18.3	11 15.5	1 1.4	14 19.7	2 2.8	4 5.6
	30～39歳	16 17.4	18 19.6	6 6.5	30 32.6	22 23.9	7 7.6	3 3.3	16 17.4	2 2.2	3 3.3
	40～49歳	21 18.4	21 18.4	10 8.8	17 14.9	23 20.2	14 12.3	1 0.9	19 16.7	2 1.8	2 1.8
	50～59歳	19 20.9	15 16.5	5 5.5	28 30.8	10 11.0	10 11.0	-	10 11.0	1 1.1	2 2.2
	60～69歳	24 16.9	30 21.1	7 4.9	25 17.6	16 11.3	27 19.0	9 6.3	17 12.0	5 3.5	4 2.8
	70歳以上	27 17.2	25 15.9	3 1.9	27 17.2	17 10.8	34 21.7	6 3.8	12 7.6	1 0.6	13 8.3

② 性別

		全体	温暖な気候	里山・田園の風景	海岸線・港の風景	道の駅	名山（伊予ヶ岳・富山など）	海水浴場	寺社仏閣	物語や歴史	伝統工芸（房州うちわなど）
性別	全体	730 100.0	340 46.6	172 23.6	198 27.1	79 10.8	50 6.8	78 10.7	36 4.9	31 4.2	40 5.5
	男性	328 100.0	152 46.3	90 27.4	93 28.4	33 10.1	21 6.4	38 11.6	18 5.5	14 4.3	17 5.2
	女性	385 100.0	180 46.8	78 20.3	101 26.2	46 11.9	28 7.3	38 9.9	16 4.2	14 3.6	21 5.5
	回答しない	12 100.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	-	1 8.3	2 16.7	2 16.7	3 25.0	2 16.7

		花（露地栽培、ハウス栽培）	果樹（ビワ・ミカンなど）	酪農（発祥の地）	海産物（アワビ・伊勢エビなど）	祭り・伝統行事	地域のつながり	旧学校跡地	子育て環境	その他	無回答
性別	全体	130 17.8	132 18.1	42 5.8	162 22.2	126 17.3	110 15.1	26 3.6	96 13.2	13 1.8	28 3.8
	男性	42 12.8	56 17.1	20 6.1	73 22.3	58 17.7	52 15.9	10 3.0	40 12.2	7 2.1	13 4.0
	女性	88 22.9	75 19.5	22 5.7	87 22.6	67 17.4	57 14.8	14 3.6	54 14.0	5 1.3	14 3.6
	回答しない	-	-	-	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3

③ 地区別

		全体	温暖な気候	里山・田園の風景	海岸線・港の風景	道の駅	名山（伊予ヶ岳・富山など）	海水浴場	寺社仏閣	物語や歴史	伝統工芸（房州うちわなど）
居住地区	全体	730 100.0	340 46.6	172 23.6	198 27.1	79 10.8	50 6.8	78 10.7	36 4.9	31 4.2	40 5.5
	富浦地区	95 100.0	48 50.5	19 20.0	23 24.2	13 13.7	3 3.2	6 6.3	1 1.1	3 3.2	5 5.3
	富山地区	103 100.0	34 33.0	30 29.1	24 23.3	15 14.6	31 30.1	15 14.6	3 2.9	6 5.8	5 4.9
	三芳地区	90 100.0	39 43.3	28 31.1	9 10.0	24 26.7	5 5.6	4 4.4	8 8.9	6 6.7	13 14.4
	白浜地区	76 100.0	48 63.2	8 10.5	21 27.6	2 2.6	1 1.3	8 10.5	1 1.3	2 2.6	2 2.6
	千倉地区	172 100.0	84 48.8	34 19.8	65 37.8	11 6.4	4 2.3	20 11.6	8 4.7	5 2.9	3 1.7
	丸山地区	86 100.0	40 46.5	30 34.9	20 23.3	10 11.6	4 4.7	10 11.6	6 7.0	4 4.7	5 5.8
	和田地区	98 100.0	42 42.9	21 21.4	33 33.7	4 4.1	2 2.0	14 14.3	7 7.1	4 4.1	6 6.1

		花（露地栽培、ハウス栽培）	果樹（ビワ・ミカンなど）	酪農（発祥の地）	海産物（アワビ・伊勢エビなど）	祭り・伝統行事	地域のつながり	旧学校跡地	子育て環境	その他	無回答
居住地区	全体	130 17.8	132 18.1	42 5.8	162 22.2	126 17.3	110 15.1	26 3.6	96 13.2	13 1.8	28 3.8
	富浦地区	20 21.1	48 50.5	-	17 17.9	18 18.9	14 14.7	-	6 6.3	-	4 4.2
	富山地区	7 6.8	25 24.3	7 6.8	7 6.8	22 21.4	11 10.7	3 2.9	10 9.7	5 4.9	7 6.8
	三芳地区	7 7.8	18 20.0	12 13.3	14 15.6	13 14.4	10 11.1	2 2.2	12 13.3	1 1.1	2 2.2
	白浜地区	22 28.9	7 9.2	1 1.3	34 44.7	14 18.4	9 11.8	1 1.3	9 11.8	3 3.9	2 2.6
	千倉地区	41 23.8	13 7.6	8 4.7	60 34.9	35 20.3	25 14.5	8 4.7	27 15.7	2 1.2	7 4.1
	丸山地区	12 14.0	10 11.6	7 8.1	13 15.1	13 15.1	14 16.3	4 4.7	13 15.1	1 1.2	2 2.3
	和田地区	20 20.4	9 9.2	7 7.1	15 15.3	11 11.2	24 24.5	7 7.1	17 17.3	1 1.0	3 3.1

問3. 上記問2でご回答いただきましたあなたにとって大切にしたい地域の財産について、あなたやあなたの周りではどのように関わって活動をしていますか。

(1) 温暖な気候

- 暖かく住み易い。温暖な気候を守る為に、省エネをしています。無駄を無くす。必要な物しか買わない。（60～69歳・女性）
- 自宅から出すゴミの分別やコンポを利用して生ゴミの減量を図っている。（70歳以上・男性）
- 温暖な気候を利用した家庭菜園での農作業を通して、地元の方々との交流を行っている。（60～69歳・女性）
- 冬でも野外スポーツをしやすい。温暖な気候を利用した野菜の栽培。（60～69歳・女性）

(2) 里山・田園の風景

- 地元の里山を保全するために、地元の人々と定期的に道路の草刈りをして常に美化を保っている。（70歳以上・女性）
- ナラガレ被害の多い里山の再生、休耕田畑の利活用、空き家の利活用を行う団体の立ち上げを準備中です。また、都内、他県から自然体験＝百姓を学ぶワークショップのようなものをやろうと思っています。（40～49歳・男性）
- 田畑の景観が美しいと感じて貰えるよう、草刈りや稲の掛け干しを続けている。（50～59歳・女性）

(3) 海岸線・港の風景

- 海岸清掃をボランティアで行っている。(50～59歳・男性)
- 海岸清掃やゴミゼロ運動など地区での参加ですが、仕事の前や休みを貰ったりして参加しています。(50～59歳・女性)
- 地元の若者を中心にした団体に賛助会員として関わっている。毎月のビーチクリーンや観光行事などで地域外の方とも交流している。(60～69歳・女性)

(4) 道の駅

- 微力ですが生産者として登録し、購入もしています。(60～69歳・女性)
- 観光客の集客、また地元客のため地元野菜を出品し販売している。(40～49歳・女性)
- 地元だけど、買い物によく利用している(30～39歳・男性)

(5) 名山(伊予ヶ岳・富山など)

- グループで伊予ヶ岳ニハイキングしたり、リースをつくったり楽しんでいる。(60～69歳・女性)
- 観光のプロモーションの依頼を受けて年2回、区の役員で草刈り、頂上へのロープの点検を行っている。(60～69歳・女性)
- 登りに行っています。(30～39歳・女性)

(6) 海水浴場

- 夏は子どもと毎週のように海水浴を楽しんだ。今年はコロナの影響で駐車場が使えず、残念でした。(40～49歳・女性)
- 若者団体に参加して月一回海岸清掃している(出来る範囲)(20～29歳・男性)
- 海をキレイにする活動(ビーチクリーン)。(10代・男性)

(7) 寺社仏閣

- 寺や神社を回ってお参りをしてその特徴や歴史を勉強している。(40～49歳・男性)
- なこし山神社のどぶろくづくり。(60～69歳・女性)
- 寺社の管理運営及び年間を通して寺社に通じる道路の草刈り清掃。(60～69歳・男性)

(8) 物語や歴史

- 住んでいる地域の歴史について学んでいる。(40～49歳・男性)
- 物語や歴史を後世に残していくために本のようなものに記す(10代・男性)
- 郷土を知る会に参加し、地域の歴史を調べてたり会員同士で話し合うなど学び、後世に残せる様に活動しています。(50～59歳・女性)

(9) 伝統工芸（房州うちわなど）

- 体験に参加したり、よさを広めたりしている。（４０～４９歳・回答しない）
- 敬老の日のプレゼント。（７０歳以上・女性）
- 親戚が房州うちわの伝統を引き継いで作成している（４０～４９歳・男性）

(10) 花（露地栽培、ハウス栽培）

- 自分は生産者であり常に関わっていて、他には無い物のあつたり、まだまだ若い人も頑張りたいと思っている。（４０～４９歳・女性）
- 庭に花や果樹を植え他の人の目を楽しませています（７０歳以上・女性）
- お歳暮に県外、都内に送っています。（７０歳以上・女性）

(11) 果樹（ビワ・ミカンなど）

- 知り合いもびわで生計を立てていた。（２０～２９歳・男性）
- びわ農家さんの友人がいます。私も販売のお手伝いをさせて貰っています。（４０～４９歳・女性）
- 小学生の時に授業を通じて琵琶栽培などを体験した。（２０～２９歳・女性）

(12) 酪農（発祥の地）

- 祖父母が元酪農家。現在も牛は飼っている。その２人から、農家の方々がなんとか頑張っているが、どんどん廃業してしまう人が増え衰退していつている、という話をよく聞くので、現在の活動は少ないと思う。（２０～２９歳・男性）
- 高校では畜産系列があり牛を飼っている。（１０代・女性）
- 活動はしていないが発祥の地として大切にしていきたい。（６０～６９歳・男性）

(13) 海産物（アワビ・伊勢エビなど）

- アワビ漁をするために移住者に優しく教えている。（３０～３９歳・女性）
- 海女である母がネットでの PR に勤めている（２０～２９歳・女性）
- 他県に住んでいる親戚や友人に海産物の美味しさを知って貰えるように贈り物として使っている。（３０～３９歳・女性）

(14) 祭り・伝統行事

- 由緒ある神社は代々祭り、伝統行事を残して行かないと、昔の文化が消えてしまう。そのため少しでも寄附をして頂いている。（６０～６９歳・女性）
- 祭りがあるときは毎年参加してみんなで祭りを楽しくしている。（１０代・男性）
- 地域の祭典に参加していた（巫女舞い）。（１０代・女性）

(15)地域のつながり

- ボランティア活動（無償）のお手伝いをして人との交流を深めている。（60～69歳・女性）
- 地域で行われるさまざまな行事には、都合がつくかぎり参加している。（50～59歳・男性）
- 毎日近所の人挨拶をしている（10代・女性）

(16)旧学校跡地

- 南高校を保存するためのボランティア活動。校内清掃や草刈り。（60～69歳・女性）
- 学校跡地を病院に使って頂いて有難い。（20～29歳・男性）

(17)子育て環境

- 富浦地区のびわっこガーデンへ子どもと行く（40～49歳・女性）
- 両親が教員で現在の教育課題や学校と保護者、地域との連携についても尽力している姿を見る（10代・男性）
- 保健センターなどで、子育て支援を受けている（20～29歳・男性）

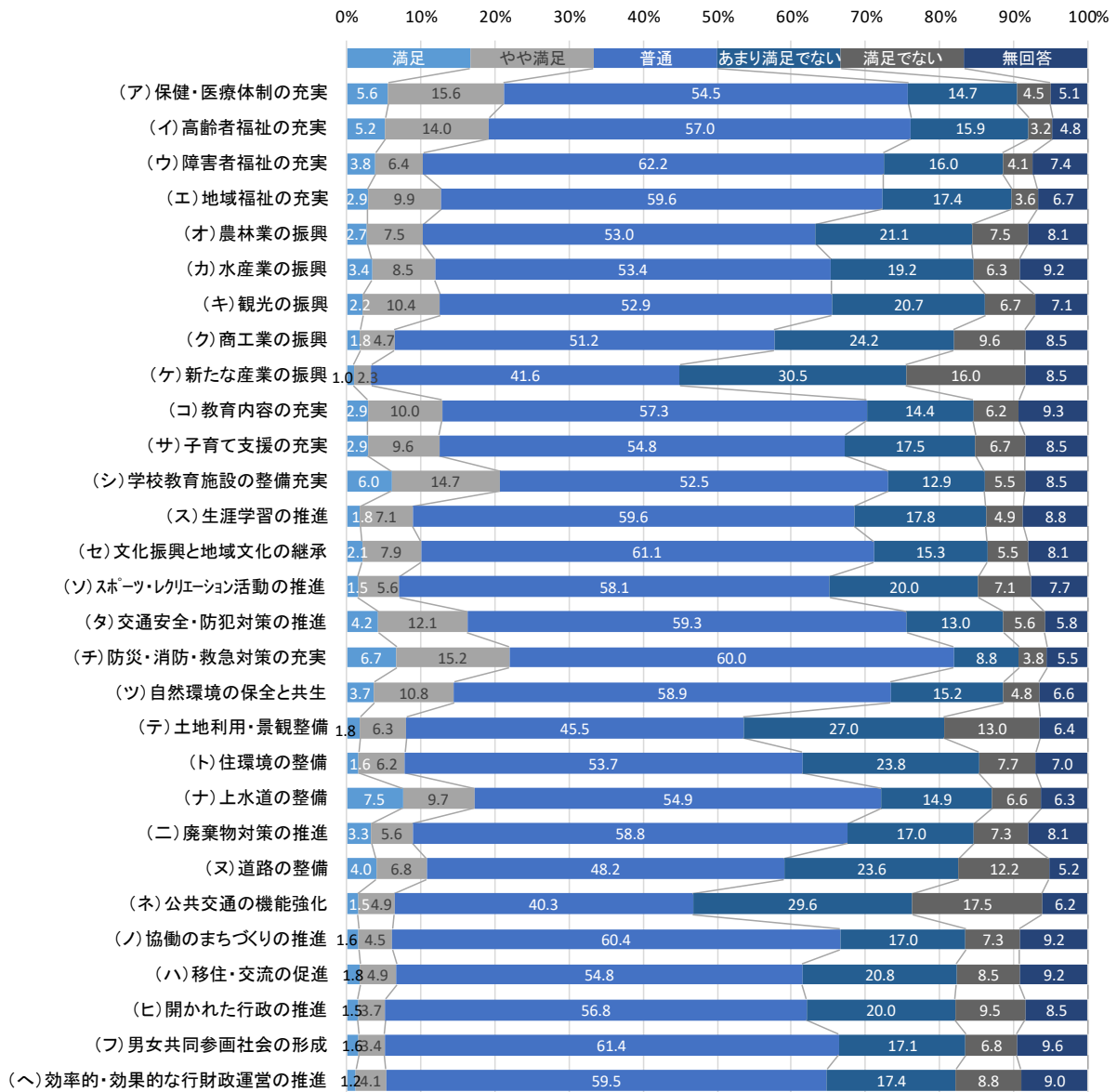
(18)その他

- 地域は伏せてYouTubeで紹介しております。安定した人気のあるコンテンツです。（40～49歳・男性）

(4) 南房総市のまちづくりについて

問1. あなたは、南房総市の取り組みにどの程度満足していますか。

(ア) ～ (ハ) それぞれについて1～5の番号1つに○をつけてください。

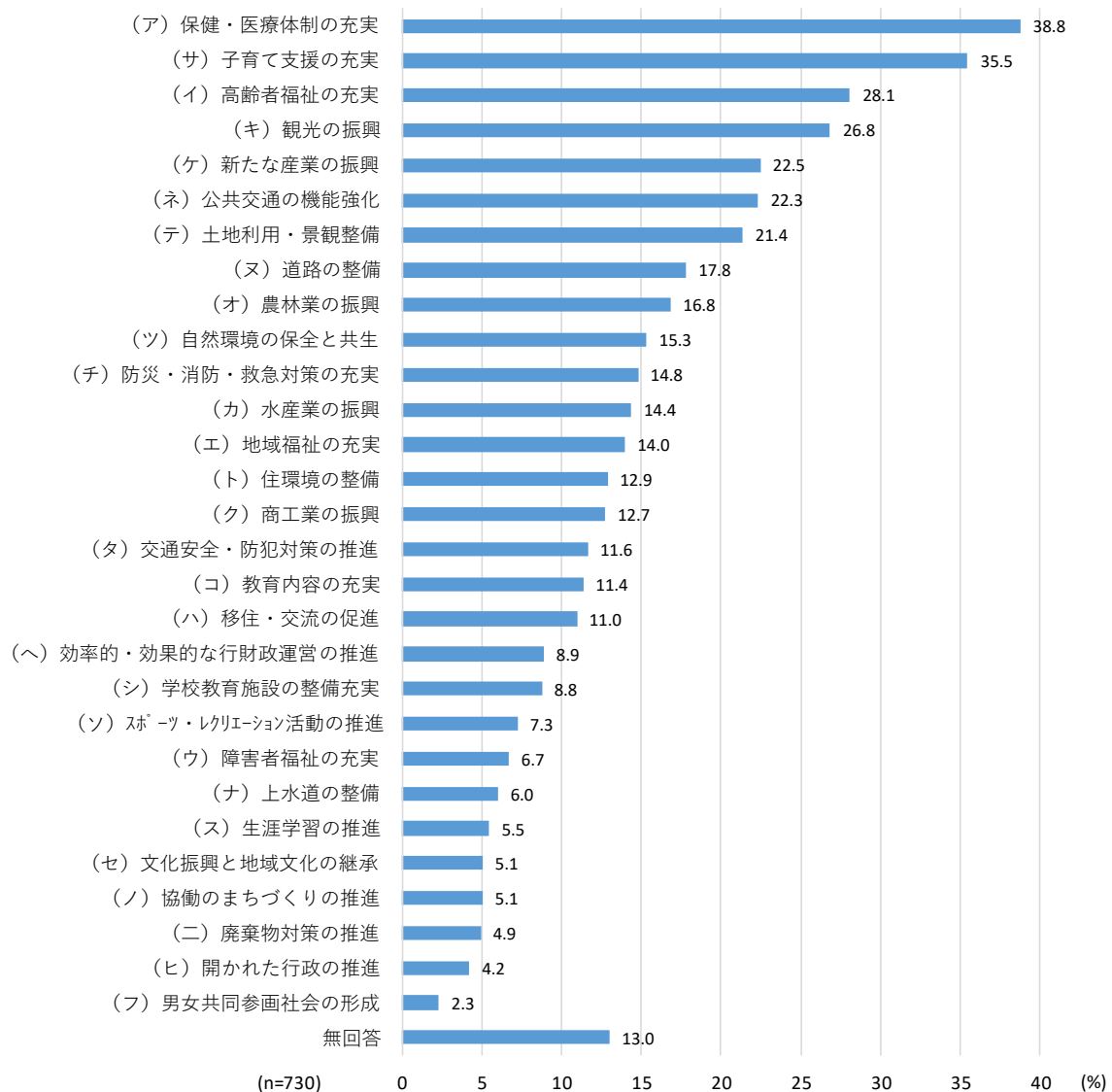


取組の満足度について、「満足」から「満足でない」までの4段階で評価します。評価結果を分かりやすく示すため、「満足・やや満足・あまり満足でない・満足でない」の回答数に、それぞれ「+2・+1・-1・-2」点を与え（「普通」は0、無回答を除く）、その合計を回答数で除して評価点とします。+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価と言えます。満足度の高い順に、「(チ) 防災・消防・救急対策の充実 (4-2)」(0.35)、「(ア) 保健・医療体制の充実 (1-1)」(0.08)、「(シ) 学校教育施設の整備充実 (3-3)」(0.07)となっています。

一方、満足度が低い順に、「(ケ) 新たな産業の振興 (2-5)」(-1.17)、「(ネ) 公共交通の機能強化 (5-2)」(-1.06)、「(ヒ) 開かれた行政の推進 (6-3)」(-0.93)となっています。

問2. あなたは、南房総市の取り組みとしてどの分野の取り組みを重点的に進めるべきだと思いますか。重要だと思う取り組みを5つ選び記入してください。なお、一番左側の空欄（太枠）に、最も重要だと思う取り組みをお書きください。

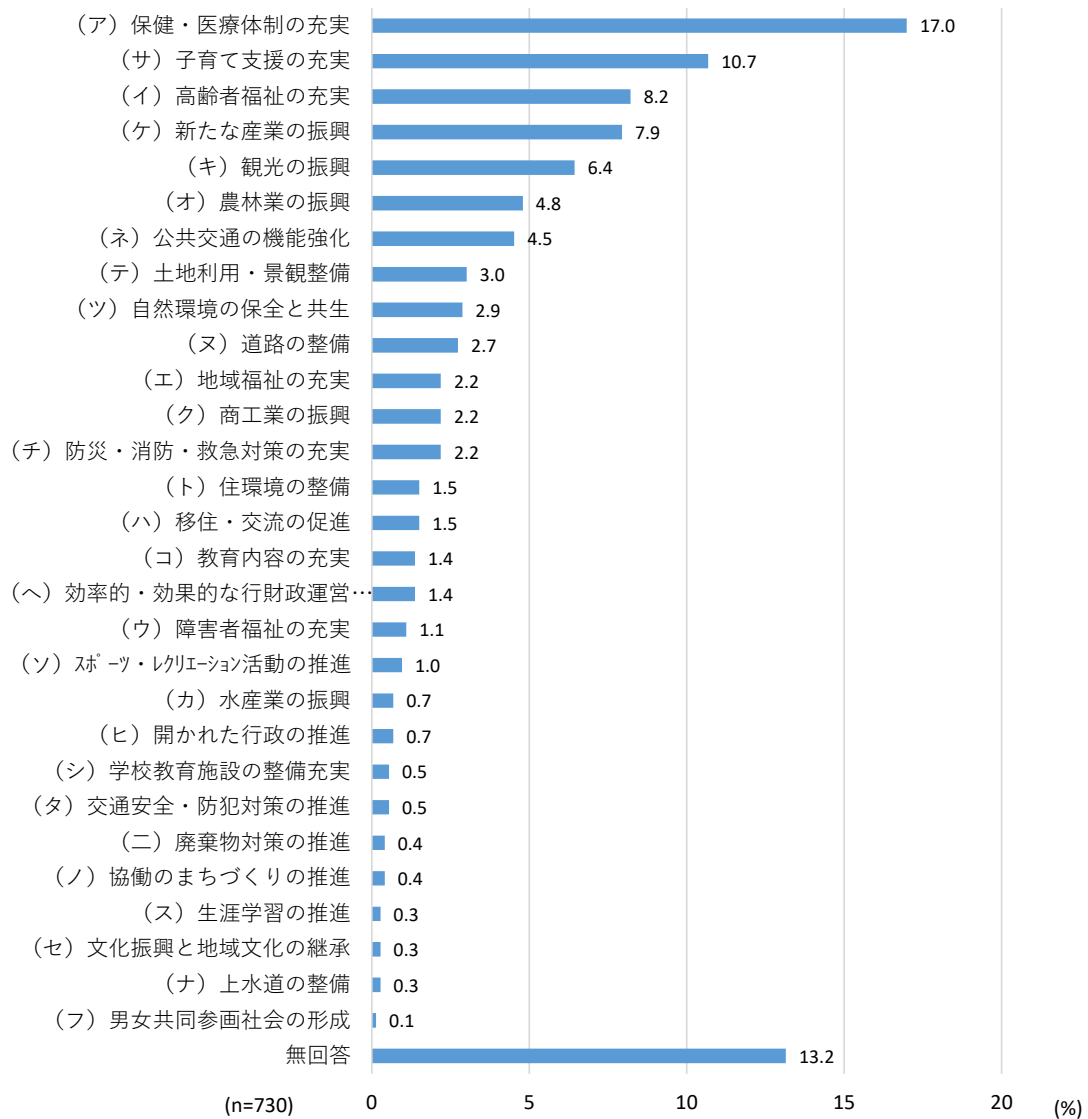
【重要だと思う取り組み】



「保健・医療体制の充実」が 38.8%、「子育て支援の充実」が 35.5%と 3 割を超えています。次いで、「高齢者福祉の充実」、「観光の振興」、「新たな産業の振興」の順となっています

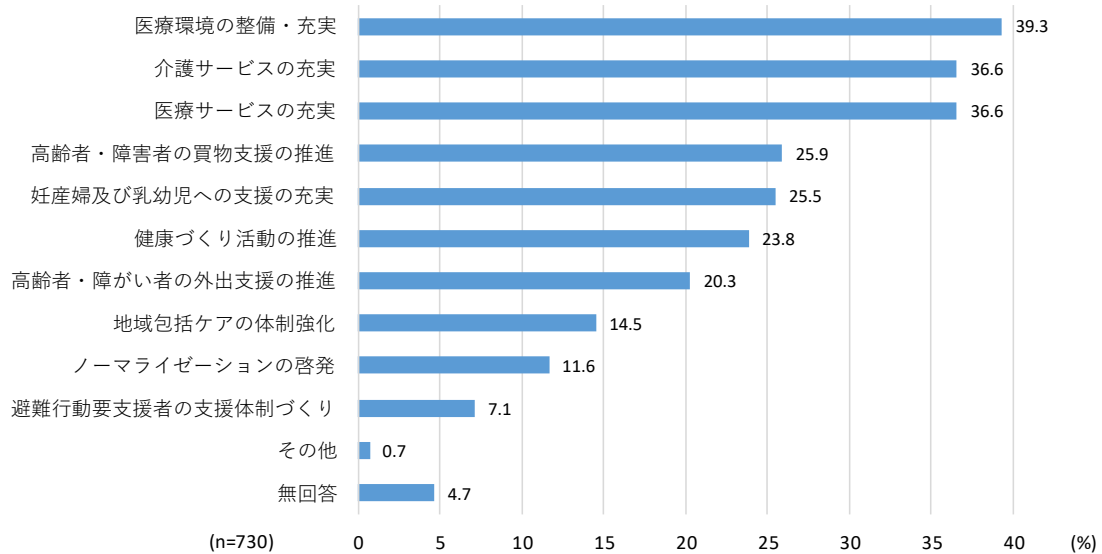
問2. あなたは、南房総市の取り組みとしてどの分野の取り組みを重点的に進めるべきだと思いますか。重要だと思う取り組みを5つ選び記入してください。なお、一番左側の空欄（太枠）に、最も重要だと思う取り組みをお書きください。

【最も重要だと思う取り組み】



「保健・医療体制の充実」が17.0%、「子育て支援の充実」が10.7%と1割を超えています。次いで、「高齢者福祉の充実」、「新たな産業の振興」、「観光の振興」、の順となっています。

問3. 保健・医療・福祉の分野【優しく安心して暮らせる南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「医療環境の整備・充実」が39.3%と最も多く、次いで、「介護サービスの充実」、「医療サービスの充実」が3割を超えています。

《属性別》

年齢別にみると、10代から20代、40代で「医療環境の整備・充実」、30代で「妊産婦及び乳幼児への支援の充実」、50代以上で「介護サービスの充実」と年代によって回答傾向が異なります。

性別にみると、男女で回答の傾向に大きな違いはありません。

地区別では、三芳地区で「医療サービスの充実」が5割程度、「介護サービスの充実」が4割程度と他の地区と比べて多くなっています。

① 年齢別

		全体	健康づくり活動の推進	妊産婦及び乳幼児への支援の充実	介護サービスの充実	地域包括ケアの体制強化	高齢者・障がい者の外出支援の推進	高齢者・障害者の買物支援の推進	医療環境の整備・充実	医療サービスの充実
年齢	全体	730 100.0	174 23.8	186 25.5	267 36.6	106 14.5	148 20.3	189 25.9	287 39.3	267 36.6
	10代	59 100.0	13 22.0	15 25.4	18 30.5	5 8.5	6 10.2	12 20.3	27 45.8	24 40.7
	20～29歳	71 100.0	16 22.5	26 36.6	18 25.4	5 7.0	13 18.3	16 22.5	33 46.5	23 32.4
	30～39歳	92 100.0	20 21.7	42 45.7	30 32.6	9 9.8	11 12.0	20 21.7	36 39.1	36 39.1
	40～49歳	114 100.0	25 21.9	36 31.6	39 34.2	15 13.2	18 15.8	21 18.4	61 53.5	58 50.9
	50～59歳	91 100.0	16 17.6	22 24.2	35 38.5	22 24.2	27 29.7	26 28.6	33 36.3	34 37.4
	60～69歳	142 100.0	41 28.9	25 17.6	62 43.7	28 19.7	28 19.7	39 27.5	55 38.7	52 36.6
	70歳以上	157 100.0	43 27.4	20 12.7	63 40.1	21 13.4	43 27.4	54 34.4	40 25.5	37 23.6
			避難行動要支援者の支援体制づくり	ノーマライゼーションの啓発	その他	無回答				
年齢	全体	52 7.1	85 11.6	5 0.7	34 4.7					
	10代	8 13.6	7 11.9	-	1 1.7					
	20～29歳	4 5.6	9 12.7	1 1.4	4 5.6					
	30～39歳	8 8.7	10 10.9	1 1.1	5 5.4					
	40～49歳	6 5.3	9 7.9	-	6 5.3					
	50～59歳	3 3.3	11 12.1	-	-					
	60～69歳	8 5.6	21 14.8	3 2.1	2 1.4					
	70歳以上	15 9.6	18 11.5	-	16 10.2					

② 性別

		全体	健康づくり活動の推進	妊産婦及び乳幼児への支援の充実	介護サービスの充実	地域包括ケアの体制強化	高齢者・障がい者の外出支援の推進	高齢者・障害者の買物支援の推進	医療環境の整備・充実	医療サービスの充実
性別	全体	730 100.0	174 23.8	186 25.5	267 36.6	106 14.5	148 20.3	189 25.9	287 39.3	267 36.6
	男性	328 100.0	82 25.0	84 25.6	118 36.0	43 13.1	68 20.7	79 24.1	131 39.9	110 33.5
	女性	385 100.0	88 22.9	99 25.7	144 37.4	62 16.1	76 19.7	107 27.8	150 39.0	150 39.0
	回答しない	12 100.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	-	1 8.3	3 25.0	4 33.3	6 50.0

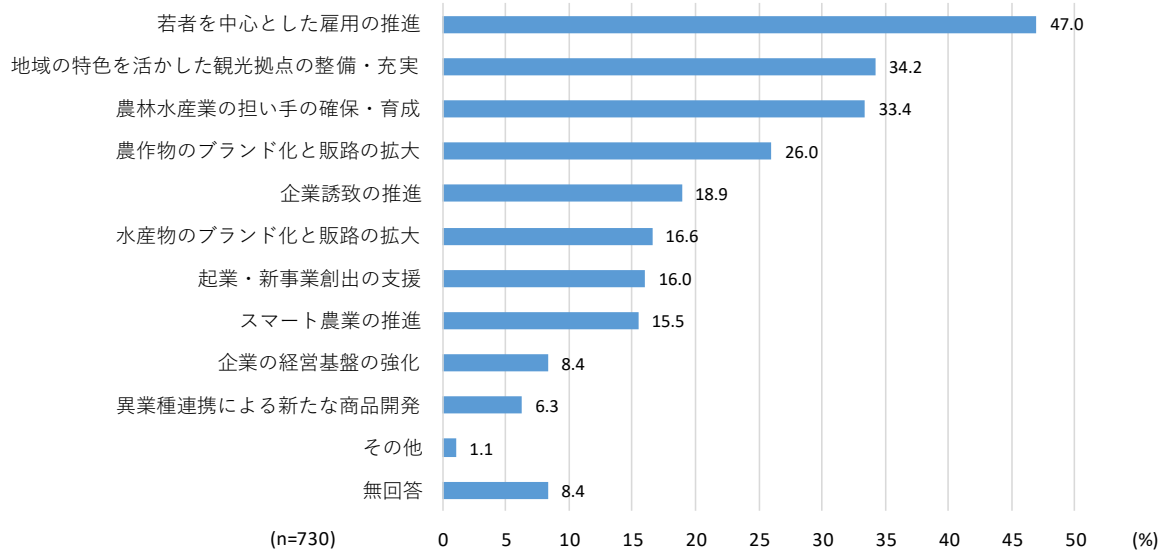
		避難行動 要支援者 の支援体 制づくり	ノーマラ イゼー ションの 啓発	その他	無回答
性別	全体	52 7.1	85 11.6	5 0.7	34 4.7
	男性	23 7.0	28 8.5	4 1.2	17 5.2
	女性	28 7.3	53 13.8	1 0.3	15 3.9
	回答しない	1 8.3	3 25.0	-	1 8.3

③ 地区別

		全体	健康づく り活動の 推進	妊産婦及 び乳幼児 への支援 の充実	介護サー ビスの充 実	地域包括 ケアの体 制強化	高齢者・ 障がい者 の外出支 援の推進	高齢者・ 障害者の 買物支援 の推進	医療環境 の整備・ 充実	医療サー ビスの充 実
居住地区	全体	730 100.0	174 23.8	186 25.5	267 36.6	106 14.5	148 20.3	189 25.9	287 39.3	267 36.6
	富浦地区	95 100.0	27 28.4	22 23.2	35 36.8	12 12.6	17 17.9	15 15.8	40 42.1	29 30.5
	富山地区	103 100.0	20 19.4	21 20.4	33 32.0	9 8.7	25 24.3	31 30.1	43 41.7	33 32.0
	三芳地区	90 100.0	30 33.3	23 25.6	38 42.2	9 10.0	15 16.7	21 23.3	37 41.1	43 47.8
	白浜地区	76 100.0	19 25.0	23 30.3	26 34.2	7 9.2	16 21.1	22 28.9	31 40.8	28 36.8
	千倉地区	172 100.0	29 16.9	43 25.0	62 36.0	26 15.1	34 19.8	53 30.8	59 34.3	61 35.5
	丸山地区	86 100.0	20 23.3	28 32.6	33 38.4	17 19.8	21 24.4	20 23.3	30 34.9	30 34.9
	和田地区	98 100.0	28 28.6	24 24.5	36 36.7	23 23.5	17 17.3	24 24.5	43 43.9	38 38.8

		避難行動 要支援者 の支援体 制づくり	ノーマラ イゼー ションの 啓発	その他	無回答
居住地区	全体	52 7.1	85 11.6	5 0.7	34 4.7
	富浦地区	3 3.2	13 13.7	-	8 8.4
	富山地区	7 6.8	16 15.5	1 1.0	4 3.9
	三芳地区	9 10.0	10 11.1	1 1.1	-
	白浜地区	4 5.3	8 10.5	-	3 3.9
	千倉地区	17 9.9	19 11.0	1 0.6	13 7.6
	丸山地区	6 7.0	12 14.0	-	3 3.5
	和田地区	5 5.1	6 6.1	2 2.0	2 2.0

問4. 産業・雇用の分野【活力ある地域産業の南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「若者を中心とした雇用の推進」が47.0%と最も多く、次いで、「地域の特色を生かした観光拠点の整備・充実」、「農林水産業の担い手の確保・育成」が3割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、60代以下で「若者を中心とした雇用の推進」、70歳以上で「農林水産業の担い手の確保・育成」が最も多くなっています。また、10代、50代では「地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実」が4割程度を占めています。

性別にみると、男女ともに「若者を中心とした雇用の推進」が45%程度と最も多くなっています。女性では「地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実」が4割程度を占めており、男性と比べて10ポイント以上差があります。

地区別にみると、三芳地区を除き「若者を中心とした雇用の推進」が4割以上と最も多くなっています。一方、三芳地区では「農作物のブランド化と販路の拡大」が4割程度、「地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実」が25%程度に留まっており、他の地区と傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	農作物の ブランド 化と販路 の拡大	水産物の ブランド 化と販路 の拡大	農林水産 業の担い 手の確 保・育成	スマート 農業の推 進	地域の特 色を活か した観光 拠点の整 備・充実	企業の経 営基盤の 強化	起業・新 事業創出 の支援	若者を中 心とした 雇用の推 進
年齢	全体	730 100.0	190 26.0	121 16.6	244 33.4	113 15.5	250 34.2	61 8.4	117 16.0	343 47.0
	10代	59 100.0	17 28.8	13 22.0	12 20.3	11 18.6	23 39.0	3 5.1	5 8.5	31 52.5
	20～29歳	71 100.0	22 31.0	14 19.7	16 22.5	11 15.5	21 29.6	10 14.1	17 23.9	42 59.2
	30～39歳	92 100.0	20 21.7	23 25.0	25 27.2	12 13.0	32 34.8	9 9.8	26 28.3	47 51.1
	40～49歳	114 100.0	33 28.9	17 14.9	38 33.3	24 21.1	41 36.0	13 11.4	18 15.8	53 46.5
	50～59歳	91 100.0	22 24.2	19 20.9	28 30.8	14 15.4	41 45.1	12 13.2	17 18.7	43 47.3
	60～69歳	142 100.0	37 26.1	18 12.7	57 40.1	20 14.1	49 34.5	9 6.3	22 15.5	61 43.0
	70歳以上	157 100.0	38 24.2	17 10.8	67 42.7	20 12.7	42 26.8	5 3.2	12 7.6	66 42.0

		企業誘致 の推進	異業種連 携による 新たな商 品開発	その他	無回答
年齢	全体	138 18.9	46 6.3	8 1.1	61 8.4
	10代	6 10.2	4 6.8	-	1 1.7
	20～29歳	11 15.5	2 2.8	-	4 5.6
	30～39歳	17 18.5	6 6.5	-	5 5.4
	40～49歳	24 21.1	10 8.8	2 1.8	8 7.0
	50～59歳	20 22.0	4 4.4	1 1.1	2 2.2
	60～69歳	32 22.5	12 8.5	4 2.8	8 5.6
	70歳以上	26 16.6	8 5.1	1 0.6	32 20.4

② 性別

		全体	農作物の ブランド 化と販路 の拡大	水産物の ブランド 化と販路 の拡大	農林水産 業の担い 手の確 保・育成	スマート 農業の推 進	地域の特 色を活か した観光 拠点の整 備・充実	企業の経 営基盤の 強化	起業・新 事業創出 の支援	若者を中 心とした 雇用の推 進
性別	全体	730 100.0	190 26.0	121 16.6	244 33.4	113 15.5	250 34.2	61 8.4	117 16.0	343 47.0
	男性	328 100.0	87 26.5	61 18.6	109 33.2	51 15.5	89 27.1	32 9.8	63 19.2	153 46.6
	女性	385 100.0	100 26.0	58 15.1	130 33.8	58 15.1	158 41.0	29 7.5	54 14.0	181 47.0
	回答しない	12 100.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	3 25.0	-	-	6 50.0

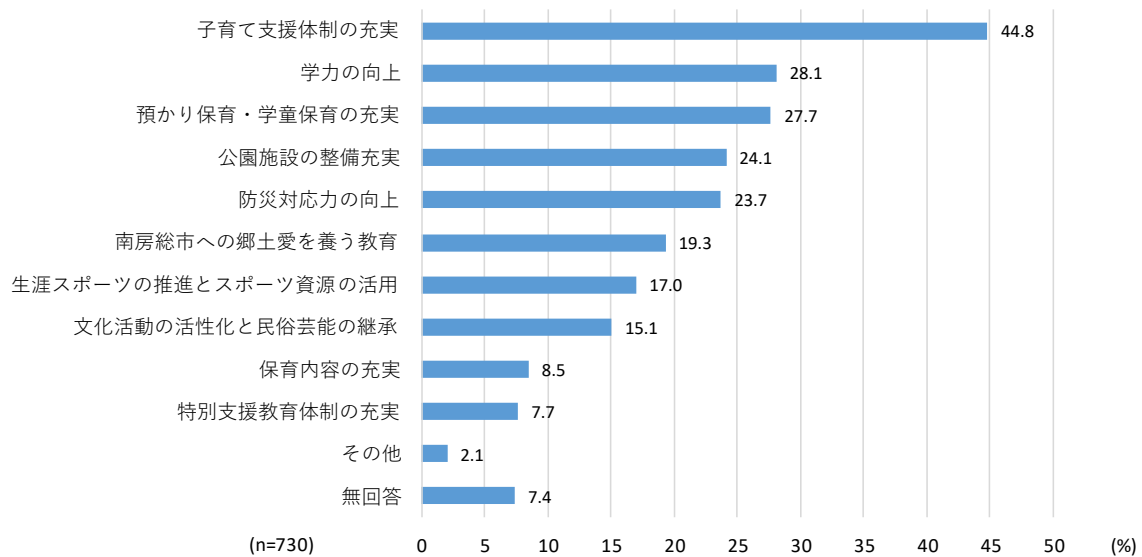
		企業誘致 の推進	異業種連 携による 新たな商 品開発	その他	無回答
性別	全体	138 18.9	46 6.3	8 1.1	61 8.4
	男性	74 22.6	19 5.8	4 1.2	26 7.9
	女性	61 15.8	27 7.0	4 1.0	31 8.1
	回答しない	1 8.3	-	-	3 25.0

③ 地区別

		全体	農作物の ブランド 化と販路 の拡大	水産物の ブランド 化と販路 の拡大	農林水産 業の担い 手の確 保・育成	スマート 農業の推 進	地域の特 色を活か した観光 拠点の整 備・充実	企業の経 営基盤の 強化	起業・新 事業創出 の支援	若者を中 心とした 雇用の推 進
居住地区	全体	730 100.0	190 26.0	121 16.6	244 33.4	113 15.5	250 34.2	61 8.4	117 16.0	343 47.0
	富浦地区	95 100.0	31 32.6	10 10.5	27 28.4	20 21.1	33 34.7	6 6.3	10 10.5	33 34.7
	富山地区	103 100.0	21 20.4	9 8.7	39 37.9	15 14.6	37 35.9	5 4.9	20 19.4	53 51.5
	三芳地区	90 100.0	35 38.9	14 15.6	31 34.4	12 13.3	24 26.7	9 10.0	17 18.9	45 50.0
	白浜地区	76 100.0	20 26.3	19 25.0	28 36.8	7 9.2	28 36.8	9 11.8	7 9.2	32 42.1
	千倉地区	172 100.0	36 20.9	45 26.2	49 28.5	25 14.5	61 35.5	16 9.3	21 12.2	89 51.7
	丸山地区	86 100.0	23 26.7	11 12.8	34 39.5	19 22.1	27 31.4	9 10.5	15 17.4	41 47.7
	和田地区	98 100.0	21 21.4	12 12.2	35 35.7	14 14.3	37 37.8	7 7.1	25 25.5	47 48.0

		企業誘致 の推進	異業種連 携による 新たな商 品開発	その他	無回答
居住地区	全体	138 18.9	46 6.3	8 1.1	61 8.4
	富浦地区	15 15.8	5 5.3	2 2.1	12 12.6
	富山地区	22 21.4	3 2.9	2 1.9	6 5.8
	三芳地区	22 24.4	10 11.1	1 1.1	4 4.4
	白浜地区	9 11.8	3 3.9	1 1.3	7 9.2
	千倉地区	30 17.4	13 7.6	- -	18 10.5
	丸山地区	16 18.6	6 7.0	2 2.3	6 7.0
	和田地区	22 22.4	5 5.1	- -	5 5.1

問5. 教育・文化・スポーツの分野 【豊かな学びと文化の南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「子育て支援体制の充実」が44.8%と最も多く、次いで、「学力の向上」、「預かり保育・学童保育の充実」が25%以上、「公園施設の整備充実」、「防災対応力の向上」が2割程度の順となっています

《属性別》

年齢別にみると、10代では「学力の向上」、20代以上では「子育て支援体制の充実」が最も多くなっており、30～39歳では6割以上を占めています。また、「預かり保育・学童保育の充実」も30～39歳で4割程度と他の年代と比べて多くなっています。

性別にみると、男女ともに「子育て支援体制の充実」が4割以上と最も多くなっています。女性では「学力の向上」が3割程度を占めています。

地区別にみると、全ての地区で「子育て支援体制の充実」が最も多く、丸山地区では6割程度を占めています。富山地区・千倉地区では「公園施設の整備充実」、三芳地区・白浜地区・丸山地区では「預かり保育・学童保育の充実」が3割程度と地区によって回答の傾向が異なっています。

① 年齢別

		全体	学力の向上	特別支援教育体制の充実	南房総市への郷土愛を養う教育	防災対応力の向上	子育て支援体制の充実	保育内容の充実	公園施設の整備充実	預かり保育・学童保育の充実
年齢	全体	730 100.0	205 28.1	56 7.7	141 19.3	173 23.7	327 44.8	62 8.5	176 24.1	202 27.7
	10代	59 100.0	27 45.8	6 10.2	7 11.9	12 20.3	26 44.1	5 8.5	16 27.1	13 22.0
	20～29歳	71 100.0	19 26.8	10 14.1	10 14.1	14 19.7	33 46.5	11 15.5	18 25.4	26 36.6
	30～39歳	92 100.0	20 21.7	13 14.1	13 14.1	14 15.2	59 64.1	11 12.0	25 27.2	38 41.3
	40～49歳	114 100.0	40 35.1	9 7.9	26 22.8	28 24.6	57 50.0	14 12.3	34 29.8	27 23.7
	50～59歳	91 100.0	32 35.2	3 3.3	16 17.6	24 26.4	44 48.4	2 2.2	26 28.6	26 28.6
	60～69歳	142 100.0	32 22.5	7 4.9	25 17.6	37 26.1	62 43.7	14 9.9	33 23.2	41 28.9
	70歳以上	157 100.0	34 21.7	6 3.8	44 28.0	42 26.8	45 28.7	5 3.2	23 14.6	30 19.1

		文化活動の活性化と民俗芸能の継承	生涯スポーツの推進とスポーツ資源の活用	その他	無回答
年齢	全体	110 15.1	124 17.0	15 2.1	54 7.4
	10代	7 11.9	12 20.3	-	1 1.7
	20～29歳	9 12.7	13 18.3	2 2.8	3 4.2
	30～39歳	7 7.6	17 18.5	-	5 5.4
	40～49歳	21 18.4	16 14.0	5 4.4	6 5.3
	50～59歳	13 14.3	20 22.0	1 1.1	1 1.1
	60～69歳	25 17.6	24 16.9	3 2.1	11 7.7
	70歳以上	28 17.8	22 14.0	4 2.5	26 16.6

② 性別

		全体	学力の向上	特別支援教育体制の充実	南房総市への郷土愛を養う教育	防災対応力の向上	子育て支援体制の充実	保育内容の充実	公園施設の整備充実
性別	全体	730	205	56	141	173	327	62	176
		100.0	28.1	7.7	19.3	23.7	44.8	8.5	24.1
	男性	328	83	16	71	80	143	34	57
		100.0	25.3	4.9	21.6	24.4	43.6	10.4	17.4
	女性	385	119	37	69	86	181	28	112
		100.0	30.9	9.6	17.9	22.3	47.0	7.3	29.1
	回答しない	12	3	2	1	5	3	-	5
		100.0	25.0	16.7	8.3	41.7	25.0	-	41.7

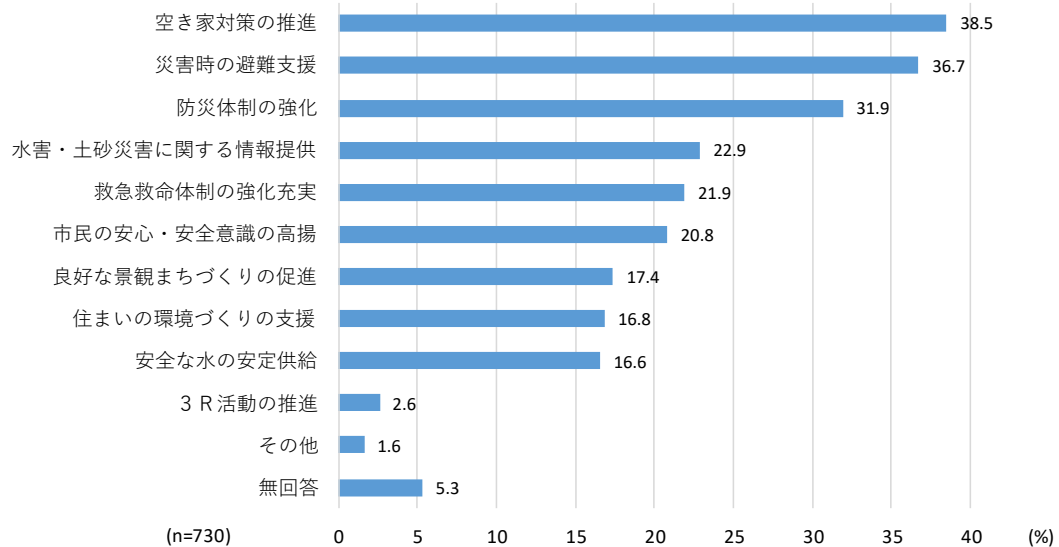
		預かり保育・学童保育の充実	文化活動の活性化と民俗芸能の継承	生涯スポーツの推進とスポーツ資源の活用	その他	無回答
性別	全体	202	110	124	15	54
		27.7	15.1	17.0	2.1	7.4
	男性	89	45	66	9	25
		27.1	13.7	20.1	2.7	7.6
	女性	110	62	54	6	27
		28.6	16.1	14.0	1.6	7.0
	回答しない	3	2	3	-	1
		25.0	16.7	25.0	-	8.3

③ 地区別

		全体	学力の向上	特別支援教育体制の充実	南房総市への郷土愛を養う教育	防災対応力の向上	子育て支援体制の充実	保育内容の充実	公園施設の整備充実	預かり保育・学童保育の充実
居住地区	全体	730	205	56	141	173	327	62	176	202
		100.0	28.1	7.7	19.3	23.7	44.8	8.5	24.1	27.7
	富浦地区	95	29	5	16	26	40	8	14	18
		100.0	30.5	5.3	16.8	27.4	42.1	8.4	14.7	18.9
	富山地区	103	24	10	22	25	42	6	31	26
		100.0	23.3	9.7	21.4	24.3	40.8	5.8	30.1	25.2
	三芳地区	90	29	6	14	24	43	5	22	31
		100.0	32.2	6.7	15.6	26.7	47.8	5.6	24.4	34.4
	白浜地区	76	22	5	18	21	33	6	14	23
		100.0	28.9	6.6	23.7	27.6	43.4	7.9	18.4	30.3
	千倉地区	172	46	15	32	37	69	14	50	45
		100.0	26.7	8.7	18.6	21.5	40.1	8.1	29.1	26.2
	丸山地区	86	24	8	20	11	51	14	15	31
		100.0	27.9	9.3	23.3	12.8	59.3	16.3	17.4	36.0
	和田地区	98	28	5	17	23	47	9	27	24
		100.0	28.6	5.1	17.3	23.5	48.0	9.2	27.6	24.5

		文化活動 の活性化 と民俗芸 能の継承	生涯ス ポーツの 推進とス ポーツ資 源の活用	その他	無回答
居住地区	全体	110	124	15	54
		15.1	17.0	2.1	7.4
	富浦地区	14	25	1	9
		14.7	26.3	1.1	9.5
	富山地区	14	12	3	7
		13.6	11.7	2.9	6.8
	三芳地区	12	22	3	3
		13.3	24.4	3.3	3.3
	白浜地区	9	8	2	7
		11.8	10.5	2.6	9.2
	千倉地区	28	25	1	17
		16.3	14.5	0.6	9.9
	丸山地区	12	13	1	5
		14.0	15.1	1.2	5.8
	和田地区	18	17	4	5
		18.4	17.3	4.1	5.1

問6. 防災・防犯、住まいの分野【安全で快適な南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「空き家対策の推進」が38.5%、「災害時の避難支援」が36.7%、「防災体制の強化」が31.9%と3割を超えています。「水害・土砂災害に関する情報提供」、「救急救命体制の強化充実」、「市民の安心・安全意識の高揚」がそれぞれ2割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、20代以下、40代では「災害時の避難支援」、それ以外では「空き家対策の推進」が最も多くなっています。40代では「防災体制の強化」が4割程度を占めており、年代によって回答の傾向が異なります。

性別にみると、男女で回答の傾向に大きな差はありません。

地区別にみると、富山地区・三芳地区・千倉地区・丸山地区で「空き家対策の推進」が最も多く、4割程度を占めています。一方、富浦地区では「防災体制の強化」が4割程度を占めており、地区によって回答の傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	市民の安心・安全意識の高揚	防災体制の強化	救急救命体制の強化充実	災害時の避難支援	良好な景観まちづくりの促進	水害・土砂災害に関する情報提供	住まいの環境づくりの支援	安全な水の安定供給
年齢	全体	730 100.0	152 20.8	233 31.9	160 21.9	268 36.7	127 17.4	167 22.9	123 16.8	121 16.6
	10代	59 100.0	13 22.0	14 23.7	9 15.3	27 45.8	17 28.8	14 23.7	13 22.0	6 10.2
	20～29歳	71 100.0	22 31.0	21 29.6	13 18.3	25 35.2	15 21.1	20 28.2	10 14.1	12 16.9
	30～39歳	92 100.0	13 14.1	30 32.6	21 22.8	35 38.0	13 14.1	20 21.7	24 26.1	13 14.1
	40～49歳	114 100.0	18 15.8	47 41.2	27 23.7	51 44.7	25 21.9	22 19.3	23 20.2	21 18.4
	50～59歳	91 100.0	18 19.8	28 30.8	19 20.9	31 34.1	19 20.9	21 23.1	19 20.9	14 15.4
	60～69歳	142 100.0	25 17.6	44 31.0	34 23.9	49 34.5	19 13.4	37 26.1	17 12.0	30 21.1
	70歳以上	157 100.0	43 27.4	48 30.6	36 22.9	48 30.6	19 12.1	32 20.4	17 10.8	24 15.3

		空き家対策の推進	3R活動の推進	その他	無回答
年齢	全体	281 38.5	19 2.6	12 1.6	39 5.3
	10代	16 27.1	6 10.2	-	-
	20～29歳	23 32.4	4 5.6	-	3 4.2
	30～39歳	40 43.5	2 2.2	2 2.2	7 7.6
	40～49歳	46 40.4	2 1.8	5 4.4	6 5.3
	50～59歳	40 44.0	3 3.3	3 3.3	2 2.2
	60～69歳	63 44.4	-	1 0.7	5 3.5
	70歳以上	53 33.8	2 1.3	1 0.6	14 8.9

② 性別

		全体	市民の安心・安全意識の高揚	防災体制の強化	救急救命体制の強化充実	災害時の避難支援	良好な景観まちづくりの促進	水害・土砂災害に関する情報提供	住まいの環境づくりの支援	安全な水の安定供給
性別	全体	730 100.0	152 20.8	233 31.9	160 21.9	268 36.7	127 17.4	167 22.9	123 16.8	121 16.6
	男性	328 100.0	75 22.9	112 34.1	76 23.2	114 34.8	61 18.6	66 20.1	57 17.4	57 17.4
	女性	385 100.0	77 20.0	117 30.4	79 20.5	150 39.0	64 16.6	90 23.4	63 16.4	61 15.8
	回答しない	12 100.0	-	4 33.3	3 25.0	1 8.3	2 16.7	8 66.7	2 16.7	3 25.0

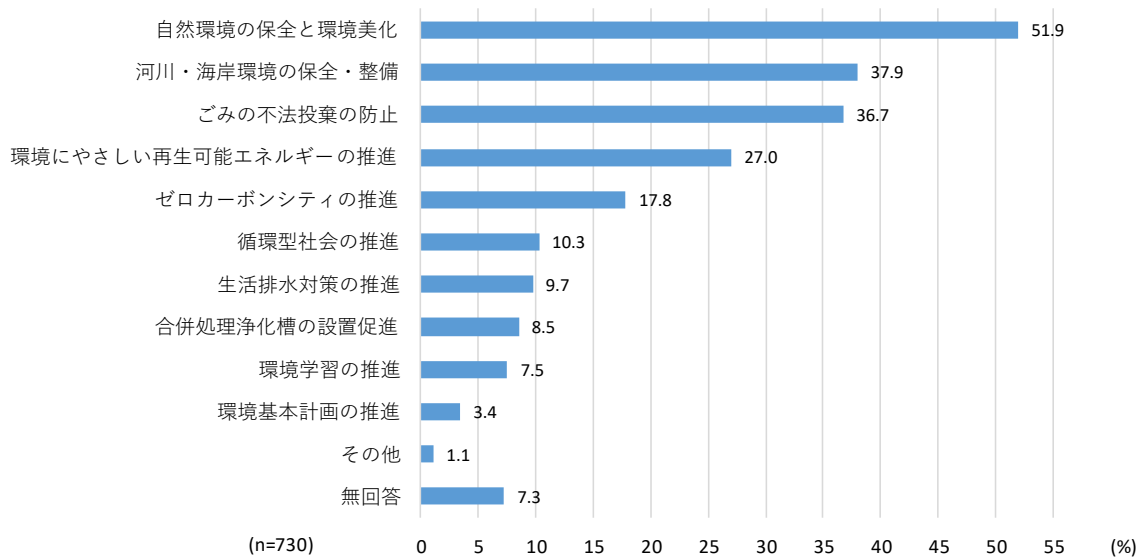
		空き家対策の推進	3R活動の推進	その他	無回答
性別	全体	281 38.5	19 2.6	12 1.6	39 5.3
	男性	117 35.7	6 1.8	5 1.5	14 4.3
	女性	161 41.8	13 3.4	7 1.8	23 6.0
	回答しない	3 25.0	-	-	1 8.3

③ 地区別

		全体	市民の安心・安全意識の高揚	防災体制の強化	救急救命体制の強化充実	災害時の避難支援	良好な景観まちづくりの促進	水害・土砂災害に関する情報提供	住まいの環境づくりの支援	安全な水の安定供給
居住地区	全体	730 100.0	152 20.8	233 31.9	160 21.9	268 36.7	127 17.4	167 22.9	123 16.8	121 16.6
	富浦地区	95 100.0	18 18.9	37 38.9	24 25.3	36 37.9	15 15.8	22 23.2	16 16.8	10 10.5
	富山地区	103 100.0	19 18.4	33 32.0	17 16.5	36 35.0	20 19.4	26 25.2	16 15.5	11 10.7
	三芳地区	90 100.0	23 25.6	29 32.2	21 23.3	32 35.6	12 13.3	22 24.4	19 21.1	13 14.4
	白浜地区	76 100.0	15 19.7	19 25.0	17 22.4	29 38.2	14 18.4	16 21.1	7 9.2	13 17.1
	千倉地区	172 100.0	34 19.8	52 30.2	37 21.5	63 36.6	35 20.3	34 19.8	33 19.2	19 11.0
	丸山地区	86 100.0	21 24.4	22 25.6	24 27.9	32 37.2	15 17.4	18 20.9	16 18.6	27 31.4
	和田地区	98 100.0	19 19.4	36 36.7	13 13.3	38 38.8	16 16.3	24 24.5	16 16.3	27 27.6

		空き家対策の推進	3 R活動の推進	その他	無回答
居住地区	全体	281	19	12	39
		38.5	2.6	1.6	5.3
	富浦地区	25	1	2	8
		26.3	1.1	2.1	8.4
	富山地区	45	2	2	5
		43.7	1.9	1.9	4.9
	三芳地区	38	6	3	2
		42.2	6.7	3.3	2.2
	白浜地区	28	2	1	4
		36.8	2.6	1.3	5.3
	千倉地区	73	4	1	11
		42.4	2.3	0.6	6.4
	丸山地区	34	1	1	4
		39.5	1.2	1.2	4.7
	和田地区	35	3	2	4
		35.7	3.1	2.0	4.1

問7. 生活・自然環境の分野【安全で快適な南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「自然環境の保全と環境美化」が51.9%と最も多く、次いで、「河川・海岸環境の保全・整備」「ごみの不法投棄の防止」が35%程度、「環境にやさしい再生可能エネルギーの推進」が27.0%となっています。

《属性別》

年齢別にみると、全ての年代で「自然環境の保全と環境美化」が最も多く、40代では6割程度を占めています。また、20代では「ごみの不法投棄の防止」が5割程度を占めており、年代によって回答の傾向が異なります。

性別にみると、男女で回答の傾向に大きな差はありません。

地区別にみると、全ての地区で「自然環境の保全と環境美化」が最も多く、5割程度を占めています。一方、三芳地区・丸山地区では「ごみの不法投棄の防止」、三芳地区・白浜地区・和田地区では「河川・海岸環境の保全・整備」が4割程度を占めており、地区によって回答の傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	自然環境 の保全と 環境美化	環境学習 の推進	河川・海 岸環境の 保全・整 備	ごみの不 法投棄の 防止	循環型社 会の推進	環境にや さしい再 生可能エ ネルギー の推進	合併処理 浄化槽の 設置促進	生活排水 対策の推 進
年 齢	全体	730 100.0	379 51.9	55 7.5	277 37.9	268 36.7	75 10.3	197 27.0	62 8.5	71 9.7
	10代	59 100.0	32 54.2	4 6.8	23 39.0	21 35.6	11 18.6	18 30.5	3 5.1	4 6.8
	20～29歳	71 100.0	35 49.3	13 18.3	28 39.4	34 47.9	3 4.2	17 23.9	5 7.0	6 8.5
	30～39歳	92 100.0	45 48.9	7 7.6	38 41.3	34 37.0	9 9.8	21 22.8	8 8.7	14 15.2
	40～49歳	114 100.0	70 61.4	13 11.4	43 37.7	38 33.3	17 14.9	32 28.1	12 10.5	9 7.9
	50～59歳	91 100.0	50 54.9	4 4.4	37 40.7	29 31.9	7 7.7	29 31.9	6 6.6	8 8.8
	60～69歳	142 100.0	70 49.3	9 6.3	55 38.7	53 37.3	13 9.2	46 32.4	12 8.5	14 9.9
	70歳以上	157 100.0	75 47.8	3 1.9	53 33.8	58 36.9	15 9.6	34 21.7	15 9.6	15 9.6

		ゼロカー ボンシ ティの推 進	環境基本 計画の推 進	その他	無回答
年 齢	全体	130 17.8	25 3.4	8 1.1	53 7.3
	10代	9 15.3	2 3.4	-	1 1.7
	20～29歳	8 11.3	3 4.2	-	5 7.0
	30～39歳	12 13.0	5 5.4	3 3.3	7 7.6
	40～49歳	27 23.7	4 3.5	1 0.9	8 7.0
	50～59歳	18 19.8	4 4.4	-	5 5.5
	60～69歳	26 18.3	2 1.4	3 2.1	7 4.9
	70歳以上	30 19.1	5 3.2	1 0.6	19 12.1

② 性別

		全体	自然環境 の保全と 環境美化	環境学習 の推進	河川・海 岸環境の 保全・整 備	ごみの不 法投棄の 防止	循環型社 会の推進	環境にや さしい再 生可能エ ネルギー の推進	合併処理 浄化槽の 設置促進	生活排水 対策の推 進
性別	全体	730	379	55	277	268	75	197	62	71
		100.0	51.9	7.5	37.9	36.7	10.3	27.0	8.5	9.7
	男性	328	174	26	128	114	36	84	28	37
		100.0	53.0	7.9	39.0	34.8	11.0	25.6	8.5	11.3
	女性	385	202	28	144	149	37	111	33	31
		100.0	52.5	7.3	37.4	38.7	9.6	28.8	8.6	8.1
	回答しない	12	2	-	3	4	2	2	-	1
		100.0	16.7	-	25.0	33.3	16.7	16.7	-	8.3

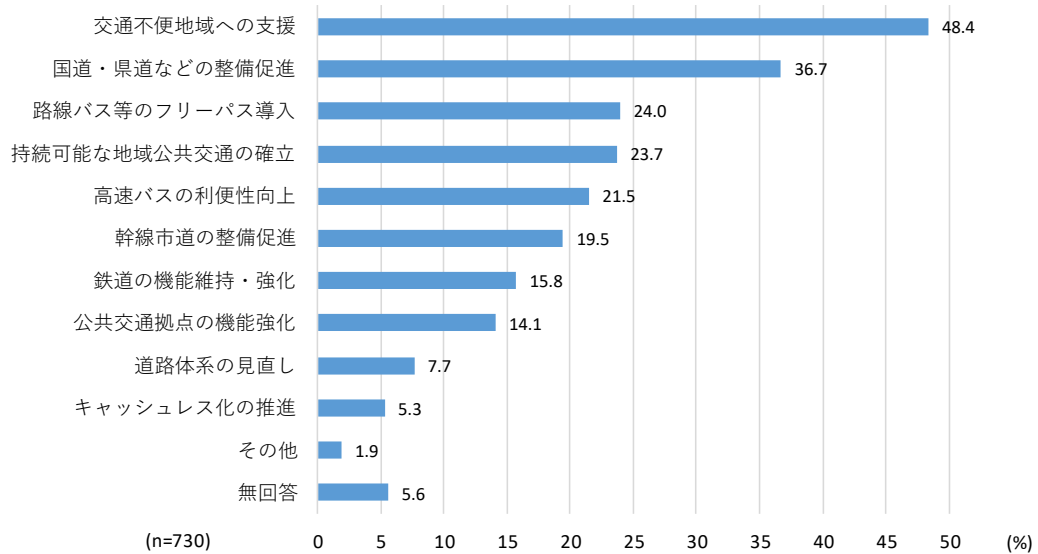
		ゼロカー ボンシ ティの推 進	環境基本 計画の推 進	その他	無回答
性別	全体	130	25	8	53
		17.8	3.4	1.1	7.3
	男性	52	12	3	23
		15.9	3.7	0.9	7.0
	女性	76	12	4	28
		19.7	3.1	1.0	7.3
	回答しない	2	1	1	1
		16.7	8.3	8.3	8.3

③ 地区別

		全体	自然環境 の保全と 環境美化	環境学習 の推進	河川・海 岸環境の 保全・整 備	ごみの不 法投棄の 防止	循環型社 会の推進	環境にや さしい再 生可能エ ネルギー の推進	合併処理 浄化槽の 設置促進	生活排水 対策の推 進
居住地区	全体	730	379	55	277	268	75	197	62	71
		100.0	51.9	7.5	37.9	36.7	10.3	27.0	8.5	9.7
	富浦地区	95	44	10	35	26	11	26	7	7
		100.0	46.3	10.5	36.8	27.4	11.6	27.4	7.4	7.4
	富山地区	103	54	8	33	34	9	29	10	10
		100.0	52.4	7.8	32.0	33.0	8.7	28.2	9.7	9.7
	三芳地区	90	46	6	37	40	12	32	9	8
		100.0	51.1	6.7	41.1	44.4	13.3	35.6	10.0	8.9
	白浜地区	76	41	6	32	28	6	12	3	6
		100.0	53.9	7.9	42.1	36.8	7.9	15.8	3.9	7.9
	千倉地区	172	97	12	64	64	15	46	15	13
		100.0	56.4	7.0	37.2	37.2	8.7	26.7	8.7	7.6
	丸山地区	86	44	5	33	37	7	25	11	12
		100.0	51.2	5.8	38.4	43.0	8.1	29.1	12.8	14.0
	和田地区	98	49	7	42	34	14	25	7	13
		100.0	50.0	7.1	42.9	34.7	14.3	25.5	7.1	13.3

		ゼロカー ボンシ ティの推 進	環境基本 計画の推 進	その他	無回答
居住地区	全体	130 17.8	25 3.4	8 1.1	53 7.3
	富浦地区	24 25.3	1 1.1	1 1.1	11 11.6
	富山地区	19 18.4	2 1.9	- -	9 8.7
	三芳地区	15 16.7	3 3.3	- -	2 2.2
	白浜地区	13 17.1	1 1.3	3 3.9	5 6.6
	千倉地区	28 16.3	8 4.7	1 0.6	16 9.3
	丸山地区	20 23.3	5 5.8	1 1.2	5 5.8
	和田地区	9 9.2	5 5.1	- -	4 4.1

問8. 道路・公共交通の分野【地域がつながる便利な南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「交通不便地域への支援」が48.4%と最も多く、次いで、「国道・県道などの整備促進」が3割以上、「路線バス等のフリーパス導入」、「持続可能な地域公共交通の確立」、「高速バスの利便性向上」が2割を超えています。

《属性別》

年齢別にみると、全ての年代で「交通不便地域への支援」、「国道・県道などの整備促進」が35%を超えており、10代では「鉄道の機能維持・強化」も多くなっています。また、40代・70歳以上では「路線バス等のフリーパス導入」が3割程度を占めており、年代によって回答の傾向が異なります。

性別にみると、男女ともに「交通不便地域への支援」が最も多く、男性では5割以上を占めています。また、男性では「幹線市道の整備促進」、女性では「高速バスの利便性向上」がそれぞれ2割程度と回答の傾向に差があります。

地区別にみると、富浦地区を除き全ての地区で「交通不便地域への支援」が、和田地区では「国道・県道などの整備促進」が4割を超えており、地区によって回答の傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	国道・県道などの整備促進	幹線市道の整備促進	路線バス等のフリーパス導入	交通不便地域への支援	鉄道の機能維持・強化	公共交通拠点の機能強化	高速バスの利便性向上	キャッシュレス化の推進
年齢	全体	730 100.0	268 36.7	142 19.5	175 24.0	353 48.4	115 15.8	103 14.1	157 21.5	39 5.3
	10代	59 100.0	22 37.3	1 1.7	16 27.1	21 35.6	21 35.6	11 18.6	12 20.3	8 13.6
	20～29歳	71 100.0	33 46.5	12 16.9	8 11.3	37 52.1	16 22.5	14 19.7	20 28.2	8 11.3
	30～39歳	92 100.0	46 50.0	19 20.7	10 10.9	47 51.1	11 12.0	14 15.2	23 25.0	10 10.9
	40～49歳	114 100.0	40 35.1	18 15.8	34 29.8	57 50.0	20 17.5	20 17.5	39 34.2	3 2.6
	50～59歳	91 100.0	35 38.5	19 20.9	24 26.4	42 46.2	14 15.4	13 14.3	21 23.1	3 3.3
	60～69歳	142 100.0	54 38.0	37 26.1	36 25.4	63 44.4	16 11.3	15 10.6	22 15.5	6 4.2
	70歳以上	157 100.0	37 23.6	36 22.9	46 29.3	85 54.1	16 10.2	16 10.2	19 12.1	1 0.6

		持続可能な地域公共交通の確立	道路体系の見直し	その他	無回答
年齢	全体	173 23.7	56 7.7	14 1.9	41 5.6
	10代	11 18.6	5 8.5	1 1.7	1 1.7
	20～29歳	10 14.1	8 11.3	1 1.4	4 5.6
	30～39歳	15 16.3	8 8.7	2 2.2	6 6.5
	40～49歳	33 28.9	12 10.5	1 0.9	6 5.3
	50～59歳	25 27.5	7 7.7	1 1.1	2 2.2
	60～69歳	38 26.8	10 7.0	3 2.1	8 5.6
	70歳以上	40 25.5	5 3.2	5 3.2	13 8.3

② 性別

		全体	国道・県道などの整備促進	幹線市道の整備促進	路線バス等のフリーパス導入	交通不便地域への支援	鉄道の機能維持・強化	公共交通拠点の機能強化	高速バスの利便性向上	キャッシュレス化の推進
性別	全体	730 100.0	268 36.7	142 19.5	175 24.0	353 48.4	115 15.8	103 14.1	157 21.5	39 5.3
	男性	328 100.0	126 38.4	79 24.1	75 22.9	136 41.5	48 14.6	43 13.1	60 18.3	20 6.1
	女性	385 100.0	138 35.8	60 15.6	94 24.4	209 54.3	66 17.1	59 15.3	94 24.4	17 4.4
	回答しない	12 100.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	5 41.7	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7

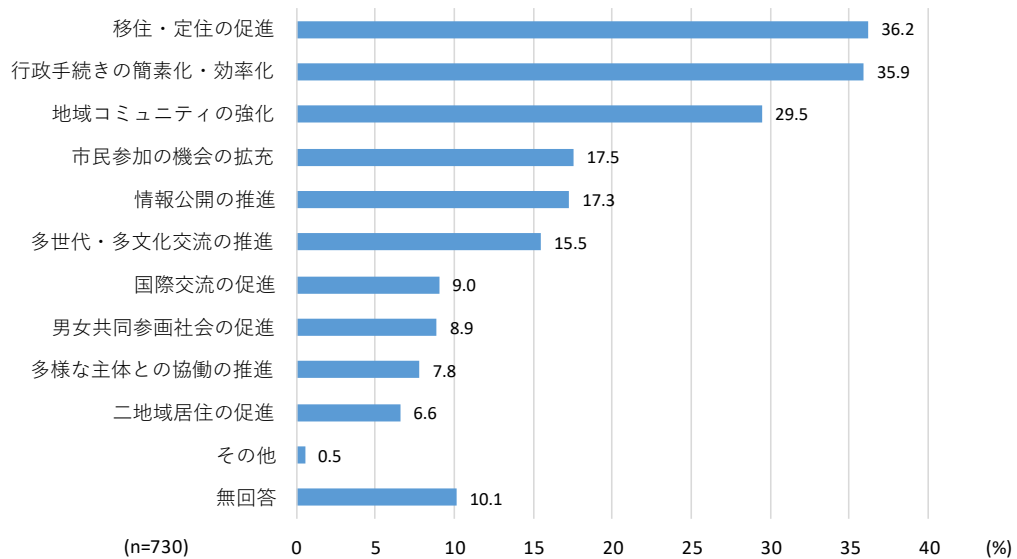
		持続可能な地域公共交通の確立	道路体系の見直し	その他	無回答
性別	全体	173	56	14	41
		23.7	7.7	1.9	5.6
	男性	81	35	11	15
		24.7	10.7	3.4	4.6
	女性	91	19	3	24
		23.6	4.9	0.8	6.2
	回答しない	-	2	-	1
		-	16.7	-	8.3

③ 地区別

		全体	国道・県道などの整備促進	幹線市道の整備促進	路線バス等のフリーパス導入	交通不便地域への支援	鉄道の機能維持・強化	公共交通拠点の機能強化	高速バスの利便性向上	キャッシュレス化の推進
居住地区	全体	730	268	142	175	353	115	103	157	39
		100.0	36.7	19.5	24.0	48.4	15.8	14.1	21.5	5.3
	富浦地区	95	30	21	24	36	14	7	19	4
		100.0	31.6	22.1	25.3	37.9	14.7	7.4	20.0	4.2
	富山地区	103	40	19	19	54	13	12	20	3
		100.0	38.8	18.4	18.4	52.4	12.6	11.7	19.4	2.9
	三芳地区	90	32	23	24	45	7	18	28	7
		100.0	35.6	25.6	26.7	50.0	7.8	20.0	31.1	7.8
	白浜地区	76	24	14	15	43	12	15	9	5
		100.0	31.6	18.4	19.7	56.6	15.8	19.7	11.8	6.6
	千倉地区	172	60	28	51	75	39	27	43	11
		100.0	34.9	16.3	29.7	43.6	22.7	15.7	25.0	6.4
	丸山地区	86	33	18	21	49	11	11	14	4
		100.0	38.4	20.9	24.4	57.0	12.8	12.8	16.3	4.7
	和田地区	98	46	15	18	45	19	13	23	4
		100.0	46.9	15.3	18.4	45.9	19.4	13.3	23.5	4.1

		持続可能な地域公共交通の確立	道路体系の見直し	その他	無回答
居住地区	全体	173	56	14	41
		23.7	7.7	1.9	5.6
	富浦地区	27	6	1	9
		28.4	6.3	1.1	9.5
	富山地区	21	7	3	6
		20.4	6.8	2.9	5.8
	三芳地区	19	9	2	-
		21.1	10.0	2.2	-
	白浜地区	20	2	2	4
		26.3	2.6	2.6	5.3
	千倉地区	34	15	2	14
		19.8	8.7	1.2	8.1
	丸山地区	21	10	3	4
		24.4	11.6	3.5	4.7
	和田地区	27	6	1	3
		27.6	6.1	1.0	3.1

問9. 移住促進・市民参加・行財政の分野【市民が創る南房総の実現】で、優先的に取り組んでほしいもの



「移住・定住の促進」が36.2%、「行政手続きの簡素化・効率化」が35.9%と3割を超えており、次いで、「地域コミュニティの強化」が3割程度、「市民参加の機会の拡充」、「情報公開の推進」がそれぞれ2割程度の順となっています。

《属性別》

年齢別にみると、10代で「市民参加の機会の拡充」が3割程度、20代から50代で「移住・定住の促進」、70歳以上で「地域コミュニティの強化」が4割程度となっており、年代によって回答の傾向が異なります。

性別にみると、男性では「移住・定住の促進」、女性では「行政手続きの簡素化・効率化」がそれぞれ4割程度となっています。

地区にみると、三芳地区で「行政手続きの簡素化・効率化」が4割を超えており、地区によって回答の傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	市民参加 の機会の 拡充	地域コ ミュニ ティの強 化	移住・定 住の促進	多世代・ 多文化交 流の推進	国際交流 の促進	男女共同 参画社会 の促進	情報公開 の推進	多様な主 体との協 働の推進
年 齢	全体	730 100.0	128 17.5	215 29.5	264 36.2	113 15.5	66 9.0	65 8.9	126 17.3	57 7.8
	10代	59 100.0	19 32.2	18 30.5	15 25.4	14 23.7	12 20.3	10 16.9	5 8.5	3 5.1
	20～29歳	71 100.0	9 12.7	25 35.2	31 43.7	10 14.1	10 14.1	6 8.5	11 15.5	8 11.3
	30～39歳	92 100.0	14 15.2	17 18.5	43 46.7	14 15.2	12 13.0	9 9.8	12 13.0	7 7.6
	40～49歳	114 100.0	20 17.5	30 26.3	45 39.5	20 17.5	19 16.7	11 9.6	24 21.1	12 10.5
	50～59歳	91 100.0	10 11.0	22 24.2	39 42.9	21 23.1	5 5.5	8 8.8	18 19.8	11 12.1
	60～69歳	142 100.0	25 17.6	42 29.6	41 28.9	24 16.9	4 2.8	13 9.2	25 17.6	11 7.7
	70歳以上	157 100.0	31 19.7	60 38.2	48 30.6	10 6.4	3 1.9	8 5.1	31 19.7	5 3.2

		二地域居 住の促進	行政手続 きの簡素 化・効率 化	その他	無回答
年 齢	全体	48 6.6	262 35.9	4 0.5	74 10.1
	10代	1 1.7	15 25.4	-	2 3.4
	20～29歳	2 2.8	24 33.8	-	6 8.5
	30～39歳	12 13.0	36 39.1	1 1.1	7 7.6
	40～49歳	9 7.9	44 38.6	-	11 9.6
	50～59歳	9 9.9	36 39.6	-	2 2.2
	60～69歳	9 6.3	56 39.4	2 1.4	14 9.9
	70歳以上	6 3.8	50 31.8	1 0.6	30 19.1

② 性別

		全体	市民参加 の機会の 拡充	地域コ ミュニ ティの強 化	移住・定 住の促進	多世代・ 多文化交 流の推進	国際交流 の促進	男女共同 参画社会 の促進	情報公開 の推進	多様な主 体との協 働の推進
性 別	全体	730 100.0	128 17.5	215 29.5	264 36.2	113 15.5	66 9.0	65 8.9	126 17.3	57 7.8
	男性	328 100.0	56 17.1	89 27.1	137 41.8	54 16.5	30 9.1	30 9.1	63 19.2	23 7.0
	女性	385 100.0	70 18.2	123 31.9	121 31.4	58 15.1	35 9.1	34 8.8	59 15.3	32 8.3
	回答しない	12 100.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7

		二地域居住の促進	行政手続きの簡素化・効率化	その他	無回答
性別	全体	48	262	4	74
		6.6	35.9	0.5	10.1
	男性	26	112	3	29
		7.9	34.1	0.9	8.8
	女性	22	143	-	42
		5.7	37.1	-	10.9
	回答しない	-	5	1	2
		-	41.7	8.3	16.7

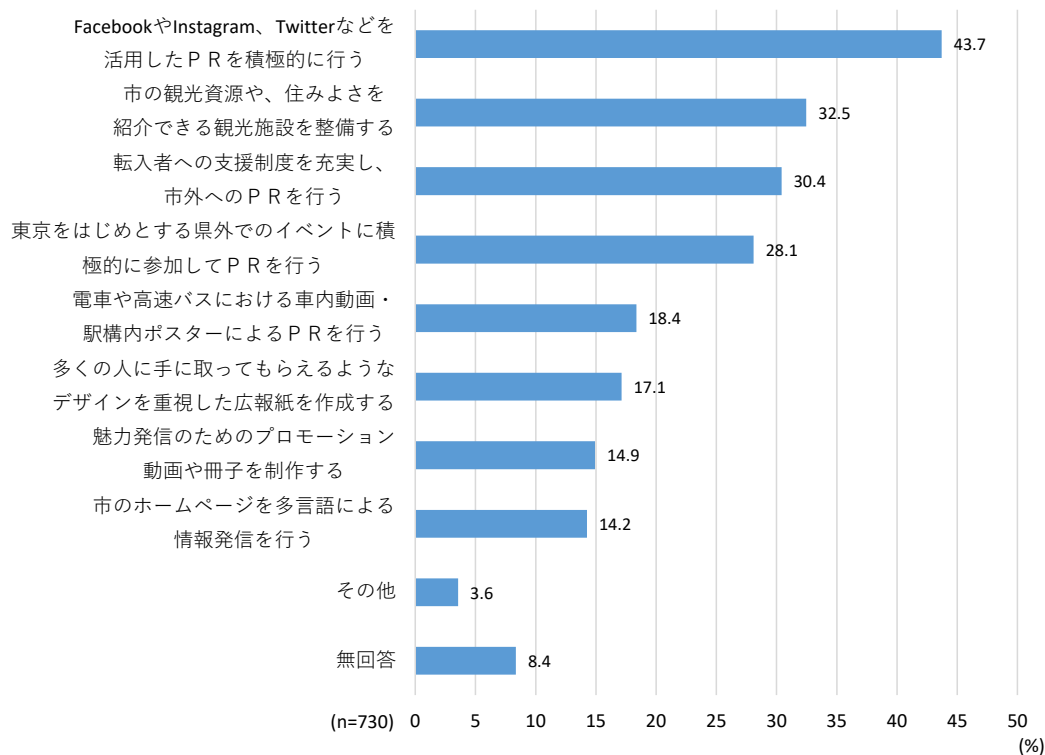
③ 地区別

		全体	市民参加の機会の拡充	地域コミュニティの強化	移住・定住の促進	多世代・多文化交流の推進	国際交流の促進	男女共同参画社会の促進	情報公開の推進	多様な主体との協働の推進
居住地区	全体	730	128	215	264	113	66	65	126	57
		100.0	17.5	29.5	36.2	15.5	9.0	8.9	17.3	7.8
	富浦地区	95	15	31	37	13	8	6	15	3
		100.0	15.8	32.6	38.9	13.7	8.4	6.3	15.8	3.2
	富山地区	103	20	30	30	16	7	14	15	12
		100.0	19.4	29.1	29.1	15.5	6.8	13.6	14.6	11.7
	三芳地区	90	22	19	34	11	11	13	18	9
		100.0	24.4	21.1	37.8	12.2	12.2	14.4	20.0	10.0
	白浜地区	76	12	28	25	13	3	4	11	7
		100.0	15.8	36.8	32.9	17.1	3.9	5.3	14.5	9.2
	千倉地区	172	28	44	62	34	22	11	30	9
		100.0	16.3	25.6	36.0	19.8	12.8	6.4	17.4	5.2
	丸山地区	86	15	29	33	12	6	12	17	4
		100.0	17.4	33.7	38.4	14.0	7.0	14.0	19.8	4.7
	和田地区	98	15	30	39	14	7	5	17	13
		100.0	15.3	30.6	39.8	14.3	7.1	5.1	17.3	13.3

		二地域居住の促進	行政手続きの簡素化・効率化	その他	無回答
居住地区	全体	48	262	4	74
		6.6	35.9	0.5	10.1
	富浦地区	8	31	-	16
		8.4	32.6	-	16.8
	富山地区	8	39	-	11
		7.8	37.9	-	10.7
	三芳地区	4	39	-	4
		4.4	43.3	-	4.4
	白浜地区	5	29	2	6
		6.6	38.2	2.6	7.9
	千倉地区	10	59	-	21
		5.8	34.3	-	12.2
	丸山地区	7	27	-	8
		8.1	31.4	-	9.3
	和田地区	6	34	1	6
		6.1	34.7	1.0	6.1

(5) 市内外への魅力・情報発信について

問1. 南房総市の魅力や情報を市内外に発信する取組みに関して、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)



「Facebook や Instagram、Twitter などを活用したPRを積極的に行う」が 43.7%と最も多く、4割を超えています。次いで、「市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する」、「転入者への支援制度を充実し、市外へのPRを行う」がそれぞれ3割程度の順となっています。

《属性別》

年齢別にみると、50代以下で「FacebookやInstagram、Twitterなどを活用したPRを積極的に行う」が半数以上、60代以上では「市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する」が4割程度と最も多くなっています。

性別にみると、男女で回答傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、「FacebookやInstagram、Twitterなどを活用したPRを積極的に行う」が富山地区では5割程度、白浜地区では4割以下と10ポイント以上差があります。また、丸山地区では「市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する」が25%以下に留まっており、地区によって回答の傾向が異なっています。

第2章 市民アンケート

① 年齢別

		全体	多くの 人に手 取って もらえる ような デザ インを 重視 した 広 報紙 を 作 成 す る	市の ホー ムペ ージ を多 言語 によ る情 報発 信を 行 う	Facebook や Insta gram 、 Twitter など を活 用し たP Rを 積極 的に 行 う	東京を はじ めと する 県外 での イベ ント に積 極的 に参 加し てP Rを 行 う	魅力 発信 のた めの プロ モー ション 動 画や 冊子 を制 作す る	電車 や高 速バ スに おけ る車 内動 画・ 駅構 内ポ スター によ るP Rを 行 う	転入 者へ の支 援制 度を 充実 し、 市外 への PR を行 う	市の 観光 資源 や、 住み よさ を紹 介で きる 観光 施設 を整 備す る	その他	無回答
年 齢	全体	730 100.0	125 17.1	104 14.2	319 43.7	205 28.1	109 14.9	134 18.4	222 30.4	237 32.5	26 3.6	61 8.4
	10代	59 100.0	13 22.0	14 23.7	36 61.0	9 15.3	10 16.9	16 27.1	12 20.3	14 23.7	- -	2 3.4
	20～29歳	71 100.0	14 19.7	9 12.7	43 60.6	20 28.2	7 9.9	19 26.8	21 29.6	14 19.7	2 2.8	3 4.2
	30～39歳	92 100.0	11 12.0	6 6.5	56 60.9	34 37.0	14 15.2	19 20.7	35 38.0	24 26.1	1 1.1	6 6.5
	40～49歳	114 100.0	15 13.2	21 18.4	62 54.4	34 29.8	22 19.3	19 16.7	34 29.8	39 34.2	6 5.3	7 6.1
	50～59歳	91 100.0	15 16.5	11 12.1	47 51.6	29 31.9	14 15.4	14 15.4	26 28.6	32 35.2	5 5.5	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	18 12.7	24 16.9	42 29.6	40 28.2	27 19.0	21 14.8	49 34.5	54 38.0	9 6.3	11 7.7
	70歳以上	157 100.0	38 24.2	17 10.8	31 19.7	39 24.8	15 9.6	24 15.3	45 28.7	57 36.3	3 1.9	31 19.7

② 性別

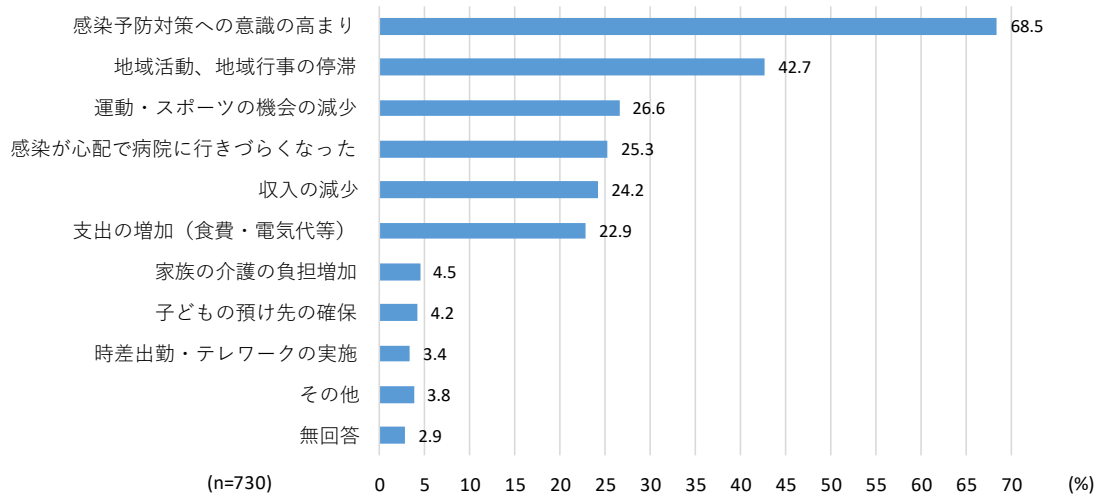
		全体	多くの 人に手 取って もらえる ような デザ インを 重視 した 広 報紙 を 作 成 す る	市の ホー ムペ ージ を多 言語 によ る情 報発 信を 行 う	Facebook や Insta gram 、 Twitter など を活 用し たP Rを 積極 的に 行 う	東京を はじ めと する 県外 での イベ ント に積 極的 に参 加し てP Rを 行 う	魅力 発信 のた めの プロ モー ション 動 画や 冊子 を制 作す る	電車 や高 速バ スに おけ る車 内動 画・ 駅構 内ポ スター によ るP Rを 行 う	転入 者へ の支 援制 度を 充実 し、 市外 への PR を行 う	市の 観光 資源 や、 住み よさ を紹 介で きる 観光 施設 を整 備す る	その他	無回答
性 別	全体	730 100.0	125 17.1	104 14.2	319 43.7	205 28.1	109 14.9	134 18.4	222 30.4	237 32.5	26 3.6	61 8.4
	男性	328 100.0	57 17.4	38 11.6	137 41.8	96 29.3	56 17.1	62 18.9	110 33.5	107 32.6	15 4.6	25 7.6
	女性	385 100.0	67 17.4	61 15.8	176 45.7	107 27.8	50 13.0	70 18.2	108 28.1	124 32.2	10 2.6	35 9.1
	回答しない	12 100.0	- -	4 33.3	4 33.3	2 16.7	2 16.7	- -	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3

③ 地区別

		全体	多くの 人に手 取って もらえる ような デザイン を重視 した広 報紙を 作成す る	市のホ ームペ ージを 多言語 による 情報発 信を行 う	Facebook や Insta gram、 Twitter などを 活用し たPRを 積極的 に行う	東京をは じめと する県 外での イベン トに積 極的に 参加し てPRを 行う	魅力発信 のための プロモ ーション 動画や 冊子を 制作す る	電車や高 速バスに おける車 内動画・ 駅構内ポ スターに よるPR を行う	転入者へ の支援制 度を充実 し、市外 へのPR を行う	市の観光 資源や、 住みよさ を紹介で きる観光 施設を整 備する	その他	無回答
居住地区	全体	730 100.0	125 17.1	104 14.2	319 43.7	205 28.1	109 14.9	134 18.4	222 30.4	237 32.5	26 3.6	61 8.4
	富浦地区	95 100.0	11 11.6	19 20.0	39 41.1	28 29.5	10 10.5	18 18.9	26 27.4	30 31.6	2 2.1	14 14.7
	富山地区	103 100.0	17 16.5	14 13.6	52 50.5	25 24.3	13 12.6	17 16.5	26 25.2	41 39.8	3 2.9	8 7.8
	三芳地区	90 100.0	20 22.2	12 13.3	39 43.3	23 25.6	17 18.9	15 16.7	30 33.3	35 38.9	4 4.4	2 2.2
	白浜地区	76 100.0	11 14.5	9 11.8	29 38.2	26 34.2	8 10.5	17 22.4	27 35.5	24 31.6	2 2.6	6 7.9
	千倉地区	172 100.0	33 19.2	26 15.1	71 41.3	43 25.0	32 18.6	32 18.6	47 27.3	52 30.2	9 5.2	19 11.0
	丸山地区	86 100.0	20 23.3	8 9.3	41 47.7	30 34.9	15 17.4	17 19.8	34 39.5	21 24.4	2 2.3	3 3.5
	和田地区	98 100.0	10 10.2	12 12.2	46 46.9	28 28.6	13 13.3	17 17.3	28 28.6	31 31.6	3 3.1	8 8.2

(6) 新型コロナウイルスに対する影響について

問1. 新型コロナウイルス感染症により、生活にどのような影響が出ていますか。(〇は3つまで)



「感染予防対策への意識の高まり」が68.5%と最も多く、次いで、「地域活動、地域行事の停滞」が4割程度と20ポイント以上離れています。「運動・スポーツの機会の減少」、「感染が心配で病院に行きづらくなった」、「収入の減少」が25%程度の順となっています

《属性別》

年齢別にみると、全ての年代で「感染予防対策への意識の高まり」が6割以上と最も多くなっています。「地域活動、地域行事の停滞」が10代で6割程度、20代から30代で3割程度と年代によって回答の傾向が異なります。

性別にみると、男女で回答傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、全ての地区で「感染予防対策への意識の高まり」が最も多く、丸山地区では8割程度を占めています。一方、白浜地区では「感染が心配で病院に行きづらくなった」、和田地区では「収入の減少」が3割を超えており、地区によって回答の傾向が異なっています。

第2章 市民アンケート

① 年齢別

		全体	感染予防 対策への 意識の高 まり	収入の減 少	感染が心 配で病院 に行きづ らくなっ た	支出の増 加（食 費・電気 代等）	運動・ス ポーツの 機会の減 少	時差出 勤・テレ ワークの 実施	地域活 動、地域 行事の停 滞	家族の介 護の負担 増加	子どもの 預け先の 確保	その他	無回答
年 齢	全体	730 100.0	500 68.5	177 24.2	185 25.3	167 22.9	194 26.6	25 3.4	312 42.7	33 4.5	31 4.2	28 3.8	21 2.9
	10代	59 100.0	37 62.7	9 15.3	10 16.9	15 25.4	28 47.5	2 3.4	35 59.3	1 1.7	2 3.4	2 3.4	1 1.7
	20～29歳	71 100.0	48 67.6	19 26.8	18 25.4	18 25.4	24 33.8	4 5.6	20 28.2	5 7.0	2 2.8	2 2.8	2 2.8
	30～39歳	92 100.0	59 64.1	22 23.9	11 12.0	24 26.1	33 35.9	6 6.5	26 28.3	3 3.3	10 10.9	8 8.7	7 7.6
	40～49歳	114 100.0	87 76.3	20 17.5	23 20.2	31 27.2	36 31.6	7 6.1	50 43.9	3 2.6	8 7.0	2 1.8	4 3.5
	50～59歳	91 100.0	63 69.2	29 31.9	20 22.0	17 18.7	21 23.1	4 4.4	39 42.9	8 8.8	2 2.2	4 4.4	-
	60～69歳	142 100.0	92 64.8	49 34.5	44 31.0	29 20.4	26 18.3	2 1.4	68 47.9	5 3.5	6 4.2	7 4.9	-
	70歳以上	157 100.0	112 71.3	27 17.2	58 36.9	31 19.7	25 15.9	-	72 45.9	7 4.5	1 0.6	3 1.9	7 4.5

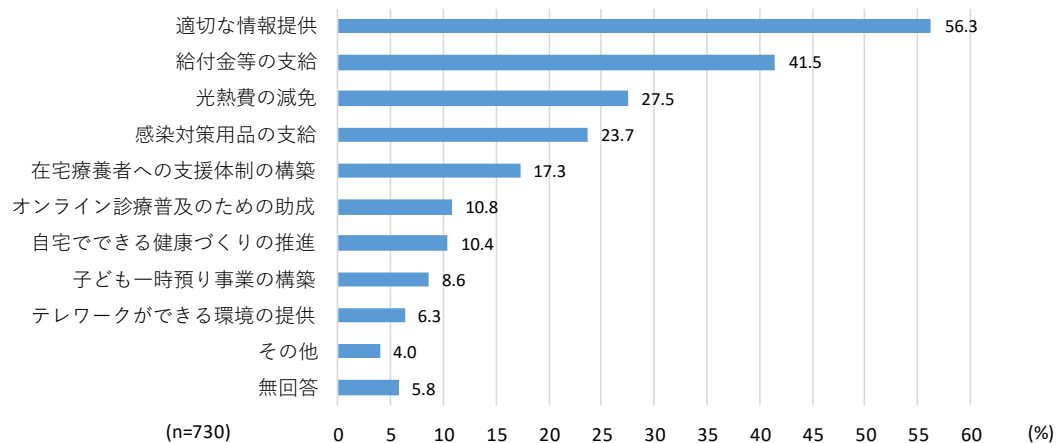
② 性別

		全体	感染予防 対策への 意識の高 まり	収入の減 少	感染が心 配で病院 に行きづ らくなっ た	支出の増 加（食 費・電気 代等）	運動・ス ポーツの 機会の減 少	時差出 勤・テレ ワークの 実施	地域活 動、地域 行事の停 滞	家族の介 護の負担 増加	子どもの 預け先の 確保	その他	無回答
性 別	全体	730 100.0	500 68.5	177 24.2	185 25.3	167 22.9	194 26.6	25 3.4	312 42.7	33 4.5	31 4.2	28 3.8	21 2.9
	男性	328 100.0	215 65.5	87 26.5	77 23.5	76 23.2	85 25.9	13 4.0	153 46.6	18 5.5	12 3.7	12 3.7	10 3.0
	女性	385 100.0	274 71.2	87 22.6	101 26.2	88 22.9	105 27.3	12 3.1	155 40.3	15 3.9	18 4.7	15 3.9	9 2.3
	回答しない	12 100.0	7 58.3	1 8.3	4 33.3	2 16.7	4 33.3	-	2 16.7	-	1 8.3	1 8.3	2 16.7

③ 地区別

		全体	感染予防 対策への 意識の高 まり	収入の減 少	感染が心 配で病院 に行きづ らくなっ た	支出の増 加（食 費・電気 代等）	運動・ス ポーツの 機会の減 少	時差出 勤・テレ ワークの 実施	地域活 動、地域 行事の停 滞	家族の介 護の負担 増加	子どもの 預け先の 確保	その他	無回答
居 住 地 区	全体	730 100.0	500 68.5	177 24.2	185 25.3	167 22.9	194 26.6	25 3.4	312 42.7	33 4.5	31 4.2	28 3.8	21 2.9
	富浦地区	95 100.0	61 64.2	27 28.4	25 26.3	19 20.0	26 27.4	4 4.2	38 40.0	2 2.1	1 1.1	3 3.2	5 5.3
	富山地区	103 100.0	68 66.0	19 18.4	20 19.4	24 23.3	30 29.1	3 2.9	49 47.6	5 4.9	6 5.8	4 3.9	3 2.9
	三芳地区	90 100.0	61 67.8	18 20.0	22 24.4	26 28.9	22 24.4	6 6.7	40 44.4	5 5.6	5 5.6	6 6.7	-
	白浜地区	76 100.0	57 75.0	16 21.1	27 35.5	15 19.7	18 23.7	1 1.3	34 44.7	3 3.9	3 3.9	4 5.3	2 2.6
	千倉地区	172 100.0	111 64.5	48 27.9	41 23.8	42 24.4	49 28.5	6 3.5	67 39.0	10 5.8	9 5.2	3 1.7	9 5.2
	丸山地区	86 100.0	68 79.1	15 17.4	24 27.9	20 23.3	22 25.6	2 2.3	37 43.0	2 2.3	4 4.7	4 4.7	1 1.2
	和田地区	98 100.0	66 67.3	33 33.7	23 23.5	19 19.4	23 23.5	3 3.1	43 43.9	5 5.1	3 3.1	3 3.1	-

問2. 問1で回答していただいた選択肢を踏まえて、行政からどのような対策や支援がある
とよいでしょうか。(〇は3つまで)



「適切な情報提供」が56.3%、「給付金等の支給」が41.5%と4割を超えています。次いで、「光熱費の減免」が3割程度、「感染対策用品の支給」が2割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、30代以下で「給付金等の支給」、40代以上で「適切な情報提供」が最も多くなり、70歳以上で7割以上を占めています。

性別にみると、男女で回答傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、全ての地区で「適切な情報提供」が、5割程度を占めています。一方、三芳地区では、「給付金等の支給」が5割を超えており、最も多くなっています。富山地区・三芳地区では「感染対策用品の支給」、三芳地区・千倉地区・丸山地区では「光熱費の減免」が3割程度を占めており、地区によって回答の傾向が異なります。

第2章 市民アンケート

① 年齢別

		全体	適切な情報提供	給付金等の支給	オンライン診療普及のための助成	光熱費の減免	自宅でできる健康づくりの推進	テレワークができる環境の提供	感染対策用品の支給	在宅療養者への支援体制の構築	子ども一時預り事業の構築	その他	無回答
年齢	全体	730 100.0	411 56.3	303 41.5	79 10.8	201 27.5	76 10.4	46 6.3	173 23.7	126 17.3	63 8.6	29 4.0	42 5.8
	10代	59 100.0	22 37.3	30 50.8	9 15.3	17 28.8	6 10.2	5 8.5	13 22.0	7 11.9	3 5.1	4 6.8	3 5.1
	20～29歳	71 100.0	34 47.9	40 56.3	4 5.6	24 33.8	7 9.9	5 7.0	23 32.4	7 9.9	6 8.5	2 2.8	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	34 37.0	43 46.7	13 14.1	29 31.5	5 5.4	17 18.5	19 20.7	12 13.0	16 17.4	6 6.5	8 8.7
	40～49歳	114 100.0	60 52.6	57 50.0	21 18.4	40 35.1	12 10.5	7 6.1	25 21.9	16 14.0	16 14.0	3 2.6	5 4.4
	50～59歳	91 100.0	57 62.6	33 36.3	8 8.8	29 31.9	3 3.3	5 5.5	16 17.6	20 22.0	4 4.4	3 3.3	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	91 64.1	51 35.9	17 12.0	32 22.5	14 9.9	5 3.5	32 22.5	29 20.4	13 9.2	9 6.3	7 4.9
	70歳以上	157 100.0	113 72.0	45 28.7	7 4.5	27 17.2	29 18.5	2 1.3	43 27.4	34 21.7	5 3.2	2 1.3	14 8.9

② 性別

		全体	適切な情報提供	給付金等の支給	オンライン診療普及のための助成	光熱費の減免	自宅でできる健康づくりの推進	テレワークができる環境の提供	感染対策用品の支給	在宅療養者への支援体制の構築	子ども一時預り事業の構築	その他	無回答
性別	全体	730 100.0	411 56.3	303 41.5	79 10.8	201 27.5	76 10.4	46 6.3	173 23.7	126 17.3	63 8.6	29 4.0	42 5.8
	男性	328 100.0	186 56.7	142 43.3	33 10.1	99 30.2	31 9.5	19 5.8	84 25.6	54 16.5	23 7.0	20 6.1	21 6.4
	女性	385 100.0	221 57.4	154 40.0	40 10.4	99 25.7	43 11.2	25 6.5	86 22.3	69 17.9	39 10.1	7 1.8	19 4.9
	回答しない	12 100.0	2 16.7	4 33.3	5 41.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	2 16.7

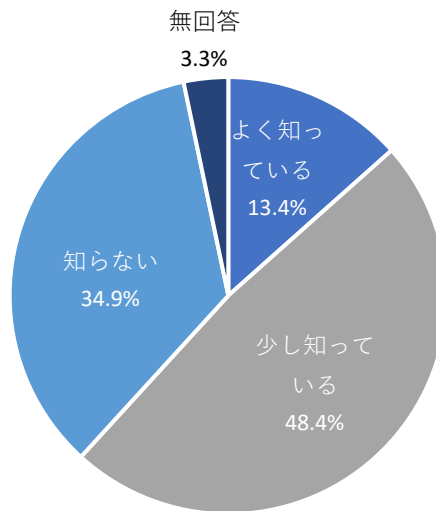
③ 地区別

		全体	適切な情報提供	給付金等の支給	オンライン診療普及のための助成	光熱費の減免	自宅でできる健康づくりの推進	テレワークができる環境の提供	感染対策用品の支給	在宅療養者への支援体制の構築	子ども一時預り事業の構築	その他	無回答
居住地区	全体	730 100.0	411 56.3	303 41.5	79 10.8	201 27.5	76 10.4	46 6.3	173 23.7	126 17.3	63 8.6	29 4.0	42 5.8
	富浦地区	95 100.0	47 49.5	36 37.9	13 13.7	27 28.4	18 18.9	5 5.3	17 17.9	18 18.9	7 7.4	1 1.1	9 9.5
	富山地区	103 100.0	52 50.5	39 37.9	18 17.5	20 19.4	13 12.6	5 4.9	30 29.1	16 15.5	12 11.7	6 5.8	7 6.8
	三芳地区	90 100.0	46 51.1	47 52.2	11 12.2	29 32.2	12 13.3	7 7.8	28 31.1	17 18.9	6 6.7	4 4.4	1 1.1
	白浜地区	76 100.0	45 59.2	28 36.8	7 9.2	18 23.7	7 9.2	6 7.9	20 26.3	9 11.8	3 3.9	2 2.6	6 7.9
	千倉地区	172 100.0	94 54.7	74 43.0	15 8.7	53 30.8	10 5.8	13 7.6	39 22.7	32 18.6	23 13.4	3 1.7	12 7.0
	丸山地区	86 100.0	54 62.8	36 41.9	6 7.0	27 31.4	8 9.3	3 3.5	21 24.4	15 17.4	6 7.0	5 5.8	4 4.7
	和田地区	98 100.0	68 69.4	41 41.8	8 8.2	25 25.5	6 6.1	6 6.1	16 16.3	17 17.3	5 5.1	6 6.1	2 2.0

(7) カーボンニュートラルについて

問1.「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか。

(n=730)



「少し知っている」が48.4%と最も多く、次いで、「知らない」が34.9%の順となっており、「よく知っている」は1割程度に留まっています。

《属性別》

年齢別にみると、30代以下で「知らない」が45%程度、40代以上で「少し知っている」が半数以上と最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「少し知っている」が5割程度と最も多くなっています。一方、男性では「よく知っている」が2割程度、女性では「知らない」が4割程度を占めており、それぞれ10ポイント以上の差があります。

地区別にみると、富山地区を除く全ての地区で「少し知っている」が、5割程度を占めています。富山地区では「よく知っている」が2割程度、一方、白浜地区では「知らない」が4割程度と地区によって回答の傾向が異なっています。

① 年齢別

		全体	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
年齢	全体	730 100.0	98 13.4	353 48.4	255 34.9	24 3.3
	10代	59 100.0	11 18.6	20 33.9	28 47.5	- -
	20～29歳	71 100.0	7 9.9	27 38.0	34 47.9	3 4.2
	30～39歳	92 100.0	10 10.9	37 40.2	41 44.6	4 4.3
	40～49歳	114 100.0	14 12.3	58 50.9	39 34.2	3 2.6
	50～59歳	91 100.0	14 15.4	56 61.5	20 22.0	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	27 19.0	74 52.1	37 26.1	4 2.8
	70歳以上	157 100.0	15 9.6	79 50.3	54 34.4	9 5.7

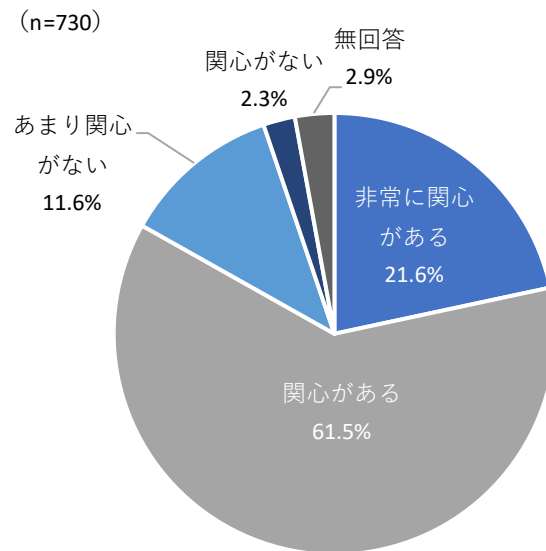
② 性別

		全体	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
性別	全体	730 100.0	98 13.4	353 48.4	255 34.9	24 3.3
	男性	328 100.0	63 19.2	164 50.0	88 26.8	13 4.0
	女性	385 100.0	33 8.6	180 46.8	161 41.8	11 2.9
	回答しない	12 100.0	1 8.3	8 66.7	3 25.0	- -

③ 地区別

		全体	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	98 13.4	353 48.4	255 34.9	24 3.3
	富浦地区	95 100.0	14 14.7	45 47.4	32 33.7	4 4.2
	富山地区	103 100.0	21 20.4	43 41.7	34 33.0	5 4.9
	三芳地区	90 100.0	13 14.4	48 53.3	28 31.1	1 1.1
	白浜地区	76 100.0	7 9.2	37 48.7	31 40.8	1 1.3
	千倉地区	172 100.0	19 11.0	83 48.3	60 34.9	10 5.8
	丸山地区	86 100.0	9 10.5	44 51.2	31 36.0	2 2.3
	和田地区	98 100.0	14 14.3	46 46.9	37 37.8	1 1.0

問2. 地球温暖化問題について、関心がありますか。



「非常に興味がある」、「興味がある」と答えた方が8割を超えており、「あまり興味がない」、「関心がない」が1割程度となっています。

《属性別》

年齢別にみると、全ての年代で「興味がある」が最も多くなっており、一方、40代以上で「非常に興味がある」、20代から30代で「あまり興味がない」が2割程度を占めています。

性別にみると、男女ともに「興味がある」が6割を超えています。

地区別にみると、全ての地区で「興味がある」が6割程度を占めています。富浦地区・富山地区・和田地区では「非常に興味がある」が25%程度、それ以外の地区では2割以下に留まっています。

① 年齢別

		全体	非常に 関心がある	関心がある	あまり関 心がない	関心がない	無回答
年齢	全体	730 100.0	158 21.6	449 61.5	85 11.6	17 2.3	21 2.9
	10代	59 100.0	10 16.9	40 67.8	8 13.6	1 1.7	- -
	20～29歳	71 100.0	7 9.9	43 60.6	13 18.3	5 7.0	3 4.2
	30～39歳	92 100.0	13 14.1	52 56.5	18 19.6	5 5.4	4 4.3
	40～49歳	114 100.0	25 21.9	76 66.7	8 7.0	2 1.8	3 2.6
	50～59歳	91 100.0	23 25.3	61 67.0	6 6.6	- -	1 1.1
	60～69歳	142 100.0	39 27.5	79 55.6	19 13.4	2 1.4	3 2.1
	70歳以上	157 100.0	41 26.1	94 59.9	13 8.3	2 1.3	7 4.5

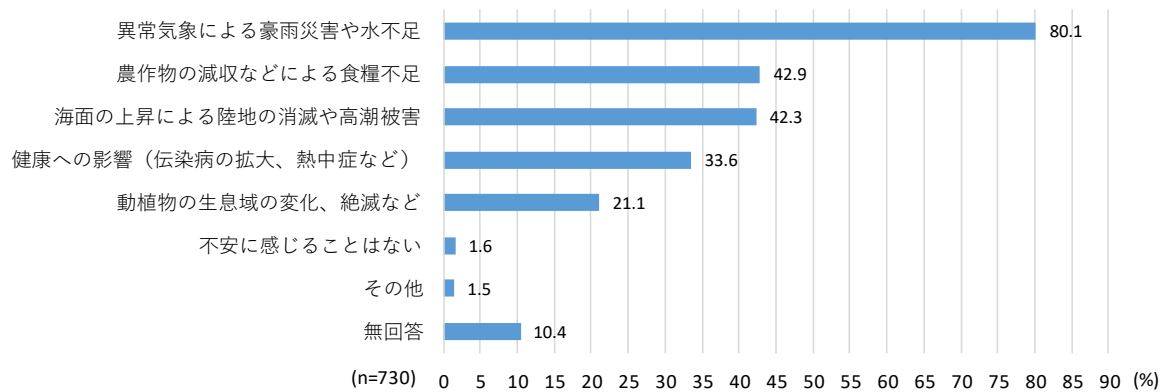
② 性別

		全体	非常に 関心がある	関心がある	あまり関 心がない	関心がない	無回答
性別	全体	730 100.0	158 21.6	449 61.5	85 11.6	17 2.3	21 2.9
	男性	328 100.0	77 23.5	198 60.4	33 10.1	11 3.4	9 2.7
	女性	385 100.0	77 20.0	241 62.6	50 13.0	5 1.3	12 3.1
	回答しない	12 100.0	3 25.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	- -

③ 地区別

		全体	非常に 関心がある	関心がある	あまり関 心がない	関心がない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	158 21.6	449 61.5	85 11.6	17 2.3	21 2.9
	富浦地区	95 100.0	23 24.2	56 58.9	12 12.6	- -	4 4.2
	富山地区	103 100.0	28 27.2	58 56.3	8 7.8	4 3.9	5 4.9
	三芳地区	90 100.0	17 18.9	59 65.6	12 13.3	2 2.2	- -
	白浜地区	76 100.0	14 18.4	49 64.5	10 13.2	2 2.6	1 1.3
	千倉地区	172 100.0	33 19.2	105 61.0	21 12.2	4 2.3	9 5.2
	丸山地区	86 100.0	15 17.4	59 68.6	8 9.3	3 3.5	1 1.2
	和田地区	98 100.0	23 23.5	59 60.2	13 13.3	2 2.0	1 1.0

問3. 地球温暖化の影響で、不安に感じることがありますか。(〇は3つまで)



「異常気象による豪雨災害や水不足」が80.1%と最も多く、次いで「農作物の減収などによる食糧不足」、「海面の上昇による陸地の消滅や高潮被害」が4割程度の順となっています

《属性別》

年齢別にみると、全ての年代で「異常気象による豪雨災害や水不足」が最も多くなっており、8割程度を占めております。一方、70歳以上で「健康への影響 (伝染病の拡大、熱中症など)」が4割を超えています。

性別にみると、男女ともに「異常気象による豪雨災害や水不足」が最も多くなっています。女性では「健康への影響 (伝染病の拡大、熱中症など)」が4割程度を占めており、と男女で10ポイント以上の差があります。

地区別にみると、富浦地区・白浜地区・千倉地区で「海面の上昇による陸地の消滅や高潮被害」、三芳地区で「農作物の減収などによる食糧不足」が5割程度を占めており、地区によって回答傾向が異なります。

① 年齢別

		全体	海面の上昇による陸地の消滅や高潮被害	異常気象による豪雨災害や水不足	動植物の生息域の変化、絶滅など	農作物の減収などによる食糧不足	健康への影響（伝染病の拡大、熱中症など）	不安に感じることはない	その他	無回答
年齢	全体	730 100.0	309 42.3	585 80.1	154 21.1	313 42.9	245 33.6	12 1.6	11 1.5	76 10.4
	10代	59 100.0	28 47.5	51 86.4	13 22.0	26 44.1	21 35.6	- -	1 1.7	- -
	20～29歳	71 100.0	30 42.3	56 78.9	10 14.1	29 40.8	21 29.6	2 2.8	- -	8 11.3
	30～39歳	92 100.0	49 53.3	71 77.2	19 20.7	39 42.4	27 29.3	5 5.4	2 2.2	10 10.9
	40～49歳	114 100.0	56 49.1	94 82.5	32 28.1	46 40.4	40 35.1	1 0.9	2 1.8	12 10.5
	50～59歳	91 100.0	36 39.6	72 79.1	22 24.2	38 41.8	21 23.1	1 1.1	2 2.2	11 12.1
	60～69歳	142 100.0	49 34.5	115 81.0	29 20.4	70 49.3	47 33.1	1 0.7	2 1.4	17 12.0
	70歳以上	157 100.0	59 37.6	125 79.6	29 18.5	64 40.8	67 42.7	1 0.6	2 1.3	17 10.8

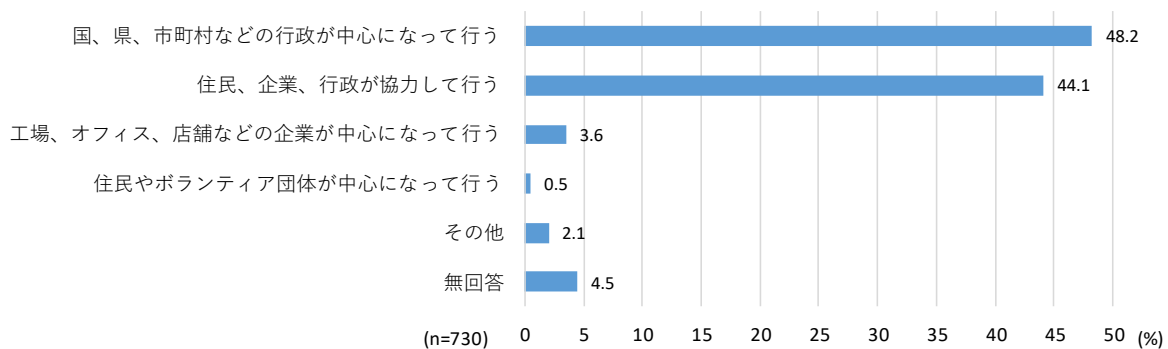
② 性別

		全体	海面の上昇による陸地の消滅や高潮被害	異常気象による豪雨災害や水不足	動植物の生息域の変化、絶滅など	農作物の減収などによる食糧不足	健康への影響（伝染病の拡大、熱中症など）	不安に感じることはない	その他	無回答
性別	全体	730 100.0	309 42.3	585 80.1	154 21.1	313 42.9	245 33.6	12 1.6	11 1.5	76 10.4
	男性	328 100.0	134 40.9	251 76.5	79 24.1	130 39.6	92 28.0	9 2.7	9 2.7	37 11.3
	女性	385 100.0	167 43.4	320 83.1	69 17.9	174 45.2	150 39.0	2 0.5	2 0.5	37 9.6
	回答しない	12 100.0	6 50.0	9 75.0	4 33.3	5 41.7	2 16.7	1 8.3	- -	2 16.7

③ 地区別

		全体	海面の上 昇による 陸地の消 滅や高潮 被害	異常気象 による豪 雨災害や 水不足	動植物の 生息域の 変化、絶 滅など	農作物の 減収など による食 糧不足	健康への 影響（伝 染病の拡 大、熱中 症など）	不安に感 じること はない	その他	無回答
居住地区	全体	730 100.0	309 42.3	585 80.1	154 21.1	313 42.9	245 33.6	12 1.6	11 1.5	76 10.4
	富浦地区	95 100.0	50 52.6	78 82.1	9 9.5	43 45.3	31 32.6	- -	1 1.1	10 10.5
	富山地区	103 100.0	40 38.8	78 75.7	20 19.4	48 46.6	36 35.0	2 1.9	- -	13 12.6
	三芳地区	90 100.0	29 32.2	76 84.4	22 24.4	47 52.2	29 32.2	3 3.3	2 2.2	5 5.6
	白浜地区	76 100.0	37 48.7	61 80.3	15 19.7	29 38.2	29 38.2	2 2.6	2 2.6	8 10.5
	千倉地区	172 100.0	81 47.1	135 78.5	43 25.0	63 36.6	59 34.3	1 0.6	1 0.6	18 10.5
	丸山地区	86 100.0	22 25.6	67 77.9	19 22.1	39 45.3	28 32.6	2 2.3	- -	15 17.4
	和田地区	98 100.0	43 43.9	83 84.7	22 22.4	41 41.8	30 30.6	2 2.0	5 5.1	5 5.1

問4. 地球温暖化防止に向けて、誰が中心になって進めていく必要があると考えますか。



「国、県、市町村などの行政が中心になって行う」が48.2%、「住民、企業、行政が協力して行う」が44.1%となっており、「工場、オフィス、店舗などの企業が中心になって行う」、「住民やボランティア団体が中心になって行う」は1割未満に留まっています。

《属性別》

年齢別にみると、30代以下、60代以上で「国、県、市町村などの行政が中心になって行う」、40代から50代では「住民、企業、行政が協力して行う」が最も多く5割程度を占めております。
性別・地区別で回答の傾向に大きな違いはありません。

① 年齢別

		全体	住民、企業、行政が協力して行う	国、県、市町村などの行政が中心になって行う	工場、オフィス、店舗などの企業が中心になって行う	住民やボランティア団体が中心になって行う	その他	無回答
年齢	全体	730 100.0	322 44.1	352 48.2	26 3.6	4 0.5	15 2.1	33 4.5
	10代	59 100.0	25 42.4	31 52.5	1 1.7	- -	1 1.7	1 1.7
	20～29歳	71 100.0	31 43.7	33 46.5	1 1.4	2 2.8	- -	5 7.0
	30～39歳	92 100.0	34 37.0	44 47.8	6 6.5	- -	1 1.1	7 7.6
	40～49歳	114 100.0	56 49.1	52 45.6	5 4.4	- -	3 2.6	3 2.6
	50～59歳	91 100.0	44 48.4	37 40.7	4 4.4	1 1.1	5 5.5	4 4.4
	60～69歳	142 100.0	66 46.5	70 49.3	5 3.5	- -	2 1.4	3 2.1
	70歳以上	157 100.0	65 41.4	83 52.9	4 2.5	1 0.6	3 1.9	9 5.7

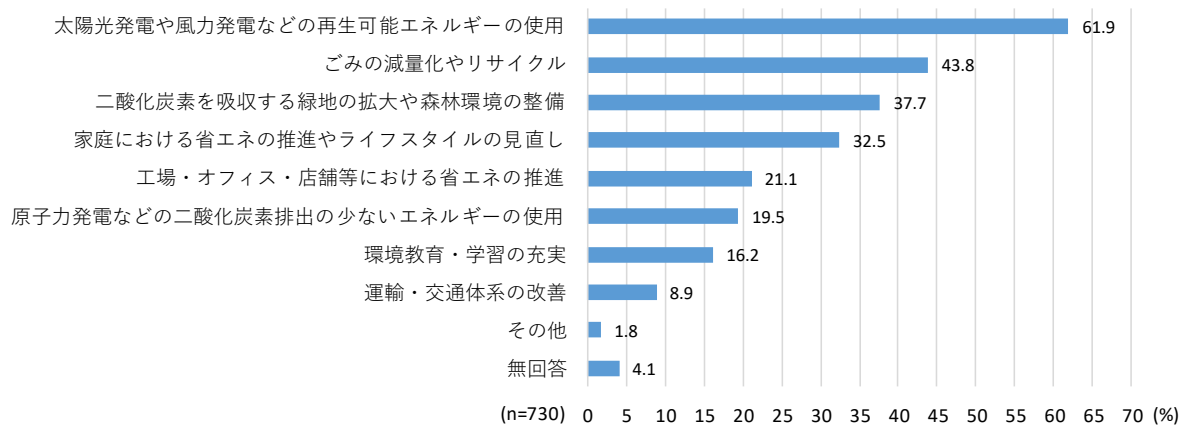
② 性別

		全体	住民、企業、行政が協力して行う	国、県、市町村などの行政が中心になって行う	工場、オフィス、店舗などの企業が中心になって行う	住民やボランティア団体が中心になって行う	その他	無回答
性別	全体	730 100.0	322 44.1	352 48.2	26 3.6	4 0.5	15 2.1	33 4.5
	男性	328 100.0	136 41.5	160 48.8	12 3.7	3 0.9	11 3.4	13 4.0
	女性	385 100.0	177 46.0	186 48.3	14 3.6	1 0.3	3 0.8	18 4.7
	回答しない	12 100.0	6 50.0	4 33.3	- -	- -	1 8.3	2 16.7

③ 地区別

		全体	住民、企業、行政が協力して行う	国、県、市町村などの行政が中心になって行う	工場、オフィス、店舗などの企業が中心になって行う	住民やボランティア団体が中心になって行う	その他	無回答
居住地区	全体	730 100.0	322 44.1	352 48.2	26 3.6	4 0.5	15 2.1	33 4.5
	富浦地区	95 100.0	44 46.3	52 54.7	3 3.2	-	-	3 3.2
	富山地区	103 100.0	44 42.7	48 46.6	3 2.9	-	4 3.9	4 3.9
	三芳地区	90 100.0	41 45.6	44 48.9	5 5.6	-	2 2.2	2 2.2
	白浜地区	76 100.0	30 39.5	40 52.6	2 2.6	-	2 2.6	5 6.6
	千倉地区	172 100.0	77 44.8	77 44.8	3 1.7	1 0.6	4 2.3	11 6.4
	丸山地区	86 100.0	41 47.7	42 48.8	5 5.8	-	-	3 3.5
	和田地区	98 100.0	39 39.8	45 45.9	5 5.1	3 3.1	3 3.1	4 4.1

問5. 地球温暖化防止に向け、どんな取組が必要であると考えますか。(〇は3つまで)



「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの使用」が61.9%と最も多く、次いで、「ごみの減量化やリサイクル」、「二酸化炭素を吸収する緑地の拡大や森林環境の整備」が4割程度を占めています。

《属性別》

年齢別にみると、全ての年代で「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの使用」が最も多くなっており、10代では7割以上を占めています。

性別にみると、男女ともに「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの使用」が最も多くなっています。女性では「ごみの減量化やリサイクル」が5割程度を占めており、男女で10ポイント以上の差があります。

地区別では、回答傾向に大きな違いはありません。

① 年齢別

		全体	太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの使用	原子力発電などの二酸化炭素排出の少ないエネルギーの使用	家庭における省エネの推進やライフスタイルの見直し	工場・オフィス・店舗等における省エネの推進	運輸・交通体系の改善	ごみの減量化やリサイクル	二酸化炭素を吸収する緑地の拡大や森林環境の整備	環境教育・学習の充実	その他	無回答
年齢	全体	730 100.0	452 61.9	142 19.5	237 32.5	154 21.1	65 8.9	320 43.8	275 37.7	118 16.2	13 1.8	30 4.1
	10代	59 100.0	44 74.6	16 27.1	13 22.0	16 27.1	3 5.1	19 32.2	27 45.8	10 16.9	-	1 1.7
	20～29歳	71 100.0	41 57.7	19 26.8	17 23.9	13 18.3	7 9.9	28 39.4	28 39.4	6 8.5	2 2.8	4 5.6
	30～39歳	92 100.0	51 55.4	22 23.9	29 31.5	20 21.7	9 9.8	41 44.6	30 32.6	18 19.6	-	6 6.5
	40～49歳	114 100.0	65 57.0	22 19.3	37 32.5	25 21.9	12 10.5	52 45.6	46 40.4	21 18.4	2 1.8	4 3.5
	50～59歳	91 100.0	61 67.0	13 14.3	29 31.9	19 20.9	5 5.5	39 42.9	37 40.7	18 19.8	3 3.3	4 4.4
	60～69歳	142 100.0	91 64.1	23 16.2	48 33.8	28 19.7	14 9.9	63 44.4	57 40.1	24 16.9	4 2.8	2 1.4
	70歳以上	157 100.0	96 61.1	27 17.2	62 39.5	32 20.4	14 8.9	77 49.0	50 31.8	19 12.1	2 1.3	9 5.7

② 性別

		全体	太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの使用	原子力発電などの二酸化炭素排出の少ないエネルギーの使用	家庭における省エネの推進やライフスタイルの見直し	工場・オフィス・店舗等における省エネの推進	運輸・交通体系の改善	ごみの減量化やリサイクル	二酸化炭素を吸収する緑地の拡大や森林環境の整備	環境教育・学習の充実	その他	無回答
性別	全体	730 100.0	452 61.9	142 19.5	237 32.5	154 21.1	65 8.9	320 43.8	275 37.7	118 16.2	13 1.8	30 4.1
	男性	328 100.0	207 63.1	77 23.5	99 30.2	63 19.2	35 10.7	126 38.4	126 38.4	47 14.3	11 3.4	12 3.7
	女性	385 100.0	237 61.6	61 15.8	135 35.1	88 22.9	26 6.8	186 48.3	144 37.4	69 17.9	1 0.3	17 4.4
	回答しない	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	3 25.0	2 16.7	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3

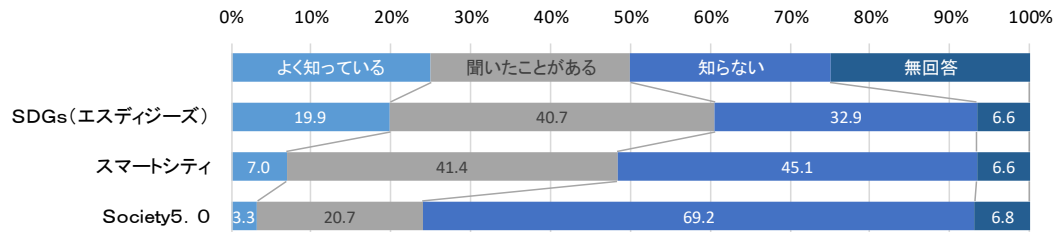
③ 地区別

		全体	太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの使用	原子力発電などの二酸化炭素排出の少ないエネルギーの使用	家庭における省エネの推進やライフスタイルの見直し	工場・オフィス・店舗等における省エネの推進	運輸・交通体系の改善	ごみの減量化やリサイクル	二酸化炭素を吸収する緑地の拡大や森林環境の整備	環境教育・学習の充実	その他	無回答
居住地区	全体	730 100.0	452 61.9	142 19.5	237 32.5	154 21.1	65 8.9	320 43.8	275 37.7	118 16.2	13 1.8	30 4.1
	富浦地区	95 100.0	63 66.3	15 15.8	36 37.9	12 12.6	11 11.6	38 40.0	40 42.1	18 18.9	1 1.1	5 5.3
	富山地区	103 100.0	57 55.3	16 15.5	40 38.8	17 16.5	12 11.7	46 44.7	36 35.0	27 26.2	2 1.9	5 4.9
	三芳地区	90 100.0	60 66.7	29 32.2	31 34.4	23 25.6	8 8.9	36 40.0	31 34.4	11 12.2	3 3.3	-
	白浜地区	76 100.0	45 59.2	17 22.4	23 30.3	15 19.7	5 6.6	40 52.6	27 35.5	11 14.5	2 2.6	3 3.9
	千倉地区	172 100.0	103 59.9	25 14.5	51 29.7	42 24.4	16 9.3	72 41.9	66 38.4	26 15.1	1 0.6	11 6.4
	丸山地区	86 100.0	56 65.1	23 26.7	23 26.7	23 26.7	7 8.1	44 51.2	33 38.4	8 9.3	1 1.2	2 2.3
	和田地区	98 100.0	61 62.2	15 15.3	31 31.6	21 21.4	5 5.1	40 40.8	39 39.8	14 14.3	2 2.0	3 3.1

(8) 「新しい時代の流れ」について

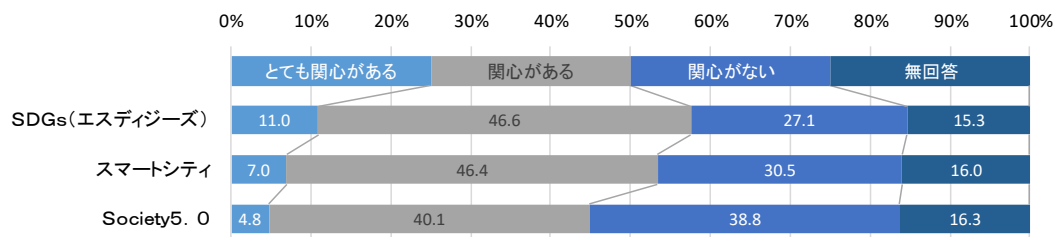
問1. 南房総市では、今後のまちづくりに「新しい時代の流れ」を盛り込んでいきたいと考えています。以下の用語について、「認知度」と「関心度」をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください

【認知度】



「SDGs」では6割以上、「スマートシティ」では半数程度が「よく知っている」、「聞いたことがある」と回答したのに対し、「Society5.0」は7割程度が「知らない」と回答しています。

【関心度】



「SDGs」、「スマートシティ」について5割以上が「とても関心がある」、「関心がある」と回答しているのに対し、「Society5.0」については、4割程度が「関心が無い」と回答しています。

《属性別》

1. SDGs

年齢別にみると、認知度について10代では「よく知っている」が5割程度と最も多く、20代から60代では2割程度に留まっています。一方、70歳以上で「知らない」が4割を超えています。関心度について年代によって回答傾向の大きな違いはありません。

性別にみると、認知度・関心度について回答傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、認知度について富山地区・三芳地区で「よく知っている」が25%程度に対し、富浦地区では1割程度に留まっています。一方、丸山地区では「知らない」が4割を超えており、地区によって回答傾向が異なっています。関心度について白浜地区を除く全ての地区で「関心がある」が最も多く4割以上となっています。

① 年齢別

【認知度】

		全体	よく知 ている	聞いたこ とがある	知らない	無回答
年 齢	全体	730 100.0	145 19.9	297 40.7	240 32.9	48 6.6
	10代	59 100.0	28 47.5	17 28.8	13 22.0	1 1.7
	20～29歳	71 100.0	15 21.1	26 36.6	27 38.0	3 4.2
	30～39歳	92 100.0	13 14.1	40 43.5	34 37.0	5 5.4
	40～49歳	114 100.0	26 22.8	58 50.9	24 21.1	6 5.3
	50～59歳	91 100.0	24 26.4	37 40.7	26 28.6	4 4.4
	60～69歳	142 100.0	30 21.1	60 42.3	43 30.3	9 6.3
	70歳以上	157 100.0	9 5.7	58 36.9	71 45.2	19 12.1

【関心度】

		全体	とても関 心がある	関心があ る	関心がな い	無回答
年 齢	全体	730 100.0	80 11.0	340 46.6	198 27.1	112 15.3
	10代	59 100.0	10 16.9	30 50.8	11 18.6	8 13.6
	20～29歳	71 100.0	4 5.6	31 43.7	26 36.6	10 14.1
	30～39歳	92 100.0	8 8.7	44 47.8	29 31.5	11 12.0
	40～49歳	114 100.0	17 14.9	61 53.5	23 20.2	13 11.4
	50～59歳	91 100.0	9 9.9	46 50.5	27 29.7	9 9.9
	60～69歳	142 100.0	18 12.7	67 47.2	34 23.9	23 16.2
	70歳以上	157 100.0	14 8.9	61 38.9	47 29.9	35 22.3

② 性別

【認知度】

		全体	よく知 ている	聞いたこ とがある	知らない	無回答
性 別	全体	730 100.0	145 19.9	297 40.7	240 32.9	48 6.6
	男性	328 100.0	68 20.7	136 41.5	102 31.1	22 6.7
	女性	385 100.0	72 18.7	154 40.0	133 34.5	26 6.8
	回答しない	12 100.0	4 33.3	5 41.7	3 25.0	- -

【関心度】

		全体	とても関 心がある	関心があ る	関心がな い	無回答
性別	全体	730 100.0	80 11.0	340 46.6	198 27.1	112 15.3
	男性	328 100.0	33 10.1	152 46.3	90 27.4	53 16.2
	女性	385 100.0	44 11.4	183 47.5	102 26.5	56 14.5
	回答しない	12 100.0	2 16.7	4 33.3	6 50.0	- -

③ 地区別

【認知度】

		全体	よく知っ ている	聞いたこ とがある	知らない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	145 19.9	297 40.7	240 32.9	48 6.6
	富浦地区	95 100.0	11 11.6	47 49.5	31 32.6	6 6.3
	富山地区	103 100.0	25 24.3	32 31.1	32 31.1	14 13.6
	三芳地区	90 100.0	24 26.7	39 43.3	23 25.6	4 4.4
	白浜地区	76 100.0	15 19.7	31 40.8	27 35.5	3 3.9
	千倉地区	172 100.0	36 20.9	61 35.5	61 35.5	14 8.1
	丸山地区	86 100.0	11 12.8	34 39.5	38 44.2	3 3.5
	和田地区	98 100.0	22 22.4	48 49.0	25 25.5	3 3.1

【関心度】

		全体	とても関 心がある	関心があ る	関心がな い	無回答
居住地区	全体	730 100.0	80 11.0	340 46.6	198 27.1	112 15.3
	富浦地区	95 100.0	6 6.3	47 49.5	30 31.6	12 12.6
	富山地区	103 100.0	14 13.6	41 39.8	23 22.3	25 24.3
	三芳地区	90 100.0	9 10.0	51 56.7	17 18.9	13 14.4
	白浜地区	76 100.0	6 7.9	39 51.3	20 26.3	11 14.5
	千倉地区	172 100.0	21 12.2	70 40.7	52 30.2	29 16.9
	丸山地区	86 100.0	7 8.1	43 50.0	20 23.3	16 18.6
	和田地区	98 100.0	15 15.3	46 46.9	33 33.7	4 4.1

2. スマートシティ

年齢別にみると、認知度について10代、50代では「聞いたことがある」、20代から30代、60代以上で「知らない」が5割程度と最も多くなっています。40代から50代では「よく知っている」が1割程度を占めています。関心度については年代によって大きな違いはありませんが、40代では「とても関心がある」が1割を超えており、他の年代と比べて相対的に高くなっています。

性別にみると、認知度について男性では「聞いたことがある」、女性では「知らない」が5割程度と男性と10ポイント以上の差で最も多くなっています。関心度について回答傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、認知度について富浦地区で「聞いたことがある」が5割程度に対し、他の地区では4割程度に留まっています。関心度について富浦地区・三芳地区で「関心がある」が5割を超えています。一方、白浜地区では「関心がない」が4割を超えており、地区によって回答傾向が異なっています。

① 年齢別

【認知度】

		全体	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
年齢	全体	730 100.0	51 7.0	302 41.4	329 45.1	48 6.6
	10代	59 100.0	5 8.5	31 52.5	21 35.6	2 3.4
	20～29歳	71 100.0	4 5.6	29 40.8	35 49.3	3 4.2
	30～39歳	92 100.0	4 4.3	33 35.9	50 54.3	5 5.4
	40～49歳	114 100.0	15 13.2	49 43.0	46 40.4	4 3.5
	50～59歳	91 100.0	10 11.0	48 52.7	29 31.9	4 4.4
	60～69歳	142 100.0	12 8.5	54 38.0	68 47.9	8 5.6
	70歳以上	157 100.0	1 0.6	57 36.3	77 49.0	22 14.0

【関心度】

		全体	とても関 心がある	関心があ る	関心がな い	無回答
年 齢	全体	730 100.0	51 7.0	339 46.4	223 30.5	117 16.0
	10代	59 100.0	2 3.4	30 50.8	20 33.9	7 11.9
	20～29歳	71 100.0	2 2.8	33 46.5	26 36.6	10 14.1
	30～39歳	92 100.0	6 6.5	45 48.9	30 32.6	11 12.0
	40～49歳	114 100.0	15 13.2	58 50.9	27 23.7	14 12.3
	50～59歳	91 100.0	3 3.3	50 54.9	29 31.9	9 9.9
	60～69歳	142 100.0	14 9.9	60 42.3	42 29.6	26 18.3
	70歳以上	157 100.0	9 5.7	62 39.5	48 30.6	38 24.2

② 性別

【認知度】

		全体	よく知っ ている	聞いたこ とがある	知らない	無回答
性 別	全体	730 100.0	51 7.0	302 41.4	329 45.1	48 6.6
	男性	328 100.0	34 10.4	143 43.6	129 39.3	22 6.7
	女性	385 100.0	16 4.2	149 38.7	195 50.6	25 6.5
	回答しない	12 100.0	-	8 66.7	4 33.3	-

【関心度】

		全体	とても関 心がある	関心があ る	関心がな い	無回答
性 別	全体	730 100.0	51 7.0	339 46.4	223 30.5	117 16.0
	男性	328 100.0	29 8.8	154 47.0	92 28.0	53 16.2
	女性	385 100.0	21 5.5	178 46.2	126 32.7	60 15.6
	回答しない	12 100.0	-	7 58.3	5 41.7	-

③ 地区別

【認知度】

		全体	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	51 7.0	302 41.4	329 45.1	48 6.6
	富浦地区	95 100.0	3 3.2	50 52.6	35 36.8	7 7.4
	富山地区	103 100.0	13 12.6	36 35.0	41 39.8	13 12.6
	三芳地区	90 100.0	8 8.9	32 35.6	46 51.1	4 4.4
	白浜地区	76 100.0	3 3.9	27 35.5	44 57.9	2 2.6
	千倉地区	172 100.0	13 7.6	71 41.3	72 41.9	16 9.3
	丸山地区	86 100.0	2 2.3	39 45.3	43 50.0	2 2.3
	和田地区	98 100.0	9 9.2	42 42.9	43 43.9	4 4.1

【関心度】

		全体	とても関心がある	関心がある	関心がない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	51 7.0	339 46.4	223 30.5	117 16.0
	富浦地区	95 100.0	4 4.2	52 54.7	27 28.4	12 12.6
	富山地区	103 100.0	10 9.7	44 42.7	22 21.4	27 26.2
	三芳地区	90 100.0	7 7.8	52 57.8	20 22.2	11 12.2
	白浜地区	76 100.0	3 3.9	30 39.5	32 42.1	11 14.5
	千倉地区	172 100.0	12 7.0	74 43.0	57 33.1	29 16.9
	丸山地区	86 100.0	6 7.0	35 40.7	28 32.6	17 19.8
	和田地区	98 100.0	8 8.2	47 48.0	35 35.7	8 8.2

3. Society 5.0

年齢別にみると、認知度について年代によって大きな違いはありません。関心度について50代では「関心がある」が5割程度を占めていますが、全ての年代で「関心がない」が35%以上となっています。

性別にみると、認知度・関心度ともに男女で回答傾向に大きな違いはありません。

地区別にみると、認知度について全ての地区で「知らない」が6割を超えており、三芳地区・白浜地区・丸山地区・和田地区では7割以上を占めています。関心度について三芳地区で「関心がある」が5割を超えているのに対し、白浜地区・千倉地区では「関心がない」が4割以上を占めており、地区によって回答傾向が異なっています。

① 年齢別

【認知度】

		全体	よく知っ ている	聞いたこ とがある	知らない	無回答
年 齢	全体	730	24	151	505	50
		100.0	3.3	20.7	69.2	6.8
	10代	59	2	16	40	1
		100.0	3.4	27.1	67.8	1.7
	20～29歳	71	5	14	49	3
		100.0	7.0	19.7	69.0	4.2
	30～39歳	92	2	13	72	5
		100.0	2.2	14.1	78.3	5.4
	40～49歳	114	7	24	78	5
		100.0	6.1	21.1	68.4	4.4
	50～59歳	91	4	22	61	4
		100.0	4.4	24.2	67.0	4.4
	60～69歳	142	4	32	98	8
		100.0	2.8	22.5	69.0	5.6
	70歳以上	157	－	28	105	24
		100.0	－	17.8	66.9	15.3

【関心度】

		全体	とても関心がある	関心がある	関心がない	無回答
年 齢	全体	730	35	293	283	119
		100.0	4.8	40.1	38.8	16.3
	10代	59	1	25	25	8
		100.0	1.7	42.4	42.4	13.6
	20～29歳	71	2	28	31	10
		100.0	2.8	39.4	43.7	14.1
	30～39歳	92	6	32	43	11
		100.0	6.5	34.8	46.7	12.0
	40～49歳	114	10	46	44	14
		100.0	8.8	40.4	38.6	12.3
	50～59歳	91	4	44	34	9
		100.0	4.4	48.4	37.4	9.9
	60～69歳	142	5	61	50	26
		100.0	3.5	43.0	35.2	18.3
	70歳以上	157	6	56	56	39
		100.0	3.8	35.7	35.7	24.8

② 性別

【認知度】

		全体	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
性別	全体	730	24	151	505	50
		100.0	3.3	20.7	69.2	6.8
	男性	328	14	80	210	24
		100.0	4.3	24.4	64.0	7.3
	女性	385	7	70	283	25
		100.0	1.8	18.2	73.5	6.5
	回答しない	12	2	-	10	-
		100.0	16.7	-	83.3	-

【関心度】

		全体	とても関心がある	関心がある	関心がない	無回答
性別	全体	730	35	293	283	119
		100.0	4.8	40.1	38.8	16.3
	男性	328	16	136	120	56
		100.0	4.9	41.5	36.6	17.1
	女性	385	18	152	155	60
		100.0	4.7	39.5	40.3	15.6
	回答しない	12	-	5	7	-
		100.0	-	41.7	58.3	-

③ 地区別

【認知度】

		全体	よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	24 3.3	151 20.7	505 69.2	50 6.8
	富浦地区	95 100.0	-	22 23.2	66 69.5	7 7.4
	富山地区	103 100.0	6 5.8	20 19.4	63 61.2	14 13.6
	三芳地区	90 100.0	4 4.4	17 18.9	65 72.2	4 4.4
	白浜地区	76 100.0	1 1.3	13 17.1	60 78.9	2 2.6
	千倉地区	172 100.0	5 2.9	37 21.5	115 66.9	15 8.7
	丸山地区	86 100.0	2 2.3	21 24.4	61 70.9	2 2.3
	和田地区	98 100.0	6 6.1	18 18.4	69 70.4	5 5.1

【関心度】

		全体	とても関心がある	関心がある	関心がない	無回答
居住地区	全体	730 100.0	35 4.8	293 40.1	283 38.8	119 16.3
	富浦地区	95 100.0	2 2.1	43 45.3	37 38.9	13 13.7
	富山地区	103 100.0	8 7.8	35 34.0	32 31.1	28 27.2
	三芳地区	90 100.0	2 2.2	47 52.2	30 33.3	11 12.2
	白浜地区	76 100.0	2 2.6	27 35.5	36 47.4	11 14.5
	千倉地区	172 100.0	9 5.2	57 33.1	77 44.8	29 16.9
	丸山地区	86 100.0	5 5.8	34 39.5	30 34.9	17 19.8
	和田地区	98 100.0	6 6.1	45 45.9	39 39.8	8 8.2

(9) 自由意見をご記入ください

問1. 南房総市の人口減少を抑制していくために、市がすべきことは何だと思いますか。ご自由にお書きください。市がすべきこと

問2. 南房総市の人口減少を抑制し、より良い南房総市にするために、あなた自身はどのような取組やまちづくりをしたいですか。ご自由にお書きください。市民が取り組むこと

(1) 保健

市民が取り組むこと

- 健康第一。 いつまでも自分の足で歩きたいものです。(市民・70歳以上・男性)

(2) 医療

市がすべきこと

- 医療体制を整える必要が有ると思う。大型マンションの建設やショッピングモール等の充実も必要だと思う。自分が市街地に行って求めていることが南房総市にあれば、住みやすい街だと感じると思う。(市民・40代・女性)
- 市には産婦人科、小児科の病院が少ないように思いますが、どうでしょうか。両科の設備がしっかりした病院があれば安心して子を産み育てる環境が出来るのではないのでしょうか。(市民・70歳以上・男性)
- 学校、医療、介護等の充実。(市民・10代・女性)

市民が取り組むこと

- 年に一度、乳ガン検診、子宮ガン検診を受けますが、同じ日に同じ場所で受けられないでしょうか？女性の場合、生理日を除く日にと考えると、なかなか日程予約しては難しく、なかなか行かなくなるのでは。コロナの去年は行くのも拒みました。(市民・50代・女性)

(3) 福祉

市がすべきこと

- 老人に出来る限り、労働(収入)してもらい、介護保険を使わずにすむように(国民年金のみの老人が多いため)(1人暮らしの老人が多いので少しでも働いて欲しい)。介護のお世話になることばかり考えている老人が多い気がします。介護もお金がかかります。(市民・60代・女性)
- 犯罪を犯す前に生活保護を求めている人には、積極的に支援してほしい。(市民・30代・男性)

市民が取り組むこと

- 老人力の利用、人材 Bank 作成（かくれた技能）。ご近所ネットワークの活用、社会に必要とされているという意識を持って生活していく。（市民・70 歳以上・女性）
- 独居だが都合で他地域に住むお子さんへの所へ引っ越す方もいる。安心して老後をふるさとで過ごせる事も大事だと思います。老人を集めた大きな建物やエリアがあるとお互い助け合いながら生活できると思う。（市民・40 代・女性）

（4）産業

市がすべきこと

- 産業系大学などのキャンパス誘致し、地元企業との協同開発など出来ると良い。（市民・50 代・女性）
- 第一次産業の支援と後継者の可能な基盤を整備すること。生活が成り立たなくては地元にとどまれない。他から人口流入するように。（市民・70 歳以上・男性）
- 台風以降、南房総市の財産ともいえる農作の生産者が減少しています。十分な支援が受けられず、農業を辞め他の場所で違う仕事に就く。同じ様なことがまた起こった場合、どれだけの生産者が残るだろうか……。今頑張っている生産者、これからくる生産者の為にも、細かく、長く、頑張っている生産者誰でもが受けられる十分な支援……。をすることで農業をあきらめず地域に残って生活していけると思います。（市民・40 代・女性）
- 南房総市に住んで良かったと言われる環境を整備する事。農業は人を引き寄せる魅力があります。耕作放棄地が増え続けていく中、それを食い止める政策は大事です。そこに人を入れ、生活できる収入があれば人口も増え市の税収も増え、人口減少も抑制できるのではないかと思います。一次産業はとても大事です。南房総市は家族で生活できる農業支援をしています……。をアピールすべきではないでしょうか。難しいとは思いますが？（市民・60 代・男性）
- 若者が南房総市に来たいと思うような施設や産業、会社をつくるべき。若者が来るようになれば、それが SNS を通じて色々な人に伝わるが、その SNS の発信源が若者ではなくて南房総市の SNS とかなら、誰もその SNS を見ないし、興味もない。実際に若者が来て写真を撮って SNS にあげることが必要なため、それに合う産業等をつくるべき。（市民・20 代・女性）

市民が取り組むこと

- 農業に力を入れ若い担い手の取り組み、都会に売り込むバイパスの充実を県、市の協力を得て進める。（市民・60 代・女性）
- 子供達に地場産業の良さを今後も続けて伝えて行きたい。（市民・40 代・男性）
- 高齢化により田畑が荒地になってるので、レンタル田畑したい（市民・40 代・女性）

(5) 雇用

市がすべきこと

- 市内で一家を養っていける収入を得られる仕事、職場の開拓。子育てしやすい町づくり、仕組みづくり（例えば放課後、子供達が安心して駆け回って遊べる公園や広場があったらなあと思うことが度々あります）。(市民・40代・女性)
- 働ける場所とお金の増額。(市民・30代・男性)
- 若い人の就職場所をつくる。・交通の便を良くする。・移住者への支援。・観光スポットを増やす。・TVなどで全国に向けて南房総の良さをアピールする（ロケ地など積極的に使ってもらう）。(市民・30代・女性)
- 若者がUターン、Iターン出来るような職場を確保することが最優先事項かと思われます。もしくは君津、木更津まで通勤できるよう高速道路を千倉まで延ばし、通勤の際の高速利用料金を一部負担する。リモートワークができる様になったので、都会からの移住者を増やすようにPRする事（空き家を再利用するなど）。観光に力を入れてまず南房総の良さを知ってもらい住んでみたいと思ってもらうこと。高速バスは30分に1本の割合で運行しているのだからそれをもっとアピールすべき。市は企業誘致に力を注ぐべきだと思います。(市民・50代・女性)
- 今現在の子供達を転出させないような就業場所推進。都心部の高齢者を転入できる場所（施設、マンション、住宅他）。高速道路整備。富山からJCTをつくり丸山辺り終点とする。都心に交通便良くアクセスしやすくする転入者受け入れ。410号を整備し君津、木更津通勤をしやすくする。富山高速～三芳辺りの道路整備。自然と産業も向上、子育て教育しやすい町並み。(市民・40代・男性)

市民が取り組むこと

- 自営業なので、出来れば数年内に市内の若者を雇用できるように進めています。地域活動において、若い世代の皆さんに少しでも参加して頂けるよう、コミュニケーションを大切にしている。(市民・50代・男性)
- 自分の子供達に将来、この地で仕事を持ち、家庭を持ってくれたらいいと思う。そのためにも、地元にいることのメリットを伝えていきたい。(市民・30代・女性)
- まず、自分自身が将来しっかりと地元に戻ってきて、何らかの仕事で労働力として働きたい。また、これまで築いてきた地域のつながりを忘れることなく、積極的に周りの人間に地元へ帰ることを勧めたり、友人の移住を促すことができれば嬉しい。(市民・20代・男性)

(6) 教育

市がすべきこと

- 千葉県の北部と南部の教育格差をなくし、公共教育をしっかり学んだ学生は千葉大学に入学できる程度の学力を身に付けられる地域になれば、他地域から子育て世代の移住を促進できると思う。(市民・30代・男性)
- 若い世代の人たちが気兼ねなく子供を預けられる体制や子供たちが体を使って遊べる施設。今あるファミリーサポートは登録している人も知っている人も少なく、いざというときのためなのになかなか利用できない話も聞きます。そのハードルが低くなればいいと思います。(市民・40代・女性)
- 子どもを産みやすい、育てやすい、会社員には保育所みたいな仕事に合わせ見てもらえる必要がある。(市民・50代・女性)
- 病児保育できるところをもっと増やしたほうがいいと思う。(市民・20代・男性)
- 小中学校にICTを導入してほしい(タブレットはあるがオンライン授業ができない現状を受け。Wi-Fi整備など。) 県外や海外の講師などつながり学びの幅を広げたい。田舎と言われる地においても様々な人と繋がれるという実感を子供にしてほしい。(市民・20代・女性)

市民が取り組むこと

- 子供達の通学や遊びの見守り。(市民・60代・女性)
- 自分の子を地方の色々な所へ連れ出し、良さを伝えていきたい。(市民・40代・女性)
- こども達が楽しそうだ思える地域行事作り。 農作業や、水産業等の体験学習 (市民・50代・男性)
- 帰省し、生活の拠点を置いた。子育ても南房総市で行う。(市民・30代・女性)
- 地域活性化に役立つようなことを大学で学んで、それを帰ってきて役立てる。(市民・10代・女性)

(7) 文化

市がすべきこと

- 多くの人に南房総市の良いところを知ってもらう。例：SNSを活用して、地域の行事(お祭りやふらっとフェスタなど)を投稿し、南房総市以外の方にも気軽に参加できるようにする。(市民・10代・女性)
- 行事が多くて参加が負担なので、自由参加の風潮をアナウンスしてほしい。学校、町内、地域の祭(市民・10代・女性)

市民が取り組むこと

- 日本人だけでなく、広い視野で捉えもっと国際的な交流が出来る場所にしたいです。伝統的な文化は世界の人々にとってとても興味深い為、日本人にない視点から物事を捉えています。田植えや作物栽培、房州うちわなど私は日本人に向けて発信するのではなく、海外の人に向けて発信できるようにしたいです。ホームページ、SNSをつかい様々な人に南房総に来てもらえるように発信したいです。また道の駅などで館山の夕焼けの富士山の写真などを展示する。この地域で有名で人気な物に焦点を当て、何か実践してみる（カレンダーを販売してみる、ポストカードなど）。（市民・30代・女性）
- SNSを利用して、地域のイベントを紹介しています。小松寺の様に今まで地元の人に関わらなかったけど、外部の人が見たら魅力的な所を見つけて発信したい。今の子供達が東京に進学しても又帰って来たいと思うようなお祭りなどイベントも充実させたい。（市民・50代・女性）
- 文化に親しみ参加していける状況を見つけ、たずさわる。気軽に文化、芸術を楽しめるまちづくり。またその活動、文化、芸術をHP等PRする、SNSに#南房総市とハッシュタグ付きの投稿をしてプレゼントや表彰する。以前、千葉県レベルの取り組みにあったような。（市民・40代・女性）

（8）スポーツ

市がすべきこと

- 老若男女問わず、誰もが楽しめるスポーツ施設や、買い物施設を用意していく事。（市民・30代・男性）

市民が取り組むこと

- スポーツ大会（マラソン、ベンチプレス、アームレスリング、卓球、バドミントン、ソフトボール大会等）。レクリエーション、フリーマーケット、運動会、ギャラリー、盆踊り、カラオケ大会等の取組。（市民・70歳以上・男性）
- スケートボードパークを作る。（市民・40代・男性）

（9）生活

市がすべきこと

- まずは防災無線をもっと活用すべき。例えば、JRの列車運行状況、小学校のバスの運休など、地震など起きたら、注意喚起することなどを放送すべき。どんな世代でも市内の放送に、耳を傾けることが出来るようにした方がいい。子育てに力を入れるのなら防犯対策の放送もした方が良くはないか。（市民・10代・女性）
- 空き家の有効活用・地域公共交通（循環バス、デマンドタクシー等）の充実。（市民・50代・男性）

- 子供達が住みやすく、のびのびと生活できる環境の整備・大人主体の街ではなく、子供が活躍できる子供主体の街づくり。子供の笑顔があふれる街には自然と大人も住み続けたいと思うのではないのでしょうか（市民・40代・男性）

市民が取り組むこと

- 空き家に人を住まわせるように考えます。（市民・70歳以上・女性）
- 温暖な所なので、災害を防ぐ為にもなるべくゴミを出さないようリデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）の3Rを心掛けて協力しようと思います。（市民・60代・女性）
- 空き家が多く見かけられるので有効活用できないかと思う。（市民・20代・男性）

(10) 自然

市がすべきこと

- 市役所のある最寄り駅、富浦駅及び周辺が魅力的であれば、移住も考える要因の一つです。しかし現在は非常に残念な状況です。草木がきたなく多いこと、無駄な草木は生えさせない工夫を早急をお願いします。駅ビルにしたなら素晴らしい景観が望めます（富士山、サンセット他）。安心、安全な避難所にも。商業施設他いろいろ皆が満足して働ける場でありますようにこのふるさとで・・・。（市民・70歳以上・女性）
- 一次産業の発展は南房総のみならず、千葉県、日本においても重要な問題と考えられる（食料自給率、自然災害の観点からも）。豊かな自然を守り育てることを公共事業として創り出すこと。森が荒れていることが一番の問題です。それによって海の資源も枯渇していきま。若者の就業の場としても林業（森を育てる）に力を入れるべき。そのために行政が動いてほしい。ソーラー発電の為に土地を荒らさないようにして下さい。（市民・60代・女性）
- 自然環境を活かしていく工夫。ジビエ等。（市民・40代・男性）

市民が取り組むこと

- 地名は出さないものの、この地域ならではの活動をYouTubeで配信していますが、かなり安定した人気を誇っています。例えばただ海岸でしゃべりながらゴミを拾っていても、景色が美しいためよく視聴されます。今後は漁業権を取得していく考えですので、おのずと魅力はPR出来るかと思っています。（市民・40代・男性）
- 自然と調和した美しい景観を保持したい。→個人的に出来ることは日頃の家の周辺の清掃。（市民・50代・女性）
- 南房総市の自慢である「キレイな海」をPRしたい。サーファーやマリンスポーツをする人に興味を持ってもらい、にぎわいのある町にしたい。（市民・10代・女性）
- 山あり海あり、川ありのこの豊かな自然を守り育てたいと考えています。自然も人も産業も全て循環型のサイクルができないものかと考えています。（市民・60代・女性）

- しっかり勉強してムダなエネルギーを使わないようにしたい。クリーンエネルギーで走る車を低価格で買えるようにする。電気を化石燃料や原子力に頼るのではなく、新しいエネルギーを開発したい。(市民・10代・男性)

(11) 道路

市がすべきこと

- 道路整備の遅れがあるので、早くお願いします。(市民・70歳以上・女性)
- 南房総市で生活する上で、車の利用頻度はかなり高いと思います。道路、交通の整備が生活しやすさに直結します。コロナ禍でテレワークが推進され、仕事をする場所の自由度が増し、移住もしやすくなっています。JRの運行本数が少ないので、都内への移動は車が主となります。都内との距離を縮めるためにも道路整備の必要性を感じます。(市民・50代・男性)

(12) 交通

市がすべきこと

- 学校に行くにも会社に行くにも(白浜)電車がないので、いくら子育てによいとか環境が良くても住みにくい。バスの運賃が高くて両親に毎朝館山駅まで送ってもらっていて、申し訳ないと感じる。白浜はこのままだと若い世代がいなくなっちゃう。(市民・10代・男性)
- 東京への高速バスの本数も減ってアクセスが悪くなってしまっているためIターンやUターンしやすいような公共交通機関の導入、就職先の選択肢が少なく賃金も低いのでその改善、公園など子どもを連れて親子が遊べる施設が減少しているので公園や遊び場の拡充、館山市のような若者が興味を持つサブカルチャー文化の取り入れ。(市民・20代・女性)
- 市民の都心通勤、通学における公共交通費の支援。(市民・50代・男性)

市民が取り組むこと

- 病院へ行く時や買い物に行く時など、車がなくてとても困ったりしているので、一緒に一台の車で乗り合わせて行く事があったりする。(市民・60代・女性)

(13) 移住促進

市がすべきこと

- 移住者への支援(税金の免除とか)・一時金の支給、居住の提供・教育の充実・病院、大学の充実。(市民・60代・男性)
- インセンティブを与えて「2地点居住者」「転居者」を増やす・空き家を安価でレンタルする／売る・休耕地を安価でレンタルする／売る・町の中に小さな公園や花壇を配置した後のメンテナンスが行き届かず直ぐに廃れてしまうケースが散見。これらの維持管理に注力する。(市民・50代・女性)
- 移住してきた人々のコミュニケーションがにつくれる場所を設けることが大事だと思います。市から離れる人を止めるのではなく、住みたいと思ってくれる人をひとりでも居心地の良い

場所として思ってもらえるようにすること。ヤマナハウスのような人が沢山集まる場所をつくり人と人が繋がれる環境をつくるべきだと思います。→市のインスタグラムを活用する（Facebook など若い人達がつながっているもの）。(市民・30代・女性)

- 子育て世代の移住促進（2拠点や高齢者は不要）ただお金をあげるのではなく、定住してくれたら減免するような政策が良いと思います。子供が多い家庭の減税や優遇策（高所得者の移住期待）(市民・40代・男性)

市民が取り組むこと

- 地元の方や移住者のコミュニティの形成が必要だと思い、活動しています。移住者を引き込むイベントや地域になるような取り組みに今後も協力したいです。(市民・60代・女性)
- 個人で出来ることは、たかが知れているかもしれませんが、SNSで南房総市の良さを発信することは誰でもできることかなと思います。移住者による、移住者向けの説明会、クチコミの表示。独身者も多いので、お見合いバスツアー的なイベントも良いかもしれません。結婚してこちらに住んで頂ければ人口増加につながるかと。南房総市は大好きですので、人口減少しすぎて寂しい限りです。市が力を入れて対策して下さいと有り難いです。また、コロナ禍で、企業の支援をして頂き本当に感謝しております。おかげで助かりました。有難うございました。(市民・40代・女性)
- 移住者の促進。安心できる若者のコミュニティづくり。(市民・30代・男性)

(14) 市民参加

市がすべきこと

- 人口を増やすには、観光、農業、水産、工芸それぞれ研究し、アピールする事だと思います。担当者が外へ出て色々なことを市民の方へ質問をしたり、聞いたりして、研究したらどうでしょうか？働くことも良いことだと思います。(市民・70歳以上・女性)
- 市民の小さな声（希望）を聞き逃さない。・子育て応援の政策をつくる。(市民・10代・女性)
- 町内会が閉鎖的でびっくりしました。まず、会費が16300円というの驚きました。高いだけでなく会計報告書を見せてもらえません。存在しないのかもしれませんが。何にどんな風に使われているかわかりません。納得して支払いたいです。移住してきたものから見ると、それだけでため息が出ます。町内会は、昔から住まわれている高齢者の方がほとんどで、タバコモクモクの会に出るのは苦痛です。色々改善できるところが一杯あるのに、何か発言出来るような場ではないです。それで退会しました。市長さんに相談の手紙を出したこともあります。でも「それぞれ地域のことで・・・」という内容でした。具体的に動いてくれないですね。南房総市に来たいという方に、「この地は町内会は半ば強制的で高い」と話すとみんな驚きます。もしかするとみんな「こんな風にしたってどうせ何も変わらないから」って、どんどん消極的なかわりになるんだと思います。(市民・50代・女性)

市民が取り組むこと

- 今しているのは我が子と共に、地域のイベントへの参加。また、地域の散歩等で良さを見つける。個人では家族のためにしか動けない。本気で南房総市の人口減少を考えるには、行政が本気になるべき。そのためには福祉？介護？とか老人のための政策ばかりではダメ。若者への発信、住環境整備、教育（子育て）の充実を大胆にしていくべき。若者がいないと介護も福祉もダメになる。若者「出産したい」「〇〇が便利」「〇〇が好き」と思ってもらい、住んでもらうよう行政が先駆けて行ってほしい。（市民・30代・男性）
- 地域の課題解決に向け、市民や事業者、行政などの地域の多様な主体が連携するだけでなく、それぞれが地域の担い手として活躍できる環境づくりを推進していきます。また女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが自ら望む居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会づくりを推進していきます。（市民・40代・女性）
- 1、人とのつながりを大切に仲間づくりが必要である。2、お手伝いできるボランティアがあったら参加し、交流をもち地域をこのようにすればと、第一歩としていきたいと思う。（市民・70歳以上・男性）

(15) 行財政

市がすべきこと

- 都市計画税はぜったい取らないか、ごみ無料化にすべき。南房総市民は体育館、小中を無料化。（市民・60代・男性）
- 市長がもっと市民の声に耳を傾けるべき。市長はもっと開けた行政を目指し、職員へも朝のあいさつ等するべき。上が変わらなければ何も変わらない。（市民・50代・男性）
- 南房総市に住んでいる方々は、親切な人が多くいます。そのため住みやすい方だと考えます。しかし、他の市と比較して足りないことや、不安に感じることは多くあります。先ず一つ目に市の電話対応です。他の市と異なり対応が良くないと感じることが今まで多くあります。二つ目に対応の遅さです。災害時の時やワクチンなど他と比べ遅いと感じることがあります。こういう事があると引越を考える人が多くなると考えます。更に緑を無くし建物や店をつくり、数年後には人が来なくなり閉店し、そのまま放置しているというのが現実だと思います。無駄に緑を無くさず、しっかり考えて工事して欲しいです。他にもありますが、以上のことを改善すると減少を抑制できると考えます。（市民・20代・女性）

市民が取り組むこと

- 沢山収入を増やして、それに伴って沢山の納税するので、それに見合った行政の取り組みを期待したい。（市民・40代・男性）

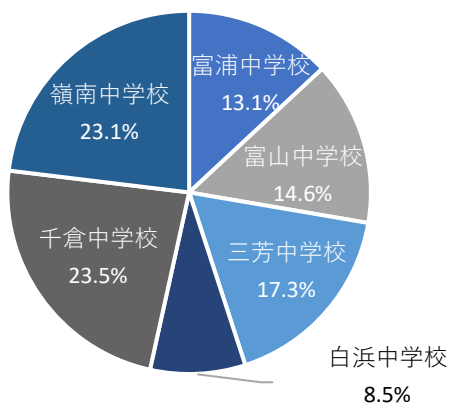
第3章 中学生アンケート

(1) 回答者属性

あなたご自身のことについてお伺いします。

問1. 通っている中学校は、次のどれですか。

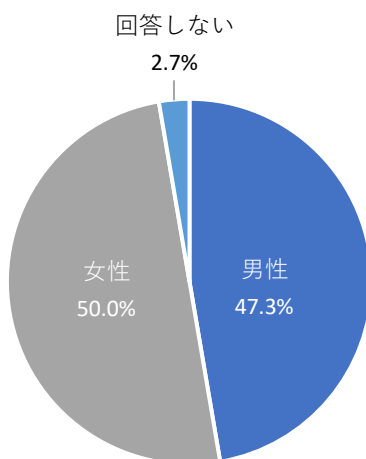
(n=260)



「千倉中学校」が23.5%、「嶺南中学校」が23.1%と2割を超えており、次いで、「三芳中学校」「富山中学校」の順となっています。

問2. 性別を教えてください。

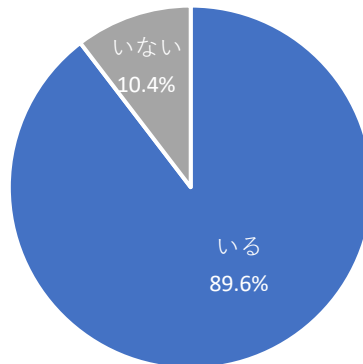
(n=260)



「女性」が50.0%、「男性」が47.3%と、女性がやや多くなっています。

問3. 兄弟、姉妹はいますか。

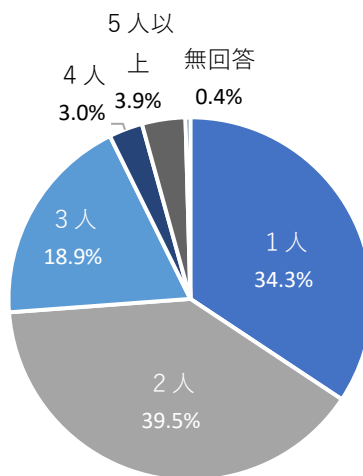
(n=260)



「いる」が9割程度となっています。

問3. 兄弟、姉妹は何人いますか。

(n=233)



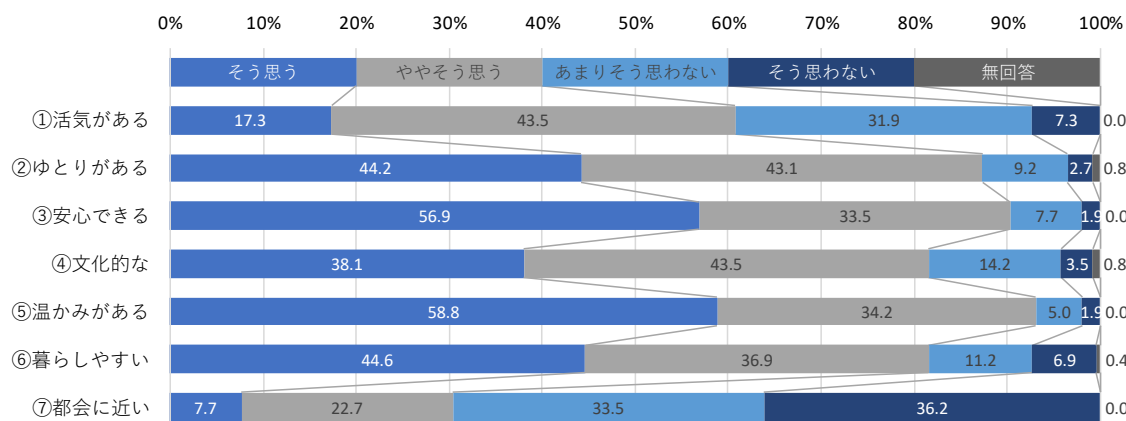
「2人」が39.5%、「1人」が34.3%と3割を超えており、「3人」が18.9%、4人以上が1割未満となっています。

(2) 南房総市らしさについて

問4.「南房総市らしさ」って何だと思いますか？

あなたにとって、現在の「南房総市」はどのようなイメージですか？

次の①～⑦の対照的なイメージについて、あてはまる番号を1つ選んでください。



肯定的なイメージ（左側）が多い項目では、「活気のある」、「ゆとりがある」、「安心できる」、「文化的な」、「温かみがある」、「暮らしやすい」がそれぞれ8割以上となっています。

一方、否定的なイメージ（右側）が多い項目では、「都会から近い」が7割程度となっています。

《属性別》

学校別にみると、「都会に近い」について富浦中学校・富山中学校で「都会に近い」で肯定的なイメージ（左側）が5割程度と他の地区より20ポイント以上の差があります。嶺南中学校では「文化的な」、「安心できる」について相対的に多くなっており、他の学校と回答傾向が異なります。

性別にみると、男性では「活気がある」左側のイメージ）について7割以上が肯定的なイメージを持っている一方で、女性については5割未満となっており、「あまりそう思わない」の回答が4割を超えています。「暮らしやすい」については男性では「そう思う」が半数以上を占めているのに対し、女性では3割程度に留まっています。

① 中学校別

①左：活気のある／右：活気のない

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260 100.0	45 17.3	113 43.5	83 31.9	19 7.3	-
	富浦中学校	34 100.0	6 17.6	13 38.2	14 41.2	1 2.9	-
	富山中学校	38 100.0	4 10.5	17 44.7	15 39.5	2 5.3	-
	三芳中学校	45 100.0	2 4.4	20 44.4	15 33.3	8 17.8	-
	白浜中学校	22 100.0	4 18.2	11 50.0	7 31.8	-	-
	千倉中学校	61 100.0	14 23.0	27 44.3	14 23.0	6 9.8	-
	嶺南中学校	60 100.0	15 25.0	25 41.7	18 30.0	2 3.3	-

②左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260 100.0	115 44.2	112 43.1	24 9.2	7 2.7	2 0.8
	富浦中学校	34 100.0	16 47.1	13 38.2	4 11.8	1 2.9	-
	富山中学校	38 100.0	17 44.7	14 36.8	5 13.2	2 5.3	-
	三芳中学校	45 100.0	19 42.2	23 51.1	2 4.4	1 2.2	-
	白浜中学校	22 100.0	10 45.5	10 45.5	1 4.5	-	1 4.5
	千倉中学校	61 100.0	24 39.3	26 42.6	7 11.5	3 4.9	1 1.6
	嶺南中学校	60 100.0	29 48.3	26 43.3	5 8.3	-	-

③左：安心できる／右：不安がある

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260	148	87	20	5	-
		100.0	56.9	33.5	7.7	1.9	-
	富浦中学校	34	20	10	4	-	-
		100.0	58.8	29.4	11.8	-	-
	富山中学校	38	17	14	5	2	-
		100.0	44.7	36.8	13.2	5.3	-
	三芳中学校	45	27	16	2	-	-
		100.0	60.0	35.6	4.4	-	-
	白浜中学校	22	10	10	2	-	-
		100.0	45.5	45.5	9.1	-	-
	千倉中学校	61	30	22	6	3	-
		100.0	49.2	36.1	9.8	4.9	-
	嶺南中学校	60	44	15	1	-	-
		100.0	73.3	25.0	1.7	-	-

④左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260	99	113	37	9	2
		100.0	38.1	43.5	14.2	3.5	0.8
	富浦中学校	34	12	15	6	-	1
		100.0	35.3	44.1	17.6	-	2.9
	富山中学校	38	15	17	2	3	1
		100.0	39.5	44.7	5.3	7.9	2.6
	三芳中学校	45	16	22	6	1	-
		100.0	35.6	48.9	13.3	2.2	-
	白浜中学校	22	6	13	3	-	-
		100.0	27.3	59.1	13.6	-	-
	千倉中学校	61	16	28	12	5	-
		100.0	26.2	45.9	19.7	8.2	-
	嶺南中学校	60	34	18	8	-	-
		100.0	56.7	30.0	13.3	-	-

⑤左：温かみのある／右：冷たい

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260	153	89	13	5	-
		100.0	58.8	34.2	5.0	1.9	-
	富浦中学校	34	17	16	1	-	-
		100.0	50.0	47.1	2.9	-	-
	富山中学校	38	21	14	2	1	-
		100.0	55.3	36.8	5.3	2.6	-
	三芳中学校	45	30	12	2	1	-
		100.0	66.7	26.7	4.4	2.2	-
	白浜中学校	22	11	10	1	-	-
		100.0	50.0	45.5	4.5	-	-
	千倉中学校	61	29	24	5	3	-
		100.0	47.5	39.3	8.2	4.9	-
	嶺南中学校	60	45	13	2	-	-
		100.0	75.0	21.7	3.3	-	-

⑥左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260	116	96	29	18	1
		100.0	44.6	36.9	11.2	6.9	0.4
	富浦中学校	34	15	13	5	1	-
		100.0	44.1	38.2	14.7	2.9	-
	富山中学校	38	16	11	6	5	-
		100.0	42.1	28.9	15.8	13.2	-
	三芳中学校	45	15	21	5	4	-
		100.0	33.3	46.7	11.1	8.9	-
	白浜中学校	22	8	7	5	2	-
		100.0	36.4	31.8	22.7	9.1	-
	千倉中学校	61	28	26	3	4	-
		100.0	45.9	42.6	4.9	6.6	-
	嶺南中学校	60	34	18	5	2	1
		100.0	56.7	30.0	8.3	3.3	1.7

⑦左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
中 学 校	全体	260 100.0	20 7.7	59 22.7	87 33.5	94 36.2	- -
	富浦中学校	34 100.0	4 11.8	15 44.1	10 29.4	5 14.7	- -
	富山中学校	38 100.0	9 23.7	10 26.3	11 28.9	8 21.1	- -
	三芳中学校	45 100.0	1 2.2	9 20.0	14 31.1	21 46.7	- -
	白浜中学校	22 100.0	1 4.5	3 13.6	8 36.4	10 45.5	- -
	千倉中学校	61 100.0	5 8.2	11 18.0	20 32.8	25 41.0	- -
	嶺南中学校	60 100.0	- -	11 18.3	24 40.0	25 41.7	- -

② 性別

①左：活気のある／右：活気のない

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性 別	全体	260 100.0	45 17.3	113 43.5	83 31.9	19 7.3	- -
	男性	123 100.0	30 24.4	63 51.2	26 21.1	4 3.3	- -
	女性	130 100.0	15 11.5	48 36.9	56 43.1	11 8.5	- -
	回答しない	7 100.0	- -	2 28.6	1 14.3	4 57.1	- -

②左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性 別	全体	260 100.0	115 44.2	112 43.1	24 9.2	7 2.7	2 0.8
	男性	123 100.0	61 49.6	48 39.0	9 7.3	4 3.3	1 0.8
	女性	130 100.0	51 39.2	63 48.5	13 10.0	2 1.5	1 0.8
	回答しない	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	1 14.3	- -

③左：安心できる／右：不安がある

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性別	全体	260 100.0	148 56.9	87 33.5	20 7.7	5 1.9	- -
	男性	123 100.0	75 61.0	37 30.1	7 5.7	4 3.3	- -
	女性	130 100.0	71 54.6	47 36.2	12 9.2	- -	- -
	回答しない	7 100.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	- -

④左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性別	全体	260 100.0	99 38.1	113 43.5	37 14.2	9 3.5	2 0.8
	男性	123 100.0	50 40.7	51 41.5	16 13.0	6 4.9	- -
	女性	130 100.0	47 36.2	60 46.2	19 14.6	2 1.5	2 1.5
	回答しない	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	- -

⑤左：温かみのある／右：冷たい

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性別	全体	260 100.0	153 58.8	89 34.2	13 5.0	5 1.9	- -
	男性	123 100.0	77 62.6	38 30.9	5 4.1	3 2.4	- -
	女性	130 100.0	72 55.4	50 38.5	7 5.4	1 0.8	- -
	回答しない	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -

⑥左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

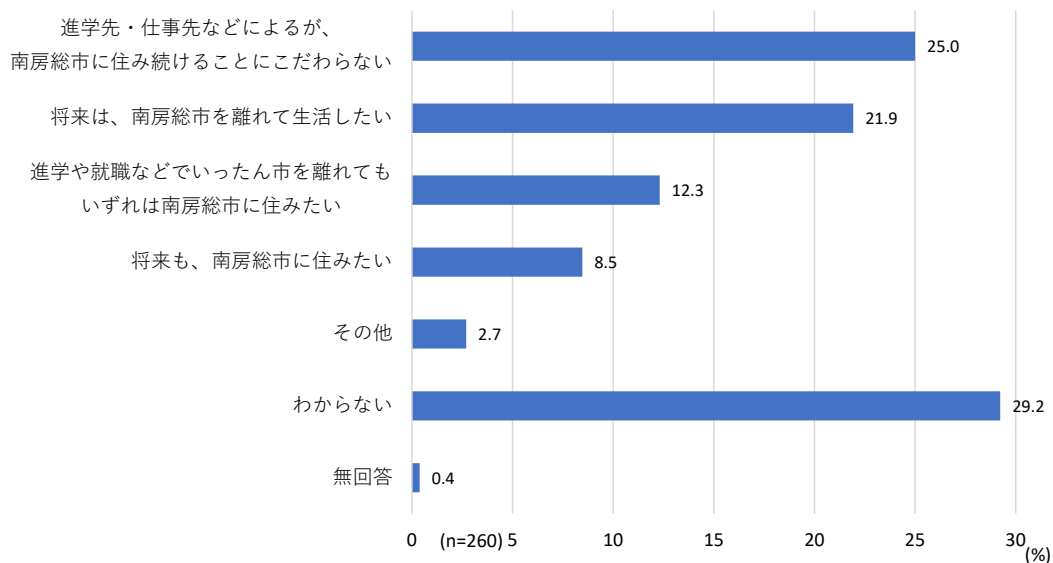
		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性別	全体	260 100.0	116 44.6	96 36.9	29 11.2	18 6.9	1 0.4
	男性	123 100.0	69 56.1	38 30.9	11 8.9	5 4.1	-
	女性	130 100.0	45 34.6	56 43.1	17 13.1	11 8.5	1 0.8
	回答しない	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	-

⑦左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答
性別	全体	260 100.0	20 7.7	59 22.7	87 33.5	94 36.2	-
	男性	123 100.0	15 12.2	31 25.2	47 38.2	30 24.4	-
	女性	130 100.0	5 3.8	28 21.5	38 29.2	59 45.4	-
	回答しない	7 100.0	-	-	2 28.6	5 71.4	-

(3) 南房総市への愛着と定住意向について

問5. 将来も、南房総市に住みたいと思いますか？



「わからない」が29.2%と最も多く、次いで、「進学先・仕事先などによるが、南房総市に住み続けることにこだわらない」が25.0%、「将来は、南房総市を離れて生活したい」が21.9%と2割を超えています。

《属性別》

学校別にみると、富山中学校で「将来は、南房総市を離れて生活したい」が3割を超えている一方、富浦中学校・富山中学校で「将来も、南房総市に住みたい」が1割を超えています。「わからない」については「白浜中学校」で4割以上、千倉中学校で35%程度、その他の中学校では3割未満と学校ごとで回答傾向に違いがあります。

性別にみると、男性では「将来も、南房総市に住みたい」が13.0%に対し、女性では4.6%に留まっています。「進学先・仕事先などによるが、南房総市に住み続けることにこだわらない」、「将来は、南房総市を離れて生活したい」が男性では4割程度に対し、女性では半数を超えており、男女で回答の傾向に差があります。

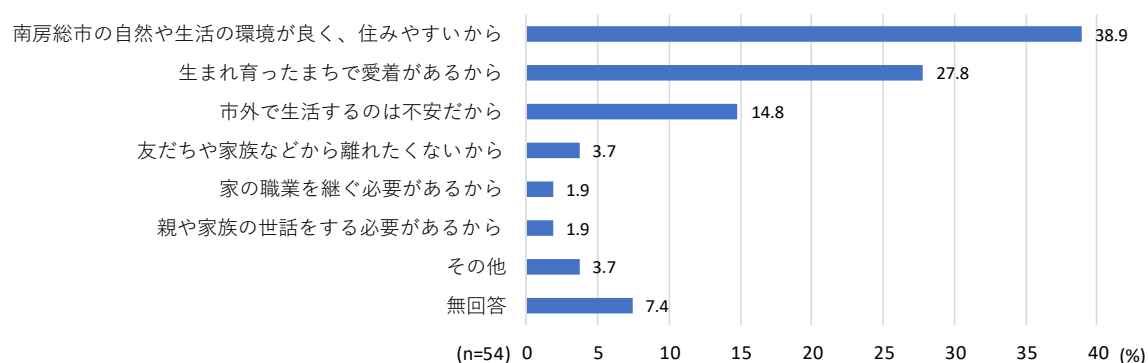
① 中学校別

		全体	将来も、 南房総市 に住みた い	進学や就 職などで いったん 市を離れ ても、い ずれは南 房総市に 住みたい	進学先・ 仕事先な どによる が、南房 総市に住 み続ける ことにこ だわらな い	将来は、 南房総市 を離れて 生活した い	その他	わから ない	無回答
中 学 校	全体	260	22	32	65	57	7	76	1
		100.0	8.5	12.3	25.0	21.9	2.7	29.2	0.4
	富浦中学校	34	5	6	10	4	-	9	-
		100.0	14.7	17.6	29.4	11.8	-	26.5	-
	富山中学校	38	4	3	12	12	-	7	-
		100.0	10.5	7.9	31.6	31.6	-	18.4	-
	三芳中学校	45	3	4	12	10	3	13	-
		100.0	6.7	8.9	26.7	22.2	6.7	28.9	-
	白浜中学校	22	1	1	5	5	-	10	-
		100.0	4.5	4.5	22.7	22.7	-	45.5	-
	千倉中学校	61	4	3	12	17	3	22	-
		100.0	6.6	4.9	19.7	27.9	4.9	36.1	-
	嶺南中学校	60	5	15	14	9	1	15	1
		100.0	8.3	25.0	23.3	15.0	1.7	25.0	1.7

② 性別

		全体	将来も、 南房総市 に住みた い	進学や就 職などで いったん 市を離れ ても、い ずれは南 房総市に 住みたい	進学先・ 仕事先な どによる が、南房 総市に住 み続ける ことにこ だわらな い	将来は、 南房総市 を離れて 生活した い	その他	わから ない	無回答
性 別	全体	260	22	32	65	57	7	76	1
		100.0	8.5	12.3	25.0	21.9	2.7	29.2	0.4
	男性	123	16	16	25	21	1	44	-
		100.0	13.0	13.0	20.3	17.1	0.8	35.8	-
	女性	130	6	16	38	33	5	31	1
		100.0	4.6	12.3	29.2	25.4	3.8	23.8	0.8
	回答しない	7	-	-	2	3	1	1	-
		100.0	-	-	28.6	42.9	14.3	14.3	-

問6. 住みたい理由って何ですか？（問5で1番目、2番目を選んだ人のみ）



「南房総市の自然や生活の環境が良く、住みやすいから」が38.9%と最も多く4割程度を占めています。次いで、「生まれ育ったまちで愛着があるから」が27.8%で、「市外で生活するのは不安だから」が14.8%の順となっています。

《属性別》

学校別、性別にみると、回答母数が小さいため統計的に有意な差はありません。

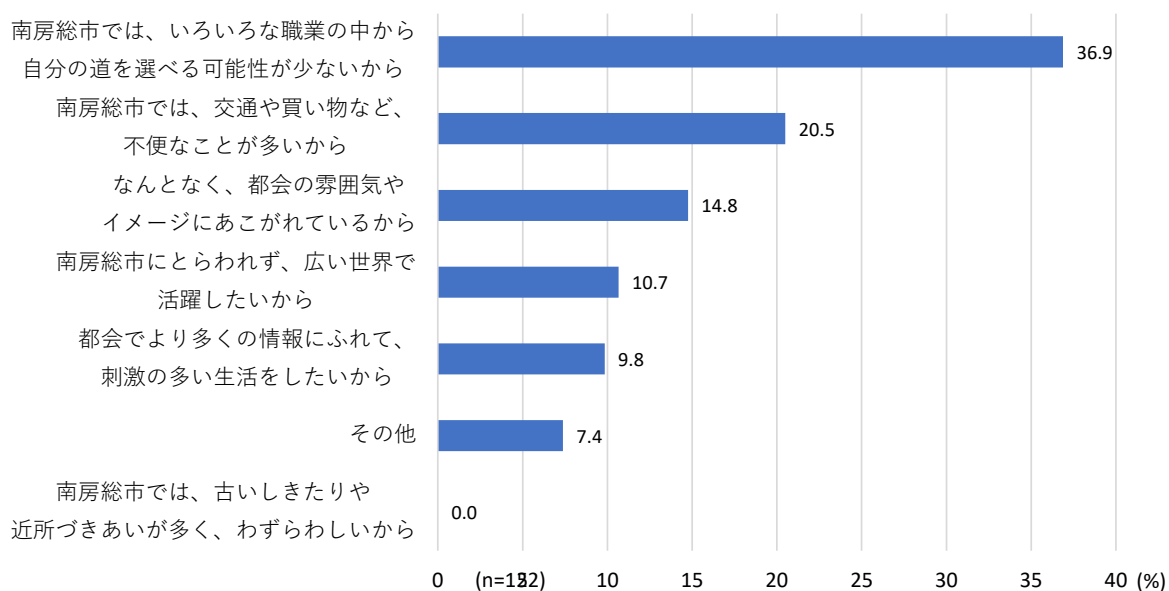
① 中学校別

		全体	家の職業を継ぐ必要があるから	親や家族の世話をする必要があるから	友だちや家族などから離れたくないから	南房総市の自然や生活の環境が良く、住みやすいから	生まれ育ったまちで愛着があるから	市外で生活するのは不安だから	その他	無回答
中学校	全体	54 100.0	1 1.9	1 1.9	2 3.7	21 38.9	15 27.8	8 14.8	2 3.7	4 7.4
	富浦中学校	11 100.0	-	-	-	3 27.3	4 36.4	3 27.3	-	1 9.1
	富山中学校	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3
	三芳中学校	7 100.0	-	-	-	3 42.9	-	3 42.9	-	1 14.3
	白浜中学校	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-
	千倉中学校	7 100.0	-	-	1 14.3	3 42.9	2 28.6	-	-	1 14.3
	嶺南中学校	20 100.0	-	-	-	10 50.0	8 40.0	1 5.0	1 5.0	-

② 性別

		全体	家の職業を継ぐ必要があるから	親や家族の世話をする必要があるから	友だちや家族などから離れたくないから	南房総市の自然や生活の環境が良く、住みやすいから	生まれ育ったまちで愛着があるから	市外で生活するのは不安だから	その他	無回答
性別	全体	54 100.0	1 1.9	1 1.9	2 3.7	21 38.9	15 27.8	8 14.8	2 3.7	4 7.4
	男性	32 100.0	1 3.1	1 3.1	1 3.1	12 37.5	7 21.9	6 18.8	-	4 12.5
	女性	22 100.0	-	-	1 4.5	9 40.9	8 36.4	2 9.1	2 9.1	-
	回答しない	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

問7. 離れたい理由って何ですか？（問5で3番目、4番目を選んだ人のみ）



「南房総市では、いろいろな職業の中から自分の道を選べる可能性が少ないから」が 36.9%と最も多く、次いで、「南房総市では、交通や買い物など、不便なことが多いから」が 2割程度、「なんとなく、都会の雰囲気やイメージにあこがれているから」が 15%程度の順となっています。

《属性別》

学校別、性別にみると、回答母数が小さいため統計的に有意な差はありません。

① 中学校別

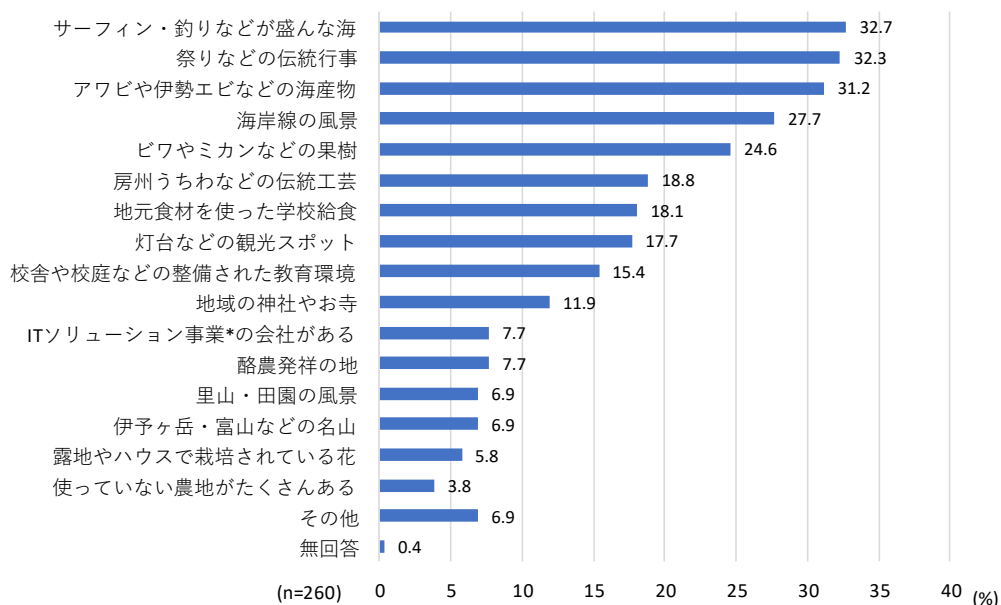
		全体	南房総市 では、いろいろな 職業の中から自分 の道を選べる可能 性が少ないから	都会でよ り多くの 情報にふ れて、刺 激の多い 生活をし たいから	南房総市 では、交 通や買い 物など、 不便なこ とが多い から	南房総市 では、古 いしきた りや近所 づきあい が多く、 わずらわ しいから	南房総市 にとらわ れず、広 い世界で 活躍した いから	なんと なく、都 会の雰 囲気や イメージ にあこ がれてい るから	その他	無回答
中 学 校	全体	122	45	12	25	-	13	18	9	-
		100.0	36.9	9.8	20.5	-	10.7	14.8	7.4	-
	富浦中学校	14	6	1	2	-	3	2	-	-
		100.0	42.9	7.1	14.3	-	21.4	14.3	-	-
	富山中学校	24	8	2	6	-	3	3	2	-
		100.0	33.3	8.3	25.0	-	12.5	12.5	8.3	-
	三芳中学校	22	5	1	7	-	2	3	4	-
		100.0	22.7	4.5	31.8	-	9.1	13.6	18.2	-
	白浜中学校	10	5	1	3	-	-	1	-	-
		100.0	50.0	10.0	30.0	-	-	10.0	-	-
	千倉中学校	29	11	4	4	-	4	5	1	-
		100.0	37.9	13.8	13.8	-	13.8	17.2	3.4	-
	嶺南中学校	23	10	3	3	-	1	4	2	-
		100.0	43.5	13.0	13.0	-	4.3	17.4	8.7	-

② 性別

		全体	南房総市 では、いろいろな 職業の中から自分 の道を選べる可能 性が少ないから	都会でよ り多くの 情報にふ れて、刺 激の多い 生活をし たいから	南房総市 では、交 通や買い 物など、 不便なこ とが多い から	南房総市 では、古 いしきた りや近所 づきあい が多く、 わずらわ しいから	南房総市 にとらわ れず、広 い世界で 活躍した いから	なんと なく、都 会の雰 囲気や イメージ にあこ がれてい るから	その他	無回答
性 別	全体	122	45	12	25	-	13	18	9	-
		100.0	36.9	9.8	20.5	-	10.7	14.8	7.4	-
	男性	46	18	2	7	-	8	7	4	-
		100.0	39.1	4.3	15.2	-	17.4	15.2	8.7	-
	女性	71	27	10	16	-	4	9	5	-
		100.0	38.0	14.1	22.5	-	5.6	12.7	7.0	-
	回答しない	5	-	-	2	-	1	2	-	-
		100.0	-	-	40.0	-	20.0	40.0	-	-

(4) 南房総市の魅力の情報発信について

問8. 南房総市をもっと活気づいたまちにするために、市外の人にも南房総市の魅力を知ってもらい、住む人を増やしたいと考えています。そのためには、何をPRすべきだと思いますか？3つまで選んでください。



「サーフィン・釣りなどが盛んな海」、「祭りなどの伝統行事」、「アワビや伊勢エビなどの海産物」が3割を超えています。次いで、「海岸線の風景」、「ビワやミカンなどの果樹」が25%程度、その他の項目は2割未満となっています。

《属性別》

学校別にみると、回答傾向が異なり、富浦中学校では「海岸線の風景」、「ビワやミカンなどの果樹」、白浜中学校では「祭りなどの伝統行事」が5割程度を占めています。富山中学校では「伊予ヶ岳・富山などの名山」が4割以上に対し、富山中学校以外では1割未満となっています。

性別にみると、男性では「サーフィン・釣りなどが盛んな海」、女性では「祭りなどの伝統行事」が最も多く、4割程度を占めています。

① 中学校別

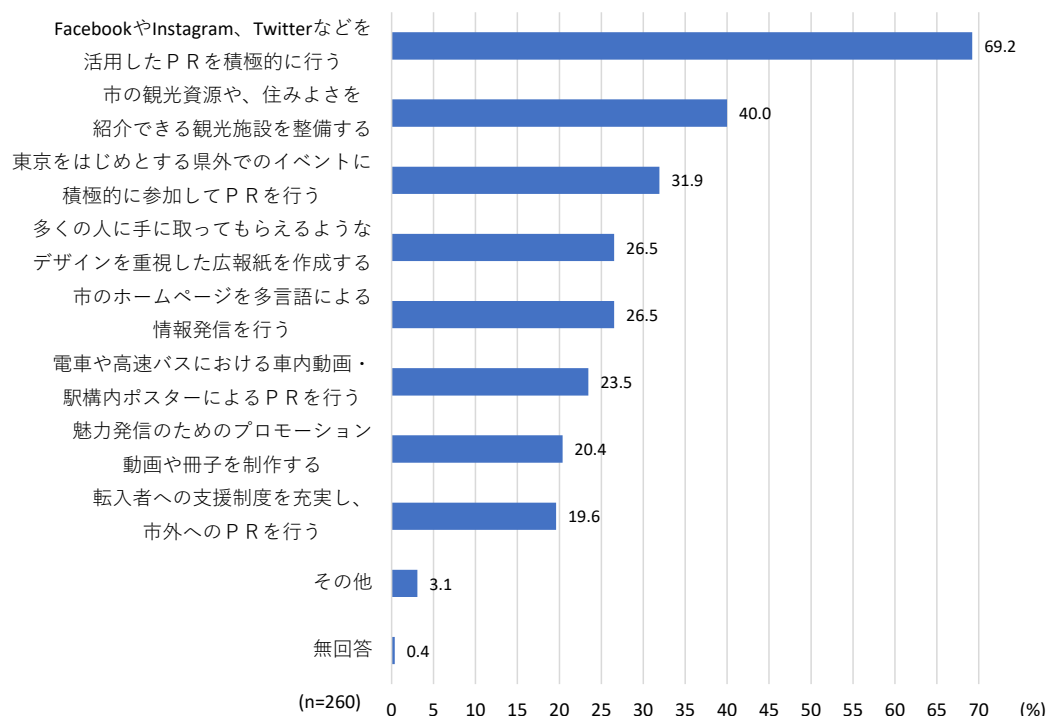
		全体	里山・田園の風景	海岸線の風景	伊予ヶ岳・富山などの名山	サーフィン・釣りなどが盛んな海	地域の神社やお寺	灯台などの観光スポット	校舎や校庭などの整備された教育環境	地元食材を使った学校給食		
中学校	全体	260 100.0	18 6.9	72 27.7	18 6.9	85 32.7	31 11.9	46 17.7	40 15.4	47 18.1		
	富浦中学校	34 100.0	2 5.9	17 50.0	- -	7 20.6	2 5.9	8 23.5	2 5.9	5 14.7		
	富山中学校	38 100.0	2 5.3	10 26.3	16 42.1	12 31.6	3 7.9	11 28.9	4 10.5	4 10.5		
	三芳中学校	45 100.0	6 13.3	11 24.4	1 2.2	11 24.4	4 8.9	5 11.1	6 13.3	11 24.4		
	白浜中学校	22 100.0	- -	6 27.3	- -	5 22.7	5 22.7	6 27.3	3 13.6	4 18.2		
	千倉中学校	61 100.0	5 8.2	17 27.9	1 1.6	29 47.5	9 14.8	5 8.2	2 3.3	4 6.6		
	嶺南中学校	60 100.0	3 5.0	11 18.3	- -	21 35.0	8 13.3	11 18.3	23 38.3	19 31.7		
			ITソリューション事業*の会社がある	使っていない農地がたくさんある	房州うちわなどの伝統工芸	露地やハウスで栽培されている花	ビワやミカンなどの果樹	酪農発祥の地	アワビや伊勢エビなどの海産物	祭りなどの伝統行事	その他	無回答
	中学校	全体	20 7.7	10 3.8	49 18.8	15 5.8	64 24.6	20 7.7	81 31.2	84 32.3	18 6.9	1 0.4
富浦中学校		4 11.8	- -	9 26.5	4 11.8	18 52.9	2 5.9	10 29.4	9 26.5	2 5.9	- -	
富山中学校		4 10.5	2 5.3	12 31.6	- -	5 13.2	2 5.3	5 13.2	16 42.1	- -	- -	
三芳中学校		4 8.9	3 6.7	14 31.1	3 6.7	15 33.3	4 8.9	16 35.6	10 22.2	4 8.9	- -	
白浜中学校		1 4.5	1 4.5	4 18.2	1 4.5	5 22.7	1 4.5	10 45.5	11 50.0	- -	- -	
千倉中学校		4 6.6	1 1.6	5 8.2	3 4.9	9 14.8	3 4.9	22 36.1	26 42.6	4 6.6	- -	
嶺南中学校		3 5.0	3 5.0	5 8.3	4 6.7	12 20.0	8 13.3	18 30.0	12 20.0	8 13.3	1 1.7	

② 性別

		全体	里山・田園の風景	海岸線の風景	伊予ヶ岳・富山などの名山	サーフィン・釣りなどが盛んな海	地域の神社やお寺	灯台などの観光スポット	校舎や校庭などの整備された教育環境	地元食材を使った学校給食
性別	全体	260 100.0	18 6.9	72 27.7	18 6.9	85 32.7	31 11.9	46 17.7	40 15.4	47 18.1
	男性	123 100.0	8 6.5	36 29.3	11 8.9	48 39.0	17 13.8	18 14.6	17 13.8	17 13.8
	女性	130 100.0	10 7.7	36 27.7	6 4.6	35 26.9	14 10.8	27 20.8	23 17.7	30 23.1
	回答しない	7 100.0	-	-	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	-	-

		ITソリューション事業*の会社がある	使っていない農地がたくさんある	房州うちわなどの伝統工芸	露地やハウスで栽培されている花	ビワやミカンなどの果樹	酪農発祥の地	アワビや伊勢エビなどの海産物	祭りなどの伝統行事	その他	無回答
性別	全体	20 7.7	10 3.8	49 18.8	15 5.8	64 24.6	20 7.7	81 31.2	84 32.3	18 6.9	1 0.4
	男性	13 10.6	3 2.4	21 17.1	5 4.1	32 26.0	10 8.1	38 30.9	34 27.6	10 8.1	-
	女性	5 3.8	7 5.4	26 20.0	8 6.2	31 23.8	8 6.2	41 31.5	49 37.7	7 5.4	1 0.8
	回答しない	2 28.6	-	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	-

問9. 南房総市の魅力や情報を市内外に発信する取組みに関して、南房総市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか？3つまで選んでください。



「Facebook や Instagram、Twitter などを活用したPRを積極的に行う」が 69.2%と最も多く、次いで、「市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する」が4割程度、「東京をはじめとする県外でのイベントに積極的に参加してPRを行う」が3割程度の順となっています。

《属性別》

学校別にみると、全ての学校で「FacebookやInstagram、Twitterなどを活用したPRを積極的に行う」が最も多く、富山中学校では8割以上を占めています。富浦中学校・嶺南中学校では「市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する」が5割程度、三芳中学校では「市のホームページを多言語による情報発信を行う」が4割程度を占めており、学校によって回答の傾向に違いがあります。

性別にみると、男女ともに「FacebookやInstagram、Twitterなどを活用したPRを積極的に行う」が7割程度を占めています。男性では「多くの人に手に取ってもらえるようなデザインを重視した広報紙を作成する」、「電車や高速バスにおける車内動画・駅構内ポスターによるPRを行う」がそれぞれ3割程度に対し、女性では「東京をはじめとする県外でのイベントに積極的に参加してPRを行う」が35%程度と男女で10ポイント程度差があります。

第3章 中学生アンケート

① 中学校別

		全体	多くの人に手に取ってもらえるようなデザインを重視した広報紙を作成する	市のホームページを多言語による情報発信を行う	FacebookやInstagram、Twitterなどを活用したPRを積極的に行う	東京をはじめとする県外でのイベントに積極的に参加してPRを行う	魅力発信のためのプロモーション動画や冊子を制作する	電車や高速バスにおける車内動画・駅構内ポスターによるPRを行う	転入者への支援制度を充実し、市外へのPRを行う	市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する	その他	無回答
中学校	全体	260 100.0	69 26.5	69 26.5	180 69.2	83 31.9	53 20.4	61 23.5	51 19.6	104 40.0	8 3.1	1 0.4
	富浦中学校	34 100.0	14 41.2	9 26.5	20 58.8	10 29.4	10 29.4	12 35.3	6 17.6	17 50.0	1 2.9	-
	富山中学校	38 100.0	10 26.3	9 23.7	32 84.2	16 42.1	3 7.9	14 36.8	6 15.8	13 34.2	-	-
	三芳中学校	45 100.0	11 24.4	18 40.0	33 73.3	8 17.8	11 24.4	10 22.2	9 20.0	17 37.8	3 6.7	-
	白浜中学校	22 100.0	7 31.8	7 31.8	15 68.2	8 36.4	6 27.3	4 18.2	6 27.3	8 36.4	-	-
	千倉中学校	61 100.0	17 27.9	14 23.0	38 62.3	18 29.5	9 14.8	9 14.8	7 11.5	17 27.9	3 4.9	-
	嶺南中学校	60 100.0	10 16.7	12 20.0	42 70.0	23 38.3	14 23.3	12 20.0	17 28.3	32 53.3	1 1.7	1 1.7

② 性別

		全体	多くの人に手に取ってもらえるようなデザインを重視した広報紙を作成する	市のホームページを多言語による情報発信を行う	FacebookやInstagram、Twitterなどを活用したPRを積極的に行う	東京をはじめとする県外でのイベントに積極的に参加してPRを行う	魅力発信のためのプロモーション動画や冊子を制作する	電車や高速バスにおける車内動画・駅構内ポスターによるPRを行う	転入者への支援制度を充実し、市外へのPRを行う	市の観光資源や、住みよさを紹介できる観光施設を整備する	その他	無回答
性別	全体	260 100.0	69 26.5	69 26.5	180 69.2	83 31.9	53 20.4	61 23.5	51 19.6	104 40.0	8 3.1	1 0.4
	男性	123 100.0	39 31.7	34 27.6	83 67.5	34 27.6	24 19.5	34 27.6	24 19.5	50 40.7	4 3.3	-
	女性	130 100.0	26 20.0	33 25.4	94 72.3	47 36.2	29 22.3	27 20.8	27 20.8	54 41.5	2 1.5	1 0.8
	回答しない	7 100.0	4 57.1	2 28.6	3 42.9	2 28.6	-	-	-	-	2 28.6	-

(5) 南房総市の魅力の情報発信について

問 10. もし、あなたが南房総市長になったらどんなことに取り組みたいですか？ご自由にお書きください。

(1) 保健 (2) 医療 ※該当する回答なし

(3) 福祉

市長になったら取り組みたいこと

- 高齢な方々でも住めるような福祉の充実、高齢な方々でも働ける職があること。一つにこだわらずにいろいろなことを受け入れる。サブカルチャーに目を向ける。(富浦中・男性)
- 1: 高齢になった場合、食料や日用品を買えるような週に2度くらいの車での移動販売。
2: 買い物を代行するサービス 車代 500 円+買い物代など 利点: 健康確認ができる。足が悪くても買いに行ける。運動にもなる。(嶺南中・女性)
- 高齢者が安心できる街づくりをしたい。(富山中・男性)

(4) 産業

市長になったら取り組みたいこと

- 日本一や世界一のものを作る。市民一人ひとりの言葉を聞く。(千倉中・男性)
- 今住んでいる人達も、充実できるようなお店や施設を作る。この南房総市の有名な物を他にも作ったり、他の場所にも売ってみたりする。(期間限定で)(三芳中・女性)
- 1人1人の意見をなるべく取り入れ、もっと観光名所や電車を開設させたり、人口を増やす働きをする。(白浜中・女性)

(5) 雇用

市長になったら取り組みたいこと

- 今、人気な会社に新たな事業をしてもらい若者を増やす。(白浜中・男性)
- 給料を増やす。買い物できる場所を増やす。バスや電車の本数を増やす。イベントや行事を増やす。転入者へのサービスを増やす。色々なインターネットを使って南房総市のいいところをアピールする。(嶺南中・女性)
- もう少し職場等を増やすことをしたい。(富山中・男性)

(6) 教育

市長になったら取り組みたいこと

- 図書館を充実させたい。(本の種類・ジャンルを増やしたい)(千倉中・女性)
- 学生に一人一台タブレットを普及する。(千倉中・男性)
- 子供のなりたい仕事の幅を広げたいと思う。(嶺南中・男性)

(7) 文化

市長になったら取り組みたいこと

- 祭りを多く開催する。(千倉中・男性)
- 南房総市の歴史ある物を知ってもらえるようなこと。(三芳中・女性)
- 伝統的なものをいろいろな人に知ってもらいたい。(富山中・男性)

(8) スポーツ

市長になったら取り組みたいこと

- 山の自然に触れるためアスレチックをつくる。(富浦中・女性)
- スポーツが豊かな町。(嶺南中・男性)
- サッカー場を作る。(千倉中・男性)

(9) 生活

市長になったら取り組みたいこと

- 土地を生かした観光地を作ったり、今まで以上に充実した福利厚生など、地域の方々が暮らしやすい市にしたい。(千倉中・女性)
- 堤防を作り、災害に備える。PRをして、若者を集める。(千倉中・男性)
- 楽しく暮らせる地域。安心して暮らせる。みんなが住みやすい地域。公園など子供から大人まで楽しく遊べる場所。その公園などは安全性があり防犯カメラなどを設置する。事故が多発しないように道路を広くする道路の整備をする。(嶺南中・女性)

(10) 自然

市長になったら取り組みたいこと

- 環境整備をもっとしていきたいです。何年か前の台風のときに、木が倒れて、それが電柱に引っかかって停電が長引きました。森林の整備などをしていけば、こういうことが防げると思います。自然と一緒に生きることが必要だと思います。(三芳中・女性)
- 海のことを中心にやっていきたいと思います。漁業や捕鯨などが盛んだと思うので施設を増やしたり、サーフィンの施設を増やしたりして観光資源としてやっていくと思います。(嶺南中・男性)
- 自然環境の整備と交通の整備。海をメインにしたイベントの開催。道路を広げる。(富浦中・男性)
- 観光客や外国人など南房総市に初めて来た人でも安心でき、楽しめるような環境作りを行いたい。(富山中・女性)

(11) 道路

市長になったら取り組みたいこと

- 高速道路を開通させる。(白浜中・男性)

(12) 交通

市長になったら取り組みたいこと

- 道の駅と電車をもっとよくする。(三芳中・女性)
- 交通の便を良くする。市が、子育て支援を充実させる。地域の人たちと触れ合える行事をする。高齢者をみんなで支える。認知症の方のサポートなどをします。(嶺南中・女性)
- 電車など交通網を増やして他県から旅行などに来やすくしたい。荒れた土地などの整備も行い、景観をよくしたい。(白浜中・女性)

(13) 移住促進

市長になったら取り組みたいこと

- 少子高齢化を止めるために、海の眺めの良さや環境が整っていることを市外はもちろん県外にも発信したいと思います。子供を増やすため、親がここなら安心と思えるように、保育園や学校の設備を整えたり、いい家の物件をPRしたりしたいです。(嶺南中・女性)
- 南房総市全体で行事などを行う。南房総市ツアーなどいろいろな人に南房総について知ってもらう。(富山中・男性)

(14) 市民参加

市長になったら取り組みたいこと

- 私は無理に観光客を増やすのでは無く、住民の方々、子供から大人までに一人一人意見を聞いていきたいと、私は思います。(千倉中・女性)
- 南房総の魅力を自分で体験し、その様子をみんなに見てもらいたいです。また、有名人を呼んで、南房総を歩きながら紹介したいです。(三芳中・女性)
- 挨拶をして返して貰えない時があるからみんなが協力して助け合えて挨拶をして当たり前のようにするようにしたいです。昔に比べたら、近所の人と他人という意識があると思うから、家族の様な存在に出来るようにしたいです。(富浦中・女性)
- 市の特色を活かしたイベントや行事を増やしたいです。(富浦中・男性)

(15) 行財政

市長になったら取り組みたいこと

- 市の良いところのアピール。・テレビなどのメディアを活用したアピール活動。・アニメやドラマなどの舞台として取り上げてもらって、聖地巡礼に訪れさせる。(富浦中・女性)
- 南房総市のことをよく知ってもらうためのPRを行い市民から信頼してもらえるような明るい市をつくっていききたいです。(富浦中・男性)
- 南房総市の住民を増やすためには、どんな仕事があるのかなどを、全国的に発信していくことが必要だと思う。人が増えれば地域も豊かになり、活性化していくのではないかと私は思う。私が市長になったらそんな活動をして、そこから祭りや伝統的な産業を発達させていけばいいと思う。(富山中・女性)

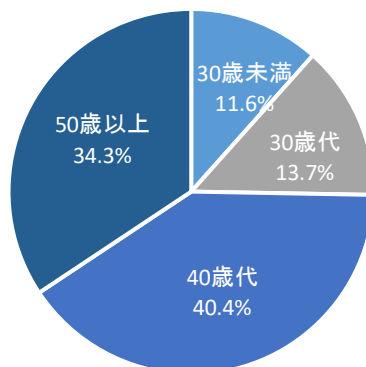
第4章 職員アンケート

(1) 回答者属性

あなたご自身のことについてお伺いします。問1～問3の問いについては、該当する番号を、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

問1. あなたの年齢は

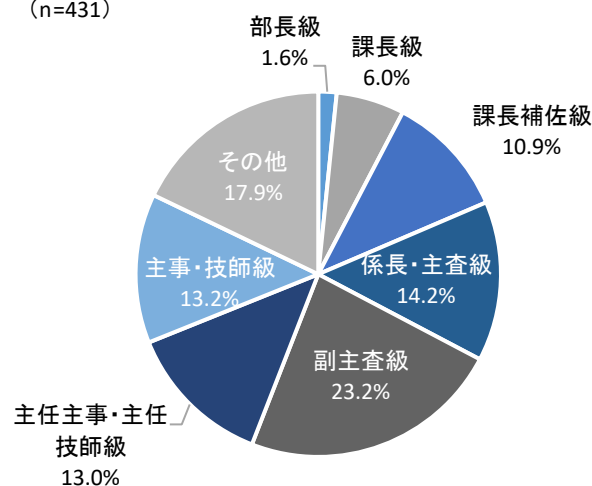
(n=431)



「40歳代」が40.4%、「50歳以上」が34.3%と3割を超えています。一方、「30歳代」、「30歳未満」は1割程度となっています。

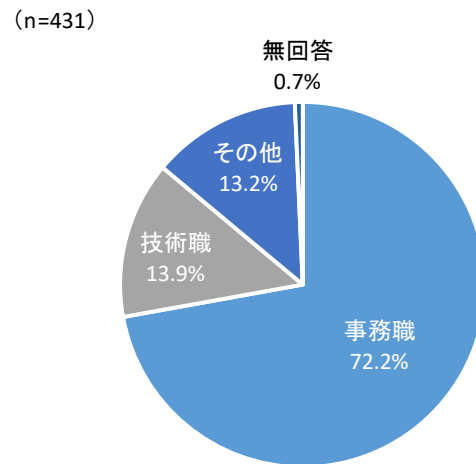
問2. 職位

(n=431)



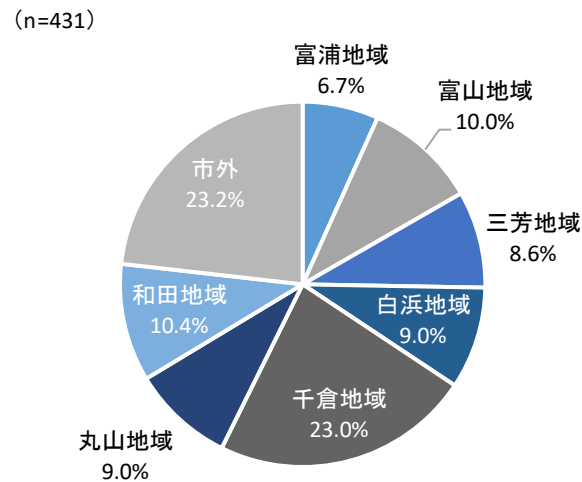
「副主査級」が23.2%と最も多く、次いで、「その他」、「係長・主査級」15%程度の順となっています。「部長級」、「課長級」は1割未満となっています。

問3. 職種



「事務職」が72.2%と最も多く7割を超えています。
次いで、「技術職」、「その他」が1割程度の順となっています。

問4. 居住地

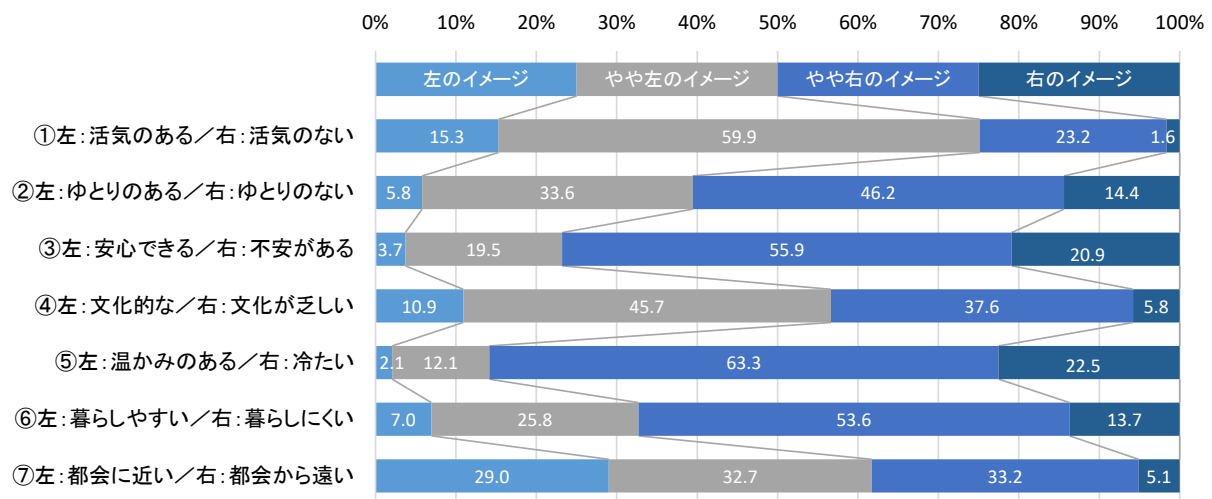


「市外」が23.2%と最も多くなっています。
市内が7割程度で「千倉地域」、「和田地域」、「富山地域」の順に多くなっています。

(2) 南房総市らしさと大切にしたい財産について

問1. あなたにとって、現在の南房総市はどのようなイメージですか。

次の①～⑦について、左右のどちらか近い方の番号1つに○印をつけてください



肯定的なイメージ（左側）が多い項目では、「活気のある」が7割程度、「都会から近い」が6割程度となっています。

一方、否定的なイメージ（右側）が多い項目では、「冷たい」が8割程度、「不安な」、「暮らしにくい」が6割以上となっています。「文化的な/文化が乏しい」については同程度になっています。

《属性別》

職位別にみると、部長級から係長・主査級で「都会から遠い」（右側のイメージ）、副主査級から主事・技師級で「都会に近い」（左側のイメージ）の割合が多くなっています。

居住地別にみると、市内では「文化的な」（左側のイメージ）が6割程度となっていますが、市外では5割程度に留まっています。「都会に近い」については、市外で肯定的なイメージ（左側）が相対的に多くなっており、居住地で回答傾向が異なります。

① 職位別

①左：活気のある／右：活気のない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
職位	全体	431 100.0	66 15.3	258 59.9	100 23.2	7 1.6	- -
	部長級	7 100.0	-	5 71.4	2 28.6	-	-
	課長級	26 100.0	3 11.5	20 76.9	3 11.5	-	-
	課長補佐級	47 100.0	4 8.5	35 74.5	7 14.9	1 2.1	-
	係長・主査級	61 100.0	13 21.3	31 50.8	15 24.6	2 3.3	-
	副主査級	100 100.0	18 18.0	66 66.0	16 16.0	-	-
	主任主事・主任技師級	56 100.0	10 17.9	34 60.7	12 21.4	-	-
	主事・技師級	57 100.0	12 21.1	33 57.9	10 17.5	2 3.5	-
	その他	77 100.0	6 7.8	34 44.2	35 45.5	2 2.6	-

②左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
職位	全体	431 100.0	25 5.8	145 33.6	199 46.2	62 14.4	- -
	部長級	7 100.0	-	3 42.9	4 57.1	-	-
	課長級	26 100.0	-	7 26.9	16 61.5	3 11.5	-
	課長補佐級	47 100.0	2 4.3	17 36.2	24 51.1	4 8.5	-
	係長・主査級	61 100.0	4 6.6	17 27.9	33 54.1	7 11.5	-
	副主査級	100 100.0	7 7.0	37 37.0	37 37.0	19 19.0	-
	主任主事・主任技師級	56 100.0	4 7.1	22 39.3	24 42.9	6 10.7	-
	主事・技師級	57 100.0	6 10.5	12 21.1	24 42.1	15 26.3	-
	その他	77 100.0	2 2.6	30 39.0	37 48.1	8 10.4	-

③左：安心できる／右：不安がある

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
職位	全体	431 100.0	16 3.7	84 19.5	241 55.9	90 20.9	- -
	部長級	7 100.0	- -	1 14.3	6 85.7	- -	- -
	課長級	26 100.0	1 3.8	5 19.2	18 69.2	2 7.7	- -
	課長補佐級	47 100.0	2 4.3	10 21.3	25 53.2	10 21.3	- -
	係長・主査級	61 100.0	4 6.6	7 11.5	37 60.7	13 21.3	- -
	副主査級	100 100.0	3 3.0	26 26.0	51 51.0	20 20.0	- -
	主任主事・主任技師級	56 100.0	2 3.6	17 30.4	28 50.0	9 16.1	- -
	主事・技師級	57 100.0	3 5.3	7 12.3	28 49.1	19 33.3	- -
	その他	77 100.0	1 1.3	11 14.3	48 62.3	17 22.1	- -

④左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
職位	全体	431 100.0	47 10.9	197 45.7	162 37.6	25 5.8	- -
	部長級	7 100.0	- -	5 71.4	2 28.6	- -	- -
	課長級	26 100.0	- -	13 50.0	10 38.5	3 11.5	- -
	課長補佐級	47 100.0	7 14.9	24 51.1	14 29.8	2 4.3	- -
	係長・主査級	61 100.0	13 21.3	29 47.5	16 26.2	3 4.9	- -
	副主査級	100 100.0	16 16.0	47 47.0	33 33.0	4 4.0	- -
	主任主事・主任技師級	56 100.0	6 10.7	26 46.4	21 37.5	3 5.4	- -
	主事・技師級	57 100.0	2 3.5	25 43.9	23 40.4	7 12.3	- -
	その他	77 100.0	3 3.9	28 36.4	43 55.8	3 3.9	- -

⑤左：温かみのある／右：冷たい

		全体	左のイ メージ	やや左の イメージ	やや右の イメージ	右のイ メージ	無回答
職位	全体	431 100.0	9 2.1	52 12.1	273 63.3	97 22.5	- -
	部長級	7 100.0	- -	- -	6 85.7	1 14.3	- -
	課長級	26 100.0	- -	3 11.5	17 65.4	6 23.1	- -
	課長補佐級	47 100.0	- -	5 10.6	35 74.5	7 14.9	- -
	係長・主査級	61 100.0	1 1.6	8 13.1	36 59.0	16 26.2	- -
	副主査級	100 100.0	6 6.0	14 14.0	61 61.0	19 19.0	- -
	主任主事・主任技師級	56 100.0	2 3.6	7 12.5	37 66.1	10 17.9	- -
	主事・技師級	57 100.0	- -	7 12.3	33 57.9	17 29.8	- -
	その他	77 100.0	- -	8 10.4	48 62.3	21 27.3	- -

⑥左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

		全体	左のイ メージ	やや左の イメージ	やや右の イメージ	右のイ メージ	無回答
職位	全体	431 100.0	30 7.0	111 25.8	231 53.6	59 13.7	- -
	部長級	7 100.0	- -	2 28.6	4 57.1	1 14.3	- -
	課長級	26 100.0	1 3.8	8 30.8	15 57.7	2 7.7	- -
	課長補佐級	47 100.0	2 4.3	8 17.0	31 66.0	6 12.8	- -
	係長・主査級	61 100.0	6 9.8	13 21.3	34 55.7	8 13.1	- -
	副主査級	100 100.0	11 11.0	33 33.0	42 42.0	14 14.0	- -
	主任主事・主任技師級	56 100.0	3 5.4	18 32.1	29 51.8	6 10.7	- -
	主事・技師級	57 100.0	5 8.8	14 24.6	27 47.4	11 19.3	- -
	その他	77 100.0	2 2.6	15 19.5	49 63.6	11 14.3	- -

⑦左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
職位	全体	431 100.0	125 29.0	141 32.7	143 33.2	22 5.1	- -
	部長級	7 100.0	- -	1 14.3	6 85.7	- -	- -
	課長級	26 100.0	4 15.4	10 38.5	10 38.5	2 7.7	- -
	課長補佐級	47 100.0	8 17.0	16 34.0	20 42.6	3 6.4	- -
	係長・主査級	61 100.0	18 29.5	18 29.5	24 39.3	1 1.6	- -
	副主査級	100 100.0	27 27.0	33 33.0	31 31.0	9 9.0	- -
	主任主事・主任技師級	56 100.0	21 37.5	11 19.6	21 37.5	3 5.4	- -
	主事・技師級	57 100.0	11 19.3	23 40.4	19 33.3	4 7.0	- -
	その他	77 100.0	36 46.8	29 37.7	12 15.6	- -	- -

② 居住地別

①左：活気のある／右：活気のない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431 100.0	66 15.3	258 59.9	100 23.2	7 1.6	- -
	市内	331 100.0	47 14.2	209 63.1	71 21.5	4 1.2	- -
	市外	100 100.0	19 19.0	49 49.0	29 29.0	3 3.0	- -

②左：ゆとりのある／右：ゆとりのない

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431 100.0	25 5.8	145 33.6	199 46.2	62 14.4	- -
	市内	331 100.0	17 5.1	113 34.1	155 46.8	46 13.9	- -
	市外	100 100.0	8 8.0	32 32.0	44 44.0	16 16.0	- -

③左：安心できる／右：不安がある

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431	16	84	241	90	-
		100.0	3.7	19.5	55.9	20.9	-
	市内	331	12	67	186	66	-
		100.0	3.6	20.2	56.2	19.9	-
	市外	100	4	17	55	24	-
		100.0	4.0	17.0	55.0	24.0	-

④左：文化的な／右：文化が乏しい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431	47	197	162	25	-
		100.0	10.9	45.7	37.6	5.8	-
	市内	331	38	155	122	16	-
		100.0	11.5	46.8	36.9	4.8	-
	市外	100	9	42	40	9	-
		100.0	9.0	42.0	40.0	9.0	-

⑤左：温かみのある／右：冷たい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431	9	52	273	97	-
		100.0	2.1	12.1	63.3	22.5	-
	市内	331	7	37	217	70	-
		100.0	2.1	11.2	65.6	21.1	-
	市外	100	2	15	56	27	-
		100.0	2.0	15.0	56.0	27.0	-

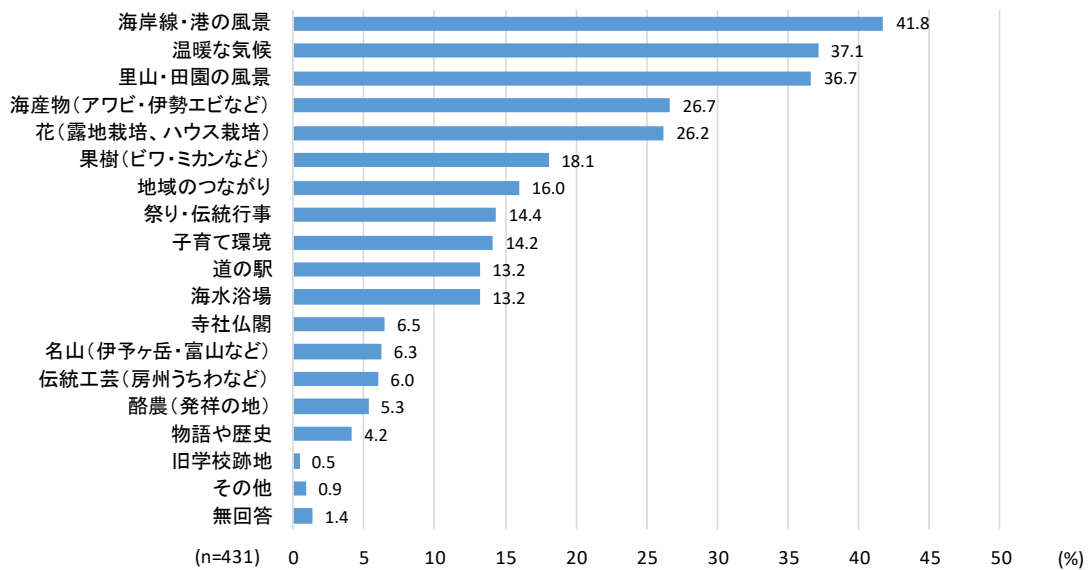
⑥左：暮らしやすい／右：暮らしにくい

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431	30	111	231	59	-
		100.0	7.0	25.8	53.6	13.7	-
	市内	331	21	83	185	42	-
		100.0	6.3	25.1	55.9	12.7	-
	市外	100	9	28	46	17	-
		100.0	9.0	28.0	46.0	17.0	-

⑦左：都会に近い／右：都会から遠い

		全体	左のイメージ	やや左のイメージ	やや右のイメージ	右のイメージ	無回答
居住地	全体	431	125	141	143	22	-
		100.0	29.0	32.7	33.2	5.1	-
	市内	331	92	108	114	17	-
		100.0	27.8	32.6	34.4	5.1	-
	市外	100	33	33	29	5	-
		100.0	33.0	33.0	29.0	5.0	-

問2. あなたにとって、大切にしたい地域の財産とは何ですか。(〇は3つまで)



「海岸線・港の風景」が41.8%と最も多く、次いで、「温暖な気候」、「里山・田園の風景」が4割程度、「海産物（アワビ・伊勢エビなど）」、「花（露地栽培、ハウス栽培）」が3割程度となっています。

《属性別》

職位別にみると、部長級・課長級では「里山・田園の風景」、課長補佐級では「海岸線・港の風景」が最も多く5割以上を占めています。係長・主査級から主任主事・主任技師級では「温暖な気候」、「里山・田園の風景」、「海岸線・港の風景」、「花（露地栽培、ハウス栽培）」がそれぞれ3割以上となっており、係長・主査級除き「海産物（アワビ・伊勢エビなど）」も相対的に多くなっています。一方、主事・技師級では「海岸線・港の風景」が最も多く、4割程度を占めています。

居住地別にみると、市内では「里山・田園の風景」、市外では「果樹（ビワ・ミカンなど）」の項目でそれぞれ10ポイントの差があります。

① 職位別

		全体	温暖な気 候	里山・田 園の風景	海岸線・ 港の風景	道の駅	名山（伊 予ヶ岳・ 富山な ど）	海水浴場	寺社仏閣	物語や歴 史	伝統工芸 （房州う ちわな ど）
職位	全体	431 100.0	160 37.1	158 36.7	180 41.8	57 13.2	27 6.3	57 13.2	28 6.5	18 4.2	26 6.0
	部長級	7 100.0	2 28.6	4 57.1	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	- -	- -
	課長級	26 100.0	12 46.2	13 50.0	12 46.2	2 7.7	1 3.8	4 15.4	3 11.5	1 3.8	1 3.8
	課長補佐級	47 100.0	14 29.8	21 44.7	25 53.2	2 4.3	1 2.1	5 10.6	4 8.5	4 8.5	- -
	係長・主査級	61 100.0	19 31.1	23 37.7	24 39.3	6 9.8	2 3.3	8 13.1	3 4.9	1 1.6	7 11.5
	副主査級	100 100.0	44 44.0	40 40.0	40 40.0	11 11.0	8 8.0	8 8.0	5 5.0	4 4.0	7 7.0
	主任主事・主任技師級	56 100.0	17 30.4	17 30.4	21 37.5	6 10.7	4 7.1	5 8.9	5 8.9	5 8.9	3 5.4
	主事・技師級	57 100.0	18 31.6	14 24.6	26 45.6	11 19.3	3 5.3	11 19.3	2 3.5	2 3.5	5 8.8
	その他	77 100.0	34 44.2	26 33.8	29 37.7	17 22.1	6 7.8	15 19.5	5 6.5	1 1.3	3 3.9

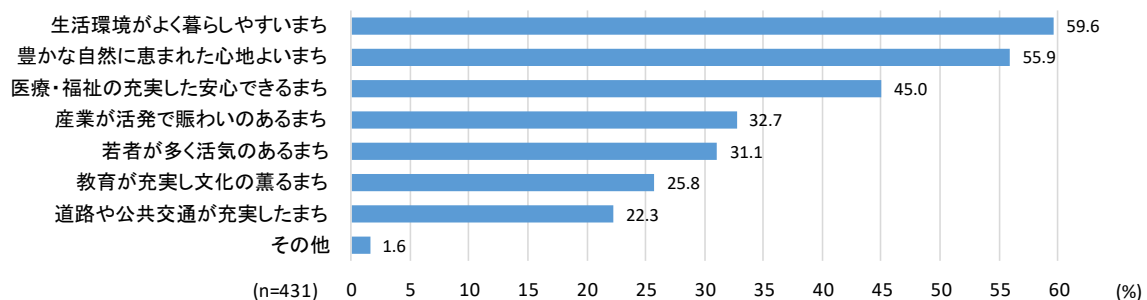
		花（露地 栽培、ハ ウス栽 培）	果樹（ピ ワ・ミカ ンなど）	酪農（発 祥の地）	海産物 （アワ ビ・伊勢 エビな ど）	祭り・伝 統行事	地域のつ ながり	旧学校跡 地	子育て環 境	その他	無回答
職位	全体	113 26.2	78 18.1	23 5.3	115 26.7	62 14.4	69 16.0	2 0.5	61 14.2	4 0.9	6 1.4
	部長級	1 14.3	2 28.6	- -	- -	1 14.3	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -
	課長級	7 26.9	1 3.8	1 3.8	6 23.1	4 15.4	5 19.2	- -	3 11.5	- -	- -
	課長補佐級	11 23.4	8 17.0	4 8.5	9 19.1	7 14.9	14 29.8	- -	8 17.0	- -	- -
	係長・主査級	19 31.1	13 21.3	2 3.3	12 19.7	7 11.5	13 21.3	- -	10 16.4	2 3.3	2 3.3
	副主査級	28 28.0	19 19.0	2 2.0	31 31.0	12 12.0	13 13.0	2 2.0	11 11.0	1 1.0	3 3.0
	主任主事・主任技師級	19 33.9	9 16.1	4 7.1	18 32.1	12 21.4	5 8.9	- -	12 21.4	1 1.8	- -
	主事・技師級	11 19.3	11 19.3	4 7.0	21 36.8	6 10.5	11 19.3	- -	7 12.3	- -	1 1.8
	その他	17 22.1	15 19.5	6 7.8	18 23.4	13 16.9	7 9.1	- -	9 11.7	- -	- -

② 居住地別

		全体	温暖な気候	里山・田園の風景	海岸線・港の風景	道の駅	名山（伊予ヶ岳・富山など）	海水浴場	寺社仏閣	物語や歴史	伝統工芸（房州うちわなど）
居住地	全体	431 100.0	160 37.1	158 36.7	180 41.8	57 13.2	27 6.3	57 13.2	28 6.5	18 4.2	26 6.0
	市内	331 100.0	130 39.3	130 39.3	141 42.6	38 11.5	24 7.3	37 11.2	23 6.9	12 3.6	18 5.4
	市外	100 100.0	30 30.0	28 28.0	39 39.0	19 19.0	3 3.0	20 20.0	5 5.0	6 6.0	8 8.0

		花（露地栽培、ハウス栽培）	果樹（ビワ・ミカンなど）	酪農（発祥の地）	海産物（アワビ・伊勢エビなど）	祭り・伝統行事	地域のつながり	旧学校跡地	子育て環境	その他	無回答
居住地	全体	113 26.2	78 18.1	23 5.3	115 26.7	62 14.4	69 16.0	2 0.5	61 14.2	4 0.9	6 1.4
	市内	88 26.6	52 15.7	17 5.1	88 26.6	48 14.5	59 17.8	2 0.6	43 13.0	4 1.2	2 0.6
	市外	25 25.0	26 26.0	6 6.0	27 27.0	14 14.0	10 10.0	-	18 18.0	-	4 4.0

問3. 今後、どのようなまちであってほしいと思いますか。（〇は3つまで）



「生活環境がよく暮らしやすいまち」が 59.6%、「豊かな自然に恵まれた心地よいまち」が 55.9%と5割を超えています。次いで、「医療・福祉の充実した安心できるまち」が 45%、「産業が活発で賑わいのあるまち」、「若者が多く活気のあるまち」が3割程度の順となっています。

《属性別》

職位別にみると、部長級、主任主事・主任技師級では「生活環境がよく暮らしやすいまち」が7割程度、課長級、課長補佐級では「豊かな自然に恵まれた心地よいまち」が6割を占めています。課長級では「医療・福祉の充実した安心できるまち」が5割程度と他の職位と比較して相対的に多くなっています。

居住地別にみると、市内・市外で回答傾向に大きな違いはありません。

① 職位別

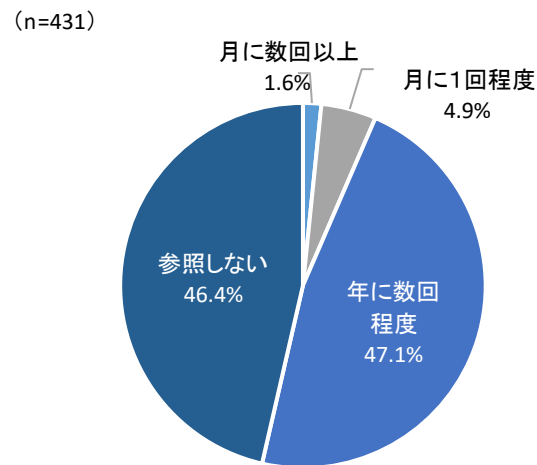
		全体	産業が活 発で賑わ いのある まち	豊かな自 然に恵ま れた心地 よいまち	生活環境 がよく暮 らしやす いまち	医療・福 祉の充実 した安心 できるま ち	教育が充 実し文化 の薫るま ち	道路や公 共交通が 充実した まち	若者が多 く活気あ るまち	その他	無回答
職位	全体	431 100.0	141 32.7	241 55.9	257 59.6	194 45.0	111 25.8	96 22.3	134 31.1	7 1.6	-
	部長級	7 100.0	2 28.6	4 57.1	5 71.4	3 42.9	2 28.6	3 42.9	-	-	-
	課長級	26 100.0	5 19.2	17 65.4	17 65.4	14 53.8	4 15.4	7 26.9	7 26.9	1 3.8	-
	課長補佐級	47 100.0	19 40.4	31 66.0	26 55.3	17 36.2	11 23.4	10 21.3	12 25.5	1 2.1	-
	係長・主査級	61 100.0	19 31.1	35 57.4	36 59.0	23 37.7	14 23.0	14 23.0	19 31.1	1 1.6	-
	副主査級	100 100.0	37 37.0	51 51.0	59 59.0	44 44.0	24 24.0	21 21.0	34 34.0	3 3.0	-
	主任主事・主任技師級	56 100.0	15 26.8	31 55.4	38 67.9	22 39.3	20 35.7	11 19.6	19 33.9	1 1.8	-
	主事・技師級	57 100.0	20 35.1	32 56.1	35 61.4	25 43.9	11 19.3	13 22.8	20 35.1	-	-
	その他	77 100.0	24 31.2	40 51.9	41 53.2	46 59.7	25 32.5	17 22.1	23 29.9	-	-

② 居住地別

		全体	産業が活 発で賑わ いのある まち	豊かな自 然に恵ま れた心地 よいまち	生活環境 がよく暮 らしやす いまち	医療・福 祉の充実 した安心 できるま ち	教育が充 実し文化 の薫るま ち	道路や公 共交通が 充実した まち	若者が多 く活気あ るまち	その他	無回答
居住地	全体	431 100.0	141 32.7	241 55.9	257 59.6	194 45.0	111 25.8	96 22.3	134 31.1	7 1.6	-
	市内	331 100.0	111 33.5	190 57.4	195 58.9	153 46.2	86 26.0	74 22.4	107 32.3	5 1.5	-
	市外	100 100.0	30 30.0	51 51.0	62 62.0	41 41.0	25 25.0	22 22.0	27 27.0	2 2.0	-

(3) 第2次南房総市総合計画前期基本計画について

問4. あなたは総合計画をどの程度参照しますか。(○印は1つ)



「年に数回程度」が47.1%、「参照しない」が46.4%と同程度の割合を占めています。一方、「月に1回程度」、「月に数回以上」は1割未満となっています。

《属性別》

職位別にみると、部長級から副主査級では「年に数回程度」、主任主事・主任技師級から主事・技師級では「参照しない」がそれぞれ5割を超えています。部長級では「月に1回程度」が3割程度を占めており、他の職員より15ポイント以上の差があります。

居住地別にみると、市内・市外で回答傾向に大きな違いはありませんが、市内では参照頻度が高い傾向にあります。

① 年齢別

		全体	月に数回 以上	月に1回 程度	年に数回 程度	参照しな い	無回答
年 齢	全体	431	7	21	203	200	-
		100.0	1.6	4.9	47.1	46.4	-
	30歳未満	50	2	1	16	31	-
		100.0	4.0	2.0	32.0	62.0	-
	30歳代	59	1	2	24	32	-
		100.0	1.7	3.4	40.7	54.2	-
	40歳代	174	1	5	83	85	-
		100.0	0.6	2.9	47.7	48.9	-
	50歳以上	148	3	13	80	52	-
		100.0	2.0	8.8	54.1	35.1	-

② 職位別

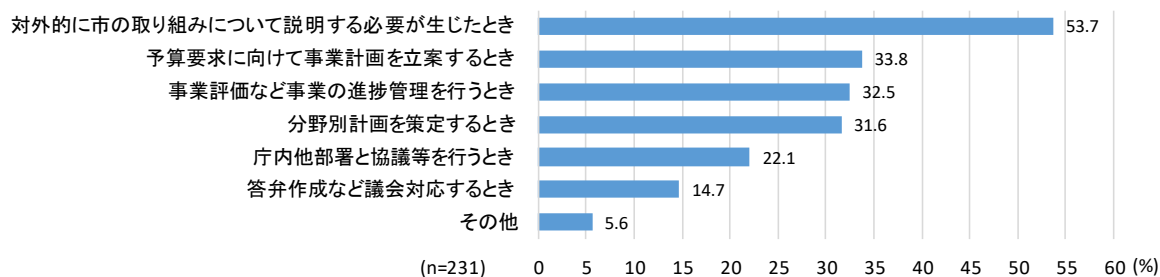
		全体	月に数回 以上	月に1回 程度	年に数回 程度	参照しな い	無回答
職 位	全体	431	7	21	203	200	-
		100.0	1.6	4.9	47.1	46.4	-
	部長級	7	-	2	5	-	-
		100.0	-	28.6	71.4	-	-
	課長級	26	1	2	18	5	-
		100.0	3.8	7.7	69.2	19.2	-
	課長補佐級	47	1	5	35	6	-
		100.0	2.1	10.6	74.5	12.8	-
	係長・主査級	61	-	4	36	21	-
		100.0	-	6.6	59.0	34.4	-
	副主査級	100	2	2	50	46	-
		100.0	2.0	2.0	50.0	46.0	-
	主任主事・主任技師級	56	-	1	26	29	-
		100.0	-	1.8	46.4	51.8	-
職 位	主事・技師級	57	2	2	24	29	-
		100.0	3.5	3.5	42.1	50.9	-
	その他	77	1	3	9	64	-
		100.0	1.3	3.9	11.7	83.1	-

③ 居住地別

		全体	月に数回 以上	月に1回 程度	年に数回 程度	参照しな い	無回答
居 住 地	全体	431	7	21	203	200	-
		100.0	1.6	4.9	47.1	46.4	-
	市内	331	7	17	156	151	-
		100.0	2.1	5.1	47.1	45.6	-
	市外	100	-	4	47	49	-
		100.0	-	4.0	47.0	49.0	-

問5. 問4で1～3を回答した方にお聞きします。

あなたはどのようなときに総合計画を参照しますか。(○印はいくつでも)



「対外的に市の取り組みについて説明する必要があるとき」が53.7%と最も多く、次いで、「予算要求に向けて事業計画を立案するとき」、「事業評価など事業の進捗管理を行うとき」、「分野別計画を策定するとき」が3割程度となっています。

《属性別》

職位別にみると、全ての職位で「対外的に市の取り組みについて説明する必要があるとき」が最も多く、課長級では8割以上を占めています。部長級では「予算要求に向けて事業計画を立案するとき」が6割程度、課長級では「分野別計画を策定するとき」が7割程度と他の職位に比べて相対的に多くなっています。

居住地別にみると「予算要求に向けて事業計画を立案するとき」、「事業評価など事業の進捗管理を行うとき」で、市内の方が市外より10ポイント以上の差をつけて多くなっています。

① 年齢別

		全体	予算要求 に向けて 事業計画 を立案す るとき	対外的に 市の取り 組みにつ いて説明 する必要 が生じた とき	事業評価 など事業 の進捗管 理を行う とき	庁内他部 署と協議 等を行う とき	分野別計 画を策定 するとき	答弁作成 など議会 対応する とき	その他	無回答
年齢	全体	231	78	124	75	51	73	34	13	-
		100.0	33.8	53.7	32.5	22.1	31.6	14.7	5.6	-
	30歳未満	19	6	6	5	1	5	2	-	-
		100.0	31.6	31.6	26.3	5.3	26.3	10.5	-	-
	30歳代	27	6	16	8	7	4	-	4	-
		100.0	22.2	59.3	29.6	25.9	14.8	-	14.8	-
	40歳代	89	31	43	32	16	27	8	4	-
		100.0	34.8	48.3	36.0	18.0	30.3	9.0	4.5	-
	50歳以上	96	35	59	30	27	37	24	5	-
		100.0	36.5	61.5	31.3	28.1	38.5	25.0	5.2	-

② 職位別

		全体	予算要求 に向けて 事業計画 を立案す るとき	対外的に 市の取り 組みにつ いて説明 する必要 が生じた とき	事業評価 など事業 の進捗管 理を行う とき	庁内他部 署と協議 等を行う とき	分野別計 画を策定 するとき	答弁作成 など議会 対応する とき	その他	無回答
職位	全体	231	78	124	75	51	73	34	13	-
		100.0	33.8	53.7	32.5	22.1	31.6	14.7	5.6	-
	部長級	7	4	4	3	2	2	2	-	-
		100.0	57.1	57.1	42.9	28.6	28.6	28.6	-	-
	課長級	21	9	18	5	8	16	8	-	-
		100.0	42.9	85.7	23.8	38.1	76.2	38.1	-	-
	課長補佐級	41	12	25	15	11	15	16	1	-
		100.0	29.3	61.0	36.6	26.8	36.6	39.0	2.4	-
	係長・主査級	40	16	23	19	9	17	4	1	-
		100.0	40.0	57.5	47.5	22.5	42.5	10.0	2.5	-
居住地	副主査級	54	16	25	15	14	12	2	1	-
		100.0	29.6	46.3	27.8	25.9	22.2	3.7	1.9	-
	主任主事・主任技師級	27	7	14	6	4	4	-	3	-
		100.0	25.9	51.9	22.2	14.8	14.8	-	11.1	-
	主事・技師級	28	8	12	7	3	6	2	4	-
		100.0	28.6	42.9	25.0	10.7	21.4	7.1	14.3	-
	その他	13	6	3	5	-	1	-	3	-
		100.0	46.2	23.1	38.5	-	7.7	-	23.1	-

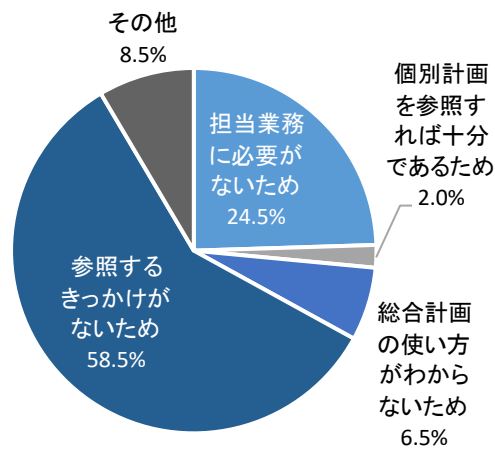
③ 居住地別

		全体	予算要求 に向けて 事業計画 を立案す るとき	対外的に 市の取り 組みにつ いて説明 する必要 が生じた とき	事業評価 など事業 の進捗管 理を行う とき	庁内他部 署と協議 等を行う とき	分野別計 画を策定 するとき	答弁作成 など議会 対応する とき	その他	無回答
居住地	全体	231	78	124	75	51	73	34	13	-
		100.0	33.8	53.7	32.5	22.1	31.6	14.7	5.6	-
	市内	180	66	97	67	45	60	30	9	-
		100.0	36.7	53.9	37.2	25.0	33.3	16.7	5.0	-
	市外	51	12	27	8	6	13	4	4	-
		100.0	23.5	52.9	15.7	11.8	25.5	7.8	7.8	-

問6. 問4で4と回答した方にお聞きます。

総合計画を参照しない理由は何ですか。(○印は1つ)

(n=200)



「参照するきっかけがないため」が 58.5%と最も多く、次いで、「担当業務に必要がないため」が 25%程度、それ以外が1割未満となっています。

《属性別》

職位別・居住地別では母数が少ないため、統計的に有意な差はありません。

① 年齢別

		全体	担当業務に必要がないため	個別計画を参照すれば十分であるため	総合計画の使い方がわからないため	参照するきっかけがないため	その他	無回答
年齢	全体	200	49	4	13	117	17	-
		100.0	24.5	2.0	6.5	58.5	8.5	-
	30歳未満	31	4	-	4	22	1	-
		100.0	12.9	-	12.9	71.0	3.2	-
	30歳代	32	8	3	4	13	4	-
		100.0	25.0	9.4	12.5	40.6	12.5	-
	40歳代	85	24	-	3	53	5	-
		100.0	28.2	-	3.5	62.4	5.9	-
	50歳以上	52	13	1	2	29	7	-
		100.0	25.0	1.9	3.8	55.8	13.5	-

② 職位別

		全体	担当業務 に必要が ないため	個別計画 を参照す れば十分 であるた め	総合計画 の使い方 がわから ないため	参照する きっかけ がないた め	その他	無回答
職位	全体	200 100.0	49 24.5	4 2.0	13 6.5	117 58.5	17 8.5	- -
	部長級	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
	課長級	5 100.0	2 40.0	- -	- -	2 40.0	1 20.0	- -
	課長補佐級	6 100.0	4 66.7	- -	- -	2 33.3	- -	- -
	係長・主査級	21 100.0	7 33.3	- -	- -	11 52.4	3 14.3	- -
	副主査級	46 100.0	16 34.8	1 2.2	- -	26 56.5	3 6.5	- -
	主任主事・主任技師級	29 100.0	6 20.7	1 3.4	3 10.3	18 62.1	1 3.4	- -
	主事・技師級	29 100.0	6 20.7	1 3.4	3 10.3	18 62.1	1 3.4	- -
	その他	64 100.0	8 12.5	1 1.6	7 10.9	40 62.5	8 12.5	- -

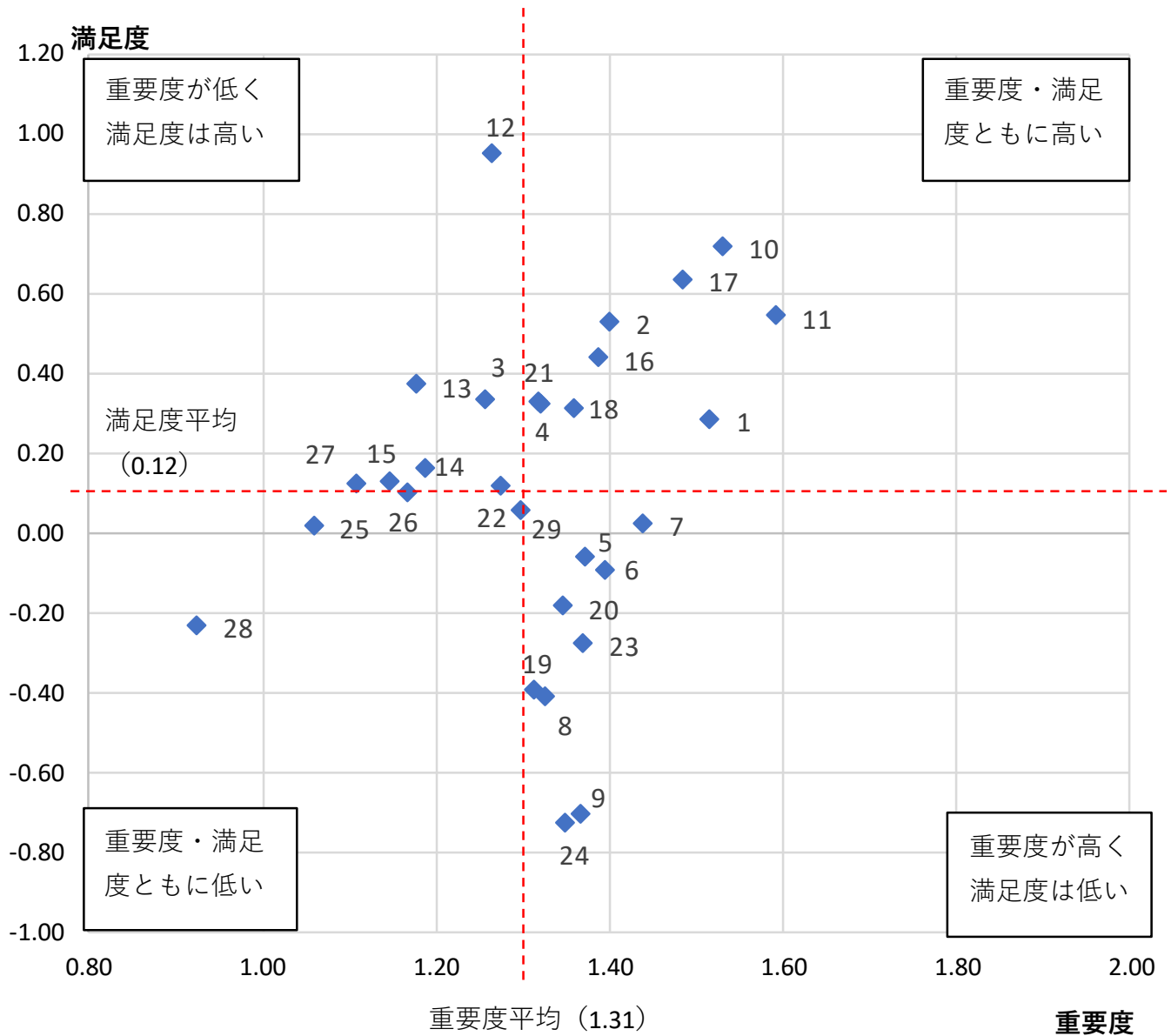
③ 居住地別

		全体	担当業務 に必要が ないため	個別計画 を参照す れば十分 であるた め	総合計画 の使い方 がわから ないため	参照する きっかけ がないた め	その他	無回答
居住地	全体	200 100.0	49 24.5	4 2.0	13 6.5	117 58.5	17 8.5	- -
	市内	151 100.0	36 23.8	2 1.3	10 6.6	89 58.9	14 9.3	- -
	市外	49 100.0	13 26.5	2 4.1	3 6.1	28 57.1	3 6.1	- -

(4) 前期基本計画の各施策の満足度・重要度について

問7.「前期基本計画」の施策に基づく以下の29項目について、それぞれ満足度と重要度を次のA～Eの5段階で評価してください。

【重要度と満足度の比較】



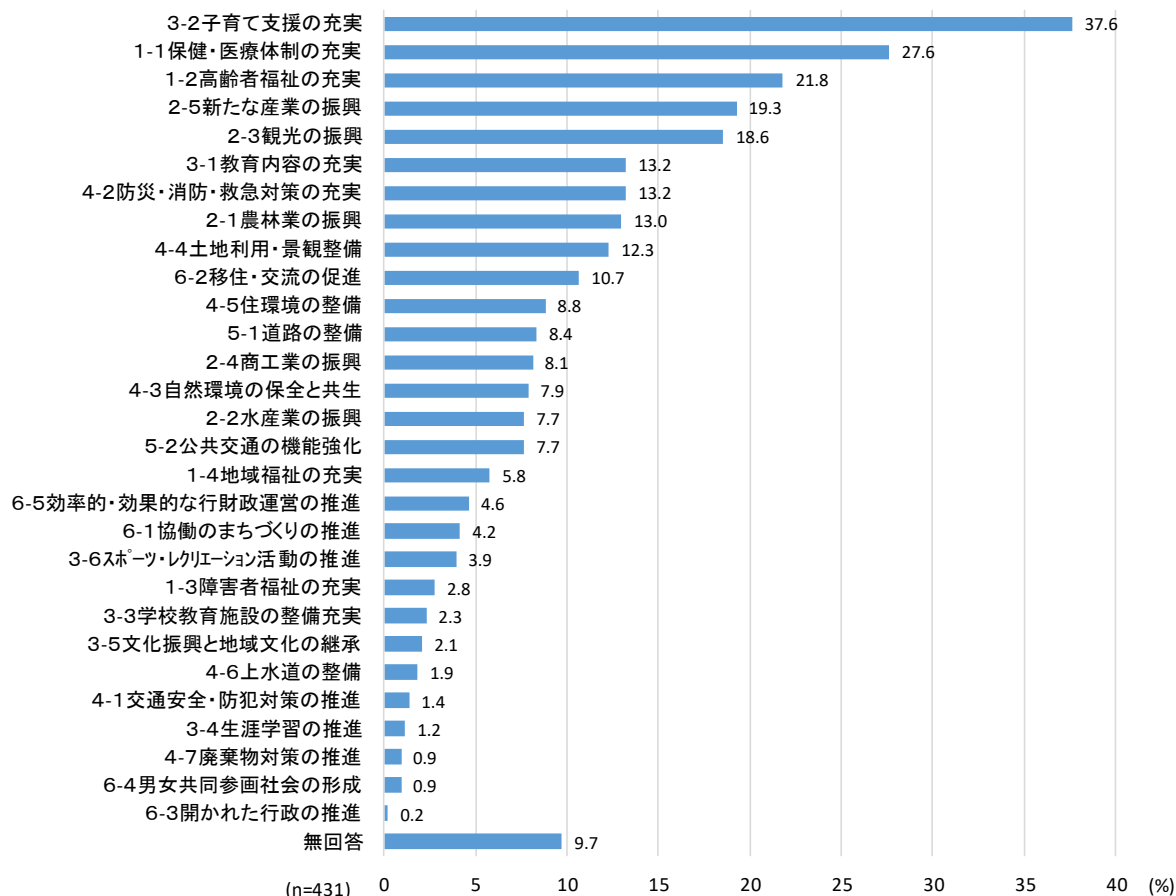
【重要度が低く満足度は高い分野】	【重要度・満足度ともに高い分野】
3. 障害者福祉の充実 12. 学校教育施設の整備充実 13. 生涯学習の推進 14. 文化振興と地域文化の継承 15. スポーツ・レクリエーション活動の推進 22. 廃棄物対策の推進 27. 開かれた行政の推進	1. 保健・医療体制の充実 2. 高齢者福祉の充実 4. 地域福祉の充実 10. 教育内容の充実 11. 子育て支援の充実 16. 交通安全・防犯対策の推進 17. 防災・消防・救急対策の充実 18. 自然環境の保全と共生 21. 上水道の整備
【重要度・満足度ともに低い分野】	【重要度が高く満足度は低い分野】
25. 協働のまちづくりの推進 26. 移住・交流の促進 28. 男女共同参画社会の形成 29. 効率的・効果的な行財政運営	5. 農林業の振興 6. 水産業の振興 7. 観光の振興 8. 商工業の振興 9. 新たな産業の振興 19. 土地利用・景観整備 20. 住環境の整備 23. 道路の整備 24. 公共交通の機能強化

基本施策ごとの重要度・満足度をみると、【重要度・満足度ともに高い分野】には、1（子育て支援等）、2（健康づくり等）、3（地域福祉等）の子育て・保健・福祉に関する分野と、4（学校教育等）の教育・文化に関する分野が挙げられ、これらの施策は引き続き市民ニーズを満たすことが必要と言えます。

一方、【重要度が高く満足度は低い分野】には、8（防災等）の暮らし・環境に関する分野、12（道路交通等）の都市・生活基盤に関する分野、7（就労環境等）の産業振興に関する分野が挙げられ、これらの施策は今後市民ニーズに対応していく必要があると言えます。

(5) 今後、重点的な取り組みが必要な施策について

問8. 問7の29項目の施策のうち、今後、南房総市として特に重点的な取り組みが必要な施策はどれですか？3つ番号を選んでください。



「子育て支援の充実」が37.6%と最も多く、次いで、「保健・医療体制の充実」が27.6%、「高齢者福祉の充実」、「新たな産業の振興」、「観光の振興」が2割程度となっています

《属性別》

職位別にみると、部長級・課長級を除く全ての職位で「子育て支援の充実」が最も多く、課長補佐級、係長・主査級、主任主事・主任技師級では4割程度を占めています。

一方、部長級では「農林業の振興」が6割程度、課長級では「防災・消防・救急対策の充実」が3割程度と職位によって回答の傾向に差があります。

居住地別にみると、「観光の振興」で市外の方が市内より10ポイント以上の差をつけて多くなっています。

第4章 職員アンケート

① 年齢別

		全体	1-1保健・医療体制の充実	1-2高齢者福祉の充実	1-3障害者福祉の充実	1-4地域福祉の充実	2-1農林業の振興	2-2水産業の振興	2-3観光の振興	2-4商工業の振興	2-5新たな産業の振興
年齢	全体	431	119	94	12	25	56	33	80	35	83
		100.0	27.6	21.8	2.8	5.8	13.0	7.7	18.6	8.1	19.3
	30歳未満	50	9	9	2	3	1	1	13	8	6
		100.0	18.0	18.0	4.0	6.0	2.0	2.0	26.0	16.0	12.0
	30歳代	59	12	13	2	1	4	6	13	9	13
		100.0	20.3	22.0	3.4	1.7	6.8	10.2	22.0	15.3	22.0
40歳代	174	51	39	5	10	25	15	32	12	30	
	100.0	29.3	22.4	2.9	5.7	14.4	8.6	18.4	6.9	17.2	
50歳以上	148	47	33	3	11	26	11	22	6	34	
	100.0	31.8	22.3	2.0	7.4	17.6	7.4	14.9	4.1	23.0	

		3-1教育内容の充実	3-2子育て支援の充実	3-3学校教育施設の整備充実	3-4生涯学習の推進	3-5文化振興と地域文化の継承	3-6スポーツ・レクリエーション活動の推進	4-1交通安全・防犯対策の推進	4-2防災・消防・救急対策の充実	4-3自然環境の保全と共生	4-4土地利用・景観整備
年齢	全体	57	162	10	5	9	17	6	57	34	53
		13.2	37.6	2.3	1.2	2.1	3.9	1.4	13.2	7.9	12.3
	30歳未満	8	22	1	-	1	3	-	3	3	8
		16.0	44.0	2.0	-	2.0	6.0	-	6.0	6.0	16.0
	30歳代	11	31	1	-	1	4	1	6	3	3
		18.6	52.5	1.7	-	1.7	6.8	1.7	10.2	5.1	5.1
40歳代	23	65	4	4	1	5	2	20	15	27	
	13.2	37.4	2.3	2.3	0.6	2.9	1.1	11.5	8.6	15.5	
50歳以上	15	44	4	1	6	5	3	28	13	15	
	10.1	29.7	2.7	0.7	4.1	3.4	2.0	18.9	8.8	10.1	

		4-5住環境の整備	4-6上水道の整備	4-7廃棄物対策の推進	5-1道路の整備	5-2公共交通の機能強化	6-1協働のまちづくりの推進	6-2移住・交流の促進	6-3開かれた行政の推進	6-4男女共同参画社会の形成	6-5効率的・効果的な行政運営の推進	無回答
年齢	全体	38	8	4	36	33	18	46	1	4	20	42
		8.8	1.9	0.9	8.4	7.7	4.2	10.7	0.2	0.9	4.6	9.7
	30歳未満	6	1	2	5	4	1	10	-	-	1	6
		12.0	2.0	4.0	10.0	8.0	2.0	20.0	-	-	2.0	12.0
	30歳代	6	1	-	6	3	3	6	-	2	5	3
		10.2	1.7	-	10.2	5.1	5.1	10.2	-	3.4	8.5	5.1
40歳代	14	5	2	15	17	5	17	1	-	7	16	
	8.0	2.9	1.1	8.6	9.8	2.9	9.8	0.6	-	4.0	9.2	
50歳以上	12	1	-	10	9	9	13	-	2	7	17	
	8.1	0.7	-	6.8	6.1	6.1	8.8	-	1.4	4.7	11.5	

② 職位別

		全体	1-1 保健・医療体制の充実	1-2 高齢者福祉の充実	1-3 障害者福祉の充実	1-4 地域福祉の充実	2-1 農林業の振興	2-2 水産業の振興	2-3 観光の振興	2-4 工業の振興	2-5 新たな産業の振興
職位	全体	431 100.0	119 27.6	94 21.8	12 2.8	25 5.8	56 13.0	33 7.7	80 18.6	35 8.1	83 19.3
	部長級	7 100.0	2 28.6	2 28.6	- -	- -	4 57.1	1 14.3	2 28.6	- -	1 14.3
	課長級	26 100.0	9 34.6	4 15.4	2 7.7	6 23.1	1 3.8	1 3.8	3 11.5	2 7.7	8 30.8
	課長補佐級	47 100.0	11 23.4	10 21.3	- -	1 2.1	13 27.7	3 6.4	8 17.0	4 8.5	12 25.5
	係長・主査級	61 100.0	15 24.6	13 21.3	2 3.3	4 6.6	14 23.0	7 11.5	15 24.6	8 13.1	5 8.2
	副主査級	100 100.0	31 31.0	21 21.0	2 2.0	4 4.0	13 13.0	8 8.0	17 17.0	6 6.0	22 22.0
	主任主事・主任技師級	56 100.0	11 19.6	15 26.8	3 5.4	4 7.1	6 10.7	5 8.9	11 19.6	5 8.9	9 16.1
	主事・技師級	57 100.0	14 24.6	8 14.0	2 3.5	5 8.8	3 5.3	3 5.3	11 19.3	8 14.0	13 22.8
	その他	77 100.0	26 33.8	21 27.3	1 1.3	1 1.3	2 2.6	5 6.5	13 16.9	2 2.6	13 16.9

		3-1 教育内容の充実	3-2 子育て支援の充実	3-3 学校教育施設の整備充実	3-4 生涯学習の推進	3-5 文化振興と地域文化の継承	3-6 スポーツ・レクリエーション活動の推進	4-1 交通安全・防犯対策の推進	4-2 防災・消防・救急対策の充実	4-3 自然環境の保全と共生	4-4 土地利用・景観整備
職位	全体	57 13.2	162 37.6	10 2.3	5 1.2	9 2.1	17 3.9	6 1.4	57 13.2	34 7.9	53 12.3
	部長級	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	課長級	2 7.7	8 30.8	- -	- -	1 3.8	2 7.7	- -	8 30.8	3 11.5	1 3.8
	課長補佐級	6 12.8	19 40.4	1 2.1	- -	2 4.3	2 4.3	- -	8 17.0	2 4.3	6 12.8
	係長・主査級	5 8.2	26 42.6	- -	1 1.6	- -	- -	1 1.6	8 13.1	5 8.2	4 6.6
	副主査級	12 12.0	34 34.0	2 2.0	2 2.0	1 1.0	7 7.0	1 1.0	17 17.0	9 9.0	17 17.0
	主任主事・主任技師級	13 23.2	25 44.6	2 3.6	2 3.6	1 1.8	- -	1 1.8	4 7.1	4 7.1	7 12.5
	主事・技師級	4 7.0	18 31.6	- -	- -	3 5.3	4 7.0	- -	6 10.5	3 5.3	11 19.3
	その他	15 19.5	31 40.3	5 6.5	- -	- -	2 2.6	3 3.9	5 6.5	7 9.1	6 7.8

第4章 職員アンケート

		4-5住 環境の整 備	4-6上 水道の整 備	4-7廃 棄物対策 の推進	5-1道 路の整備	5-2公 共交通の 機能強化	6-1協 働のまち づくりの 推進	6-2移 住・交流 の促進	6-3開 かれた行 政の推進	6-4男 女共同参 画社会の 形成	6-5効 率的・効 果的な行 政運営の 推進	無回答
職 位	全体	38 8.8	8 1.9	4 0.9	36 8.4	33 7.7	18 4.2	46 10.7	1 0.2	4 0.9	20 4.6	42 9.7
	部長級	-	-	-	-	-	-	1 14.3	-	-	-	1 14.3
	課長級	3 11.5	-	-	1 3.8	1 3.8	1 3.8	4 15.4	-	1 3.8	3 11.5	1 3.8
	課長補佐級	5 10.6	1 2.1	-	4 8.5	2 4.3	4 8.5	4 8.5	-	-	3 6.4	3 6.4
	係長・主査級	6 9.8	-	-	5 8.2	8 13.1	1 1.6	9 14.8	-	-	2 3.3	5 8.2
	副主査級	5 5.0	5 5.0	-	6 6.0	8 8.0	5 5.0	7 7.0	-	1 1.0	6 6.0	9 9.0
	主任主事・主任技師級	6 10.7	1 1.8	-	4 7.1	4 7.1	4 7.1	5 8.9	1 1.8	-	2 3.6	4 7.1
	主事・技師級	7 12.3	1 1.8	2 3.5	9 15.8	6 10.5	3 5.3	12 21.1	-	1 1.8	2 3.5	4 7.0
	その他	6 7.8	-	2 2.6	7 9.1	4 5.2	-	4 5.2	-	1 1.3	2 2.6	15 19.5

③ 居住地別

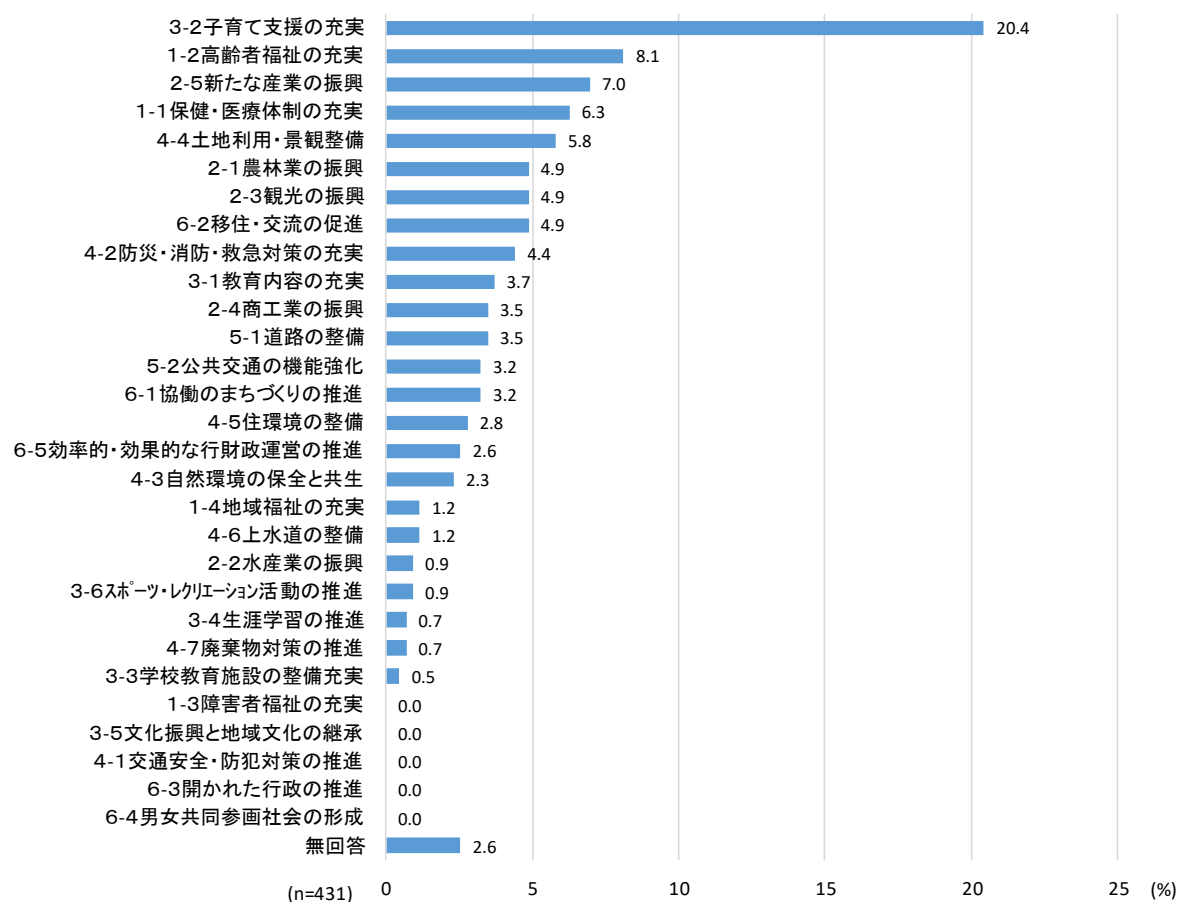
		全体	1-1保 健・医療 体制の充 実	1-2高 齢者福祉 の充実	1-3障 害者福祉 の充実	1-4地 域福祉の 充実	2-1農 林業の振 興	2-2水 産業の振 興	2-3観 光の振興	2-4商 工業の振 興	2-5新 たな産業 の振興
居 住 地	全体	431 100.0	119 27.6	94 21.8	12 2.8	25 5.8	56 13.0	33 7.7	80 18.6	35 8.1	83 19.3
	市内	331 100.0	94 28.4	70 21.1	10 3.0	21 6.3	45 13.6	26 7.9	54 16.3	24 7.3	60 18.1
	市外	100 100.0	25 25.0	24 24.0	2 2.0	4 4.0	11 11.0	7 7.0	26 26.0	11 11.0	23 23.0

		3-1教 育内容の 充実	3-2子 育て支援 の充実	3-3学 校教育施 設の整備 充実	3-4生 涯学習の 推進	3-5文 化振興と 地域文化 の継承	3-6ス ポーツ・レ ジャーショ 活動の推 進	4-1交 通安全・ 防犯対策 の推進	4-2防 災・消 防・救急 対策の充 実	4-3自 然環境の 保全と共 生	4-4土 地利用・ 景観整備
居 住 地	全体	57 13.2	162 37.6	10 2.3	5 1.2	9 2.1	17 3.9	6 1.4	57 13.2	34 7.9	53 12.3
	市内	40 12.1	126 38.1	7 2.1	4 1.2	9 2.7	14 4.2	3 0.9	47 14.2	26 7.9	45 13.6
	市外	17 17.0	36 36.0	3 3.0	1 1.0	-	3 3.0	3 3.0	10 10.0	8 8.0	8 8.0

		4-5住 環境の整 備	4-6上 水道の整 備	4-7廃 棄物対策 の推進	5-1道 路の整備	5-2公 共交通の 機能強化	6-1協 働のまち づくりの 推進	6-2移 住・交流 の促進	6-3開 かれた行 政の推進	6-4男 女共同参 画社会の 形成	6-5効 率的・効 果的な行 政運営の 推進	無回答
居 住 地	全体	38 8.8	8 1.9	4 0.9	36 8.4	33 7.7	18 4.2	46 10.7	1 0.2	4 0.9	20 4.6	42 9.7
	市内	32 9.7	6 1.8	3 0.9	24 7.3	25 7.6	17 5.1	35 10.6	1 0.3	3 0.9	14 4.2	33 10.0
	市外	6 6.0	2 2.0	1 1.0	12 12.0	8 8.0	1 1.0	11 11.0	-	1 1.0	6 6.0	9 9.0

(6) 今後、重点的に取り組むべきだと思う課題について

問9. 問7の29項目の施策のうち、今後、南房総市として特に重点的に取り組むべきだと思う課題について、項目欄に施策の分類を選び、回答欄①に重点課題の説明を、回答欄②に課題解決に向けての具体的なアイデア・提案などをそれぞれ記入してください。



「子育て支援の充実」が20.4%と最も多く、それ以外は1割未満に留まっています。

《属性別》

職位別・居住地別では母数が少ないため、統計的に有意な差はありません。

① 年齢別

		全体	1-1保健・医療体制の充実	1-2高齢者福祉の充実	1-3障害者福祉の充実	1-4地域福祉の充実	2-1農林業の振興	2-2水産業の振興	2-3観光の振興	2-4商工業の振興	2-5新たな産業の振興	
年齢	全体	431 100.0	27 6.3	35 8.1	- -	5 1.2	21 4.9	4 0.9	21 4.9	15 3.5	30 7.0	
	30歳未満	50 100.0	2 4.0	2 4.0	- -	- -	1 2.0	- -	1 2.0	3 6.0	3 6.0	
	30歳代	59 100.0	1 1.7	4 6.8	- -	1 1.7	- -	2 3.4	1 1.7	5 8.5	4 6.8	
	40歳代	174 100.0	12 6.9	16 9.2	- -	- -	11 6.3	2 1.1	13 7.5	6 3.4	9 5.2	
	50歳以上	148 100.0	12 8.1	13 8.8	- -	4 2.7	9 6.1	- -	6 4.1	1 0.7	14 9.5	
		3-1教育内容の充実	3-2子育て支援の充実	3-3学校教育施設の整備充実	3-4生涯学習の推進	3-5文化振興と地域文化の継承	3-6スポーツ・レクリエーション活動の推進	4-1交通安全・防犯対策の推進	4-2防災・消防・救急対策の充実	4-3自然環境の保全と共生	4-4土地利用・景観整備	
年齢	全体	16 3.7	88 20.4	2 0.5	3 0.7	- -	4 0.9	- -	19 4.4	10 2.3	25 5.8	
	30歳未満	3 6.0	18 36.0	1 2.0	- -	- -	1 2.0	- -	1 2.0	- -	4 8.0	
	30歳代	2 3.4	16 27.1	- -	- -	- -	- -	- -	4 6.8	- -	2 3.4	
	40歳代	7 4.0	30 17.2	1 0.6	2 1.1	- -	2 1.1	- -	5 2.9	7 4.0	12 6.9	
	50歳以上	4 2.7	24 16.2	- -	1 0.7	- -	1 0.7	- -	9 6.1	3 2.0	7 4.7	
		4-5住環境の整備	4-6上水道の整備	4-7廃棄物対策の推進	5-1道路の整備	5-2公共交通の機能強化	6-1協働のまちづくりの推進	6-2移住・交流の促進	6-3開かれた行政の推進	6-4男女共同参画社会の形成	6-5効率的・効果的な行政運営の推進	無回答
年齢	全体	12 2.8	5 1.2	3 0.7	15 3.5	14 3.2	14 3.2	21 4.9	- -	- -	11 2.6	11 2.6
	30歳未満	1 2.0	- -	1 2.0	1 2.0	- -	1 2.0	5 10.0	- -	- -	- -	1 2.0
	30歳代	3 5.1	1 1.7	1 1.7	2 3.4	- -	1 1.7	4 6.8	- -	- -	3 5.1	2 3.4
	40歳代	4 2.3	4 2.3	- -	7 4.0	6 3.4	7 4.0	4 2.3	- -	- -	3 1.7	4 2.3
	50歳以上	4 2.7	- -	1 0.7	5 3.4	8 5.4	5 3.4	8 5.4	- -	- -	5 3.4	4 2.7

② 職位別

		全体	1-1 保健・医療体制の充実	1-2 高齢者福祉の充実	1-3 障害者福祉の充実	1-4 地域福祉の充実	2-1 農林業の振興	2-2 水産業の振興	2-3 観光の振興	2-4 工業の振興	2-5 新たな産業の振興
職位	全体	431 100.0	27 6.3	35 8.1	- -	5 1.2	21 4.9	4 0.9	21 4.9	15 3.5	30 7.0
	部長級	7 100.0	1 14.3	1 14.3	- -	- -	2 28.6	- -	1 14.3	- -	- -
	課長級	26 100.0	1 3.8	1 3.8	- -	2 7.7	1 3.8	- -	1 3.8	1 3.8	3 11.5
	課長補佐級	47 100.0	2 4.3	2 4.3	- -	- -	4 8.5	- -	1 2.1	1 2.1	2 4.3
	係長・主査級	61 100.0	2 3.3	8 13.1	- -	1 1.6	6 9.8	1 1.6	7 11.5	5 8.2	3 4.9
	副主査級	100 100.0	6 6.0	8 8.0	- -	- -	6 6.0	- -	5 5.0	1 1.0	7 7.0
	主任主事・主任技師級	56 100.0	3 5.4	6 10.7	- -	1 1.8	- -	1 1.8	2 3.6	2 3.6	3 5.4
	主事・技師級	57 100.0	3 5.3	2 3.5	- -	1 1.8	2 3.5	- -	- -	5 8.8	6 10.5
	その他	77 100.0	9 11.7	7 9.1	- -	- -	- -	2 2.6	4 5.2	- -	6 7.8

		3-1 教育内容の充実	3-2 子育て支援の充実	3-3 学校教育施設の整備充実	3-4 生涯学習の推進	3-5 文化振興と地域文化の継承	3-6 スポーツ・レクリエーション活動の推進	4-1 交通安全・防犯対策の推進	4-2 防災・消防・救急対策の充実	4-3 自然環境の保全と共生	4-4 土地利用・景観整備
職位	全体	16 3.7	88 20.4	2 0.5	3 0.7	- -	4 0.9	- -	19 4.4	10 2.3	25 5.8
	部長級	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 14.3
	課長級	- -	3 11.5	- -	- -	- -	1 3.8	- -	2 7.7	1 3.8	- -
	課長補佐級	2 4.3	12 25.5	- -	- -	- -	- -	- -	3 6.4	1 2.1	3 6.4
	係長・主査級	- -	11 18.0	- -	- -	- -	- -	- -	3 4.9	1 1.6	1 1.6
	副主査級	5 5.0	15 15.0	1 1.0	2 2.0	- -	1 1.0	- -	6 6.0	3 3.0	10 10.0
	主任主事・主任技師級	3 5.4	13 23.2	- -	1 1.8	- -	- -	- -	1 1.8	2 3.6	5 8.9
	主事・技師級	- -	12 21.1	- -	- -	- -	1 1.8	- -	2 3.5	- -	4 7.0
	その他	6 7.8	22 28.6	1 1.3	- -	- -	1 1.3	- -	2 2.6	2 2.6	1 1.3

第4章 職員アンケート

		4-5住 環境の整 備	4-6上 水道の整 備	4-7廃 棄物対策 の推進	5-1道 路の整備	5-2公 共交通の 機能強化	6-1協 働のまち づくりの 推進	6-2移 住・交流 の促進	6-3開 かれた行 政の推進	6-4男 女共同参 画社会の 形成	6-5効 率的・効 果的な行 政運営の 推進	無回答
職 位	全体	12 2.8	5 1.2	3 0.7	15 3.5	14 3.2	14 3.2	21 4.9	- -	- -	11 2.6	11 2.6
	部長級	- -	- -	1 14.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	課長級	- -	- -	- -	1 3.8	1 3.8	- -	3 11.5	- -	- -	3 11.5	1 3.8
	課長補佐級	3 6.4	1 2.1	- -	3 6.4	3 6.4	2 4.3	- -	- -	- -	2 4.3	- -
	係長・主査級	- -	- -	- -	1 1.6	2 3.3	3 4.9	3 4.9	- -	- -	1 1.6	2 3.3
	副主査級	2 2.0	3 3.0	- -	2 2.0	5 5.0	4 4.0	3 3.0	- -	- -	3 3.0	2 2.0
	主任主事・主任技師級	3 5.4	1 1.8	1 1.8	1 1.8	1 1.8	2 3.6	1 1.8	- -	- -	1 1.8	2 3.6
	主事・技師級	2 3.5	- -	- -	6 10.5	1 1.8	2 3.5	6 10.5	- -	- -	1 1.8	1 1.8
	その他	2 2.6	- -	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	5 6.5	- -	- -	- -	3 3.9

③ 居住地別

		全体	1-1保 健・医療 体制の充 実	1-2高 齢者福祉 の充実	1-3障 害者福祉 の充実	1-4地 域福祉の 充実	2-1農 林業の振 興	2-2水 産業の振 興	2-3観 光の振興	2-4商 工業の振 興	2-5新 たな産業 の振興
居 住 地	全体	431 100.0	27 6.3	35 8.1	- -	5 1.2	21 4.9	4 0.9	21 4.9	15 3.5	30 7.0
	市内	331 100.0	21 6.3	26 7.9	- -	5 1.5	17 5.1	3 0.9	14 4.2	12 3.6	21 6.3
	市外	100 100.0	6 6.0	9 9.0	- -	- -	4 4.0	1 1.0	7 7.0	3 3.0	9 9.0

		3-1教 育内容の 充実	3-2子 育て支援 の充実	3-3学 校教育施 設の整備 充実	3-4生 涯学習の 推進	3-5文 化振興と 地域文化 の継承	3-6ス ポーツ・レ ジャーショ 活動の推 進	4-1交 通安全・ 防犯対策 の推進	4-2防 災・消 防・救急 対策の充 実	4-3自 然環境の 保全と共 生	4-4土 地利用・ 景観整備
居 住 地	全体	16 3.7	88 20.4	2 0.5	3 0.7	- -	4 0.9	- -	19 4.4	10 2.3	25 5.8
	市内	12 3.6	68 20.5	1 0.3	3 0.9	- -	3 0.9	- -	17 5.1	6 1.8	23 6.9
	市外	4 4.0	20 20.0	1 1.0	- -	- -	1 1.0	- -	2 2.0	4 4.0	2 2.0

		4-5住 環境の整 備	4-6上 水道の整 備	4-7廃 棄物対策 の推進	5-1道 路の整備	5-2公 共交通の 機能強化	6-1協 働のまち づくりの 推進	6-2移 住・交流 の促進	6-3開 かれた行 政の推進	6-4男 女共同参 画社会の 形成	6-5効 率的・効 果的な行 政運営の 推進	無回答
居 住 地	全体	12 2.8	5 1.2	3 0.7	15 3.5	14 3.2	14 3.2	21 4.9	- -	- -	11 2.6	11 2.6
	市内	8 2.4	4 1.2	2 0.6	9 2.7	10 3.0	12 3.6	18 5.4	- -	- -	8 2.4	8 2.4
	市外	4 4.0	1 1.0	1 1.0	6 6.0	4 4.0	2 2.0	3 3.0	- -	- -	3 3.0	3 3.0

回答欄②に課題解決に向けての具体的なアイデア・提案などをそれぞれ記入してください。

1-1 保健・医療体制の充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
高齢者の割合増加、子育て世代などすべての世代で安心して過ごせる保健・医療体制の構築は人口定着に欠かせないと思われま。	他の市町村との医療体制の連携は大切です。また、市としての独自の医療体制の構築は今後も必要性だと思われます。必要時に早急的な対応ができる強みがあると思われま。現在の医療体制・医療機関、健康増進的なイベントなどをわかりやすく告知し、住民への安心感につなげられれば良いと思われま。
年々高齢化率が上昇しており、公共交通機関も満足な状況とは言えない中で、病院に掛かることも難しくなっているため。	病院に掛かる医療用タクシーの整備、またそれに対する補助金。
保健・医療体制の充実は、子育て世帯にも高齢者にも安心して暮らす手だてになると思われま。	医療費の300円負担を高校生まで延ばす。

1-2 高齢者福祉の充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
現状を判断すると、今後も市民における高齢者の割合が高いことが想定されるため。	外出支援策などについて、先行事例等を検証し検討することや、介護人材などの確保支援策について検討を要する。
南房総市の高齢化率は、45%を超え、県下でも3番目の高さです。地域に合った地域包括ケアシステムを構築して、できるだけ在宅（地域）で生活できる環境づくりが重要で。	地域での見守り体制として、民生委員さんはじめ、近所の方々が高齢者世帯を心配していると思われま。世代が変わっても体制維持をできるように普段からのコミュニケーションが大切と考えま。
高齢者の増加に伴って要支援・要介護認定者数が年々増加しているため。	ワークショップの開催、継続した健康づくり講座の実施、医療・介護職の人材確保。

1-3 障害者福祉の充実

回答なし

1-4 地域福祉の充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
関係者と市民の力を結集したまちづくりが大切だと思います。	社会福祉協議会等関係者との連携強化重層的支援体制の整備。
地域づくり協議会が当初の目的を果たせていないため、解体的出直しが必要。地域福祉と協働を一体的に推進していくべき。	地域づくり支援事業（市民課）と生活支援体制整備事業（健康支援課）を合流させ、地域づくり支援員の社協への配置と集落対策に注力させる。

2-1 農林業の振興

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
南房総市だけの問題ではないが、小規模な第1次産業では生活が成り立ちづらい。若年層も離れて行ってしまい、市の大部分が農地であるが耕作放棄地も増えている。	市と、農協や民間企業等と協働で、農業・漁業法人等、会社組織での雇用の場を確保し、耕作放棄地を借り上げ、地域の特産品等の生産、販路の拡大を行う。
産業が少ないので現在の仕事プラスアルファで生活の足しになることと、今後来る食糧難に向けて、市民の食料自給率を少しでも上げるため。	農業を始めるためにできるだけ簡単に田畑を借りられるようにすることと、農作業の指導者の確保や担い手を探すため、農作業の始め方講座などの動画を作成したり、ワークショップを開催する。
基幹産業であるが、高齢化、担い手不足、有害鳥獣被害など問題が多い。農業が儲かるのであれば新規就農の魅力も増し、地域での就労者が増える。	山林開発、整備への強力な支援。地すべり対策や道路の問題がクリアできれば宅地化できればなお良い。海が見えて、土砂災害や津波の心配のない土地であれば移住者の選択肢になる。

2-2 水産業の振興

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
高齢者福祉についても高齢化率が高い地域なので重要だと考えているが、市の経済活性化のための施策を重要課題と設定する必要があると考えたため、6を選択した。	水産商品のブランディング、販路拡大。

2-3 観光の振興

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
若い世代が働ける環境が十分ではないため。	地元で働く方法や手段、選択肢を学ぶ機会を学生のころから作り、地元で働きたいという気持ちを育む。
観光産業は産業構造全体の中で広く影響し、地域活性化の重要なカギとなる。観光産業の裾野には様々な産業分野が連携しており、経済波及効果も期待できる。地域内での雇用創出も期待できる。南房総地域は「観光地」のイメージを持ってもらっている。	観光関連事業者を主体とした市民（団体）に観光振興に関するビジョン、プランの策定に積極的に参加させ、実践させる仕組みづくり。そこに資金を投入することができる仕組みづくり。
定住促進への足掛かりとして、働く場の創出が必須であることから、観光の振興を進めた方が良いと思います。交流人口の増加は、短期滞在（観光）、半定住、定住へとつながり、裾野の広い観光業は地域の雇用を創出し、地域経済の活性化に寄与すると思います。また、医療体制の充実が定住への後押しとして、子育て世代から高齢世代まで欠かせない要素だと感じます。	東日本大震災の時に人や物の動きが止まり、道の駅などに農産物等があふれていました。交流人口を増加により地域経済が活発化し、地域に雇用が生まれ、地域の衰退を緩やかにすることが出来ると思います。（具体策）・地域ブランド（あわび、イセエビ、ヒラメなど）を育てる漁業のより一層の充実・農業生産法人の誘致、大規模農家の法人化支援・道の駅を核とした地域振興部署の創設（観光・農漁業の一体的振興）

2-4 商工業の振興

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
子ども2人を大学まで卒業させ、自分の家が建てられるだけの資力が生むことができる報酬がある企業を誘致（または育成）することが最重要課題だと思います。暮らすことができる安定した生活基盤が無ければ人が定着しない。他の施策も重要と思いますが、それらはこの次に用意すべきものと考えます。	物を生み出す産業の誘致育成生産性を考えると、製造業ですが、資源として漁業・農業を育成することにより、より多くの付加価値額を創出できる産業を誘致または育成する必要があると思います。
地域経済の基盤となる商工業が発展しないと、少子化対策や地域社会の維持、教育・文化の発展も見込めないと思うから。	地元の若手就労者への助成・支援など。
若い世代が地元で暮らし続けられる環境が必要だと思うため。	企業の誘致や商業施設の整備。

2-5 新たな産業の振興

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
このままでは、少子・高齢化、人口減少が進み、この地域の未来への希望がみえず、新たな産業の振興が必要と思えるため。	若者が移住・定住したくなる魅力のある地域になるような、IT その他の産業振興・情報発信に力をいれる。
地域の活性化のためには、若者を増やす必要があり、そのためには魅力のある働き場の選択肢がいくつかあると良いと思うため。	主に若者や学生を対象に、本市において、今後どのような産業が地域の活性化に繋がる可能性があるのか、どのような産業に従事したいのかなど、ワークショップを開催し、新たな産業の模索や従来の産業の見直しを行う。
新たな産業の振興がなければ、移住・交流や若者が多く活気のあるまちづくりは継続されないと思うから。	第一次産業関係団体と市が、連携だけではなく実務を共有する部署づくり（地域資源再生室等のような）

3-1 教育内容の充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
教育内容を充実させ育成していくことは基本と考えるため。	先端技術を取り入れることや語学力を高めることなど未来を担う人間力が育つ環境づくりを確立する。
南房総市でしか受けられない教育をすると、子供たちが集まりその親も集まるため地域活性化になる。	いい成績をとっていい大学に入りいい企業に就職するというパターンを変えるため、例えば自分で稼ぐ力をつける教育を実施する。金融資産をふやすには・ビジネスモデルを作り実践してみる。商売に関する法律を学ぶなど。
教育内容を充実して人間性、常識や生活力を含め次世代へと繋がっていく。市のイメージアップが必要と感じたから。	授業の一環で道德の強化や幼・小・中で教養を深める取り組み。子どもだけではなく親教育も必要。

3-2 子育て支援の充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
子どもを安心して生んで育てられる環境をつくれるかどうかは全国共通の重点課題であり、地域の存続の一番のキーポイントであるため。	高校生までの教育費の無料化と小学生からの起業教育カリキュラムの導入、ふるさと教育の徹底など。
さまざまな子育て支援の充実が住みやすい環境づくりに繋がると思うから。	乳幼児のおむつ手当などの購入支援、週末も含めた一時預かりの充実、体育館の無料開放日の設定などの遊び場の提供。
少子高齢化が加速し、将来、南房総市を担う若者の移住が課題となるため。	古民家をリノベーションし、宿泊体験や賃貸住宅として滞在してもらい、南房総市の良さを実感してもらう。

3-3 学校教育施設の整備充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
少子化に伴う学校再編（統廃合）が急務であると考えため。	内房地区の中学校区の統合。

3-4 生涯学習の推進

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
高齢者層が多い南房総市にとって、高齢者の経験・知識が地域で生かされ南房総市に住んでいることが誇りに思えるように感じられることは大事だと思う。	市内の旧7町村に残る歴史・史実のなかから、現在の南房総市、将来の南房総市で役立つものを選び、紹介していく。

3-5 文化振興と地域文化の継承

回答なし

3-6 スポーツ・レクリエーション活動の推進

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
スポーツを気軽に楽しめるイベントや、施設が少ないため。子供たちのスポーツの選択肢が少ないため、中学校以上の進学先に上総（木更津方面）の学校を選ぶ生徒も多いと感じるため。	【スポーツを気軽に楽しめるイベント】「ロゲイニング」を開催する。近年人気のイベント。専用のアプリもリリースされている。走っても歩いてもOKなので小学生から高齢者まで楽しむことができる。チェックポイントを文化財等に設定。、学生は「南房総学」につながり、大人は地域について再発見ができるよい機会になる。アプリがあるので、スタッフはメイン会場に数人いれば運営可。職員の負担も大きくならないのではと考える。
高齢化が進む中で、健康に過ごすためには、生涯にわたって運動することが健康維持につながるため。	温水プール施設の充実、スポーツジムの開放、景観を生かしたマラソンコースの紹介、インストラクターによる年代別スポーツ講習等。

4-1 交通安全・防犯対策の推進

回答なし

4-2 防災・消防・救急対策の充実

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
大規模災害への備え。自助、共助、公助。防災リーダーの育成。避難所運営委員会の設立。消防団の組織改編。病院との連携。以上が急務。	各地域センターの消防担当職員を消防防災課に集約し、消防防災課の人員を増やす。短、中、長期的な業務をスピード感、計画性をもって取り組む。
避難を伴う災害が多くなっているため。	第4 配備以降の職員も、大災害になる前に配備（避難所）を経験してもらうことが必要。
避難所の開設等、応急的な防災は行っているものの、根本的な対策が不十分に感じる。	津波を防ぐ防潮堤、土砂警戒区域での排水整備・擁壁整備、あるいは災害区域に居住する住民を非災害区域へ移住を促す施策など、災害を未然に抑止・回避する対策にもっと注力してもいいと思う。

4-3 自然環境の保全と共生

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
自然災害、食料など持続可能な社会の観点から自然環境の保全共生が重要と考えているため。環境保全のための政策として、田畑、里山の維持や整備につながり農水産業、強いては自然災害に強いまちづくりへの波及があると考えするため。	既存農産物のブランド化、新たなる品種の栽培の促進や販路の構築、整備など。
一度壊した自然は簡単には戻らないので、大切に保全して、都会から近く自然あふれる経観を生かした、都会との交流をはかる。	里山の整備を行い、害獣対策を進める。
海、里、山は南房総市の最も重要な財産であるから。	自然環境に触れるイベント（移住定住、スポーツ、里山体験）などによる PR 事業の実施。

4-4 土地利用・景観整備

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
重点地域や中心市街地の計画がないと若い世代の移住や企業の移転の候補になりにくいので。	例えば市内で一番都市部に近い富楽里の周りに新しい市街地を形成する計画を作ればかなりの投資が呼び込めるのではないのでしょうか。
転出者の増加が著しく、また高齢化による人口減少が激しいため。	公共施設整備ばかりに目を向けずに、南房総市に住み続けられるように（南房総市を出ていなくてもいいように）住みやすい場所の提供をする。土地や住宅の購入等に対する助成など。
サーフィンなどで既に移住している方がいるということは、土地や景観を整備して有効活用することができれば、当市の新たな魅力が生まれ観光や移住などへの波及効果も生まれるのではないかと。	市内のNPO法人や民間の団体へ業務委託や指定管理者制度の活用。

4-5 住環境の整備

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
居住用の住居が本市に少ないことが喫緊の問題である。家の選択肢がないため他自治体へ流れてしまう事例が複数生じている。ただし、上記20だけの個別施策を特出しするのではなく、「11子育て支援」、「19景観整備」、「27土地利用・景観整備」など一体的に方向性をはっきりさせて進めていくべき。	空き家が市場へ出る施策（特に賃貸）。 ①空き家のDIY費用支援（借主側） ②空き家の所有者へ利活用PR
館山市に若い世代の人口が流れていってしまう一番の理由だと考えられるから。	市内アパートへの引越し補助金や新築住宅補助金等。
生活し難い土地には人が集まらない為。	仕事、教育、医療の充実が必要だと思います仕事紹介とか塾などで教育のレベルをあげるとか。

4-6 上水道の整備

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
昨冬の湧水や現在の水道管の老朽化、敷設替えの時期に差し掛かっている、人口減少などによる水消費量の低下により、水道事業の運営圧迫があるため。ただ、水道事業は市で維持するべきと考えます。	市独自、市水道事業地域用のために、緊急事態対応の整備や今後も計画的な水道管の交換事業、それらの経費が必要な場合は、水道料金の値上げも地区説明会をするなどして実行するべきと考えます。
上水道の整備は、生活の根幹となるもの。移住を考えている人も十分なライフラインが整備されていることで安心して移住することができると思う。	全体的な配管の整備と強化。ある程度の太さの配管が必要。旧町村の頃の配管では、現在の住宅事情等に合わなくなっている部分もある。

4-7 廃棄物対策の推進

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
人口が減少する中、若者が子どもを産み育てるため教育環境の充実が必要だから。	南房総市の人口を増やすため、学校施設跡地や遊休地を利用し、市が宅地造成を行い、若者を対象に土地を売り出す。
目に余るため。	地元のボランティア任せにするのではなく、ごみは作業員を業務契約等をする。雇用を創出にもつながると思う。捨て猫等は地域猫に対する去勢費用を助成する。

5-1 道路の整備

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
教育施設の整備ばかりしていないで、インフラの整備が先ではないか。	1年ですべてはできないので、議員、行政連絡員、職員で現地調査をし、回収計画を策定すべきだ。
子育てすることを考えた時、道端を子供が安心してあるける道路が少ないと感じたから。通学路や通学バスまでの道で危険があると感じたから。(信号のない横断歩道や、道幅がとても狭い歩道など。運転手が気付かなかった場合、危険。)	学校周辺一定範囲内の横断歩道には押ボタン式信号ついていると安心。最近ニュースで通学中児童巻き込まれ事故が多いので心配。歩道がない道が多く日ごろから車優先、歩行者軽視の感覚になりやすい。将来的にはすべての道に、十分大人一人歩ける幅の歩道があることが理想。今後新しく舗装する道路には必ず歩道を設定したかどうか。
道が狭い、暗い公共交通は利用者が少ないので検討し交通弱者を考えてほしい。	道の整備公共交通の考え方や見直しの検討。

5-2 公共交通の機能強化

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
高齢化率が高くなり、運転免許返納等の理由により自力での移動が困難になっていくと思われるため。	南房総市だけではなく近隣市町村や交通機関会社と連携した会議を開催する。
車がないと日常生活支障がある。	市内循環バスの路線拡充。旧地域のみではなく広域的に考える。
高齢者の増加に併せ、運転免許証を返納する方が増加傾向にあり、公共交通の機能強化が必要なため。	隣接市のように市内循環バスの運行が各地域ごとに必要。(現在は限られた地域のみ市内バスが運行している。大きなバスは必要なくワゴン車等での導入を進めて欲しい。)

6-1 協働のまちづくりの推進

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
まちづくりの担い手が高齢になってきており、若い人が在住していない。世代交代というより、交代者がいない。(後継者、家の存続が難しくなっている)	若い人たちが新しく、居住しやすい環境整備をしていける(地域に密着した大成づくり)必要があるため。自給自足がしやすい生活環境が欲しい。年配者はそれでも地域を愛する心があるので、新住居者がごみゼロや草刈作業に出なくてもがまんして作業し、少しでも若い人に住んでもらいたいという気持ちで取り組んでいるけれども、体力にも限度があるのでその対応も考え確保する必要があるため。
協働とは違うかもしれないが、将来的にまちを発展させていく「担い手」が育たない限り、地域は衰退していくと考えられる。市内外に魅力を伝え、まちを良くしようという想いや意欲がある人を増やすことで、持続的な発展につながる。	まちを良くしたいと心で思っている人も多くいるが、声に出せない、行動に移す場がないと考えられる。どうにか意見だけでも吸いあがられないか…LINE等を使って気軽に意見(落書きでもOK)を出せる場所があるといい。新しい形のタウンミーティングなども開催できれば。
様々な課題が市役所職員だけでは対応・解決しきれないため。	このような課題に対し、市民の中でこのような方にこういった御協力いただきたいというように具体的な課題の内容や対象者、協力方法を提示する。(なるべく協力する内容は負担が小さくなるよう細分化する。)

6-2 移住・交流の推進

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
人口減少が一番大きな課題であるため・観光業や農林業など、各分野を盛り上げるためにもそれらに従事してくれる人口を増やす必要があると考えたため。	農業体験や酪農体験、南房総の観光地ツアーなどをセットにした若者向けの移住体験を増やす。本当に移住したい人にとってはありがたいと思うし、観光気分で来た若者でも楽しければ友人に紹介したり SNS に投稿したりと結果的に南房総市を PR できると思う。
都心からのアクセスも良く、自然環境豊かな立地を上手にアピールして、若い世代や子育て世代の移住を推進。東京一極集中を緩和したい日本の考えにも合致する。	海・山などの自然が魅力だと感じているので、SNS を積極的に活用し、まずは集客。富浦の栈橋などは好事例だと思う。平日でもたくさんの方が来ていた。『非日常』を感じられる写真や動画をアップ。
人口が減り、市全体が活性化されないため。	子育て支援を充実させ、暮らしやすい環境であることをアピールしていく。新たな産業を誘致し、働く場を提供することにより、移住促進を進めていく。(移住者用施設やショッピングモールを含めた施設等)

6-3 開かれた行政の推進、6-4 男女共同参画社会の形成

回答なし

6-5 効率的・効果的な行財政運営の推進

重点課題の説明	課題解決に向けての具体的なアイデア・提案
各組織間に関連する事業の連携体制が希薄と感じる。	複数部署で実施した方が効率的だと考える業務の調整役を考える。
市町村合併前の事業（特にイベント）を継続して実施しているため。	事業のスクラップアンドビルドは必須だと考える。またイベントの行財政効果の検証。
補助金行政から脱却しなければ、いつまでたっても民間部門が育成されないため。重点的に施策を実施したら、撤退を考える必要があると思います。いつまでも同じ行政をしていては、地域がもたないと思います。	事業仕分けを実施して、事業の優先順位を付けた上で、優先順位の低い事業、効果が小さい事業は廃止する必要があると思います。

(7) 今後、取り組むべきだと思う課題について

問 10. 人口減少・少子高齢化への対策、地方創生や地域活性化への対策など、分野や施策を横断して南房総市全体で取り組むべき対策や事業について、具体的な アイデア・提案などがあれば、以下の回答欄に記入してください。

(1) 保健 ※該当する回答なし

(2) 医療

今後取り組むべき課題について

- 人口減少への対策。
- 医療体制を充実させ、若者が働く場所を確保し、働きながら仕事のできる環境を整備し、年をとっても老後を楽しく安心して過ごせるようにしてほしいと考える。
- 少子高齢化への対応。

(3) 福祉

今後取り組むべき課題について

- 介護費用削減のためにむりやり世帯分離をしている家庭がある。3世代家族への優遇措置。出生率を2.0以上にするために第3子以降の子供に財政的な特別支援を行う。(大学の学費全額負担等)
- 兔にも角にも人口増施策。
- 高齢化する中でのごみ出し、収集車が近くまで行けない人達の対策、観光ごみ、学校のごみ、事業ごみ、農林水産関係の廃プラスチックなど、ほぼ全部署にかかわるごみ対策について取り組むべきと思います。

(4) 産業

今後取り組むべき課題について

- 高齢化社会の中で、農業面での支援として、機械やそのオペレーター等の支援や作業等の支援に補助があれば法人化して、その担い手となる若者の雇用が生まれ、休農耕地を減少化できるのではないかな。
- 地場産業を活性化し、農林水産業や観光業に従事し、年齢を問わず定住する人を支援する事業。
- 新エネルギー施策。

(5) 雇用

今後取り組むべき課題について

- 若者を定着させるために、企業誘致をし、働く職場を増やすことに取り組むべきだと思う。
- 若い世代が地域に定着できるような、様々な雇用の創生が無いと人口減少・少子高齢化は進むような気がします。色々な分野に資格的なものなどで賃金の補助的なことができれば、仕事への意欲増進・仕事の質の向上が期待でき、都会との賃金格差が少しずつ解消していくように思われます。
- 人口減少や担い手不足、医療・福祉現場における人材不足等があるが、若者や高齢者の雇用機会の増加や魅力ある仕事を増やすことが重要であるとする。

(6) 教育

今後取り組むべき課題について

- 子育て支援の充実と学校など授業に特色を持たせ、他地域からの転校・転入などの受け入れやすくするための住居確保。各地区の商工会と観光の役員などでスポンサーをつけてのイベント開催。
- 出生前から一貫して子育て支援をしている自治体は、移住する世帯も多いので市全体で取り組んでほしい。
- PTA 活動や指導員などの定員の見直し（特に青少年相談員の定数について人口や児童数の多い千倉地区よりも相談員の定員数が多い地区があるので見直してほしい）児童数が少ないため PTA の役員など親の負担が増えています。子育て支援のためにも親の負担軽減が必要と考えます（負担が多いと他市（館山市など）へ移住して行ってしまいます）。

(7) 文化 ※該当する回答なし

(8) スポーツ

今後取り組むべき課題について

- 【スポーツを楽しめる施設】陸上競技場（小規模）の設置を行う。安房地域にある陸上競技場は鴨川だけ。南房総市は気候が安定しているため合宿地候補としての人気も高いが、競技場がないことを理由に選ばれないことも多い。近隣の高校でも競技場での練習が必要な場合は、鴨川まで足を運んでいるようなので需要は高いのではないかとと思われる。観客席など大きなものを設置しなければ、コストも抑えられるのではないかと考える。

(9) 生活

今後取り組むべき課題について

- 若者の意識をしっかりとらせることが重要で、「どこで誰と働き、どこで誰と暮らすのか」など、具体的な意識を確認した施策であって欲しい。市内には、若者が住むアパートなどが非常に少ないのも事実か。
- 防災・減災を推進し、安心安全なまちづくりへの対策。
- 教育施設や公共施設等の付近に住宅を増やせるようにして、あらたな集落をすることで、子育て世代にとって子育てしやすい環境をつくる。

(10) 自然

今後取り組むべき課題について

- イノシシの駆除をもっとすべきである。農地の荒廃、土砂災害の基が広がる前に行う必要がある。
- 景観がよく自然豊かで温暖な気候の土地柄を生かして、畑付き空き家、古民家への移住の推進をPRする。生活コストを抑えた生活できる。何が求められているのかをリサーチする。ふるさと納税の返礼品のような形でシェアハウスや別荘感覚で短期滞在を紹介するなど。
- 市の魅力度磨き上げ（子育て、学校施設、広報、住環境、景観整備）近年 SNS での投稿が増える中、景観エリア（フラワーライン、道の駅周辺や海など）は、道の草や歩道を綺麗にするだけでも魅力が上がると思う。また、誰もが自由に使える遊具がついた大きな公園（市民意見を踏まえて、利用者の将来的な使い方を想定した上で作る）が市内に1つあれば、移住、子育て支援やイベント開催等を通じて商工・観光振興にもつながる。

(11) 道路 ※該当する回答なし

(12) 交通

今後取り組むべき課題について

- 市内に居住し大学や専門学校に通学している方や若い世帯で都心へ通勤している方に交通費支給などの支援を行う。また通勤時間帯の高速バスの本数が増えれば働く世帯の定住が見込めるのではないか。
- 移送に関する施策：高齢者の移送問題というだけでなく、子どもたちも住んでいる地域によっては不便さを感じている。その子どもたちの送迎は親や家族の負担となっているため、市民全体の課題として取り組むべきだと思う。

(13) 移住促進

今後取り組むべき課題について

- 若者に魅力のある地域、移住・定住したくなるような施策や情報発信。
- リモートワークをする人を呼び込み、将来的な移住を促進するために、南房総市でのお試し生活として、空き家を貸す（ワンデイやマンスリーでの賃貸）などの整備。また、空いている公共施設のシェアオフィス。
- 移住先としての需要はあると思うので、住む場所や働く場所が見つかりやすい街にするための事業。

(14) 市民参加

今後取り組むべき課題について

- ジェンダー対策（男性の家事、育児、介護への参加意識の向上等）。
- 交流人口を増やすための取り組みに重点を置くことにより、結果として地域活性化や子育て世帯の増加につながると思います。
- 組が充実していけば市全体が充実していけるのではないかと考えます。高齢者や一人暮らしの世帯が多くなってきています。集会所が食品衛生法を満たした調理場となれば組の方のお弁当作りができるといいと思います。毎日とはなくても、組の家庭で収穫したものの生産物でお弁当づくりをし、販売する。安価で（200円位）の水道光熱費を支払、気兼ねなく利用できる、そういうお弁当が購入できるというシステムができるいいと思います。そうすれば、火事の心配も少なくなるし、歩いて家から、お弁当を手に入れられて、食の安全もでき、組の人との交流の場にもなり、健康維持増進へとつなげていけたらと思います。人の役に立っているという自覚ができることで、生きている喜びにつながっているのだと思います。70歳位では、まだまだ活躍できる方が多いと思います。生産販売している現役の方は良いですが、そうでない方の活躍の場づくりをしてほしいと思います。また、家庭に手作り味噌や梅干しなどを配られることもうれしいのではないのでしょうか。

(15) 行財政

今後取り組むべき課題について

- AIやRPAを用いて業務の効率化を図り、事務作業を従来の半分の職員でもできるように効率化を図る。
- 個々に新規事業を検討するよりも、横断的協議による政策間連携による施策の展開。
- DXによって事務を効率化して地域に出る職員を増やす必要がある。（福祉現業や資源整備、災害対応などにマンパワーを集中する。）・組織体制の簡素化により需要が高まっているプロジェクトチームに予算権限を持たせるなど機能強化が必要。